

ANNUAL REPORT

平成24年度 独立行政法人国立美術館 **東京国立近代美術館活動報告**

Independent Administrative Institution National Museum of Art

The National Museum of Modern Art, Tokyo 2012

2012

目次

Contents

美術・工芸部門

I 作品収集・修理等

- 1 作品収集
 - 6-1-1 美術作品[日本画 油彩 その他 版画 水彩・素描 彫刻(立体造形) 映像 書 写真 美術資料]
 - 6-1-2 工芸作品[陶磁 ガラス 漆工 木工 竹工 染織 人形 金工 その他の工芸 工芸資料 工業デザイン グラフィックデザイン]
- 2 新収蔵作品
 - 7-2-1 美術作品[日本画 油彩 その他 水彩・素描 映像 写真 資料]
 - 22-2-2 工芸作品[陶磁 ガラス 漆工 木工 染織 人形 金工 グラフィックデザイン]
- 3 作品修理
 - 43-3-1 美術作品
 - 44-3-2 工芸作品

II 公衆への観覧

- 1 展覧会
 - 45-1-1 入館者数
 - 46-1-2 これまでの展覧会一覧
 - 73-1-3 平成24年度企画展覧会記録
 - 82-1-4 平成24年度所蔵作品展記録 1-4-1 本館 1-4-2 工芸館 1-4-3 MOMATバスポート
 - 89-1-5 東京国立近代美術館工芸館所蔵作品巡回展等 1-5-1 国立美術館巡回展 1-5-2 工芸館巡回展
- 2 作品貸与・特別観覧・プリントスタディ
 - 91-2-1 本館 2-2 工芸館

III 調査研究

- 1 本館 92
- 2 工芸館 99

IV 教育普及

- 1 普及活動
 - 103-1-1 資料の収集及び図書室の公開
 - 104-1-2 児童生徒を対象とした事業 1-2-1 本館 1-2-2 工芸館
 - 107-1-3 講演会・シンポジウム・ギャラリートーク等 1-3-1 本館 1-3-2 工芸館
 - 117-1-4 大学等との連携 1-4-1 本館 1-4-2 工芸館
 - 119-1-5 ボランティア 1-5-1 本館 1-5-2 工芸館
 - 121-1-6 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修
- 2 刊行物
 - 122-2-1 企画展覧会カタログ 2-1-1 本館 2-1-2 工芸館
 - 124-2-2 目録・ガイド等 2-2-1 本館 2-2-2 工芸館
 - 126-2-3 研究紀要・年報等
 - 127-2-4 その他の刊行物 2-4-1 本館 2-4-2 工芸館
 - 129-2-5 美術館ニュース『現代の眼』
- 3 広報
 - 130-3-1 広報
 - 130-3-2 美術館情報システムによる普及・広報

映画部門

I 作品収集・復元等

- 1 作品収集
 - 134-1-1 映画フィルム
 - 137-1-2 映画関連資料
- 2 保存／復元 139
- 3 カタロギング／ドキュメンテーション 141

II 公衆への観覧

- 1 上映会等
 - 142-1-1 入館者数 1-1-1 上映会 1-1-2 展覧会
 - 144-1-2 上映会 1-2-1 上映会一覧 1-2-2 平成24年度上映会記録
 - 202-1-3 展覧会 1-3-1 展覧会一覧 1-3-2 平成24年度展覧会記録
 - 208-1-4 共催事業 1-4-1 共催による館外上映会
- 2 優秀映画鑑賞推進事業 212
- 3 所蔵品へのアクセス 221

III 調査研究

- 228

IV 教育普及

- 1 普及活動
 - 231-1-1 資料の収集及び図書室の公開
 - 231-1-2 学校や社会教育施設への幅広い学習機会の提供
 - 232-1-3 児童生徒を対象とした事業
 - 234-1-4 講演会・シンポジウム・ギャラリートーク等 1-4-1 講演会・シンポジウム 1-4-2 ゲストトーク 1-4-3 ギャラリー・トーク
 - 240-1-5 大学等との連携
- 2 刊行物
 - 241-2-1 カタログ
 - 242-2-2 目録・ガイド等
 - 243-2-3 NFCカレンダー等 2-3-1 NFCカレンダー 2-3-2 展覧会チラシ 2-3-3 上映会チラシ
 - 2-3-4 こども映画館
 - 247-2-4 NFCニューズレター
 - 248-2-5 その他
- 3 広報
 - 249-3-1 美術館情報システムによる普及・広報

記録

- 1 国際交流
 - 252-1-1 平成24年度招聘者
 - 253-1-2 平成24年度来館者
- 2 日誌 254
- 3 予算 255-3-1 平成24年度歳出予算一覧
- 4 名簿
 - 256-4-1 東京国立近代美術館評議員(美術・工芸部会)
 - 256-4-2 東京国立近代美術館評議員(映画部会)
 - 257-4-3 東京国立近代美術館職員

1 作品収集 List of Acquisitions

1-1 美術作品

種別	平成24年度収集点数	所蔵総点数
日本画	9	774
油彩 その他	8	1,222
版画	0	2,952
水彩・素描	64	3,987
彫刻(立体造形)	0	447
映像	1	29
書	0	21
写真	59	2,261
美術資料	11	649
計	152	12,342

※これまで作品分類の移動、組物のカウント方法の変更の二つを随時行ってきたことにより、公式な所蔵作品点数と実数との間に齟齬が生じていたため、平成24年度の『60年史』の編纂を機にこれらを点検しなおし、平成23年度時点での所蔵作品点数を12,190点に統一した。

1-2 工芸作品

種別	平成24年度収集点数	所蔵総点数
陶磁	10	918
ガラス	1	128
漆工	9	269
木工	1	80
竹工	0	38
染織	3	408
人形	1	88
金工	10	398
その他の工芸	0	9
工業資料	0	29
工芸デザイン	0	155
グラフィックデザイン	186	768
計	221	3,288

平成24年度における美術作品の購入、受贈による新収蔵作品は次のとおり。日本画9点(購入1点、受贈8点)、油彩、その他8点(購入5点、受贈3点)、水彩・素描64点(購入64点)、映像1点(購入1点)、写真59点(購入51点、受贈8点)、資料11点(購入1点、受贈10点)である。

New additions to the museum collection as a result of the purchase or receipt of donation of works of art during fiscal 2012 were as follows: 9 work of Japanese-style painting (1 purchased, 8 donated); 8 works of oil painting, etc. (5 purchased, 3 donated); 64 works of watercolor and drawing (64 purchased); 1 work of video (1 purchased); 59 photographic works (51 purchased, 8 donated), and 11 supplementary materials (1 purchased, 10 donated).

日本画

Japanese-Style Paintings

秦テルヲ(1887-1945)

カフェー風景

大正4年
麻布彩色
37.5×29.0cm
購入
J00753

HADA, Teruo (1887-1945)

A Scene in Café
1915
color on linen
37.5×29.0cm

秦テルヲ(1887-1945)

子どもの遊び 1

大正5年頃
紙本彩色
10.9×33.3cm
表面右上に描き印；裏面左上に描き印
えびな書店寄贈
J00746

HADA, Teruo (1887-1945)

Children's Play 1
c.1916
color on paper
10.9×33.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

子どもの遊び 2

大正5年頃
紙本彩色
10.9×33.3cm
表面右上に描き印；裏面右中に描き印
えびな書店寄贈
J00747

HADA, Teruo (1887-1945)

Children's Play 2
c.1916
color on paper
10.9×33.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

子どもの遊び 3

大正5年頃
紙本彩色
10.9×33.3cm
表面右下に描き印；裏面右下に描き印
えびな書店寄贈
J00748

HADA, Teruo (1887-1945)

Children's Play 3
c.1916
color on paper
10.9×33.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

子どもの遊び 4

大正5年頃
紙本彩色
10.9×33.3cm
表面左上に描き印；裏面右下に描き印
えびな書店寄贈
J00749

HADA, Teruo (1887-1945)

Children's Play 4
c.1916
color on paper
10.9×33.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

子どもの遊び 5

大正5年頃
紙本彩色
10.9×33.3cm
表面右上に描き印；裏面右上に描き印
えびな書店寄贈
J00750

HADA, Teruo (1887-1945)

Children's Play 5

c.1916
color on paper
10.9×33.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

子どもの遊び 6

大正5年頃
紙本彩色
10.9×33.3cm
表面右下に描き印；裏面右上に描き印
えびな書店寄贈
J00751

HADA, Teruo (1887-1945)

Children's Play 6

c.1916
color on paper
10.9×33.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

自画像

大正5年
墨・紙
19.6×14.7cm
右下に描き印、年記
えびな書店寄贈
J00752

HADA, Teruo (1887-1945)

Self Portrait

1916
sumi on paper
19.6×14.7cm

平福百穂(1877-1933)

丹鶴青瀾

大正15年
絹本彩色・屏風 6曲1双
各175.6×398.6cm
右隻右下に印章；左隻左下に落款、印章
三笠宮崇仁親王殿下寄贈
J00745

HIRAFUKU, Hyakusui (1877-1933)

Crane and Blue Waves

1926
color on silk, a pair of six-fold screens
each 175.6×398.6cm

油彩 その他

Oil Paintings, etc.

瑛九(1911-1960)

二人

昭和10年
油彩・厚紙
40.8×32.1cm
購入
O01232

EI-KYU (1911-1960)

Two Figures

1935
oil on cardboard
40.8×32.1cm

瑛九(1911-1960)

鳴海風景 B

昭和14年
油彩・板
24.2×33.4cm
購入
O01233

EI-KYU (1911-1960)

Landscape in Narumi B

1939
oil on board
24.2×33.4cm

瑛九(1911-1960)

園にて

昭和18年
油彩・板
22.7×15.5cm
右下に署名 裏面：[風景]
購入
O01234

EI-KYU (1911-1960)

In the Garden

1943
oil on board
22.7×15.5cm

尾藤豊(1926-1998)

シベリア紀行

昭和33年
油彩・キャンパス
130.3×162.1cm
6回ニッポン展(東京都美術館、1958年)
尾藤実子氏寄贈
O01230

BITO, Yutaka (1926-1998)

Traveling to Siberia

1958
oil on canvas
130.3×162.1cm

山田光春(1912-1981)

作品

昭和10-15年頃
油彩・ガラス
35.5×45.5cm
山田光一氏寄贈
O01228

YAMADA, Koshun (1912-1981)

Work

c.1935-40
oil on glass
35.5×45.5cm

山田光春(1912-1981)

作品

昭和26年
油彩・ガラス
45.7×35.8cm
左下に署名、年記
山田光一氏
寄贈
O01229

YAMADA, Koshun (1912-1981)

Work
1951
oil on glass
45.7×35.8cm

萬鉄五郎(1885-1927)

太陽の麦畑

大正2年頃
油彩・板
23.4×33.0cm
左下に署名
購入
O01231

YOROZU, Tetsugoro (1885-1927)

A Cornfield in the Sun
c.1913
oil on canvas
23.4×33.0cm

ジョアン・ミロ(1893-1983)

絵画詩(おお!あの人やっちゃったのね)

大正14年
油彩・キャンバス
130.0×95.0cm
右下に署名、年記
購入
O01227

MIRÓ, Joan (1893-1983)

Painting-Poem ("Oh! One of those gentlemen who did all that!")
1925
oil on canvas
130.0×95.0cm

水彩・素描

Watercolors & Drawings

瑛九(1911-1960)

スケッチブック

昭和10年頃
鉛筆 スケッチブック(17枚13図)
28.2×24.0cm
購入
D00569

EI-KYU (1911-1960)

Sketchbook
c.1935
pencil on paper
28.2×24.0cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.0×34.6cm
購入
D00570

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.6cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×33.9cm
右下に署名
購入
D00571

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×33.9cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×33.9cm
右下に署名
購入
D00572

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×33.9cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×33.9cm
購入
D00573

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×33.9cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.0×34.6cm
右下に署名
購入
D00574

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.6cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×33.8cm
右下に署名
購入
D00575

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×33.8cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
25.2×28.7cm
右下に署名
購入
D00576

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
25.2×28.7cm

瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 21.1×26.0cm 右下に署名 購入 D00577	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 25.2×28.7cm 右下に署名 購入 D00578	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 28.7×22.9cm 右下に署名 購入 D00579
EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 21.1×26.0cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 25.2×28.7cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 28.7×22.9cm
瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 20.8×25.8cm 右下に署名 購入 D00580	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 28.6×23.0cm 左下に署名 購入 D00581	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 28.9×24.2cm 右下に署名、年記 購入 D00582
EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 20.8×25.8cm	EI-KYU (1911-1960) 1936 ink on paper 28.6×23.0cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 28.9×24.2cm
瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 24.5×31.0cm 左に署名 購入 D00583	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 25.5×34.6cm 右下に署名 購入 D00584	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 25.5×34.7cm 右下に署名 購入 D00585
EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 24.5×31.0cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 25.5×34.6cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 25.5×34.7cm
瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 25.5×34.8cm 右下に署名、年記 購入 D00586	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 25.5×34.7cm 右下に署名、年記 購入 D00587	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 25.5×34.6cm 右下に署名 購入 D00588
EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 25.5×34.8cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 25.5×34.7cm	EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 25.5×34.6cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
25.5×34.8cm
右上に署名
購入
D00589

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
25.5×34.8cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×34.0cm
購入
D00590

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×34.0cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.0×34.7cm
購入
D00591

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.7cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×33.9cm
購入
D00592

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×33.9cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

インク・紙
34.4×33.9cm
購入
D00593

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.4×33.9cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.0×34.7cm
購入
D00594

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.7cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

インク・紙
34.0×34.4cm
購入
D00595

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.4cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.4×33.9cm
購入
D00596

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.4×33.9cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.0×34.7cm
中央下に署名
購入
D00597

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.7cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.7×34.0cm
購入
D00598

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.7×34.0cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.5×33.8cm
左下に署名
購入
D00599

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.5×33.8cm

瑛九(1911-1960)

デッサン

昭和11年
インク・紙
34.0×34.7cm
左下に署名
購入
D00600

EI-KYU (1911-1960)

Dessin
1936
ink on paper
34.0×34.7cm

瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.5×33.8cm 右下に署名 購入 D00601 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.5×33.8cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.7×34.0cm 購入 D00602 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.7×34.0cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.4×33.9cm 購入 D00603 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.4×33.9cm
瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.7×34.0cm 購入 D00604 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.7×34.0cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.6×34.0cm 右下に署名 購入 D00605 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.6×34.0cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.5×33.9cm 購入 D00606 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.5×33.9cm
瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.5×33.8cm 購入 D00607 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.5×33.8cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.0×34.7cm 右下に署名 購入 D00608 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.0×34.7cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.5×33.9cm 右下に署名 購入 D00609 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.5×33.9cm
瑛九(1911-1960) デッサン 昭和11年 インク・紙 34.6×34.0cm 購入 D00610 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1936 ink on paper 34.6×34.0cm	瑛九(1911-1960) デッサン 昭和12年 インク・紙 29.2×38.3cm 右下に署名、年記 購入 D00611 EI-KYU (1911-1960) Dessin 1937 ink on paper 29.2×38.3cm	瑛九(1911-1960) 作品 昭和12年 コラージュ・紙 41.5×30.0cm 裏面に署名 購入 D00612 EI-KYU (1911-1960) Work 1937 collage on paper 41.5×30.0cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年
コラージュ・紙
28.0×23.5cm
裏面に署名
購入
D00613

EI-KYU (1911-1960)

Work
1937
collage on paper
28.0×23.5cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年
コラージュ・紙
28.0×23.5cm
裏面に署名
購入
D00614

EI-KYU (1911-1960)

Work
1937
collage on paper
28.0×23.5cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年
コラージュ・紙
28.0×23.3cm
裏面に署名
購入
D00615

EI-KYU (1911-1960)

Work
1937
collage on paper
28.0×23.3cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年
コラージュ・紙
33.8×22.5cm
裏面に署名
購入
D00616

EI-KYU (1911-1960)

Work
1937
collage on paper
33.8×22.5cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年頃
コラージュ・紙
27.7×23.3cm
右下に署名
購入
D00617

EI-KYU (1911-1960)

Work
c.1937
collage on paper
27.7×23.3cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年頃
コラージュ・紙
41.3×29.5cm
購入
D00618

EI-KYU (1911-1960)

Work
c.1937
collage on paper
41.3×29.5cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年頃
コラージュ・紙
41.5×29.5cm
購入
D00619

EI-KYU (1911-1960)

Work
c.1937
collage on paper
41.5×29.5cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年頃
コラージュ・紙
24.2×20.4cm
購入
D00620

EI-KYU (1911-1960)

Work
c.1937
collage on paper
24.2×20.4cm

瑛九(1911-1960)

作品

昭和12年頃
コラージュ・紙
27.9×23.5cm
右下に署名
購入
D00621

EI-KYU (1911-1960)

Work
c.1937
collage on paper
27.9×23.5cm

秦テルヲ(1887-1945)

黒烟

大正5年頃
インク・紙
32.7×24.3cm
右下に描き印、書込み
購入
D00558

HADA, Teruo (1887-1945)

Black Smoke
c.1916
ink on paper
32.7×24.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

開かぬ扉

大正5年頃
インク・紙
32.7×24.3cm
右下に描き印、書込み
購入
D00559

HADA, Teruo (1887-1945)

Locked Door
c.1916
ink on paper
32.7×24.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

死んで逝く

大正5年頃
インク・紙
24.3×32.7cm
右下に描き印、書込み
購入
D00560

HADA, Teruo (1887-1945)

Dying a Death
c.1916
ink on paper
24.3×32.7cm

秦テルヲ(1887-1945)

月光

大正5年頃
インク、色鉛筆・紙
32.7×24.3cm
左下に描き印、書込み
購入
D00561

HADA, Teruo (1887-1945)

Moonlight

c.1916
ink and color pencil on paper
32.7×24.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

いたま
惨しき日

大正5年頃
インク、色鉛筆・紙
24.3×32.7cm
右下に描き印、書込み
購入
D00562

HADA, Teruo (1887-1945)

A Miserable Day

c.1916
ink and color pencil on paper
24.3×32.7cm

秦テルヲ(1887-1945)

燈火

大正5年頃
インク、色鉛筆・紙
22.8×16.5cm
右下に描き印、書込み
購入
D00563

HADA, Teruo (1887-1945)

Lamplight

c.1916
ink and color pencil on paper
22.8×16.5cm

秦テルヲ(1887-1945)

無題

大正5年頃
インク・紙
22.8×16.5cm
右下に描き印
購入
D00564

HADA, Teruo (1887-1945)

Untitled

c.1916
ink on paper
22.8×16.5cm

秦テルヲ(1887-1945)

無題

大正5年頃
インク・紙
16.5×22.8cm
右下に描き印
購入
D00565

HADA, Teruo (1887-1945)

Untitled

c.1916
ink on paper
16.5×22.8cm

秦テルヲ(1887-1945)

落日

大正5年頃
インク、色鉛筆・紙
16.5×22.8cm
右下に描き印、書込み
購入
D00566

HADA, Teruo (1887-1945)

Sunset

c.1916
ink and color pencil on paper
16.5×22.8cm

秦テルヲ(1887-1945)

活動の女給

大正5年頃
インク、色鉛筆・紙
22.8×16.5cm
右中に描き印、右上に書込み
購入
D00567

HADA, Teruo (1887-1945)

Waitress at the Cinema

c.1916
ink and color pencil on paper
22.8×16.5cm

秦テルヲ(1887-1945)

煙

大正5年頃
インク、色鉛筆・紙
16.5×22.8cm
右下に描き印、書込み
購入
D00568

HADA, Teruo (1887-1945)

Smoke

c.1916
ink and color pencil on paper
16.5×22.8cm

映像

Videos

田中功起(1975-)

一つのプロジェクト、七つの箱と
行為、美術館にて

平成24年
HDビデオ カラー サウンド(13分33秒)
段ボール、椅子他
美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近
代美術の100年(東京国立近代美術館、2012-13年)
購入
V00029

TANAKA, Koki (1975-)

A Project, Seven Boxes and Movements at the Museum
2012

HD video, color, sound, 13'33". chairs and cardboard boxes, etc.

写真

Photographic Works

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 1
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-01

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 1
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 2
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-02

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 2
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 3
昭和11年
インク・ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-03

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 3
1936
gelatin silver print, ink
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 4
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-04

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 4
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 5
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-05

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 5
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 6
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-06

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 6
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 7
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-07

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 7
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 8
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-08

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 8
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 9
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-09

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 9
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 10
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.5×22.7cm
購入
Ph-2170-10

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 10
1936
gelatin silver print
27.5×22.7cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 3 (別プリント)
昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×27.8cm
購入
Ph-2171

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 3 (another print)
1936
gelatin silver print
22.8×27.8cm

瑛九(1911-1960)
「眠りの理由」より 10(別プリント)

昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×27.8cm
購入
Ph-2172

Ei-Kyu (1911-1960)
From *Reason of Sleep* 10 (another print)
1936
gelatin silver print
22.8×27.8cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.6×22.9cm
裏面に署名、年記
購入
Ph-2173

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
1936
gelatin silver print
27.6×22.9cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和11年
ゼラチン・シルバー・プリント
24.5×27.4cm
裏面に署名、年記
購入
Ph-2174

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
1936
gelatin silver print
24.5×27.4cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和11年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
29.0×24.6cm
購入
Ph-2175

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
c.1936
gelatin silver print
29.0×24.6cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和11年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
22.8×27.8cm
購入
Ph-2176

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
c.1936
gelatin silver print
22.8×27.8cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和11年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
27.7×22.7cm
購入
Ph-2177

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
c.1936
gelatin silver print
27.7×22.7cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和11年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
22.7×27.5cm
購入
Ph-2178

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
c.1936
gelatin silver print
22.7×27.5cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和12年
ゼラチン・シルバー・プリント
27.4×22.8cm
裏面に署名、年記
購入
Ph-2179

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
1937
gelatin silver print
27.4×22.8cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和31年
ゼラチン・シルバー・プリント
22.2×27.5cm
購入
Ph-2180

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
1956
gelatin silver print
22.2×27.5cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン

昭和25-35年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
28.2×22.8cm
購入
Ph-2181

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin
c.1950-60
gelatin silver print
28.2×22.8cm

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン(女)

昭和25-35年頃
ゼラチン・シルバー・プリント
27.0×22.3cm
購入
Ph-2182

Ei-Kyu (1911-1960)
Photo-Dessin (Woman)
c.1950-60
gelatin silver print
27.0×22.3cm

柴田敏雄(1949-)
沖縄県国頭郡国頭村

平成7年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、アルポリック
パネルにマウント、A.P.
100.0×125.0cm
裏面にラベル(題名、署名、エディション番号)
「与えられた形象—辰野登恵子／柴田敏雄」[国立新美術館、2012]
作者寄贈
Ph-2187

SHIBATA, Toshio (1949-)
Kunigami Village, Kunigami County, Okinawa Prefecture
1995 (2012 print)
gelatin silver print, mounted on Alpolic panel, A.P.
100.0×125.0cm

柴田敏雄(1949-)

広島県山県郡加計町

平成7年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、アルポリック
パネルにマウント、A.P.
100.0×125.0cm
裏面にラベル(題名、署名、エディション番号)
「与えられた形象—辰野登恵子/柴田敏雄」[国立新美術館、2012]
作者寄贈
Ph-2188

SHIBATA, Toshio (1949-)

Kake Town, Yamagata County, Hiroshima Prefecture
1995 (2012 print)
gelatin silver print, mounted on Alpolic panel, A.P.
100.0×125.0cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-005]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2192

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-005]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-019]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2195

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-019]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-035]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2198

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-035]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

柴田敏雄(1949-)

群馬県群馬郡倉渕村

平成16年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、アルポリック
パネルにマウント、A.P.
100.0×125.0cm
裏面にラベル(題名、署名、エディション番号)
「与えられた形象—辰野登恵子/柴田敏雄」[国立新美術館、2012]
作者寄贈
Ph-2189

SHIBATA, Toshio (1949-)

Kurabuchi Village, Gunma County, Gunma Prefecture
2004 (2012 print)
gelatin silver print, mounted on Alpolic panel, A.P.
100.0×125.0cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-011]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2193

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-011]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-023]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
48.0×32.0 (50.8×40.6) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2196

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-023]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
48.0×32.0(50.8×40.6)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-040]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
48.0×32.0 (50.8×40.6) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2199

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-040]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
48.0×32.0(50.8×40.6)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-002]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 3/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2191

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-002]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 3/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-013]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 4/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2194

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-013]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 4/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-033]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2197

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-033]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

中平卓馬(1938-)

「サーキュレーション—日付、場所、行為」より [C-046]

昭和46年(平成24年プリント)
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15
32.0×48.0 (40.6×50.8) cm
裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号
購入
Ph-2200

NAKAHIRA, Takuma (1938-)

From "Circulation: Date, Place, Events" [C-046]
1971 (2012 print)
gelatin silver print ed. 1/15
32.0×48.0(40.6×50.8)cm

<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-057]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2201</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-077]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2202</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-080]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2203</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-057] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-077] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-080] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-082]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 6/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2204</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-083]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2205</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-086]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2206</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-082] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 6/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-083] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-086] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-091]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2207</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-104]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 48.0×32.0 (50.8×40.6) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2208</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-110]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 2/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2209</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-091] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-104] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 48.0×32.0(50.8×40.6)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-110] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 2/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-111]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 2/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2210</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-112]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 2/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2211</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーション―日付、場所、行為」より [C-113]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 2/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2212</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-111] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 2/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-112] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 2/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-113] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 2/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>

<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-116]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2213</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-127]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2214</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-129]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2215</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-116] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-127] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-129] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-130]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 作者寄贈 Ph-2183</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-131]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 作者寄贈 Ph-2184</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-132]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 作者寄贈 Ph-2185</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-130] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-131] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-132] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-133]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 作者寄贈 Ph-2186</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-145]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2216</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-149]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2217</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-133] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-145] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-149] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-154]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 48.0×32.0 (50.8×40.6) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2218</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-162]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2219</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-177]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2220</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-154] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 48.0×32.0(50.8×40.6)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-162] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From "Circulation: Date, Place, Events" [C-177] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>

<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-207]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2221</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-229]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2222</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-233]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2223</p>
---	---	---

<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-207] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-229] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-233] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
--	--	--

<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-235]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 48.0×32.0 (50.8×40.6) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2224</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-249]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2225</p>	<p>中平卓馬(1938-)</p> <p>「サーキュレーションー日付、場所、行為」より [C-255]</p> <p>昭和46年(平成24年プリント) ゼラチン・シルバー・プリント、ed. 1/15 32.0×48.0 (40.6×50.8) cm 裏面にスタンプ、プリント番号、エディション番号 購入 Ph-2226</p>
---	---	---

<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-235] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 48.0×32.0(50.8×40.6)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-249] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-)</p> <p>From “Circulation: Date, Place, Events” [C-255] 1971 (2012 print) gelatin silver print ed. 1/15 32.0×48.0(40.6×50.8)cm</p>
--	--	--

<p>松江泰治(1963-)</p> <p>『Taiji Matsue』(ugeyan, 2003)収載作品</p> <p>1組(全343点) 平成元-14年 ゼラチン・シルバー・プリント 各27.9×35.6cm 田中英二氏・田中文字子氏寄贈 Ph-2190</p>	<p>ジュリア・マーガレット・キャメロン(1815-1879)</p> <p>ジョン・ハーシェル卿</p> <p>慶応3年(明治23年プリント) フォトグラヴェール 21.6×16.2cm 購入 Ph-2227</p>	<p>ジュリア・マーガレット・キャメロン(1815-1879)</p> <p>テニス卿</p> <p>明治2年(明治23年プリント) フォトグラヴェール 21.7×16.3cm 購入 Ph-2228</p>
---	---	---

<p>MATSUE, Taiji (1963-)</p> <p>From <i>Taiji Matsue</i> (ugeyan, 2003), 343 prints 1989-2002 gelatin silver print each 27.9×35.6cm</p>	<p>CAMERON, Julia Margaret (1815-1879)</p> <p>Sir. John Herschel 1867(1890 print) photogravure 21.6×16.2cm</p>	<p>CAMERON, Julia Margaret (1815-1879)</p> <p>Lord Tennnyson 1869 (1890 print) photogravure 21.7×16.3cm</p>
--	--	---

資料

Supplementary Materials

<p>瑛九(1911-1960)</p> <p>汽車は走りぬ</p> <p>昭和13年頃 水彩・紙 27.2×24.2cm 左下に署名、印章 山田光一氏寄贈 M00648</p>	<p>瑛九(1911-1960)</p> <p>録南洲先生詩</p> <p>昭和13年頃 水彩・紙 27.2×24.2cm 中央下に署名、印章 山田光一氏寄贈 M00649</p>
---	--

<p>EI-KYU (1911-1960)</p> <p>A Train Passed By c.1938 watercolor on paper 27.2×24.2cm</p>	<p>EI-KYU (1911-1960)</p> <p>A Poem by Mr. Nanshu c.1938 watercolor on paper 27.2×24.2cm</p>
---	--

瑛九(1911-1960)
鳴海小学校々庭にて

昭和13年頃
水彩・紙
24.2×27.2cm
右下に署名
山田光一氏寄贈
M00650

EI-KYU (1911-1960)
In the Playground at Narumi Elementary School
c.1938
watercolor on paper
24.2×27.2cm

瑛九(1911-1960)
田園

昭和13年頃
水彩・紙
24.2×27.2cm
左下に署名
山田光一氏寄贈
M00651

EI-KYU (1911-1960)
Countryside
c.1938
watercolor on paper
24.2×27.2cm

瑛九(1911-1960)
江碧鳥遯白

昭和13年頃
水彩・紙
27.2×24.2cm
左下に署名、印章
山田光一氏寄贈
M00652

EI-KYU (1911-1960)
In Streams So Aqua, the Whiter the
Birds Appear
c.1938
watercolor on paper
27.2×24.2cm

瑛九(1911-1960)
てるちゃん

昭和13年頃
水彩・紙
27.2×24.2cm
右上に書き込み、右下に署名
山田光一氏寄贈
M00653

EI-KYU (1911-1960)
Miss Teru
c.1938
watercolor on paper
27.2×24.2cm

瑛九(1911-1960)
糸のぐ

昭和13年頃
水彩・紙
27.2×24.2cm
右上に書き込み、左下に署名
山田光一氏寄贈
M00654

EI-KYU (1911-1960)
Paints
c.1938
watercolor on paper
27.2×24.2cm

瑛九(1911-1960)
夜来風雨声

昭和13年頃
水彩・紙
27.2×24.2cm
右上に書き込み、左下に書き込み、署名
山田光一氏寄贈
M00655

EI-KYU (1911-1960)
In the Night Came the Sound of Wind
and Rain
c.1938
watercolor on paper
27.2×24.2cm

瑛九(1911-1960)
題名不詳(山水)

紙本彩色・軸
135.2×33.0cm
右上に書き込み、左下に署名、印章
山田光一氏寄贈
M00656

EI-KYU (1911-1960)
Untitled (Landscape)
color on paper, hanging scroll
135.2×33.0cm

瑛九(1911-1960)
瑛九関係資料

書簡、写真、書籍、目録、案内状、ポスター、雑誌、
油彩他
山田光一氏寄贈
M00657

EI-KYU (1911-1960)
Material Related to EI-KYU
letters, photos, books, catalogues, Invitations,
posters, magazines and oil paintings, etc.

瑛九(1911-1960)
フォト・デッサン型紙

昭和25-35年頃
紙
30.0×25.3cm
購入
M00658

EI-KYU (1911-1960)
Patterns for Photo-Dessin
c.1950-1960
paper
30.0×25.3cm

平成24年度における工芸作品の購入、受贈による新収蔵作品は次のとおり。陶磁10点(購入1点、受贈9点)、ガラス1点(受贈1点)、漆工9点(購入1点、受贈8点)、木工1点(受贈1点)、染織3点(受贈3点)、人形1点(受贈1点)、金工10点(受贈10点)、グラフィック・デザイン186点(受贈21点、分類変更165点)である。

New additions to the museum collection as a result of the purchase or receipt of donation of crafts during fiscal 2012 were as follows: 10 ceramic works (1 purchased, 9 donated); 1 item of glass work (1 donated); 9 lacquerware (1 purchased, 8 donated); 1 item of wood work (1 donated); 1 item of doll (1 donated); 3 textile (3 donated); 10 metal works (10 donated); and 186 graphic design (21 donated, 165 reclassified).

陶磁

Ceramic Works

十三代今泉今右衛門(善詔)(1926-2001)

色絵薄墨芥子文花瓶

平成5年
磁土、色絵
h33.9 D26.4cm
個展(横浜、横浜高島屋、1993年)
八巻玲子氏寄贈
Cr0967

IMAIZUMI, Imaemon XIII (Yoshinori) (1926-2001)

Vase, poppy design, underglaze gray and overglaze enamels
1993
porcelain
h33.9 D26.4cm

十三代今泉今右衛門(善詔)(1926-2001)

色絵薄墨珠樹文香炉

平成7年
磁土、色絵
h10.4 D11.5cm
個展(横浜、横浜そごう、1995年)
八巻玲子氏寄贈
Cr0968

IMAIZUMI, Imaemon XIII (Yoshinori) (1926-2001)

Incense burner, auspicious tree design, underglaze gray and overglaze enamels
1995
porcelain
h10.4 D11.5cm

十三代今泉今右衛門(善詔)(1926-2001)

色絵吹重ね珠樹文花瓶

平成9年
磁土、色絵
h37.8 D20.5cm
個展(横浜、横浜高島屋、1997年)
八巻玲子氏寄贈
Cr0969

IMAIZUMI, Imaemon XIII (Yoshinori) (1926-2001)

Vase, auspicious tree design, underglaze blue and gray and overglaze enamels
1997
porcelain
h37.8 D20.5cm

大迫みきお(1940-1995)

灰釉皿

昭和52年
陶土
h8.3 w47.6 d46.9cm
個展
上神亮治氏寄贈
Cr0971

OSAKO, Mikio (1940-1995)

Large dish, ash glaze
1977
stoneware
h8.3 w47.6 d46.9cm

大迫みきお(1940-1995)

灰釉手付鉢

昭和52年
陶土
h7.5 w14.5 d13.6 ; h7.2 w14.8 d13.8 ; h7.7 w14.3 d13.4 ; h7.6 w14.8 d13.6 ; h7.2 w14.4 d13.4 ; h8.2cm
個展
上神亮治氏寄贈
Cr0972

OSAKO, Mikio (1940-1995)

Dishes with handles, ash glaze
1977
stoneware
h7.5 w14.5 d13.6 ; h7.2 w14.8 d13.8 ; h7.7 w14.3 d13.4 ; h7.6 w14.8 d13.6 ; h7.2 w14.4 d13.4 ; h8.2cm

加守田章二(1933-1983)

曲線彫文壺

昭和45年

陶器

h25.2 w23.0 d24.8cm

個展(東京、日本橋高島屋、1970年)

購入

Cr0970

KAMODA, Shoji (1933-1983)

Jar with pattern of waves

1970

stoneware

h25.2 w23.0 d24.8cm

竹中浩(1941-)

白磁面取鉢

平成24年

磁器

h24.8 D38.5cm

作者寄贈

Cr0973

TAKENAKA, Ko (1941-)

Large bowl with faceted sides, white porcelain

2012

porcelain

h24.8 D38.5cm

西田真也(1955-)

象嵌泥彩扁壺

平成5年

陶土、象嵌

h41.0 w39.0 d37.0cm

第40回日本伝統工芸展

(東京、日本橋三越本店、1993年)

近野和男氏寄贈

Cr0974

Nishida, Shinya (1955-)

Jar, inlay and colored clay decoration

1993

stoneware

h41.0 w39.0 d37.0cm

レーディ、ジム(1930-)

Montana Vessel

昭和55年

陶器

h86.0 w46.0 d38.0cm

岡田太一氏寄贈

Cr0975

Leedy, Jim (1930-)

Montana Vessel

1980

stoneware

h86.0 w46.0 d38.0cm

レーディ、ジム(1930-)

Sculpture with Monkey Skull

昭55-平11年頃

陶器、骨(猿)

h37.0 w16.4 d12.2cm

岡田太一氏寄贈

Cr0976

Leedy, Jim (1930-)

Sculpture with Monkey Skull

c.1990-99

stoneware

h37.0 w16.4 d12.2cm

ガラス

Glass Works

藤田喬平(1921-2004)

飾箱 光悦

昭和48年

ガラス、型吹き

h11.0 w25.0 d18.0cm

個展(東京、日本橋高島屋、1973年)

藤田潤氏

寄贈

Gl0130

FUJITA, Kyohei (1921-2004)

Ornamental box, "Koetsu"

1973

glass, blowing

h11.0 w25.0 d18.0cm

漆工

Lacquerwares

音丸耕堂(1898-1997)

木彫バツタ硯箱

平成2-9年頃

木、漆

h6.1 w19.6 d25.4cm

小林宮子氏寄贈

Lc0268

OTOMARU, Kodo (1898-1997)

Inkstone case, grasshoppers design, wood

carving

c.1990-97

wood, lacquer

h6.1 w19.6 d25.4cm

小森邦衛(1945-)

藍胎茶器

平成9年

漆、藍胎

個展(東京、西武、1997年)

h7.1 D6.4cm

小林宮子氏寄贈

Lc0265

KOMORI, Kunie (1945-)

Tea caddy, *rantai*

1997

lacquer, *rantai*

h7.1 D6.4cm

田口義明(善明)(1958-) 蒔絵棗 プリムラ 昭和62年 漆、蒔絵 h8.2 D7.7cm 善漆会(東京、池袋西武百貨店西武アート・フォーラム、1987年) 小林宮子氏寄贈 Lc0270	田口義明(善明)(1958-) 切貝蒔絵飾箱 彩羽 平成3年 漆、蒔絵、螺鈿 h14.5 w25.5 d12.4cm 第38回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店、1991年) 小林宮子氏寄贈 Lc0269	田口義明(善明)(1958-) 蒔絵棗 金魚 平成16年 漆、蒔絵 h8.6 D8.0cm 第21回日本伝統漆芸展(東京、池袋西武百貨店、2004年) 小林宮子氏寄贈 Lc0271
TAGUCHI, Yoshiaki (1958-) Tea caddy, primrose design, <i>maki-e</i> 1987 lacquer, <i>maki-e</i> h8.2 D7.7cm	TAGUCHI, Yoshiaki (1958-) Ornamental box, “Colorful Wing”, <i>maki-e</i> , <i>raden</i> inlay 1991 lacquer, <i>maki-e</i> , <i>raden</i> inlay h14.5 w25.5 d12.4cm	TAGUCHI, Yoshiaki (1958-) Tea caddy, “Goldfish”, <i>maki-e</i> 2004 lacquer, <i>maki-e</i> h8.6 D8.0cm

田口善国(1923-1998) 花園蒔絵飾箱 昭和62年 漆、蒔絵、螺鈿 h10.4 D20.7cm 善漆会(東京、池袋西武百貨店西武アート・フォーラム、1987年) 小林宮子氏寄贈 Lc0272	二十代堆朱楊成(1880-1952) 彫漆六華式平卓 大正4年 漆、彫漆 h11.5 D37.6cm 農商務省第四回圖案及應用作品展覽會(1916年) 購入 Lc0273	増村紀一郎(1941-) 漆皮盤 不詳 漆、皮 h5.5 w26.1 d25.3cm 小林宮子氏寄贈 Lc0266
TAGUCHI, Yoshikuni(1923-1998) Ornamental box, butterfly design, <i>maki-e</i> , <i>raden</i> inlay 1987 lacquer, <i>maki-e raden</i> inlay h10.4 D20.7cm	TSUISHU, Yozei XX(1880-1952) Low table, six-petaled flower design, <i>choshitsu</i> 1915 lacquer, <i>choshitsu</i> h11.5 D37.6cm	MASUMURA, Kiichiro (1941-) Tray, <i>shippi</i> unknown lacquer, <i>shippi</i> h5.5 w26.1 d25.3cm

室瀬和美(1950-) 蒔絵硯箱 游水 平成12年 漆、蒔絵 h4.8 w21.0 d22.8cm 個展(東京、日本橋三越、2000年) 小林宮子氏寄贈 Lc0267	MUROSE, Kazumi (1950-) Inkstone case, catfish design, <i>maki-e</i> 2000 lacquer, <i>maki-e</i> h4.8 w21.0 d22.8cm
---	---



佐藤豊樵(1911-1999) あらゝ木乱盆 昭和58年 木(あららぎ) h6.1 w37.8 d31.9cm 第23回伝統工芸新作展 (東京、日本橋三越本店、1983年) 野上雅敏氏寄贈 Wd0080	SATO, Hosho(1911-1999) Clothes tray, yew wood 1983 wood(yew wood), joining h6.1 w37.8 d31.9cm
---	---

染織

Textiles

伊砂利彦(1924-2010)

きもの ローマの松

昭和42年
絹、型染
172.0×142.0cm
寄贈
Tx0407

ISA, Toshihiko(1924-2010)

Kimono, "The Pine of Rome", stencil
dyeing
1967
silk, stencil dyeing
172.0×142.0cm

伊砂利彦(1924-2010)

二曲屏風 ローマの松

昭和42年
絹、型染
161.0×170.0cm
第22回新匠会
寄贈
Tx0408

ISA, Toshihiko(1924-2010)

Two fold-screen, "The Pine of Rome",
stencil dyeing
1967
silk, stencil dyeing
161.0×170.0cm

北村武資(1935-)

煌羅帖

昭和57年
文羅、羅金
h4.6 w24.6 d20.0cm
個展(東京、和光、1983年)
作者寄贈
Tx0406

KITAMURA, Takeshi (1935-)

Album of *ra* type silk clothes
1982
silk, *ra* (complex gauze) type weaving
h4.6 w24.6 d20.0cm

人形

Dolls

与勇輝(1937-)

ちゃんのおつかい

平成24年
布
h36.8 w12.0 d13.4cm
作者寄贈
DI0088

Atae, Yuki (1937-)

Errand for father
2012
clothes
h36.8 w12.0 d13.4cm

金工

Metal Works

桂盛仁(1944-)

盒子 蟹

昭和55年
四分一、金消
h3.5 w9.5 d7.0cm
第27回日本伝統工芸展
(東京、日本橋三越本店、1980年)
作者寄贈
Mt0402

Katsura, Morihito (1944-)

Incense container, "Crab"
1980
shibuichi (copper alloy with silver)
h3.5 w9.5 d7.0cm

桂盛仁(1944-)

打出し香爐 躍

平成9年
四分一、金消、打出
h13.0 w20.5 d12.0cm
第44回日本伝統工芸展
(東京、日本橋三越本店、1997年)
作者寄贈
Mt0403

Katsura, Morihito (1944-)

Incense burner, "Jump", hammerwork
1997
shibuichi (copper alloy with silver), hammering
h13.0 w20.5 d12.0cm

<p>桂盛仁(1944-)</p> <p>帶留金具 磯の木</p> <p>平成11年 四分一、赤銅、緋銅、金 h1.0 w5.5 d2.5cm 第39回伝統工芸新作展 (東京、日本橋三越本店、1999年) 作者寄贈 Mt0404</p>	<p>桂盛仁(1944-)</p> <p>帶留金具 めだか</p> <p>平成15年 四分一、赤銅、金 h0.8 w7.0 d2.5cm 第50回日本伝統工芸展 (東京、日本橋三越本店、2003年) 作者寄贈 Mt0405</p>	<p>槻尾宗一(1915-1992)</p> <p>鑄銅花器 一文字</p> <p>昭45-平元年頃 青銅 each h21.5 D12.2cm 太田雅之氏寄贈 Mt0406</p>
<p>Katsura, Morihito (1944-)</p> <p>Sash clip in the shape of beach tree 1999 <i>shibuichi</i> (copper alloy with silver), <i>shakudo</i> h1.0 w5.5 d2.5cm</p>	<p>Katsura, Morihito (1944-)</p> <p>Sash clip in the shape of cyprinodont 2003 <i>shibuichi</i> (copper alloy with silver), <i>shakudo</i> h0.8 w7.0 d2.5cm</p>	<p>TSUKIO, Soichi(1915-1992)</p> <p>Flower vase, “Straight Line”, bronze c.1970-89 bronze each h21.5 D12.2cm</p>

<p>槻尾宗一(1915-1992)</p> <p>鑄銅花器</p> <p>昭45-平元年頃 青銅 each h23.2 D11.4cm 太田雅之氏寄贈 Mt0407</p>	<p>槻尾宗一(1915-1992)</p> <p>みみずく香爐</p> <p>昭45-平元年頃 白銅 h19.2 w13.3 d16.2cm 太田雅之氏寄贈 Mt0408</p>	<p>槻尾宗一(1915-1992)</p> <p>鑄銅六角形花器 B</p> <p>平成4年 青銅 h16.0 w9.9 d8.7cm 金沢四百年記念 国際工芸デザイン交流展 太田雅之氏寄贈 Mt0409</p>
<p>TSUKIO, Soichi (1915-1992)</p> <p>Flower vase, bronze c.1970-89 bronze each h23.2 D11.4cm</p>	<p>TSUKIO, Soichi (1915-1992)</p> <p>Incense burner in the shape of owl, nickel c.1980-89 nickel h19.2 w13.3 d16.2cm</p>	<p>TSUKIO, Soichi (1915-1992)</p> <p>Hexagonal flower vase, “B”, bronze 1992 bronze h16.0 w9.9 d8.7cm</p>

<p>西村敏彦(1889-1947)</p> <p>銅七宝彩梅に鶯替喫煙具</p> <p>昭和7年頃 鍛造、銅、七宝 煙草入れ：h3.7 10.1×13.0cm 灰落し:h3.8 D9.4cm マッチケース:h2.3 6.8×3.9cm トレイ:h1.0 27.1×18.2cm 青木尚子氏寄贈 Mt0410</p>	<p>山田瑞子(1964-)</p> <p>ネックレス</p> <p>平成18年 鍛造、熔接、銅、銀メッキ h8 w40 d40cm 2006ジュエリーアート展 作者寄贈 Mt0411</p>
<p>NISHIMURA, Toshihiko (1889-1947)</p> <p>Cigarette set, design of plum tree and bush warbler, cloisonne on copper c.1932 copper, cloisonne cigarette box：h3.7 10.1×13.0cm ash tray:h3.8 D9.4cm match box:h2.3 6.8×3.9cm tray:h1.0 27.1×18.2cm</p>	<p>Yamada, Mizuko (1964-)</p> <p>Necklace 2006 copper, silverplating h8 w40 d40cm</p>

<div> <div>グラフィック デザイン Graphic Design</div> </div>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>日本近代美術展：近代絵画の回顧と展望</p> <p>昭和127年 77.0×54.4cm #1 分類変更 Gd0604</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>日本近代絵画の回顧と展望</p> <p>昭和127年 32.1×52.9cm #1 分類変更 Gd0605</p>
	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Modern Japanese art : retrospective and perspective of modern painting 1952 77.0×54.4cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Modern Japanese art : retrospective and perspective of modern painting 1952 32.1×52.9cm</p>

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代洋画の歩み：西洋と日本</p> <p>昭和28年 75.2×52.5cm #2 分類変更 Gd0606</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Development of modern Western-style painting : Europe and Japan 1953 75.2×52.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代洋画の歩み：西洋と日本</p> <p>昭和28年 75.2×52.5cm #2 分類変更 Gd0607</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Development of modern Western-style painting : Europe and Japan 1953 75.2×52.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>世界のポスター展</p> <p>昭和28年 75.6×53.3cm #3 分類変更 Gd0608</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>World posters 1953 75.6×53.3cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>日本画の流れ：その系譜と展開</p> <p>昭和28年 75.5×53.0cm #4 分類変更 Gd0609</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Mainstream of Japanese-style painting : its schools and development 1953 75.5×53.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代彫塑展：西洋と日本</p> <p>昭和28年 75.1×52.5cm #5 分類変更 Gd0610</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Modern sculpture : Europe and Japan 1953 75.1×52.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代彫塑展：西洋と日本</p> <p>昭和28年 35.3×54.0cm #5 分類変更 Gd0611</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Modern sculpture : Europe and Japan 1953 35.3×54.0cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代写真展：日本とアメリカ</p> <p>昭和28年 74.8×51.6cm #6 分類変更 Gd0612</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The exhibition of contemporary photography : Japan and America 1953 74.8×51.6cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>四人の画家：中村彝・小茂田青樹・萬鉄五郎・土田麦僊</p> <p>昭和28年 76.0×52.6cm #7 分類変更 Gd0613</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Exhibition of four painters : Tsune Nakamura, Seiju Omoda, Tetsugoro Yorozu, Bakusen Tsuchida 1953 76.0×52.6cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代の肖像画</p> <p>昭和29年 74.2×52.9cm #9 分類変更 Gd0614</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Exhibition of modern Japanese portraiture 1954 74.2×52.9cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>国吉康雄遺作展</p> <p>昭和29年 73.1×51.9cm #11 分類変更 Gd0615</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The memorial art exhibition of the works of Yasuo Kuniyoshi 1954 73.1×51.9cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>大正期の画家</p> <p>昭和29年 74.3×52.8cm #12 分類変更 Gd0616</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The exhibition of the painting of the Taisho era 1954 74.3×52.8cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>黒田清輝展</p> <p>昭和29年 74.0×52.5cm #14 分類変更 Gd0617</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Exhibition of Seiki Kuroda 1954 74.0×52.5cm</p>

原弘(1903-1986)

水彩と素描

昭和29年
73.6×51.9cm
#15
分類変更
Gd0618

HARA, Hiromu (1903-1986)

Exhibition of water colors and drawings
1954
73.6×51.9cm

原弘(1903-1986)

世界の児童画

昭和29年
74.0×51.9cm
#16
分類変更
Gd0619

HARA, Hiromu (1903-1986)

Exhibition of world children's art
1954
74.0×51.9cm

原弘(1903-1986)

四人の画家：佐伯祐三・前田寛治・
村上華岳・広島晃甫

昭和29年
73.9×51.5cm
#17
分類変更
Gd0620

HARA, Hiromu (1903-1986)

Exhibition of four painters : Yuzo Saeki,
Kanji Maeda, Kagaku Murakami, Koho
Hiroshima
1954
73.9×51.5cm

原弘(1903-1986)

現代の眼：日本美術史から

昭和29年
74.4×52.8cm
#18
分類変更
Gd0621

HARA, Hiromu (1903-1986)

Today's focus : on the history of Japanese
art
1954
74.4×52.8cm

原弘(1903-1986)

現代の眼：日本美術史から

昭和29年
74.5×52.5cm
#18
分類変更
Gd0622

HARA, Hiromu (1903-1986)

Today's focus : on the history of Japanese
art
1954
74.5×52.5cm

原弘(1903-1986)

19人の作家：戦後の絵画・彫刻

昭和30年
74.2×52.8cm
#19
分類変更
Gd0623

HARA, Hiromu (1903-1986)

Living nineteen Japanese artists : painting
and sculpture for the past ten years
1955
74.2×52.8cm

原弘(1903-1986)

明治初期洋画：近代リアリズムの
展開

昭和30年
74.2×52.3cm
#21
分類変更
Gd0624

HARA, Hiromu (1903-1986)

Western style painting of the early Meiji era
1955
74.2×52.3cm

原弘(1903-1986)

巨匠の20代

昭和30年
74.7×52.4cm
#23
分類変更
Gd0625

HARA, Hiromu (1903-1986)

Great masters in their twenties
1955
74.7×52.4cm

原弘(1903-1986)

日米水彩画展

昭和30年
74.6×52.2cm
#24
分類変更
Gd0626

HARA, Hiromu (1903-1986)

Joint exhibition of American and Japanese
water colours
1955
74.6×52.2cm

原弘(1903-1986)

現代日本の書・墨の芸術：ヨーロッ
パ巡回展の国内展示

昭和30年
74.3×52.0cm
#25
分類変更
Gd0627

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Japanese calligraphy : art in
Sumi
1955
74.3×52.0cm

原弘(1903-1986)

晩期の鉄斎

昭和30年
74.9×52.0cm
#26
分類変更
Gd0628

HARA, Hiromu (1903-1986)

Tessai in his last period
1955
74.9×52.0cm

原弘(1903-1986)

現代の眼：アジアの美術史から

昭和30年
73.9×52.1cm
#28
分類変更
Gd0629

HARA, Hiromu (1903-1986)

Today's focus : Eastern art seen through
eyes of the present
1955
73.9×52.1cm

原弘(1903-1986)
明治以後の風俗画
昭和31年
75.0×52.1cm
#29
分類変更
Gd0630

HARA, Hiromu (1903-1986)
Genre-printing in the Meiji,Taisho and
Showa eras
1956
75.0×52.1cm

原弘(1903-1986)
安井曾太郎遺作展
昭和31年
74.1×52.8cm
#31
分類変更
Gd0631

HARA, Hiromu (1903-1986)
Posthumous exhibition of Sotaro Yasui
1956
74.1×52.8cm

原弘(1903-1986)
安井曾太郎遺作展
昭和31年
36.4×51.2cm
#31
分類変更
Gd0632

HARA, Hiromu (1903-1986)
Posthumous exhibition of Sotaro Yasui
1956
36.4×51.2cm

原弘(1903-1986)
現代の版画：日本とエコール・ド・
パリ
昭和31年
74.6×51.8cm
#32
分類変更
Gd0633

HARA, Hiromu (1903-1986)
Contemporary prints : Japanese artists and
l'Ecole de Paris
1956
74.6×51.8cm

原弘(1903-1986)
今日の写真：日本とフランス
昭和31年
74.4×53.2cm
#33
分類変更
Gd0634

HARA, Hiromu (1903-1986)
Contemporary photography : Japan and
France
1956
74.4×53.2cm

原弘(1903-1986)
日本の風景
昭和31年
74.3×52.1cm
#34
分類変更
Gd0635

HARA, Hiromu (1903-1986)
Japanese scenery
1956
74.3×52.1cm

原弘(1903-1986)
日本の彫刻：上代(埴輪・金銅仏・
伎楽面)と現代
昭和31年
75.0×52.1cm
#35
分類変更
Gd0636

HARA, Hiromu (1903-1986)
Exhibition of Japanese sculpture : contemporary
sculpture versus Haniwa, bronze buddhist statues,
and masks of the Asuka and the Nara periods
1956
75.0×52.1cm

原弘(1903-1986)
菊池契月遺作展
昭和31年
75.6×52.4cm
#36
分類変更
Gd0637

HARA, Hiromu (1903-1986)
Posthumous exhibition of Kikuchi Keigetsu
1956
75.6×52.4cm

原弘(1903-1986)
日本の風刺絵画
昭和31年
74.4×51.6cm
#37
分類変更
Gd0638

HARA, Hiromu (1903-1986)
Japanese satirical paintings (cartoons)
1956
74.4×51.6cm

原弘(1903-1986)
近代日本の名作
昭和31年
73.8×51.7cm
#38
分類変更
Gd0639

HARA, Hiromu (1903-1986)
Masterpieces of modern Japanese painting
1956
73.8×51.7cm

原弘(1903-1986)
20世紀のデザイン：ヨーロッパと
アメリカ
昭和32年
102.7×72.8cm
#40
分類変更
Gd0640

HARA, Hiromu (1903-1986)
Exhibition of 20th century design in
Europe and America
1957
102.7×72.8cm

原弘(1903-1986)
20世紀のデザイン：ヨーロッパと
アメリカ
昭和32年
36.4×51.5cm
#40
分類変更
Gd0641

HARA, Hiromu (1903-1986)
Exhibition of 20th century design in
Europe and America
1957
36.4×51.5cm

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>墨の芸術：中国と日本の絵画</p> <p>昭和32年 74.3×51.8cm #41 分類変更 Gd0642</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Suiboku paintings of China and Japan 1957 74.3×51.8cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第1回東京国際版画ビエンナーレ展</p> <p>昭和32年 107.6×74.9cm #43 分類変更 Gd0643</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The 1st international biennial exhibition of prints in Tokyo 1957 107.6×74.9cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第1回東京国際版画ビエンナーレ展</p> <p>昭和32年 104.9×74.6cm #43 分類変更 Gd0644</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The 1st international biennial exhibition of prints in Tokyo 1957 104.9×74.6cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>最近のドイツ版画</p> <p>昭和32年 73.4×51.1cm #45 分類変更 Gd0645</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>German prints in recent years 1957 73.4×51.1cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>17人の作家：現代の絵画・彫刻シリーズ</p> <p>昭和32年 73.5×51.0cm #46 分類変更 Gd0646</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Living seventeen Japanese artists : Series of today's painting and sculpture 1957 73.5×51.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代日本における名作の展望：絵画と彫刻</p> <p>昭和33年 73.3×50.7cm #49 分類変更 Gd0647</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Masterpieces of modern Japanese art : painting and sculpture 1958 73.3×50.7cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>抽象絵画の展開</p> <p>昭和33年 72.6×51.0cm #50 分類変更 Gd0648</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Development of modern Japanese abstract painting 1958 72.6×51.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>4人の作家：小川芋銭・梶田半古・佐分真・北脇昇</p> <p>昭和33年 74.0×51.1cm #51 分類変更 Gd0649</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Exhibition of Four Artist : Usen Ogawa, Hanko Kajita, Makoto Saburi, Noboru Kitawaki 1958 74.0×51.1cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>川合玉堂遺作展</p> <p>昭和33年 73.4×51.9cm #53 分類変更 Gd0650</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Posthumous exhibition of Kawai Gyokudo 1958 73.4×51.9cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第2回安井賞候補新人展</p> <p>昭和33年 64.5×47.3cm #55 分類変更 Gd0651</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The 2nd Yasui award exhibition 1958 64.5×47.3cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>戦後の秀作</p> <p>昭和34年 73.2×50.8cm #57 分類変更 Gd0652</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Postwar outstanding works of art 1959 73.2×50.8cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代日本の静物画</p> <p>昭和34年 73.0×50.5cm #58 分類変更 Gd0653</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Still-life in Japanese painting 1959 73.0×50.5cm</p>

原弘(1903-1986)

近代木彫の流れ

昭和34年
73.9×50.8cm
#60
分類変更
Gd0654

原弘(1903-1986)

現代日本の陶芸

昭和34年
73.8×50.9cm
#61
分類変更
Gd0655

原弘(1903-1986)

横山大観遺作展

昭和34年
107.2×73.9cm
#62
分類変更
Gd0656

HARA, Hiromu (1903-1986)

Development of modern sculpture in wood
1959
73.9×50.8cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Japanese ceramic art
1959
73.8×50.9cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous exhibition of Taikan
Yokoyama
1959
107.2×73.9cm

原弘(1903-1986)

横山大観遺作展

昭和34年
37.6×51.8cm
#62
分類変更
Gd0657

原弘(1903-1986)

第3回安井賞候補新人展

昭和34年
50.8×75.0cm
#64
分類変更
Gd0658

原弘(1903-1986)

現代写真展1959年

昭和35年
73.8×50.8cm
#66
分類変更
Gd0659

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous exhibition of Taikan
Yokoyama
1959
37.6×51.8cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 3rd Yasui Award exhibition
1959
50.8×75.0cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Japanese photographs
1959
1960
73.8×50.8cm

原弘(1903-1986)

近代日本の素描：アメリカ巡回展
国内展示

昭和35年
73.1×50.2cm
#67
分類変更
Gd0660

原弘(1903-1986)

日本画の新世代

昭和35年
72.7×51.6cm
#68
分類変更
Gd0661

原弘(1903-1986)

超現実絵画の展開

昭和35年
72.6×51.5cm
#70
分類変更
Gd0662

HARA, Hiromu (1903-1986)

Japanese drawings in XXth century :
preview of the travelling exhibition in
U.S.A.
1960
73.1×50.2cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Recent development in Japanese-style
painting
1960
72.7×51.6cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Development of Surrealistic Paintings
1960
72.6×51.5cm

原弘(1903-1986)

4人の作家：菱田春草・瑛九・上
阪雅人・高村光太郎

昭和35年
72.8×51.5cm
#71
分類変更
Gd0663

原弘(1903-1986)

現代の眼：原始美術から

昭和35年
72.7×51.5cm
#72
分類変更
Gd0664

原弘(1903-1986)

日本人の手：現代の伝統工芸

昭和35年
72.6×51.5cm
#74
分類変更
Gd0665

HARA, Hiromu (1903-1986)

Exhibition of four artist : Hishida Shunso,
Ei kyu, Kosaka Gajin, Takamura Kotaro
1960
72.8×51.5cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Today's focus : primitive art seen through
eyes of the present
1960
72.7×51.5cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Japanese handicrafts :
contemporary traditional craft
1960
72.6×51.5cm

原弘(1903-1986)

小林古径遺作展

昭和35年
72.6×51.7cm
#75
分類変更
Gd0666

原弘(1903-1986)

小林古径遺作展

昭和35年
37.6×52.4cm
#75
分類変更
Gd0667

原弘(1903-1986)

第4回安井賞候補新人展

昭和35年
72.9×51.9cm
#77
分類変更
Gd0668

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous exhibition of Kokei Kobayashi
1960
72.6×51.7cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous exhibition of Kokei Kobayashi
1960
37.6×52.4cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 4th Yasui Award exhibition
1960
72.9×51.9cm

原弘(1903-1986)

現代写真展1960年

昭和36年
72.9×51.7cm
#78
分類変更
Gd0669

原弘(1903-1986)

現代スペイン絵画展

昭和36年
72.9×51.6cm
#79
分類変更
Gd0670

原弘(1903-1986)

第6回サンパウロ・ビエンナーレ
国際美術展出品作品国内展示

昭和36年
50.8×73.1cm
#80
分類変更
Gd0671

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Japanese photographs
1960
1961
72.9×51.7cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Exposcion : contrastes en la pintura
espanola de hoy
1961
72.9×51.6cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Preview exhibition of the 6th Sao Paulo
biennial exhibits from Japan
1961
50.8×73.1cm

原弘(1903-1986)

現代美術の実験

昭和36年
72.5×51.5cm
#82
分類変更
Gd0672

原弘(1903-1986)

近代日本の名作展：日本画・洋画

昭和36年
72.8×51.5cm
#83
分類変更
Gd0673

原弘(1903-1986)

近代日本の洋画

昭和36年
72.5×51.4cm
#88
分類変更
Gd0674

HARA, Hiromu (1903-1986)

Adventure in today's art of Japan
1961
72.5×51.5cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Masterpieces of modern Japanese art :
Japanese-style paintings and oil paintings
1961
72.8×51.5cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Oil painting in modern Japan
1961
72.5×51.4cm

原弘(1903-1986)

第5回安井賞候補新人展

昭和36年
73.3×51.8cm
#89
分類変更
Gd0675

原弘(1903-1986)

近代日本の造形：油絵と彫刻

昭和37年
72.4×51.2cm
#92
分類変更
Gd0676

原弘(1903-1986)

近代日本の造形：絵画と彫刻

昭和37年
73.2×51.9cm
#93
分類変更
Gd0677

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 5th Yasui Award exhibition
1961
73.3×51.8cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Oil painting and sculpture in modern Japan
1962
72.4×51.2cm

HARA, Hiromu (1903-1986)

Painting and sculpture in modern Japan
1962
73.2×51.9cm

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代の屏風絵</p> <p>昭和37年 72.6×51.5cm #94 分類変更 Gd0678</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>4人の作家：坂田一男・野田英夫・ 近藤浩一路・藤川勇造</p> <p>昭和37年 73.1×51.4cm #96 分類変更 Gd0679</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第6回安井賞候補新人展</p> <p>昭和37年 73.1×51.9cm #97 分類変更 Gd0680</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Painting on folding screen in modern Japan 1962 72.6×51.5cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Exhibition of four artist:Sakata Kazuo, Noda Hideo, Kondo Koichiro, Fujikawa Yuzo 1962 73.1×51.4cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The 6th Yasui Award exhibition 1962 73.1×51.9cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代写真展 1961-62年</p> <p>昭和38年 72.7×51.6cm #98 分類変更 Gd0681</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>須田国太郎遺作展</p> <p>昭和38年 72.6×51.5cm #100 分類変更 Gd0682</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ビュツフェ展：その芸術の全貌</p> <p>昭和38年 73.1×51.9cm #102 分類変更 Gd0683</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Contemporary photographs 1961/62 1963 72.7×51.6cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Posthumous exhibition of Kunitaro Suda 1963 72.6×51.5cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Bernard Buffet : exposition au Japon 1963 1963 73.1×51.9cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>彫刻の新时代</p> <p>昭和38年 72.7×51.4cm #103 分類変更 Gd0684</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代の眼：暮らしの中の日本の美</p> <p>昭和38年 72.7×51.4cm #104 分類変更 Gd0685</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代日本美術における1914年</p> <p>昭和38年 72.8×51.5cm #106 分類変更 Gd0686</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>New generation of Japanese sculptors 1963 72.7×51.4cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Today's focus : traditional daily implements of Japan seen through eyes of the present 1963 72.7×51.4cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>1914 : the beginning of an era in modern Japanese art 1963 72.8×51.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>北大路魯山人の芸術</p> <p>昭和38年 72.6×51.6cm #107 分類変更 Gd0687</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>北大路魯山人の芸術</p> <p>昭和38年 72.4×51.5cm #107 分類変更 Gd0688</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第7回安井賞候補新人展</p> <p>昭和38年 72.1×50.4cm #108 分類変更 Gd0689</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The art of Rosanjin Kitaoji 1963 72.6×51.6cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The art of Rosanjin Kitaoji 1963 72.4×51.5cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The 7th Yasui Award exhibition 1963 72.1×50.4cm</p>

原弘(1903-1986)

滞欧作とその後

昭和39年
73.0×51.6cm
#109
分類変更
Gd0690

HARA, Hiromu (1903-1986)

Japanese artists : a contrast, after sojourning
in Europe or America
1964
73.0×51.6cm

原弘(1903-1986)

近代作家の回顧：富田溪仙・太田聴
雨・佐藤玄々・石井柏亭・中西利雄

昭和39年
72.2×51.3cm
#110
分類変更
Gd0691

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous exhibition of five artists :
Keisen Tomita, Chou Ota, Gengen Sato,
Hakutei Ishii, Toshio Nakanishi
1964
72.2×51.3cm

原弘(1903-1986)

児島善三郎遺作展

昭和39年
73.2×51.7cm
#111
分類変更
Gd0692

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous exhibition of Zenzaburo Kojima
1964
73.2×51.7cm

原弘(1903-1986)

ピカソ展：その芸術の70年

昭和39年
37.0×51.4cm
#112
分類変更
Gd0693

HARA, Hiromu (1903-1986)

Pablo Picasso exhibition : Japan 1964
1964
37.0×51.4cm

原弘(1903-1986)

ピカソ展：その芸術の70年

昭和39年
103.0×72.8cm
#112
分類変更
Gd0694

HARA, Hiromu (1903-1986)

Pablo Picasso exhibition : Japan 1964
1964
103.0×72.8cm

原弘(1903-1986)

ピカソ展：その芸術の70年

昭和39年
99.5×72.9cm
#112
分類変更
Gd0695

HARA, Hiromu (1903-1986)

Pablo Picasso exhibition : Japan 1964
1964
99.5×72.9cm

原弘(1903-1986)

現代国際陶芸展

昭和39年
72.7×51.5cm
#114
分類変更
Gd0696

HARA, Hiromu (1903-1986)

International exhibition of contemporary
ceramic art
1964
72.7×51.5cm

原弘(1903-1986)

現代国際陶芸展

昭和39年
72.7×51.5cm
#114
分類変更
Gd0697

HARA, Hiromu (1903-1986)

International exhibition of contemporary
ceramic art
1964
72.7×51.5cm

原弘(1903-1986)

第8回安井賞候補新人展

昭和39年
72.8×51.6cm
#117
分類変更
Gd0698

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 8th Yasui Award exhibition
1964
72.8×51.6cm

原弘(1903-1986)

「近代作家の回顧：小杉放庵・木村荘八・前川
千帆・藤井浩祐」展ポスター(B2) 印刷原稿

昭和40年
紙、鉛筆、カラーチップ
79.2×56.4cm
#122
寄贈
Gd0583

HARA, Hiromu (1903-1986)

Original of the poster for Exhibition of "Four artists : Kosugi
Hoan, Kimura Sohachi, Maekawa Sempan, Fujii Koyu" (size B2)
1965
paper, pencil, color chip
79.2×56.4cm

原弘(1903-1986)

「在外日本作家展ヨーロッパとアメ
リカ」展ポスター(B2) 印刷原稿

昭和40年
紙、鉛筆、カラーチップ
79.0×54.7cm
#125
寄贈
Gd0584

HARA, Hiromu (1903-1986)

Original of the poster for Exhibition of "Japanese
artists abroad : Europe and America" (size B2)
1965
paper, pencil, color chip
79.0×54.7cm

原弘(1903-1986)

「在外日本作家展ヨーロッパとアメ
リカ」展ポスター(B3) 印刷原稿

昭和40年
紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー
11.8～39.3×25.2～51.7cm
#125
寄贈
Gd0585

HARA, Hiromu (1903-1986)

Original of the poster for Exhibition of "Japanese
artists abroad : Europe and America" (size B3)
1965
paper, pencil, color chip, tracing paper
11.8-39.3×25.2-51.7cm

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「第9回安井賞候補新人展」ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和40年 紙、鉛筆 72.2×51.5cm #127 寄贈 Gd0586</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for <i>The 9th Yasui award exhibition</i> (size B2) 1965 paper, pencil 72.2×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代日本の裸体画</p> <p>昭和40年 72.8×51.9cm #121 分類変更 Gd0699</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Paintings of nudes in modern Japan 1965 72.8×51.9cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代作家の回顧：小杉放庵・木村莊八・前川千帆・藤井浩祐</p> <p>昭和40年 72.5×51.4cm #122 分類変更 Gd0700</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Posthumous exhibition of four artists : Kosugi Hoan, Kimura Sohachi, Maekawa Sempan, Fujii Koyu 1965 72.5×51.4cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>院展芸術の歩み：戦前</p> <p>昭和40年 72.8×51.5cm #124 分類変更 Gd0701</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The retrospective exhibition of the Inten : the prewar period 1965 72.8×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>在外日本作家展：ヨーロッパとアメリカ</p> <p>昭和40年 73.4×52.2cm #125 分類変更 Gd0702</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Exhibition of Japanese artists abroad : Europe and America 1965 73.4×52.2cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第9回安井賞候補新人展</p> <p>昭和40年 72.9×52.1cm #127 分類変更 Gd0703</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>The 9th Yasui Award exhibition 1965 72.9×52.1cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代美術の新世代」展ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和41年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー、印画紙 13.2～72.8×20.5～51.5cm #128 寄贈 Gd0587</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for "New generation of contemporary art" (size B2) 1966 paper, pencil, color chip, tracing paper 13.2-72.8×20.5-51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代の眼：東洋の幻想」展ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和41年 紙、鉛筆、カラーチップ 72.7×51.5cm #130 寄贈 Gd0588</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for exhibition of "Today's focus : fantasy of the Orient seen through eyes of the present" 1966 paper, pencil, color chip 72.7×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「近代作家の回顧：岸田劉生」展ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和41年 紙、鉛筆、カラーチップ 72.8×51.5cm #131 寄贈 Gd0589</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for "Posthumous exhibition of Kishida Ryusei" (size B2) 1966 paper, pencil, color chip 72.8×51.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「ポーランドのポスター、現代写真の10人」展ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和41年 紙、鉛筆、カラーチップ 72.7×51.5cm #132 寄贈 Gd0590</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the posters of "Poland, Ten artists of contemporary Japanese photography" (size B2) 1966 paper, pencil, color chip 72.7×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代美術の新世代</p> <p>昭和41年 72.8×51.5cm #128 分類変更 Gd0704</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>New generation of contemporary art 1966 72.8×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代の眼：東洋の幻想</p> <p>昭和41年 72.8×51.4cm #130 分類変更 Gd0705</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Today's focus : fantasy of the Orient seen through eyes of the present 1966 72.8×51.4cm</p>

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代作家の回顧：岸田劉生</p> <p>昭和41年 72.8×51.1cm #131 分類変更 Gd0706</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Posthumous exhibition of Kishida Ryusei 1966 72.8×51.1cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ポーランドのポスター、現代写真の10人</p> <p>昭和41年 72.7×51.6cm #132 分類変更 Gd0707</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Posters of Poland, Ten Artists of Contemporary Japanese Photography 1966 72.7×51.6cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ミロ展:ユーモアと夢とよころびと</p> <p>昭和41年 103.1×61.5cm #133 分類変更 Gd0708</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Joan Miro exhibition 1966 103.1×61.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ミロ展:ユーモアと夢とよころびと</p> <p>昭和41年 73.1×34.1cm #133 分類変更 Gd0709</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Joan Miro exhibition 1966 73.1×34.1cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代アメリカ絵画展</p> <p>昭和41年 72.7×51.5cm #134 分類変更 Gd0710</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Two decades of American painting 1966 72.7×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代アメリカ絵画展</p> <p>昭和41年 36.4×51.7cm #134 分類変更 Gd0711</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Two decades of American painting 1966 36.4×51.7cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「グラフィックアートUSA」展ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 12.7～72.6×20.6～51.6cm #138 寄贈 Gd0591</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “Graphic arts USA” (size B2) 1967 paper, pencil, color chip, tracing paper 12.7-72.6×20.6-51.6cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代イタリア美術展」ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、カラーチップ 72.8×51.5cm #142 寄贈 Gd0592</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original for the poster for Exhibition of “contemporary Italian art” (size B2) 1967 paper, pencil, color chip 72.8×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代イタリア美術展」ポスター(B3) 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 22.3～36.4×29.4～51.5cm #142 寄贈 Gd0593</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original for the poster for Exhibition of “contemporary Italian art” (size B3) 1967 paper, pencil, color chip, tracing paper 22.3-36.4×29.4-51.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代イタリア美術展」チケット 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 20.0×70.0cm #142 寄贈 Gd0594</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original for the ticket for Exhibition of “contemporary Italian art” 1967 paper, pencil, color chip, tracing paper 20.0×70.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「ソ連絵画50年展」ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、トレーシングペーパー 78.3×55.0cm #143 寄贈 Gd0595</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “50 years of Painting U.S.S.R.” (size B2) 1967 paper, pencil, tracing paper 78.3×55.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「ソ連絵画50年展」ポスター(B3) 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 38.7×54.6cm #143 寄贈 Gd0596</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “50 years of Painting U.S.S.R.” (size B3) 1967 paper, pencil, color chip, tracing paper 38.7×54.6cm</p>

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「ソ連絵画50年展」招待券・観賞券・ハガキ 印刷原稿</p> <p>昭和42年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 7.0 × 26.3 × 10.5 ~ 23.0cm #143 寄贈 Gd0597</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Original of the tickets for "50 years of Painting U.S.S.R." 1967 paper, pencil, color chip, tracing paper 7.0-26.3×10.5-23.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第10回安井賞候補新人展</p> <p>昭和42年 72.5 × 52.0cm #136 分類変更 Gd0712</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) The 10th Yasui Award exhibition 1967 72.5×52.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>グラフィックアート USA</p> <p>昭和42年 72.8 × 51.5cm #138 分類変更 Gd0713</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Graphic arts U.S.A. 1967 72.8×51.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代日本の版画</p> <p>昭和42年 72.1 × 51.1cm #139 分類変更 Gd0714</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Modern Japanese prints 1967 72.1×51.1cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>近代日本の水彩と素描</p> <p>昭和42年 73.2 × 51.7cm #141 分類変更 Gd0715</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Modern Japanese water colors and drawings 1967 73.2×51.7cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代イタリア美術展</p> <p>昭和42年 37.6 × 51.4cm #142 分類変更 Gd0716</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Exhibition of contemporary Italian art 1967 37.6×51.4cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代イタリア美術展</p> <p>昭和42年 72.7 × 51.4cm #142 分類変更 Gd0717</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Exhibition of contemporary Italian art 1967 72.7×51.4cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ソ連絵画50年展</p> <p>昭和42年 72.9 × 51.7cm #143 分類変更 Gd0718</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) 50 years of painting U.S.S.R. 1967 72.9×51.7cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ソ連絵画50年展</p> <p>昭和42年 36.4 × 51.7cm #143 分類変更 Gd0719</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) 50 years of painting U.S.S.R. 1967 36.4×51.7cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ソ連絵画50年展</p> <p>昭和42年 72.7 × 51.7cm #143 分類変更 Gd0720</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) 50 years of painting U.S.S.R. 1967 72.7×51.7cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>第11回安井賞候補新人展</p> <p>昭和42年 72.8 × 51.7cm #144 分類変更 Gd0721</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) The 11th Yasui Award exhibition 1967 72.8×51.7cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「韓国現代絵画展」ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和43年 紙、鉛筆、カラーチップ 78.8 × 54.8cm #149 寄贈 Gd0598</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Original of the poster for "Contemporary Korean painting" (size B2) 1968 paper, pencil, color chip 78.8×54.8cm</p>

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「東西美術交流展」ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和43年 紙、鉛筆、カラーチップ 79.0×54.8cm #150 寄贈 Gd0599</p>	<p>79.0×54.8cm</p> <p>原弘(1903-1986)</p> <p>「東西美術交流展」ポスター(B3) 印刷原稿</p> <p>昭和43年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 39.6×55.7cm #150 寄贈 Gd0600</p>	<p>paper, pencil, color chip, tracing paper 39.6×55.7cm</p> <p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代陶芸の新世代</p> <p>昭和43年 72.6×51.5cm #146 分類変更 Gd0722</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “Mutual influences between Japanese and Western arts” (size B2)</p> <p>1968</p> <p>paper, pencil, color chip</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “Mutual influences between Japanese and Western arts” (size B3)</p> <p>1968</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>New generation of ceramic art in Japan</p> <p>1968</p> <p>72.6×51.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ダダ展</p> <p>昭和43年 72.8×51.7cm #148 分類変更 Gd0723</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>韓国現代絵画展</p> <p>昭和43年 72.9×51.8cm #149 分類変更 Gd0724</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>東西美術交流展</p> <p>昭和43年 72.9×51.7cm #150 分類変更 Gd0725</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Dada</p> <p>1968</p> <p>72.8×51.7cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Contemporary Korean painting</p> <p>1968</p> <p>72.9×51.8cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Mutual influences between Japanese and Western arts</p> <p>1968</p> <p>72.9×51.7cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>東西美術交流展</p> <p>昭和43年 36.4×51.8cm #150 分類変更 Gd0726</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代世界美術展：東と西の対話／近代日本の美術」展ポスター(B1) 印刷原稿</p> <p>昭和44年 紙、鉛筆 102.9×72.9cm #152 寄贈 Gd0601</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代世界美術展：東と西の対話／近代日本の美術」展ポスター(B2) 印刷原稿</p> <p>昭和44年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 80.0×59.2cm #152 寄贈 Gd0602</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Mutual influences between Japanese and Western arts</p> <p>1968</p> <p>36.4×51.8cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “Contemporary art: dialogue between the East and the West; Modern Japanese art” (size B1)</p> <p>1969</p> <p>paper, pencil 102.9×72.9cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “Contemporary art: dialogue between the East and the West; Modern Japanese art” (size B2)</p> <p>1969</p> <p>paper, pencil, color chip, tracing paper 80.0×59.2cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>「現代世界美術展：東と西の対話／近代日本の美術」展ポスター(B3) 印刷原稿</p> <p>昭和44年 紙、鉛筆、カラーチップ、トレーシングペーパー 43.2×58.5cm #152 寄贈 Gd0603</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代世界美術展：東と西の対話／近代日本の美術</p> <p>昭和44年 36.5×51.6cm #152 分類変更 Gd0727</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代世界美術展：東と西の対話／近代日本の美術</p> <p>昭和44年 103.3×72.7cm #152 分類変更 Gd0728</p>
<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Original of the poster for “Contemporary art: dialogue between the East and the West; Modern Japanese art” (size B3)</p> <p>1969</p> <p>paper, pencil, color chip, tracing paper 43.2×58.5cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Contemporary art : dialogue between the East and the West</p> <p>1969</p> <p>36.5×51.6cm</p>	<p>HARA, Hiromu (1903-1986)</p> <p>Contemporary art : dialogue between the East and the West</p> <p>1969</p> <p>103.3×72.7cm</p>

<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ヘンリー・ムーア展 生命あるかたち 現代彫刻の巨匠</p> <p>昭和44年 102.9×72.8cm #153 分類変更 Gd0729</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Henry Moore exhibition in Japan, 1969 1969 102.9×72.8cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代ドイツ建築展</p> <p>昭和44年 102.9×72.8cm #154 分類変更 Gd0730</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Modern German Architecture 1969 102.9×72.8cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>フランス現代タピスリー展</p> <p>昭和44年 72.8×51.5cm #156 分類変更 Gd0731</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) French tapestries today 1969 72.8×51.5cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ピカソ近作版画展</p> <p>昭和45年 75.5×53.5cm #157 分類変更 Gd0732</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Picasso's recent works in prints 1970 75.5×53.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ピカソ近作版画展</p> <p>昭和45年 35.9×51.0cm #157 分類変更 Gd0733</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Picasso's recent works in prints 1970 35.9×51.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ピカソ近作版画展</p> <p>昭和45年 36.3×51.4cm #157 分類変更 Gd0734</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Picasso's recent works in prints 1970 36.3×51.4cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>富本憲吉遺作展</p> <p>昭和45年 72.9×51.5cm #158 分類変更 Gd0735</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Posthumous exhibition of Kenkichi Tomimoto 1970 72.9×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ベン・シャーン展 アメリカの詩と哀愁 現代具象絵画の鬼才</p> <p>昭和45年 102.6×73.0cm #159 分類変更 Gd0736</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Ben Shahn 1970 102.6×73.0cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ベン・シャーン展 アメリカの詩と哀愁 現代具象絵画の鬼才</p> <p>昭和45年 36.5×51.6cm #159 分類変更 Gd0737</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Ben Shahn 1970 36.5×51.6cm</p>
<p>原弘(1903-1986)</p> <p>ベン・シャーン展 アメリカの詩と哀愁 現代具象絵画の鬼才</p> <p>昭和45年 73.1×51.6cm #159 分類変更 Gd0738</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Ben Shahn 1970 73.1×51.6cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>現代イギリス美術展</p> <p>昭和45年 36.5×51.5cm #162 分類変更 Gd0739</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) Contemporary British art 1970 36.5×51.5cm</p>	<p>原弘(1903-1986)</p> <p>アメリカ古典映画の回顧</p> <p>昭和45年 72.7×51.6cm 分類変更 Gd0740</p> <p>HARA, Hiromu (1903-1986) A Retrospective of Classic American Films 1970 72.7×51.6cm</p>

原弘(1903-1986) バウハウス展 昭和46年 72.9×51.5cm #165 分類変更 Gd0741 HARA, Hiromu (1903-1986) Bauhaus Exhibition 1971 72.9×51.5cm	原弘(1903-1986) ルネ・マグリット展 イメージの 魔術師―超現実絵画の巨匠 昭和46年 102.0×73.0cm #167 分類変更 Gd0742 HARA, Hiromu (1903-1986) Retrospective Rene Magritte 1971 102.0×73.0cm	原弘(1903-1986) ルネ・マグリット展 イメージの 魔術師―超現実絵画の巨匠 昭和46年 36.3×51.5cm #167 分類変更 Gd0743 HARA, Hiromu (1903-1986) Retrospective Rene Magritte 1971 36.3×51.5cm
--	--	--

原弘(1903-1986) ルネ・マグリット展 イメージの 魔術師―超現実絵画の巨匠 昭和46年 102.6×72.8cm #167 分類変更 Gd0744 HARA, Hiromu (1903-1986) Retrospective Rene Magritte 1971 102.6×72.8cm	原弘(1903-1986) 近代作家の回顧：山口薫 昭和46年 72.8×51.6cm #170 分類変更 Gd0745 HARA, Hiromu (1903-1986) Posthumous exhibition of Yamaguchi Kaoru 1971 72.8×51.6cm	原弘(1903-1986) 現代ドイツ美術展 昭和46年 72.5×51.4cm #171 分類変更 Gd0746 HARA, Hiromu (1903-1986) Contemporary German Art Exhibition 1971 72.5×51.4cm
--	--	--

原弘(1903-1986) 現代ドイツ美術展 昭和46年 36.5×51.6cm #171 分類変更 Gd0747 HARA, Hiromu (1903-1986) Contemporary German Art Exhibition 1971 36.5×51.6cm	原弘(1903-1986) 現代の陶芸：アメリカ・カナダ・ メキシコと日本 昭和46年 72.9×51.5cm #172 分類変更 Gd0748 HARA, Hiromu (1903-1986) Contemporary ceramic art : Canada, U.S.A., Mexico and Japan 1971 72.9×51.5cm	原弘(1903-1986) 現代の陶芸：アメリカ・カナダ・ メキシコと日本 昭和46年 36.4×51.4cm #172 分類変更 Gd0749 HARA, Hiromu (1903-1986) Contemporary ceramic art : Canada, U.S.A., Mexico and Japan 1971 36.4×51.4cm
--	--	--

原弘(1903-1986) 戦後日本美術の展開：具象表現の 変貌 昭和47年 72.7×51.5cm #173 分類変更 Gd0750 HARA, Hiromu (1903-1986) Development of postwar Japanese art : figurative art 1972 72.7×51.5cm	原弘(1903-1986) 現代スウェーデン美術展 昭和47年 73.0×51.6cm #175 分類変更 Gd0751 HARA, Hiromu (1903-1986) Swedish art 1972 : a contemporary theme 1972 73.0×51.6cm	原弘(1903-1986) ヨーロッパの日本作家 昭和48年 72.8×51.5cm #180 分類変更 Gd0752 HARA, Hiromu (1903-1986) Japanese artists in Europe 1973 72.8×51.5cm
--	--	--

原弘(1903-1986)

平櫛田中展

昭和48年
73.0×51.5cm
#181
分類変更
Gd0753

HARA, Hiromu (1903-1986)

The retrospective exhibition of Denchu
Hirakushi
1973
73.0×51.5cm

原弘(1903-1986)

現代ユーゴスラヴィア美術展

昭和48年
72.8×51.6cm
#182
分類変更
Gd0754

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Yugoslav art
1973
72.8×51.6cm

原弘(1903-1986)

戦後日本美術の展開：抽象表現の
多様化

昭和48年
72.8×51.5cm
#183
分類変更
Gd0755

HARA, Hiromu (1903-1986)

Development of postwar Japanese art :
abstract and non-figurative
1973
72.8×51.5cm

原弘(1903-1986)

近代日本美術史におけるパリと日
本

昭和48年
72.9×51.5cm
#185
分類変更
Gd0756

HARA, Hiromu (1903-1986)

Modern Japanese art and Paris
1973
72.9×51.5cm

原弘(1903-1986)

ジャコモ・マンズー展

昭和49年
84.1×59.7cm
#186
分類変更
Gd0757

HARA, Hiromu (1903-1986)

Exhibition of Giacomo Manzu
1974
84.1×59.7cm

原弘(1903-1986)

アメリカの日本作家

昭和49年
72.2×51.0cm
#187
分類変更
Gd0758

HARA, Hiromu (1903-1986)

Japanese artists in the Americas
1974
72.2×51.0cm

原弘(1903-1986)

近代作家の回顧：新海竹蔵・福田
豊四郎

昭和49年
72.9×51.5cm
#188
分類変更
Gd0759

HARA, Hiromu (1903-1986)

Modern Japanese artists in retrospect :
Takezo Shinkai, Toyoshiro Fukuda
1974
72.9×51.5cm

原弘(1903-1986)

アンドリュース・ワイエス展

昭和49年
72.8×51.8cm
#189
分類変更
Gd0760

HARA, Hiromu (1903-1986)

Works of Andrew Wyeth
1974
72.8×51.8cm

原弘(1903-1986)

アンドリュース・ワイエス展

昭和49年
36.4×51.6cm
#189
分類変更
Gd0761

HARA, Hiromu (1903-1986)

Works of Andrew Wyeth
1974
36.4×51.6cm

原弘(1903-1986)

徳岡神泉遺作展

昭和49年
73.1×51.7cm
#190
分類変更
Gd0762

HARA, Hiromu (1903-1986)

Posthumous Exhibition of Shinsen
Tokuoka
1974
73.1×51.7cm

原弘(1903-1986)

15人の写真家

昭和49年
72.8×51.6cm
#191
分類変更
Gd0763

HARA, Hiromu (1903-1986)

Fifteen Photographers Today
1974
72.8×51.6cm

原弘(1903-1986)

現代メキシコ美術展

昭和49年
72.8×51.6cm
#192
分類変更
Gd0764

HARA, Hiromu (1903-1986)

Contemporary Mexican Art
1974
72.8×51.6cm

原弘(1903-1986) 現代メキシコ美術展 昭和49年 36.6×51.5cm #192 分類変更 Gd0765 HARA, Hiromu (1903-1986) Contemporary Mexican Art 1974 36.6×51.5cm	原弘(1903-1986) ポール・デルボー展：イマージュ の詩人 昭和50年 103.0×72.9cm #196 分類変更 Gd0766 HARA, Hiromu (1903-1986) Paul Delvaux 1975 103.0×72.9cm	原弘(1903-1986) ポール・デルボー展:イマージュの 詩人 昭和50年 36.5×51.3cm #196 分類変更 Gd0767 HARA, Hiromu (1903-1986) Paul Delvaux 1975 36.5×51.3cm
---	--	--

原弘(1903-1986) 前田青邨展 昭和50年 73.3×51.8cm #197 分類変更 Gd0768 HARA, Hiromu (1903-1986) The Retrospective Exhibition of Seison Maeda 1975 73.3×51.8cm
--

平成24年度に修理した美術作品は次のとおり。

日本画2件、油彩 その他4点

◆日本画

J-745 平福百穂《丹鶴青瀾》(一双屏風のうち半双)

しみ・汚れの除去、絵具層の剥落止め、補紙・補彩、新規裏打ち、表装仕立て直し

J-559 望月春江《泰山木》

絵具層の亀裂接着

◆油彩、その他

O-1170 オノサト・トシノブ《重なった丸》

絵具層の亀裂接着

O-649 川上涼花《鉄路》

画面洗浄、絵具層の亀裂接着

O-51 中村不折《賺蘭亭図》

額の亀裂接着

O-591 桂ゆき《作品》

絵具層の亀裂接着

平成24年度に修理した美術作品は次のとおり。

漆工1件、染織3件

◆漆工

L0043 松田権六《蒔絵螺鈿有職文飾箱》

汚れ除去、塗面の漆固め・養生、擦傷修復等の現状保存修復(前年度継続)

◆染織

Tx0056 志村ふくみ《紬織着物 水煙》

汚れ・カビの除去、ヤケの修復、洗い張り

Tx0136 志村ふくみ《紬織着物 澤》

汚れ・カビの除去、修復、洗い張り

Tx0240 志村ふくみ《紬織着物 水瑠璃》

洗い張り、色ハケ

Ⅱ 公衆への観覧

1 展覧会 Exhibitions

1-1 入館者数

平成24年度入場者数(人)

	所蔵作品展	企画展	合 計
本館	187,143	219,743	406,886
工芸館	32,968	63,403	96,371
入場者総数	220,111	283,146	503,257

回数	展覧会名	入館者数(人)
484 (工98)	越境する日本人 —工芸家が夢みたアジア 1910s-1945	8,242人(1日平均 111人)
485	写真の現在4 そのときの光、そのさきの風	13,785人(1日平均270人)
486	吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者	12,144人(1日平均289人)
487	14の夕べ	5,550人(1日平均396人)
488	夏の家	一人(1日平均一人)
489 (工99)	現代工芸への視点 現代の座標—工芸をめぐる11の思考—	9,030人(1日平均133人)
490	東京国立近代美術館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年	101,647人(1日平均1,337人)
491 (工100)	東京オリンピック1964 デザインプロジェクト	15,744人(1日平均375人)
492	フランシス・ベーコン展	28,552人(1日平均1,298人)

回数 展覧会名

昭和27年度[1952]

- 1 日本近代美術展：近代絵画の回顧と展望
Modern Japanese Art: Retrospective and Perspective of Modern Painting
- 2 近代美術展：近代洋画の歩み(西洋と日本)
Development of Modern Western-style (Oil) Painting: Europe and Japan

昭和28年度[1953]

- 3 世界のポスター展
World Posters
- 4 近代日本絵画展：日本画の流れ(系譜と展開)
Mainstream of Japanese-style Painting: Its Schools and Development
- 5 近代彫塑展：日本と西洋
Modern Sculpture: Europe and Japan
- 6 現代写真展：日本とアメリカ
The Exhibition of Contemporary Photography: Japan and America
- 7 四人の画家：中村彝 小茂田青樹 萬鉄五郎 土田麦僊
Exhibition of Four Painters: Tsune Nakamura, Seiju Omoda, Tetsugoro Yorozu, Bakusen Tsuchida
- 8 抽象と幻想：非写実絵画をどう理解するか
Abstraction and Fantasy: How to Understand Non-figurative (Non-realistic) Painting
- 9 近代の肖像画
Exhibition of Modern Japanese Portraiture
- 10 第27回ヴェニス・ビエンナーレ国際美術展：出品作品国内展示
Preview Exhibition of the 27th Venice Biennial Exhibits from Japan
- 11 国吉康雄遺作展
The Memorial Art Exhibition of the Works of Yasuo Kuniyoshi

昭和29年度[1954]

- 12 大正期の画家
The Exhibition of the Painting of the Taisho Era
- 13 グロピウスとバウハウス
Gropius and Bauhaus
- 14 黒田清輝展
Exhibition of Seiki Kuroda
- 15 水彩と素描
Exhibition of Water Colors and Drawings
- 16 世界の児童画
Exhibition of World Children's Art
- 17 4人の画家：佐伯祐三 前田寛治 村上華岳 広島晃甫
Exhibition of Four Painters: Yuzo Saeki, Kanji Maeta, Kagaku Murakami, Koho Hiroshima
- 18 現代の眼：日本美術史から
Today's Focus: On the History of Japanese Art

- 19 19人の作家：戦後の絵画・彫刻
同時開催 第3回サンパウロ・ビエンナーレ国際美術展：出品作品国内展示
Living Nineteen Japanese Artists: Painting and Sculpture in the Past Ten Years
Preview Exhibition of the 3rd São Paulo Biennial Exhibits from Japan
- 20 松方コレクション：国立美術館建設協賛展
Exhibition in Liaison with the Establishment of The National Museum of Western Art
- 21 明治初期洋画：近代リアリズムの展開
Western-style Painting of the Early Meiji Era

昭和30年度[1955]

- 22 日米抽象美術展
Abstract Art Exhibition: Japan and U.S.A.
- 23 巨匠の二十代
Great Masters in Their Twenties
- 24 日米水彩画展
Joint Exhibition of American and Japanese Water Colours
- 25 現代日本の書・墨の芸術：ヨーロッパ巡回展覧作品 国内展示会
Contemporary Japanese Calligraphy: Art in Sumi
- 26 晩期の鉄斎
Tessai in His Last Period
- 27 四人の作家：下村観山 霽光 荻原守衛 橋本平八
Exhibition of Four Artists: Kanzan Simomura, Aimitsu, Morie Ogiwara, Heihachi Hashimoto
- 28 現代の眼：アジアの美術史から
Today's Focus: Eastern Art Seen through Eyes of the Present
- 29 明治以後の風俗画
Genre-printing in the Meiji, Taisho and Showa Eras
- 30 第28回ベニス・ビエンナーレ展：出品作国内展示
Preview Exhibition of the 28th Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和31年度[1956]

- 31 安井曾太郎遺作展
Posthumous Exhibition of Sotaro Yasui
- 32 現代の版画：日本とエコール・ド・パリ
Contemporary Prints: Japanese Artists and l'École de Paris
- 33 今日の写真：日本とフランス
Contemporary Photography: Japan and France
- 34 日本の風景
Japanese Scenery
- 35 日本の彫刻：上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代
Exhibition of Japanese Sculpture: Contemporary versus Haniwa, Bronze Buddhist Statues, and Mask of the Asuka and the Nara Period
- 36 菊池契月遺作展
Posthumous Exhibition of Keigetsu Kikuchi
- 37 日本の風刺絵画
Japanese Satirical Painting (Cartoons)

- 38 近代日本の名作
Masterpieces of Modern Japanese Painting
- 39 第4回サンパウロ・ビエンナーレ展：日本側出品
Preview Exhibition of the 4th São Paulo Biennial Exhibits from Japan
- 40 20世紀のデザイン展：ヨーロッパとアメリカ
Exhibition of 20th Century Design in Europe and America

昭和32年度[1957]

- 41 墨の芸術：中国と日本の絵画
Suiboku Paintings of China and Japan
- 42 前衛美術の15人
特別陳列 アメリカ現代美術
15 Vanguard Artists
The Special Showing of 8 Contemporary American Artists
- 43 第1回東京国際版画ビエンナーレ展
特別陳列 歌麿と北斎
1^{ère} Exposition Biennale Internationale de Gravure à Tokio
Exhibition of Utamaro and Hokusai
- 44 四人の作家：平福百穂 小林徳三郎 三岸好太郎 武井直也
Exhibition of Four Artists: Hyakusui Hirafuku, Tokusaburo Kobayashi, Kotaro Migishi, Naoya, Takei
- 45 最近のドイツ版画
Deutsche Druckgraphik der Letzten Jahre
- 46 17人の作家：現代の絵画・彫刻シリーズ
Living Seventeen Japanese Artists: Series of Today's Painting and Sculpture
- 47 第1回安井賞候補新人展
The 1st Yasui Award Exhibition
- 48 近代日本絵画の歩み
Development of Modern Japanese Painting

昭和33年度[1958]

- 49 近代日本における名作の展望：絵画と彫刻
Masterpieces of Modern Japanese Art: Painting and Sculpture
- 50 抽象絵画の展開
Development of Japanese Abstract Painting
- 51 四人の作家：小川芋銭 梶田半古 佐分真 北脇昇
Exhibition of Four Artists : Ogawa Usen, Kajita Hanko, Saburi Makoto, Kitawaki Noboru
- 52 オーストラリア、ニュージーランド巡回日本現代美術展：国内展示
Preview Exhibition of Contemporary Japanese Art Exhibition to Be Circulated in Australia and New Zealand
- 53 川合玉堂遺作展
Posthumous Exhibition of Gyokudo Kawai
- 54 白隠の芸術：水墨画と書
Hakuin's Art: Suiboku Painting and Calligraphy
- 55 第2回安井賞候補新人展
The 2nd Yasui Award Exhibition

	56	近代日本美術の常時陳列 A Survey of Modern Japanese Art: Permanent Exhibition
	57	戦後の秀作 Postwar Outstanding Works of Art
	58	近代日本の静物画 同時開催 ブラジル近代建築：新首都建設 Still-life in Modern Japanese Painting Brasilia, the New Capital: Brazilian Modern Architecture
昭和34年度[1959]	59	第5回サンパウロ・ビエンナーレ展：日本側出品 Preview Exhibition of the 5th São Paulo Biennial Exhibits from Japan
	60	近代木彫の流れ Development of Modern Sculpture in Wood
	61	現代日本の陶芸 Contemporary Japanese Ceramic Art
	62	横山大観遺作展 Posthumous Exhibition of Taikan Yokoyama
	63	棟方志功展：ヨーロッパ巡回 国内展示 Preview Exhibition of Shiko Munakata Exhibition to Be Circulated in Europe
	64	第3回安井賞候補新人展 The 3rd Yasui Award Exhibition
	65	近代日本美術の常時陳列 A Survey of Modern Japanese Art: Permanent Exhibition
	66	現代写真展1959年 特別陳列 抽象光画：ハインツ・ハイエク＝ハルケ作品 Contemporary Japanese Photographies 1959 Deutsche Lichtgrafik Werke von Heinz Hajek-Halke
	67	近代日本の素描：アメリカ巡回 特別陳列 マリノ・マリーニのリトグラフ Japanese Drawings in XXth Century: Preview of the Travelling Exhibition in U.S.A. Lithographs by Marino Marini
	68	日本画の新世代 Recent Development in Japanese Style Painting
昭和35年度[1960]	69	第30回ベニス・ビエンナーレ国際美術展：国内展示 Preview Exhibition of the 30th Venice Biennial Exhibits from Japan
	70	超現実絵画の展開 同時開催 ブラジルのポエマ・コンクレート Development of Japanese Surrealistic Painting Brazilian Poema Concrete
	71	四人の作家：菱田春草 瑛九 上阪雅人 高村光太郎 Exhibition of Four Artists: Shunso Hishida, Ei-kyu, Gajin Kosaka, Kotaro Takamura
	72	現代の眼：原始美術から Today's Focus: Primitive Art Seen through Eyes of the Present

- 73 近代日本美術の常時陳列
A Survey of Modern Japanese Art: Permanent Exhibition
- 74 日本人の手：現代の伝統工芸
同時開催 芸術としての写真：メトロポリタン美術館選定
Contemporary Japanese Handicrafts: Contemporary Traditional Craft
Photography in the Fine Arts
- 75 小林古徑遺作展
Posthumous Exhibition of Kokei Kobayashi
- 76 第2回東京国際版画ビエンナーレ展
The 2nd International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 77 第4回安井賞候補新人展
The 4th Yasui Award Exhibition
- 78 現代写真展1960年
同時開催 アニメーションの芸術
Contemporary Japanese Photographies 1960
Animation Art
- 79 現代スペイン絵画展
Exposicion: Contrastes en la Pintura Española de Hoy
- 80 第6回サンパウロ・ビエンナーレ展：日本側出品
同時開催 現代日本の版画
Preview Exhibition of the 6th São Paulo Biennial Exhibits from Japan
Contemporary Japanese Prints

昭和36年度[1961]

- 81 文部省新収品を中心とする常時陳列
Permanent Exhibit: Mainly New Acquisitions of The Ministry of Education
- 82 現代美術の実験
Adventure in Today's Art of Japan
- 83 近代日本の名作展：日本画・洋画
Masterpieces of Modern Japanese Art
- 84 近代日本油絵の流れ
Development of Oil Painting in Modern Japan
- 85 近代日本の名作展
Masterpieces of Modern Japanese Art
- 86 近代日本彫刻の流れ
Development of Sculpture in Modern Japan
- 87 近代日本画の流れ
Development of Japanese-style Painting in Modern Japan
- 88 近代日本の洋画：国立近代美術館所蔵
Development of Oil Painting in Modern Japan
- 89 第5回安井賞候補新人展
The 5th Yasui Award Exhibition
- 90 現代日本の版画
Contemporary Japanese Prints
- 91 現代絵画の展望
Prominent Works of Contemporary Japanese Painting

昭和**37**年度[1962]

- 92 近代日本の造形：油絵と彫刻
Oil Painting and Sculpture in Modern Japan
- 93 近代日本の造形：絵画と彫刻
Painting and Sculpture in Modern Japan
- 94 近代の屏風絵
Painting on Folding Screen in Modern Japan
- 95 第3回東京国際版画ビエンナーレ展
特別陳列 写楽
The 3rd International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
Sharaku
- 96 四人の作家：近藤浩一路 坂田一男 野田英夫 藤川勇造
同時開催 フランス映画史展
Posthumous Exhibition of Four Artists: Kondo Koichiro, Sakata Kazuo, Noda
Hideo, Fujikawa Yuzo
History of French Films
- 97 第6回安井賞候補新人展
The 6th Yasui Award Exhibition
- 98 現代写真展1961-62年
Contemporary Japanese Photographies 1961-1962
- 99 近代日本の絵画と彫刻
Painting and Sculpture in Modern Japan
- 100 須田国太郎遺作展
Posthumous Exhibition of Kunitaro Suda
- 101 現代の油絵と版画
Contemporary Oil Painting and Prints

昭和**38**年度[1963]

- 102 ビュッフェ展：その芸術の全貌
同時開催 現代の日本画
Bernard Buffet: Exposition au Japon 1963
Contemporary Japanese-style Paintings
- 103 彫刻の新世代
New Generation of Japanese Sculptors
- 104 現代の眼：暮らしの中の日本の美
同時開催 近代の日本画
Today's Focus: Traditional Daily Implements of Japan Seen through Eyes of the
Present
Modern Japanese-style Paintings
- 105 近代日本の絵画と彫刻
Painting and Sculpture in Modern Japan
- 106 近代日本美術における1914年
同時開催 近代日本の素描
1914: The Beginning of an Era in Modern Japanese Art
Modern Japanese Drawings
- 107 北大路魯山人の芸術
同時開催 日本の抽象絵画
The Art of Rosanjin Kitaoji: Ceramics, Lacquer, Calligraphy, Painting, etc.
Japanese Abstract Painting

- 108 第7回安井賞候補新人展
同時開催 マヤ芸術の拓本展
The 7th Yasui Award Exhibition
Takuhon: Rubbed Prints of Mayan Art
- 109 滞欧作とその後
同時開催 織田一磨の版画
Japanese Artists: A Contrast Seen before and after Sojourning in Europe or America
Kazuma Oda's Prints
- 110 近代作家の回顧：富田溪仙 太田聴雨 佐藤玄々 石井柏亭 中西利雄
同時開催 第32回ベニス・ビエンナーレ国際美術展：国内展示
Posthumous Exhibition of Five Artists: Keisen Tomita, Chou Ota, Gengen Sato, Hakutei Ishii, Toshio Nakanishi
Preview Exhibition of the 32nd Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和**39**年度[1964]

- 111 児島善三郎遺作展
Posthumous Exhibition of Zenzaburo Kojima
- 112 ピカソ展
Pablo Picasso Exhibition: Japan, 1964
- 113 京都の日本画：円山応挙から現代まで
Japanese Painting in Kyoto: From Okyo Maruyama to Present Generation
- 114 現代国際陶芸展
同時開催 本館所蔵の日本画
International Exhibition of Contemporary Ceramic Art
Japanese-style Paintings from The Museum Collection
- 115 近代日本の名作：オリンピック東京大会芸術展示
Masterpieces of Modern Japanese Art: Art Exhibition during Tokyo Olympics
- 116 第4回東京国際版画ビエンナーレ展
特別陳列 広重
The 4th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
Hiroshige
- 117 第8回安井賞候補新人展
同時開催 新収集の日本画：東京国立博物館よりの管理換を中心として
The 8th Yasui Award Exhibition
New Pieces of Japanese-style Paintings in The Museum Collection
- 118 戦中世代の画家
Painters of the "Senchu" Generation
- 119 戦後の絵画：所蔵作品を中心として
同時開催 第8回サンパウロ・ビエンナーレ国際美術展：出品作品国内展示
同時開催 古賀春江の水彩
Postwar Japanese Paintings: Mainly from the Collection of The Museum
Preview Show for the 8th Biennial Exhibition of São Paulo
Water Colors of Harue Koga

昭和**40**年度[1965]

- 120 近代における文人画とその影響：日本と中国
Modern 'Bunjin-ga' of China and Japan and Its Influence

- 121 近代日本の裸体画
同時開催 新収集の油絵と彫刻
Paintings of Nudes in Modern Japan
New Pieces of The Museum Collection: Oil Painting and Sculpture
- 122 近代作家の回顧：小杉放庵 木村莊八 前川千帆 藤井浩祐
同時開催 ユーゴスラビア現代版画展
Posthumous Exhibition of Four Artists: Kosugi Hoan, Kimura Shohachi, Maekawa Senpan, Fujii Koyu
Exhibition of Contemporary Prints in Yugoslavia
- 123 近代日本の油絵：所蔵作品による
Modern Japanese Oil Paintings: From The Museum Collection
- 124 院展芸術の歩み：戦前
The Retrospective Exhibition of the Inten: The Prewar Period
- 125 在外日本作家展：ヨーロッパとアメリカ
Exhibition of Japanese Artists Abroad: Europe and America
- 126 第1回日本芸術祭：国内展示
The 1st Preliminary Show of Japan Art Festival
- 127 第9回安井賞候補新人展
同時開催 2人のアメリカの写真作家
The 9th Yasui Award Exhibition
Two American Photographers
- 128 現代美術の新世代
New Generation of Contemporary Art
- 129 近代の日本画：国立近代美術館所蔵作品による
同時開催 第33回ベニス・ビエンナーレ展：出品作品国内展示
Modern Japanese-style Paintings: From The Museum Collection
Preview Exhibition of the 33rd Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和41年度[1966]

- 130 現代の眼：東洋の幻想
Today's Focus: Fantasy of the Orient Seen through Eyes of the Present
- 131 近代作家の回顧：岸田劉生
Posthumous Exhibition of Kishida Ryusei
- 132 ポーランドのポスター
同時開催 現代写真の10人
Posters of Poland
Ten Artists of Contemporary Japanese Photography
- 133 ミロ展
Joan Miró Exhibition: Japan, 1966
- 134 現代アメリカ絵画展
Two Decades of American Painting
- 135 第5回東京国際版画ビエンナーレ展
The 5th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 136 第10回安井賞候補新人展
特別陳列 安井賞の作家たち 受賞作品とその後
The 10th Yasui Award Exhibition
Yasui Award Artists: Their Awards and Later Works

- 137 所蔵作品による近代日本の美術：大正から昭和前期の絵画
同時開催 第9回サンパウロ・ビエンナーレ展：出品作品国内展示
Modern Japanese Paintings: From The Museum Collection—Paintings from
Taisho to Early Showa Eras
Preview Exhibition of the 9th São Paulo Biennial Exhibits from Japan

昭和42年度[1967]

- 138 グラフィック アート USA
Graphic Arts USA
- 139 近代日本の版画
Modern Japanese Prints
- 140 第2回日本芸術祭：国内展示
The 2nd Preliminary Show of Japan Art Festival
- 141 近代日本の水彩と素描
Modern Japanese Water Colors and Drawings
- 142 現代イタリア美術展
Exhibition of Contemporary Italian Art
- 143 ソ連絵画50年展
50 Years of Painting U.S.S.R.
- 144 第11回安井賞候補新人展
特別陳列 安井曾太郎の遺作
The 11th Yasui Award Exhibition
Special Show Sotaro Yasui
- 145 近代日本の油絵：大正・昭和(戦前)を中心として 昭和(戦後)を中
心として
同時開催 第34回ベニス・ビエンナーレ展：出品作品国内展示
Modern Japanese Oil Paintings: Mainly from Taisho and Showa (Prewar) Eras /
Mainly from the Postwar Showa Era
Preview Exhibition of the 34th Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和43年度[1968]

- 146 現代陶芸の新世代
New Generation of Ceramic Art in Japan
- 147 第3回日本芸術祭：国内展示
The 3rd Preliminary Show of Japan Art Festival
- 148 ダダ展：世界のダダ運動の記録
同時陳列 日本におけるダダイスムからシュルレアリスムへ
Dada
Dadaism to Surrealism in Japan
- 149 韓国現代絵画展
Contemporary Korean Painting
- 150 東西美術交流展
Mutual Influences between Japanese and Western Arts
- 151 第6回東京国際版画ビエンナーレ展
The 6th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo

昭和44年度[1969]

- 152 現代世界美術展：東と西の対話
Contemporary Art: Dialogue between the East and the West

- 153 ヘンリー・ムーア展
Henry Moore Exhibition in Japan, 1969
- 154 現代ドイツ建築展
Bauen in Deutschland
- 155 第4回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)：国内展示
The 4th Preliminary Show of Japan Art Festival
- 156 フランス現代タピスリー展
Tapisserie Française d'Aujourd'hui
- 157 ピカソ近作版画展
Picasso's Recent Works in Prints

昭和45年度[1970]

- 158 富本憲吉遺作展
Posthumous Exhibition of Kenkichi Tomimoto
- 159 ベン・シャーン展
Ben Shahn
- 160 第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)：国内展示
The 5th Preliminary Show of Japan Art Festival
- 161 1970年8月：現代美術の一断面
August 1970: Aspects of New Japanese Art
- 162 現代イギリス美術展
Contemporary British Art
- 163 現代インド絵画展
Contemporary Indian Painting
- 164 第7回東京国際版画ビエンナーレ展
The 7th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 165 バウハウス50年展
Bauhaus 50 Years

昭和46年度[1971]

- 166 近代日本美術における1930年
Around 1930 in Modern Japanese Art
- 167 ルネ・マグリット展
Rétrospective René Magritte
- 168 第6回ジャパン・アート・フェスティバル：国内展示
The 6th Preliminary Show of Japan Art Festival
- 169 新収蔵作品の展示：日本画 版画 工芸 書
New Pieces of The Museum Collection: Japanese-style Painting, Prints, Crafts, Calligraphy
- 170 近代作家の回顧 山口薫
Posthumous Exhibition of Yamaguchi Kaoru
- 171 現代ドイツ美術展
Zeitgenössische Deutsche Kunst
- 172 現代の陶芸：アメリカ・カナダ・メキシコと日本
Contemporary Ceramic Art: Canada, U.S.A., Mexico and Japan

- 173 戦後日本美術の展開：具象表現の変貌
Development of Postwar Japanese Art: Figurative Art
- 174 新収蔵作品の展示：洋画・彫刻
New Pieces of The Museum Collection: Western-style Painting, Sculpture

昭和47年度[1972]

- 175 現代スウェーデン美術展
Swedish Art 1972: A Contemporary Theme
- 176 近代イタリア美術の巨匠たち：ジャンニ・マッティオーリ・コレクションより
Masters of Modern Italian Art: From the Collection of Gianni Mattioli
- 177 昭和46年度新収蔵作品の展示
同時陳列 本館所蔵の素描
New Pieces of The Museum Collection 1971
Drawings from The Museum Collection
- 178 現代の眼：近代日本の美術から 開館20年記念
Today's Focus: On Modern Japanese Art
- 179 第8回東京国際版画ビエンナーレ展
The 8th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 180 ヨーロッパの日本作家
Japanese Artists in Europe
- 181 平櫛田中展
The Retrospective Exhibition of Denchu Hirakushi

昭和48年度[1973]

- 182 現代ユーゴスラヴィア美術展
Contemporary Yugoslav Art
- 183 戦後日本美術の展開：抽象表現の多様化
Development of Postwar Japanese Art: Abstract and Non-figurative
- 184 新収蔵作品の展示
同時陳列 東京国立博物館より移管の日本画
New Acquisitions
Japanese Paintings Transferred from The Tokyo National Museum
- 185 近代日本美術史におけるパリと日本
Modern Japanese Art and Paris
- 186 ジャコモ・マンズー展
Exhibition of Giacomo Manzu
- 187 アメリカの日本作家
Japanese Artist in the Americas
- 188 近代作家の回顧：新海竹蔵 福田豊四郎
Modern Japanese Artists in Retrospect: Takezo Shinkai / Toyoshiro Fukuda

昭和49年度[1974]

- 189 アンドリュー・ワイエス展
Works of Andrew Wyeth
- 190 徳岡神泉遺作展
Posthumous Exhibition of Shinsen Tokuoka

- 191 15人の写真家
Fifteen Photographers Today
- 192 現代メキシコ美術展
Contemporary Mexican Art
- 193 第9回東京国際版画ビエンナーレ展
The 9th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 194 近代日本の美術
Modern Japanese Art
- 195 福田平八郎遺作展
Posthumous Exhibition of Heihachiro Fukuda

昭和50年度[1975]

- 196 ポール・デルボー展
Paul Delvaux
- 197 前田青邨展
The Retrospective Exhibition of Seison Maeda
- 198 香月泰男遺作展
Posthumous Exhibition of Yasuo Kazuki
- 199 昭和48・49年度新収蔵作品の展示
同時陳列 ソ連寄贈：福田平八郎作品展
New Pieces of The Museum Collection 1973-1974
Exhibition of the Works by Heihachiro Fukuda: Donation from the Union of Soviet Socialist Republics
- 200 シュルレアリスム展
Surrealism
- 201 フランス工芸の美：15世紀から18世紀のタピスリー
Merveilles de la Tapisserie Française
- 202 ドイツ・リアリズム 1919-1933：ドイツ民主共和国所蔵 絵画・彫刻・版画
Realistische Tendenzen—Deutscher Kunst 1919-1933: Eine Ausstellung aus Museen der DDR

昭和51年度[1976]

- 203 ルフィーノ・タマヨ展
Exhibition Rufino Tamayo
- 204 安田靫彦展
The Retrospective Exhibition of Yukihiro Yasuda
- 205 恩地孝四郎と「月映」
Koshiro Onchi and 'Tsukuhae'
- 206 シャガール展
Exposition Marc Chagall: Japon 1976
- 207 キュービズム展
Cubism
- 208 第10回東京国際版画ビエンナーレ展
The 10th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo

- 209 今日の造形「織」：ヨーロッパと日本
Fiber Works: Europe and Japan
- 210 昭和50年度新収蔵作品の展示：購入 受贈作品
New Pieces of The Museum Collection: Purchases and Gifts 1975

昭和52年度[1977]

- 211 浜田庄司展
The Retrospective Exhibition of Shoji Hamada
- 212 素朴な画家たち
Exposition Peintres Naïfs
- 213 新収蔵作品の展示：昭和51年度収蔵作品 昭和50年度文化庁管理換作品
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisitions 1976, Works Transferred from The Agency for Cultural Affairs 1975
- 214 フォンタネージ、ラゲーザと明治前期の美術
Fontanesi, Ragusa e l'Arte Giapponese nel Primo Periodo Meiji
- 215 **工1** 現代日本工芸の秀作：東京国立近代美術館工芸館 開館記念展
Masterpieces of Contemporary Japanese Crafts: Commemorative Exhibition for Opening of The Crafts Gallery
- 216 今日の造形「織」：アメリカと日本
Fiber Works: Americas and Japan
- 217 フリードリッヒとその周辺
Friedrich und Sein Kreis

昭和53年度[1978]

- 218 マリノ・マリーニ展
Exhibition Marino Marini
- 219 斎藤義重展
Saito Yoshishige Exhibition 1978
- 220 **工2** 松田権六展
Gonroku Matsuda Exhibition
- 221 没後50年記念 佐伯祐三展
Yuzo Saeki Exhibition: 50th Year Posthumous Exhibition
- 222 スカンディナヴィアの工芸：世界現代工芸展
World Contemporary Crafts Exhibition: Scandinavian Crafts
- 223 ヨーロッパのポスター：その源流から現代まで
L'Affiche: En Occident de Ses Origines à Nos Jours
- 224 **工3** 近代日本の色絵磁器
Enamelled Porcelain of Modern Japan
- 225 新収蔵美術作品の展示：昭和52年度収蔵美術作品 絵画 素描 版画 彫刻
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisition 1977 Paintings, Drawings, Prints and Sculpture

昭和54年度[1979]

- 226 没後50年記念 岸田劉生展
Ryusei Kishida: 50th Year Posthumous Exhibition

- 227 第11回東京国際版画ビエンナーレ展
The 11th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 228 **Ⅰ4** 昭和52, 53年度収蔵工芸作品の展示：
陶磁 漆工 竹工 金工 ガラス 染織 その他
The Permanent Exhibition "Modern Japanese Crafts"
- 229 **Ⅰ5** 近代日本の漆芸
Lacquer Art of Modern Japan
- 230 ドローネー展：ロベールとソニア
Robert / Sonia Delaunay
- 231 ブリジット・ライリー展：1959年から1978年までの作品
Bridget Riley: Works 1959-78

昭和**55**年度[1980]

- 232 新収蔵美術作品の展示：昭和53, 54年度収蔵美術作品
絵画 水彩 素描 版画 彫刻 陶磁 染織 漆工
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisition 1978 & 1979—
Paintings, Water-colors, Drawings, Prints, Sculpture, Ceramics, Dyeing, and
Lacquer Ware
- 233 山口長男 堀内正和展
Exhibition Yamaguchi Takeo & Horiuti Masakazu
- 234 **Ⅰ6** 日本の型染：伝統と現代
Katazome / Japanese Stencil and Print Dyeing: Tradition and Today
- 235 ポンピドゥ・センター：20世紀の美術
Le Musée National d'Art Moderne Centre Georges Pompidou: L'Art du 20^e Siècle
- 236 **Ⅰ7** 現代ガラスの美：ヨーロッパと日本
Contemporary Glass: Europe & Japan

昭和**56**年度[1981]

- 237 マチス展
Matisse Exhibition
- 238 **Ⅰ8** 石黒宗麿展：陶芸の心とわざ
The Creative Spirit of His Ceramic Art: Ishiguro Munemaro Exhibition
- 239 **Ⅰ9** 八木一夫展
The Ceramic Artist Kazuo Yagi
- 240 20世紀カナダ絵画展
Twentieth Century Canadian Painting
- 241 東山魁夷展
Higashiyama Kaii 1981
- 242 ムンク展
Munch Exhibition
- 243 **Ⅰ10** 現代ガラスの美：オーストラリア、カナダ、アメリカと日本
Contemporary Glass: Australia, Canada, U.S.A. & Japan
- 244 1960年代：現代美術の転換期
The 1960's: A Decade of Change in Contemporary Japanese Art
- 245 **Ⅰ11** 現代の食器：注ぐ
Contemporary Vessels: How to Pour

昭和**57**年度[1982]

- 246 坂本繁二郎展
Hanjirō Sakamoto Exhibition
- 247 近代日本の美術：1945年以後 所蔵作品による全館陳列
開館30周年記念展 1
The 30th Anniversary Exhibition from The Museum Collection: Modern Japanese Art, Part 1 [1945-]
- 248 **工12** 近代日本の工芸：所蔵作品による開館30周年記念展
陶磁 ガラス 漆工 木竹工 金工 染織
Modern Japanese Crafts: The 30th Anniversary Exhibition from The Museum Collection: Ceramics, Glass Ware, Lacquer Ware, Wood and Bamboo Work, Metal Work, and Textiles
- 249 アメリカに学んだ日本の画家たち：国吉・清水・石垣・野田とアメリカン・シーン絵画
Japanese Artists Who Studied in U.S.A. and the American Scene
- 250 近代日本の美術：1945年以前 所蔵作品による全館陳列
開館30周年記念展 2
The 30th Anniversary Exhibition from The Museum Collection: Modern Japanese Art, Part 2 [1900-1945]
- 251 **工13** 近代日本のガラス工芸：明治初期から現代まで
Modern Japanese Glass: Early Meiji to Present
- 252 ベルギー象徴派展
Symbolisme en Belgique
- 253 **工14** イギリスのニードルワーク
British Needlework
- 254 **工15** 黒田辰秋展：木工芸の匠
Kuroda Tatsuaki: Master Wood Craftsman

昭和**58**年度[1983]

- 255 ピカソ展：その芸術の軌跡
Picasso: Masterpieces from Marina Picasso Collection and from Museums in U.S.A. and U.S.S.R.
- 256 フランシス・ベーコン
Francis Bacon: Paintings 1945-1982
- 257 **工16** 伝統工芸30年の歩み
30 Years of Modern Japanese Traditional Crafts
- 258 現代美術における写真：1970年代の美術を中心として
Photography in Contemporary Art
- 259 **工17** モダニズムの工芸家たち：金工を中心にして
Modernism and Craftsmen: The 1920's to the 1930's
- 260 20世紀アメリカのポスター：ニューヨーク近代美術館所蔵品による
The Modern American Poster: From the Graphic Design Collection of The Museum of Modern Art, New York
- 261 村上華岳展
Kagaku Murakami Exhibition

昭和**59**年度[1984]

- 262 近代絵画の展開：ティッセン・コレクション名作展
Modern Masters from the Thyssen-Bornemisza Collection

- 263 三次元性：ドイツ彫刻の現在
Dreidimensional: Aktuelle Kunst aus der Bundesrepublik Deutschland
- 264 **工18** 河井寛次郎展：近代陶芸の巨星
Kawai Kanjiro: Master of Modern Japanese Ceramics
- 265 構成主義と幾何学的抽象
Constructivism and the Geometric Tradition
- 266 **工19** 今日のジュエリー：世界の動向
Contemporary Jewellery: The Americas, Australia, Europe and Japan
- 267 メタファーとシンボル：現代美術への視点
Metaphor and/or Symbol: A perspective on Contemporary Art
- 268 新収蔵品展：昭和58・59年度
New Acquisition 1983 and 1984
- 269 **工20** 竹の工芸：近代における展開
Modern Bamboo Craft
- 270 棟方志功展
Shiko Munakata
- 271 **工21** 現代染織の美：森口華弘 宗廣力三 志村ふくみ
Kimono as Art: Modern Textile Works by Kako Moriguchi, Rikizo Munehiro, and Fukumi Shimura
- 272 モディリアーニ展
Modigliani
- 273 洋風表現の導入 江戸中期から明治初期まで：写実の系譜 1
Development of Western Realism in Japan [: Realistic Representation I]
- 274 現代デザインの展望：ポストモダンの地平から
Contemporary Landscape from the Horizon of Postmodern Design
- 275 19世紀ドイツ絵画名作展：プロイセン文化財団ベルリン国立美術館所蔵
Meisterwerke Deutscher Malerei des 19. Jahrhunderts aus der Nationalgalerie Berlin-Staatliche Museen Stiftung Preußischer Kulturbesitz
- 276 **工22** 人形工芸：昭和期を中心にして
Modern Japanese Dolls
- 277 松本竣介展
Shunsuke Matsumoto Exhibition 1986
- 278 近代日本の美術：所蔵作品による全館陳列
Modern Japanese Art from The Museum Collection
- 279 近代の見なおし：ポストモダンの建築1960-1986
Revision der Moderne: Postmoderne Architektur 1960-1986
- 280 大正期の細密描写：写実の系譜 2
An Eye for Minute Details: Realistic Painting in the Taisho Period [: Realistic Representation II]
- 281 京都の日本画1910-1930：大正のころ・革新と創造
Nihonga, the Kyoto School 1910-1930

昭和**60**年度[1985]

昭和**61**年度[1986]

- 282 **Ⅰ23** 1960年代の工芸：昂揚する新しい造形
Forms in Aggression: Formative Uprising of the 1960s
- 283 昭和60・61年度：新収蔵作品展
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisitions 1985 & 1986
- 284 ゴーギャン展
Paul Gauguin: In Search of Paradise

昭和**62**年度[1987]

- 285 カンディンスキー展
Kandinsky
- 286 **Ⅰ24** 木工芸：明治から現代まで
Modern Woodcraft
- 287 杉山寧展
Yasushi Sugiyama Exhibition
- 288 **Ⅰ25** 加守田章二展：現代陶芸の美
Kamoda Shoji: A Prominent Figure in Contemporary Ceramics
- 289 若林奮展：今日の作家
Isamu Wakabayashi
- 290 難波田龍起展：今日の作家
Tatsuoki Nambata
- 291 ヨーロッパのレース：ブリュッセル王立美術歴史博物館所蔵
Dentelles Européennes
- 292 梅原龍三郎遺作展
Ryuzaburo Umehara Retrospective

昭和**63**年度[1988]

- 293 ルネ・マグリット展
René Magritte
- 294 近代美術にみる人間像：所蔵作品による全館陳列
The Image of Man in Modern Japanese Art from The Museum Collection
- 295 **Ⅰ26** 図案の変貌：1868-1945
Design in Transition
- 296 明治中期の洋画：写実の系譜 3
Painting in Japan 1884-1907: Realistic Representation III
- 297 **Ⅰ27** 現代イギリスの工芸
Contemporary British Crafts
- 298 オディロン・ルドン展
Odilon Redon

平成**元**年度[1989]

- 299 高山辰雄展
Tatsuo Takayama
- 300 昭和の美術：所蔵作品による全館陳列
Art of the Showa Period: From The Museum Collection
- 301 **Ⅰ28** 生命のかたち：熊倉順吉の陶芸
Organs That Provoke: Ceramic Works of Junkichi Kumakura

	302	色彩とモノクローム：現代美術への視点 2 Color and/or Monochrome: A Perspective on Contemporary Art 2
	303	Ⅰ29 能弁なオブジェ：現代アメリカ工芸の展開 The Eloquent Object: The Evolution of American Art in Craft Media since 1945
平成2年度[1990]	304	Ⅰ30 ヴァン・ド・ヴェルド展 Van de Velde
	305	文展の名作[1907-1918] Masterpieces from the Bunten Exhibition 1907-1918
	306	手塚治虫展 Osamu Tezuka Exhibition
	307	写真の過去と現在 The Past and the Present of Photography
	308	Ⅰ31 グラフィックデザインの今日 Graphic Design Today
	309	移行するイメージ：1980年代の映像表現 Images in Transition: Photographic Representation in the Eighties
平成3年度[1991]	310	Ⅰ32 富本憲吉展 Tomimoto Kenkichi
	311	荒川修作の実験展：見る者がつくられる場 Constructing the Perceiver—Arakawa: Experimental Works
	312	Ⅰ33 アフリカの染織：大英博物館所蔵品による African Textiles
	313	古賀春江：創作のプロセス 東京国立近代美術館所蔵作品を中心に Harue Koga: The Creative Process—A Show Built around The Museum Collection
	314	イサム・ノグチ展 Isamu Noguchi Retrospective 1992
平成4年度[1992]	315	ルネ・ラリック展 René Lalique
	316	形象のはざまに：現代美術への視点 3 Among the Figures: A Perspective on Contemporary Art 3
	317	アボリジニの美術：伝承と創造 オーストラリア大地の夢 Crossroads—Toward A New Reality: Aboriginal Art from Australia
	318	セバスチャン・サルガド：人間の大地 Sebastião Salgado: In Human Effort
	319	Ⅰ34 塗りの系譜 Nuances in Laquer: 70 Years of Innovations
	320	フォーヴィスムと日本近代洋画 Fauvism and Modern Japanese Painting

平成5年度[1993]

- 321 小川芋銭展
Ogawa Usen Retrospective
- 322 柳原義達展
Yoshitatsu Yanaguihara: A Retrospective
- 323 工35 山陰の陶窯 出西窯：現代の陶芸
Shussai-Kiln, Folk Craft in San'in Area: Contemporary Japanese Ceramic
- 324 国画創作協会回顧展
Kokuga-Sosaku-Kyokai Retrospective
- 325 黒田アキ：廻廊＝メタモルフォーゼ
Aki Kuroda: Corridor = Metamorphosis
- 326 工36 現代の型染：くりかえすパターン
Contemporary Stencil Dyeing and Printing: The Repetition of Patterns
- 327 山本丘人展
Yamamoto Kyujin Retrospective

平成6年度[1994]

- 328 木村忠太展
Chuta Kimura
- 329 工37 イスラエルの工芸：アリックス・ド・ロスチャイルド財団のコレクションを中心にして
Israeli Contemporary Crafts: Featuring the Collection of the Alix de Rothschild Foundation
- 330 「絵画」の成熟 1930年代の日本画と洋画：写実の系譜 4
Master Paintings in Japan in the 1930s: Realistic Representation IV
- 331 工38 素材の領分
The Domain of the Medium: New Approaches to the Medium in Art, Craft, Design
- 332 日本の美：伝統と近代
The Traditional Beauty in Japanese Art
- 333 工39 現代の彫漆
Choshitsu (Carved Lacquer) Today
- 334 若林奮展：素描という出来事
Isamu Wakabayashi: Works on Paper
- 335 抽象表現主義 紙の上の冒険：メトロポリタン美術館所蔵
同時開催 アメリカ抽象表現主義の名作展：国内所蔵
Abstract Expressionism: Works on Paper—Selections from The Metropolitan Museum of Art
Abstract Expressionism: Masterpieces from Japanese Collections
- 336 工40 板谷波山展：珠玉の陶芸
Itaya Hazan Retrospective

平成7年度[1995]

- 337 東京国立近代美術館と写真 1953-1995
Photography and The National Museum of Modern Art, Tokyo 1953-1995
- 338 工41 コンテンポラリー・ジュエリー：日本の作家30人による
Contemporary Jewellery: Exploration by Thirty Japanese Artists

- 339 **Ⅰ42** アール・デコのポスター
Art Deco Posters
- 340 辰野登恵子：1986-1995
Toeko Tatsuno 1986-1995
- 341 **Ⅰ43** 生活のなかの工芸：1950-1960年代のモダン・クラフト
Crafts in Everyday Life in the 1950s and 1960s
- 342 絵画、唯一なるもの：現代美術への視点 4
Painting—Singular Object: A Perspective on Contemporary Art 4
- 343 ドナウの夢と追憶：ハンガリーの建築と応用美術
Panorama: Architecture and Applied Arts in Hungary 1896-1916
- 344 **Ⅰ44** 現代世界のポスター：東京国立近代美術館所蔵品より
Contemporary Posters from Museum's Collection
- 345 石元泰博展：現在の記憶
Yasuhiro Ishimoto: Remembrance of Things Present
- 346 身体と表現1920-1980：ポンピドゥーセンター所蔵作品から
La Dimension du Corps 1920-1980

平成8年度[1996]

- 347 岸田劉生 作品と資料
同時開催 新収蔵作品展：日本画 油彩その他 水彩 素描 版画
彫刻 写真
Kishida Ryusei: Works and Archives from The Museum Collection
New Acquisitions: Japanese-style Paintings, Oil and Other Paintings, Watercolors, Drawings, Prints, Sculptures, Photographs
- 348 交差するまなざし：ヨーロッパと近代日本の美術
東京国立近代美術館、国立西洋美術館所蔵作品による
The Crossing Visions: European and Modern Japanese Art: From The Collection of The National Museum of Western Art & The National Museum of Modern Art, Tokyo
- 349 **Ⅰ45** 亀倉雄策のポスター：時代から時代へ 1953年-1996年の軌跡
Yusaku Kamekura Poster Exhibition
- 350 **Ⅰ46** 磁器の表現：1990年代の展開
New Expression in Porcelain: Development in the 1990s
- 351 90年代の韓国美術から：等身大の物語
An Aspect of Korean Art in the 1990s
- 352 東松照明写真展：インターフェイス
Shomei Tomatsu: Interface
- 353 プロジェクト・フォー・サバイバル：1970年以降の現代美術再訪
プロジェクトイブ[意志的・投企的]な実践の再発見に向けて
Project for Survival
- 354 北脇昇展
Noboru Kitawaki: A Retrospective
- 355 **Ⅰ47** 藤井達吉展：近代工芸の先駆者
Tatsukichi Fujii: A Pioneer in Modern Crafts
- 356 モダニズムの光跡：恩地孝四郎 椎原治 瑛九
Traces of Light in Modernism: Koshiro Onchi, Osamu Shiihara and Ei-kyu

平成9年度[1997]

- 357 萬鐵五郎展：絵画の大地を揺り動かした画家
Yorozu Tetsugoro Retrospective
- 358 モダンデザインの父 ウィリアム・モリス
William Morris
- 359 Ⅰ48 福田繁雄のポスター：視覚の遊気
Posters of Fukuda Shigeo: An Artist of Visual Wit
- 360 アルフレッド・スティーグリッツと野島康三
Alfred Stieglitz and Yasuzo Nojima
- 361 土田麦僊展
Bakusen Tsuchida: A Retrospective
- 362 Ⅰ49 増村益城展：漆の美・塗の造形
Masumura Mashiki: Intrinsic and Formal Beauty of Lacquer
- 363 村岡三郎展：熱の彫刻 物質と生命の根源を求めて
Saburo Muraoka: Salt, Heat, Oxygen
- 364 Ⅰ50 トーネ・ヴィーゲラン：ノルウェーの現代アートジュエリー
Tone Vigeland: Norwegian Art Jewelry
- 365 鉄斎とその師友たち：文人画の近代
Destination of Literary School Painting in Modern Ages: Tessai, His Teachers and Friends
- 366 距離の不在：写真の現在
The Absence of Distance: Photography Today
- 367 加山又造展
Matazo Kayama Exhibition

平成10年度[1998]

- 368 Ⅰ51 竹内碧外展：木工芸・わざと風雅
Elegance of Woodwork: Art of Takeuchi Hekigai
- 369 所蔵作品による20世紀の“線描”：「生成」と「差異」
Making It Visible: Graphic Elements in 20th Century Art
- 370 Ⅰ52 永井一正ポスター展[Life]
Posters of Kazumasa Nagai [Life]
- 371 土谷武展
Takeshi Tsuchitani: A Retrospective
- 372 Ⅰ53 「かたち」の領分：機能美とその転生
The Domain of the Form: Functional Beauty and Its Transmigration
- 373 京都の工芸1910-1940：伝統と変革のはざまに
Crafts Reforming in Kyoto 1910-1940: A Struggle between Tradition and Renovation
- 374 大辻清司写真実験室
Kiyoji Ohtsuji Retrospective: Experimental Workshop of Photography
- 375 Ⅰ54 鈴木治の陶芸：詩情のオブジェ
Ceramic Art of Suzuki Osamu: Poetry in Ceramic Works
- 376 鍋木清方展
Kaburaki Kiyokata: A Retrospective

平成11年度[1999]

- 377 **Ⅰ55** 本野東一の染色：自由への旗印
Motono Toichi: A Retrospective
- 378 横山操展
Misao Yokoyama: A Retrospective
- 379 **Ⅰ56** 田中一光ポスター展：伝統への接点
Beyond Tradition: An Exhibition of Ikko Tanaka's Posters
- 380 **Ⅰ57** 加藤土師萌展：近代陶芸の精華
Kato Hajime: The Quintessence of Modern Japanese Ceramic Art
- 381 石内都：モノクローム—時の器
Miyako Ishiuchi: Time Textured in Monochrome
- 382 顔：絵画を突き動かすもの
Visage: Painting and Human Face in 20th-century Art

平成12年度[2000]

- 383 **Ⅰ58** 杉浦非水展：都市生活のデザイナー
Hisui Sugiura: A Retrospective
- 384 **Ⅰ59** うつわをみる：暮らしに息づく工芸
"Utsuwa": Thoughts on Contemporary Vessels
- 385 トーマス・シュトゥルット：マイ・ポートレート
Thomas Struth: My Portrait
- 386 **Ⅰ60** ドイツ陶芸の100年：アール・ヌーヴォーから現代作家まで
Deutsche Keramik 1900-2000: Geschichte und Positionen des Jahrhunderts
- 387 美術館を読み解く：表慶館と現代の美術
Reading the Art Museum: Hyokeikan and Art of Today

平成13年度[2001]

- 388 **Ⅰ61** 1930年代日本の印刷デザイン：大衆社会における伝達
Japanese Posters and Handbills in the 1930s: Communication in Mass Society
- 389 **Ⅰ62** 現代の布：染と織の造形思考
Contemporary Textiles: Weaving and Dyeing: Ways of Formative Thinking
- 390 **Ⅰ63** 京都の工芸1945-2000
Crafts in Kyoto 1945-2000
- 391 未完の世紀：20世紀美術がのこすもの
The Unfinished Century: Legacies of 20th Century Art
- 392 カンディンスキー展
Kandinsky

平成14年度[2002]

- 393 サイトー場所と光景：写真の現在 2
[sáit] Site / Sight: Photography Today 2
- 394 **Ⅰ64** 森正洋：陶磁器デザインの革新
Masahiro Mori: A Reformer of Ceramic Design
- 395 小倉遊亀展
Yuki Ogura: A Retrospective
- 396 **Ⅰ65** 昭和の桃山復興：陶芸近代化の転換点
Modern Revival of Momoyama Ceramics: Turning Point toward Modernization of Ceramics

- 397 連続と侵犯：現代美術への視点 5
Continuity / Transgression: A Perspective on Contemporary Art 5
- 398 ヴォルフガング・ライプ展
Wolfgang Laib
- 399 **工66** [クッションから都市計画まで]ヘルマン・ムテジウスとドイツ工作連盟：ドイツ近代デザインの諸相
Hermann Muthesius und der Deutsche Werkbund: Modern Design in Deutschland, 1900-1927—Vom Sofakissen zum Städtebau
- 400 青木繁と近代日本のロマンティズム
Shigeru Aoki and Romanticism in Modern Japanese Art
- 401 **工67** 今日の人形芸術：想念の造形
Contemporary Dolls: Formative Art of Human Sentiment

平成15年度[2003]

- 402 牛腸茂雄展
Shigeo Gocho: A Retrospective
- 403 **工68** オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて
Light Black: Three Contemporary Australian Craftpersons
- 404 地平線の夢：昭和10年代の幻想絵画
Dreams of the Horizon: Fantastic Paintings in Japan 1935-1945
- 405 **工69** 三代宮田藍堂展
Miyata Rando III: A Retrospective
- 406 野見山暁治展
Gyoji Nomiyama: A Retrospective
- 407 **工70** 現代の木工家具：スローライフの空間とデザイン
Contemporary Furniture and Woodworks in Japan
- 408 旅：「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン
Traveling: Towards the Border
- 409 **工71** あかり：イサム・ノグチが作った光の彫刻
Akari: Light Sculpture by Isamu Noguchi
- 410 ヨハネス・イッテン：造形芸術への道
Johannes Itten: Wege zur Kunst
- 411 国吉康雄展：アメリカと日本、ふたつの世界のあいだで
Yasuo Kuniyoshi

平成16年度[2004]

- 412 ブラジル：ボディ・ノスタルジア
Brazil: Body Nostalgia
- 413 琳派：Rimpa
Rimpa
- 414 **工72** 非情のオブジェ：現代工芸の11人
Cool & Light: New Spirit in Craft Making
- 415 木村伊兵衛展
Ihei Kimura: The Man with the Camera

- 416 草間彌生
Yayoi Kusama
- 417 **工73** 人間国宝の日常のうつわ：もう一つの富本憲吉
Daily Vessels by Kenkichi Tomimoto: The Master of Ceramic Art
- 418 痕跡：戦後美術における身体と思考
Traces: Body and Idea in Contemporary Art
- 419 **工74** 河野鷹思のグラフィックデザイン：都会とユーモア
Graphic Designs of Takashi Kono: Humor & City
- 420 ゴッホ展：孤高の画家の原風景 ファン・ゴッホ美術館
クレラー＝ミュラー 美術館所蔵
Van Gogh in Context: Collection from the Van Gogh Museum, Amsterdam and
the Kröller-Müller Museum, Otterlo

平成17年度[2005]

- 421 **工75** 伊砂利彦：型染の美
Isa Toshihiko: Beauty of Stencil Dyeing
- 422 小林古径展
Kokei Kobayashi, 1883-1957
- 423 アジアのキュビズム：境界なき対話
Cubism in Asia: Unbounded Dialogues
- 424 **工76** 日本のアール・ヌーヴォー 1900-1923：工芸とデザインの新時代
Art Nouveau in Japan, 1900-1923: The New Age of Crafts and Design
- 425 ドイツ写真の現在：かわりゆく「現実」と向かいあうために
Zwischen Wirklichkeit und Bild: Positionen Deutscher Fotografie der Gegenwart
- 426 アウグスト・ザンダー展
August Sander: Face of Our Time
- 427 須田国太郎展
Suda Kunitaro
- 428 **工77** 渡辺力：リビング・デザインの革新
Riki Watanabe: Innovating in Modern Living
- 429 生誕120年 藤田嗣治展：パリを魅了した異邦人
Léonard Foujita

平成18年度[2006]

- 430 生誕100年記念 吉原治良展
Jiro Yoshihara: A Centenary Retrospective
- 431 **工78** 人間国宝三輪壽雪の世界：萩焼の造形美
Jusetsu Miwa: A Retrospective
- 432 モダン・パラダイス：大原美術館＋東京国立近代美術館
東西名画の饗宴
Modern Paradise: Japanese and Western Masterpieces from Ohara Museum of Art
and The National Museum of Modern Art, Tokyo
- 433 **工79** ジュエリーの今：変貌のオブジェ
Transfiguration: Japanese Art Jewelry Today
- 434 臨界をめぐる6つの試論：写真の現在 3
Resolution / Dissolution: Photography Today 3

- 435 揺らぐ近代：日本画と洋画のはざまに
Modern Art in Wanderings: In between the Japanese- and Western-style Paintings
- 436 **Ⅰ80** 人間国宝 松田権六の世界
Matsuda Gonroku: Master of Lacquer Art and Living National Treasure
- 437 都路華香展
Tsuji Kakō Exhibition
- 438 **Ⅰ81** 柳宗理：生活のなかのデザイン
Sori Yanagi: Design in Everyday Life
- 439 **Ⅰ82** 岡部嶺男展：青磁を極める
Mineo Okabe: A Retrospective
- 440 生誕100年 爰光展
Ai-mitsu

平成19年度[2007]

- 441 アンリ・カルティエ＝ブレッソン：知られざる全貌
De Qui S'agit-il?: Rétrospective de Henri Cartier-Bresson
- 442 アンリ・ミショー：ひとのかたち
Henri Michaux: Emerging Figures
- 443 平山郁夫：祈りの旅路
Ikko Hirayama: A Retrospective—Pilgrimage for Peace
- 444 **Ⅰ83** 30年のあゆみ：開館30周年記念展 I
30 Years of The Crafts Gallery
- 445 日本彫刻の近代
Modern Age in Japanese Sculpture: From Its Beginnings through the 1960s
- 446 **Ⅰ84** 工芸の力 21世紀の展望：開館30周年記念展 II
The Power of Crafts: Outlook for the 21st Century
- 447 わたしいまめまいしたわ：現代美術にみる自己と他者
Self / Other
- 448 生誕100年 東山魁夷展
Kaii Higashiyama: A Retrospective—Commemorating the 100th Anniversary of Artist's Birth

平成20年度[2008]

- 449 建築がうまれるとき：ペーター・メルクリと青木淳
Architectural Creation: Peter Märkli and Jun Aoki
- 450 **Ⅰ85** カルロ・ザウリ展：イタリア現代陶芸の巨匠
Carlo Zauli: A Retrospective
- 451 エモーショナル・ドローイング：現代美術への視点 6
Emotional Drawing: A Perspective on Contemporary Art 6
- 452 **Ⅰ86** かたちのエッセンス：平松保城のジュエリー
Yasuki Hiramatsu—Jewelry: The Essence of Form
- 453 **Ⅰ87** 小松誠：デザイン＋ユーモア
Makoto Komatsu Exhibition: Design + Humour
- 454 沖縄・プリズム 1872-2008
Okinawa Prismed 1872-2008

- 455 高梨豊：光のフィールドノート
Yutaka Takanashi: Field Notes of Light
- 456 ヴィデオを待ちながら：映像，60年代から今日へ
Waiting for Video: Works from the 1960s to Today

平成21年度[2009]

- 457 ゴーギャン展
Paul Gauguin
- 458 **Ⅰ88** 染野夫妻陶芸コレクション：リーチ 濱田 豊藏 壽雪
Bernard Leach, Hamada Shoji, Arakawa Toyozo and Miwa Jusestu from Mr. and Mrs. Someno's Ceramics Collection
- 459 権鎮圭展
Kwon Jinkyu
- 460 河口龍夫展：言葉・時間・生命
Kawaguchi Tatsuo: Language, Time, Life
- 461 **Ⅰ89** 装飾の力：現代工芸への視点
The Power of Decoration: A Viewpoint on Contemporary *Kôgei* (Studio Crafts)
- 462 ウィリアム・ケントリッジ 歩きながら歴史を考える：そしてドローイングは動き始めた...
William Kentridge — What We See & What We Know: Thinking about History while Walking, and Thus the Drawings Began to Move...
- 463 **Ⅰ90** 早川良雄：“顔”と“形状”
Hayakawa Yoshio: “The Face” and “The Form”
- 464 生誕120年 小野竹喬展
Ono Chikkyo: 120 Years after His Birth

平成22年度[2010]

- 465 建築はどこにあるの？ 7つのインスタレーション
Where Is Architecture? Seven Installations by Japanese Architects
- 466 上村松園展
Uemura Shoen
- 467 **Ⅰ91** 茶事をめぐって：現代工芸への視点 2
About the Tea Ceremony: A Viewpoint on Contemporary *Kôgei* (Studio Crafts) 2
- 468 鈴木清写真展：百の階梯、千の来歴
Suzuki Kiyoshi: Hundred Steps and Thousand Stories
- 469 麻生三郎展
Aso Saburo
- 470 「日本画」の前衛 1938-1949
The Avant-Garde of “Nihonga”
- 471 **Ⅰ92** 柴木正敏のセラミック・デザイン：リズム&ウェーブ
Ceramic Design of Sakaegi Masatoshi: Rhythm and Waves
- 472 **Ⅰ93** ガラス★高橋禎彦展
Takahashi Yoshihiko Goes to the Glass
- 473 生誕100年 岡本太郎展
Okamoto Taro: The 100th Anniversary of His Birth

- 474 ■I94 増田三男：精爽の彫金——そして、富本憲吉
Masuda Mitsuo's Bracing Metal Chasing: and Tomimoto Kenkichi
- 475 パウル・クレーーおわらないアトリエ
PAUL KLEE: Art in the Making 1883-1940
- 476 レオ・ルビンファイン 傷ついた街
Leo Rubinfiel: Wounded Cities
- 477 イケムラレイコ うつりゆくもの
Leiko Ikemura: Transfiguration
- 478 ■I95 イタリア・ファエンツァが育んだ色の魔術師—グエッリーノ・トラモンティ展
Guerrino Tramonti, the Magician of Color, Raised in Faenza, Italy, Exhibition
- 479 ヴアレリオ・オルジャティ展
Valerio Olgiati
- 480 めぐ絵画—日本のヌード 1880-1945
Undressing Paintings: Japanese Nudes 1880-1945
- 481 ■I96 原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの
Hara Hiromu and The National Museum of Modern Art, Tokyo: What One Discovers Through Design Work
- 482 ■I97 「織」を極める 人間国宝 北村武資
Kitamura Takeshi: Master of Contemporary weaving
- 483 生誕100年 ジャクソン・ポロック展
JACKSON POLLOCK: A Centennial Retrospective

会 期
平成24年4月24日～平成24年7月16日 (74日間)
会 場
東京国立近代美術館 工芸館
主 催
東京国立近代美術館
出品点数
127点
入場者数
8,242人(1日平均111人)
新聞・雑誌等における掲載記事
両毛新聞 4月18日 「越境する日本人 県外美術館、博物館だより」(無記名)
毎日新聞 5月8日夕刊 「日本工芸史から 見る『アジア』」(岸桂子)
東洋経済日報 5月18日 「アジアの美を 知る2つの展示会」(無記名)
多摩川新聞 5月27日 「越境する日本人 工芸家が夢みたアジア」(無記名)
朝日新聞 5月30日夕刊 『「工芸家が夢 みたアジア」追う 『越境する日本人展」 (増田愛子)
陶説 711号 『「越境する日本人——工 芸家が夢みたアジア1910s-1945」展に寄 せて」(木田拓也)
新美術新聞 6月11日 「理想と郷愁交錯 するあこがれの地 越境する日本人展」 (木田拓也)
THE SHAKAI SHIMPO 6月20日 「工芸 作家のアジアへの憧れに潜む陥穽」(アラ イヒロユキ)
読売新聞 6月21日 「西洋一辺倒ではな い近代化」(高野清見)
新美術新聞 7月21日 「工芸家たちの想 像した東アジア——不予定不調和もよ し」(黒田雷兄)

484 (工98) 越境する日本人—工芸家が夢見たアジア 1910s-1945

大正から昭和戦前期にかけて、日本の版図拡大に伴い、多くの工芸家が、工芸の新たな可能性を求め、あるいは、工芸の源流を求め、海を越えて大陸へと旅立っていった。かつて日本人の工芸家にとって、アジアは、理想と郷愁の交錯するあこがれの地でした。朝鮮、満洲、中国などにおける20世紀前半の日本人工芸家の活動を振り返り、それを「日本近代工芸史」の一部分として捉え直すとともに、彼らの作品を通じて、日本とアジアとの関係を考えるというのが本展のねらいであり、「アジア主義」との関係から日本の近代工芸を捉え直そうとした。

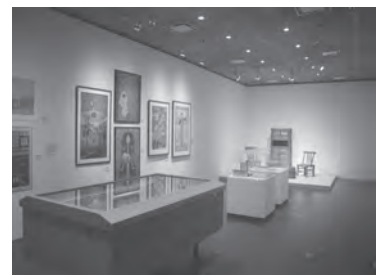
展覧会は、①「アジア」へのまなざし、②1910-20年代の「新古典派」、③唐三彩、磁州窯、李朝:新しい美の規範、④越境する陶芸家:朝鮮、満洲にて、⑤「もうひとつのモダニズム」の五つの章に分けて構成した。

出品作品は127点だが、工芸作品以外にも図書や雑誌や図録等の資料を約30点展示したほか、写真パネルや解説パネルを多数作成し、工芸作品と図書や写真などの資料が有機的に補完し合うような展示を行った。

Japanese Crossing Borders: Asia as Dreamed by Craftspeople, 1910s-1945

In the Taisho period (1912-1926) and the prewar Showa period (1926-1945) when Japan expanded its territory, many Japanese craftspeople crossed the sea to the Chinese Continent in search of new possibilities of, or the origins of, crafts. Asia was once the longed-for land for Japanese craftspeople where their ideals were mingled with nostalgia. This exhibition aimed to reconsider the activities of Japanese craftspeople in the Korean Peninsula and the Chinese Continent in the first half of the twentieth century as part of the modern history of Japanese crafts, and to think about the relationships between Asia and Japan through their works, in an attempt to redefine modern Japanese crafts in relation to Pan-Asianism.

The show was divided into the following five chapters: *Imagining 'Asia'; The Neoclassical School in the 1910s and 1920s; Tang, Sancai, Cizhou Ware, Joseon Dynasty Ceramics—A New Aesthetic; Potters Crossing Borders—Korea and Manchuria; and Another Modernism*. In addition to the 127 exhibits, the exhibition included 30 materials such as books, magazines and catalogues, and many panels showing photographs and commentaries, to let the crafts pieces and the materials organically complement each other.



会 期
平成24年6月1日～平成24年7月29日 (51日間)
会 場
東京国立近代美術館 2階ギャラリー 4
主 催
東京国立近代美術館
出品点数
167点
入場者数
13,785人(1日平均270人)
新聞・雑誌等における掲載記事
毎日新聞 6月19日 「見せ方へのこだわり」(手塚さや香)
高知新聞 7月2日 「写真とは、という問い」(竹内万里子)
読売新聞 7月20日 「社会のひずみ表す「濃淡」」(井上晋治)
日本カメラ 7月号 「若手作家をフィーチャーする企画写真展」(無記名)
アサヒカメラ 8月号 「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」(島貫泰介)
日本カメラ 8月号 「写すことはつねに誤訳であり、意志の制御はいつも裏切られる」(金村修)
artscape (アートスケープ) 6月2日 「レポート&レビュー」(飯沢耕太郎)
art inn 6月4日 「展覧会レポート」(鈴木正人)

485 写真の現在4 そのときの光、そのさきの風

写真家自身が運営する自主ギャラリーや、自主制作の写真集など、発表の手段や場を自らの手で用意する写真家たちの動向が近年注目されている。本展はそうした活動を展開する写真家たちをとりあげ、その近作・新作により展覧会を構成した。出品作家は有元伸也、本山周平、中村綾緒、新井卓、村越としやの5名。彼らはいずれも近年、自主的に発表の場を設け、持続的かつ活発に作品を発表し、評価を高めてきた。また本展は東日本大震災の翌年の開催でもあり、出品者の作品にはそれぞれに震災後の現実へのとりくみという側面が現れていた。その意味においても、写真表現の現在地点を探る展覧会と位置づけた。

Photography Today 4: in their persistent endeavors to meet the world

Activities of photographers who prepare for themselves media and places to introduce their works, such as independent galleries and independently produced books, are recently drawing attention. Focusing on Arimoto Shinya, Motoyama Shuhei, Nakamura Ayao, Arai Takashi and Murakoshi Toshiya, this exhibition presented their recent and new pieces. In recent years these photographers have become highly valued through their continuous and active efforts, independently creating opportunities to publish their works. Because this show was held in the year following the Great East Japan Earthquake, each of the exhibits had an aspect showing the photographer's efforts to face the realities after the disaster. In that sense also, this exhibition was thought to be one that explored the present situation of photographic expression.



会 期
平成24年6月12日～平成24年7月29日 (42日間)
会 場
東京国立近代美術館本館 1階企画展ギャラリー
主 催
東京国立近代美術館
助成
公益財団法人アサヒビル芸術文化財団、 公益財団法人花王芸術・科学財団、 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
出品点数
208点
入場者数
12,144人(1日平均289人)
新聞・雑誌等における掲載記事
日本経済新聞 6月27日 「躍動感あふれる墨の線『吉川霊華展』」(窪田直子) 毎日新聞 7月10日 「吉川霊華展 流行に背向けた流麗な線描」(岸桂子) 神奈川新聞 7月13日 「線描美の画家を再発見 吉川霊華展」(下野綾) 朝日新聞 7月18日夕刊 「妙なる線描に光あてる 国立近代美術館 吉川霊華展」(増田愛子) 朝日新聞 8月29日 「天上の月 清らかに地でも輝く」(高階秀爾) 月刊水墨画 7月号 「吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者」(鶴見香織) 美術の窓 7月号 「知られざる日本美術究極の線を求めて」(鶴見香織) 芸術新潮 7月号 「線描の超人 吉川霊華、復活」(無署名) 週刊新潮 7月5日 「単眼鏡で見るに限る『吉川霊華』の描線」(無署名) 美術の窓 8月号 「吉川霊華『離騷』」(島尾新) 現代の眼 594号 「吉川霊華と吉田包春」(松尾良樹)「吉川霊華にまつわることごとく一市田儀一郎氏に聞く」(鶴見香織)

486 吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者

吉川霊華(1875-1929)は東京湯島に七代にわたって文芸をもって幕府に仕えた家に生まれ、東京で活躍した画家である。はじめ浮世絵や狩野派の手習いを受け、後に幕末の復古やまと絵派の冷泉為恭(れいぜいためちか)に私淑して以降は、独学により筆線を主体とする画風を洗練させた。1916年に結成した金鈴社の展覧会と2回の官展出品を除いては、展覧会から距離を置き、古典芸術と伝統の研究に没頭した。

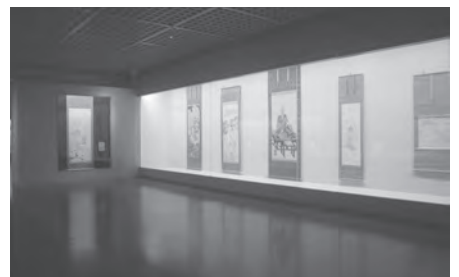
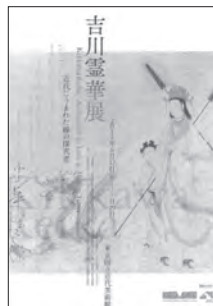
霊華の追及した線描美の芸術や、画中に書をいれるスタイルは、モダニズムを軸とする近代美術にあっては特異であるために、現在にいたるまで再評価の機会を逸してきたといえる。本展は、こうした霊華の画業を再評価することで、近代美術の多面性を再認識する機会とすることを目指した。

なお、本展は作品の発掘、調査から積み上げたもので、展覧会図録には、作品情報や、新しく編集した年譜、初となる参考文献リスト等、今後の研究の基礎となる情報を盛り込んだ。

Kikkawa Reika: An Explorer for Lines in Modern Times

Born in Yushima, Tokyo to a family that had served the Tokugawa shogunate with their skills in literature for seven generations, Kikkawa Reika (1875-1929) became a Japanese-style painter based in Tokyo. The painter first studied the ukiyo-e and Kano-school techniques. After becoming an admirer of Reizei Tamechika, a leader in the *yamato-e* restoration movement in the closing days of the Tokugawa shogunate, Reika refined his line-based style through self-education. Except for the exhibition by the artist group Kinreisha that he cofounded in 1916 and the two entries in governmental shows, he maintained a certain distance from exhibitions, immersing himself in researches into classical art and traditions.

Reika pursued beauty of line drawing, and introduced calligraphy into the painting. Because his style was exceptional in modern art, his art has missed opportunities to be reevaluated thus far. Focusing on Reika's work, this exhibition aimed to provide an opportunity to rediscover the multifacetedness of modern art. This show was based on an extensive research including locating his works. The catalogue included information that furnishes a basis for future researches, such as information on the works, a newly edited chronology and the first bibliography.



会 期
平成24年8月26日～平成24年9月8日 (14日間)
会 場
東京国立近代美術館本館 1階企画展ギャラリー
主 催
東京国立近代美術館
入場者数
5,550人(1日平均 396人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 9月15日 『『時代の証言者』現代音楽 一柳慧 21 熱い音楽を続けた』(松本良一) 美術手帖 9月号 「アザートピックス」欄 ケトル 9号 「review 40人のここが気になる」(桜井圭介) ストレンジ・デイズ 12月号 「小杉武久『回路 Circuits』」(小沼純一) Art Critique No.3 「理解／不理解の境界線——村川拓也『ツァイト・ゲーバー』」(藤原史登)

487 14の夕べ

「パフォーマンス」をテーマにプログラムを組む連続14日間のイベントであり、60周年記念事業の一環として行った。所蔵品ギャラリーのリニューアル工事に際しての夏期休館中、企画展ギャラリーを主な会場として開催した。夕方から特別開館し、美術、ダンス、音楽、演劇、朗読など多彩なジャンルの演目を14日間日替わりで繰り広げた(出演者は106～107ページ参照)。とりわけこの種のイベントが活発に行われた1960～70年代より活躍するキャリアの長い作家の表現と、現在最も注目すべき気鋭の若手作家たちの表現を同時に取りあげること、歴史的な視点と現在の視点を併せ持つ、「近代美術館」にふさわしい企画となることをねらいとした。

14 evenings

As part of the 60th anniversary, the event presented programs under the theme of “performance” for fourteen days. It was held primarily at the special exhibition gallery during the museum’s closure for renovation of the collection galleries. During the fourteen days, the museum opened in the evening and offered a different performance program every day including art, dances, music, dramas and readings. Introducing both artists with long careers since the 1960s and 1970s when similar events were often held, and some of the most noteworthy, young and energetic artists, this event tried to combine historical and contemporary perspectives suitable for a “modern art museum.”



撮影：前澤秀登

会 期
平成24年8月26日～平成25年5月26日 (225日間)
会 場
東京国立近代美術館本館 前庭
主 催
東京国立近代美術館
出品点数
1点
新聞・雑誌等における掲載記事
産経新聞 9月5日 「インドの風運ぶ心温まるバラック」(無署名)
朝日新聞 9月12日夕刊 「実物で味わう建築展示 震災後の住まい、職人と探るインドの『スタジオ・ムンバイ』」(大西若人)
読売新聞 9月7日夕刊 「建築デザイン現場で職人と」(高野清見)
毎日新聞 8月20日 「建築家ら招いて『夏の家』イベント」(無署名)
日経新聞 8月9日 「Art Topics インド建築家の“バラック”出現」(無署名)
新建築 9月号 「巻頭インタビュー スタジオ・ムンバイのつくりかた」、『夏の家』(新建築編集部)
装苑 10月号 「Interview スタジオ・ムンバイ(ビジョイ・ジェイン)」(中島良平)
ソトコト 9月号 「ビジョイ・ジェイン」(Reiko Hisashima)
J-wave 9月1日 「スリー・シックスティ」(ナビゲーター:アンドレア・ボンビリオ)
ecocolo 64号 「art for the earth no.23 STUDIO MUMBAI『夏の家』」(上條桂子)
Pen 322号 「クリエイターは語る01 スタジオ・ムンバイ『建築とはこうあるべき』と無意識に決め込まないことだ。」(Pen編集部)
Casa BRUTUS 9月号 「今見逃せない、美術館の最新ニュース」(青野尚子)
Casa BRUTUS 11月号 「Miracle Closet No.100」
ミセス 10月号 「夏の家」(長谷川香苗)
ELLE Japon 10月号 「MOMATの庭に不思議な小屋が出現？」(川上典李子)
o-cube 9月号 「スタジオ・ムンバイはなぜ注目されるのか。その答えを見つけに行こう」(長井美咲)
商店建築 11月号 「Focus 開放的な三つの小屋が生む憩いの場 夏の家」(商店建築編集部)
Art it 2月8日 「ビジョイ・ジェイン インタビュー」(日埜直彦)、2月8日「スタジオ・ムンバイについて」(日埜直彦)、5月15日「Lecture@Museum 青空教室 第1回 動く 」(Art it編集部)
Design boom 「MOMAT Pavilion designed and built by Studio Mumbai」(design boom)
現代の眼 595号 「スタジオ・ムンバイと越境する可能性」(ケン・タダシ・オオシマ(訳:辻 泰岳))

488 夏の家

建築プロジェクト「夏の家」は、2012年開館60周年記念事業の一環として企画されたもので、本館建物と街路のあいだにある前庭の芝生にあずまやを設置し、誰でも利用できる憩いの場として開放することにより、美術館をより多くの人々にとって親しみやすい場にすることが目指された。設計・施工を依頼したのは、設計者と多数の大工で構成されたインドの建築集団スタジオ・ムンバイである。彼らは、インドに伝わる建設技術や、土地の材料を使い、設計から施工までを手掛ける特徴的なものづくりが近年国際的な注目を集め、世界各地で高い評価を受けている。本プロジェクトにおいては、大工が実際に手を動かしながら建物をつくりあげていく、スタジオ・ムンバイならではのプロセスに注目し、インドで制作したパーツを日本に輸送、スタジオ・ムンバイの大工3名を招へいして、1週間かけて彼らが施工を行なう過程を、ブログや施工風景の一般公開を通じて周知した。出来上がった「夏の家」は、インド産のチークをふんだんに使った小さな3つのあずまやと、竹製のオブジェ「バード・ツリー」、ベンチ代わりの石によって構成され、公園のような雰囲気になった。それぞれのあずまやは、いずれも風通しが良く、まるで縁側のような日本人にも馴染み深い空間であり、会期を通して多くの人々が利用した。また、広く一般の方々にも近現代の建築に親しみをもってもらえるよう、関連イベントとして、「夏の家」を会場に、多世代に渡る建築家/建築史家を招き、連続レクチャーを行った。

MOMAT Pavilion designed and built by Studio Mumbai

Planned as part of the 60th anniversary, the MOMAT Pavilion aimed to make the museum accessible to more people by building a pavilion in the foreyard of the museum as a place of relaxation open to all people. We asked Studio Mumbai, an Indian architect firm made up of designers and many carpenters, to design and construct the pavilion. Using traditional Indian techniques and local materials, the firm manages all the processes from design to construction. Their unique style is now attracting international attention and highly acclaimed in various parts of the world. Focusing on their unique process in which the carpenters put up a building by their hands, the project involved preparing the parts in India, sending them to Japan, and inviting three carpenters from Studio Mumbai. Comprising three small huts that made liberal use of Indian teak, a bamboo-made object called Bird Tree, and stones that could be used as benches, the MOMAT Pavilion offered a public-park atmosphere. The airy bowers looked like *engawa* or the external corridor with a boarded floor of Japanese traditional house, providing spaces familiar to Japanese people that attracted many people throughout the period.



撮影：川村麻純

会 期
平成24年9月15日～平成24年12月2日 (68日間)
会 場
東京国立近代美術館工芸館
主 催
東京国立近代美術館
出品点数
97点
入場者数
9,030人(1日平均133人)
新聞・雑誌等における掲載記事
毎日新聞 10月10日 「伝統と革新と」 (岸桂子)
公明新聞 11月21日 「『現代の座標』展 洗練された工芸美の下で」(藤田一人)
陶業時報 10月5日 「工芸をめぐる11の 思考」(無記名)
The Japan Times 9月13日 「New Footing: Eleven Approaches to Contemporary Crafts」 (無記名)
JEWEL 2012秋号 「工芸館で『現代の座 標』展 日本の技を今こそ世界に金工・ 七宝など11人が出品」
炎芸術 No.111 「現代の座標—工芸を めぐる11の思考」(無記名)
同 No.112 「八木明」(無記名)
いけ花龍生 11月号 「今、目の前で感じ る『工芸』」(無記名)
ミセス 9月号 「季節のとびら⑥ 菊」 (渡辺尚子、窪田裕子)
同10月号 「季節のとびら⑦ 紅葉」(渡 辺尚子、窪田裕子)
現代の眼 596号 「その定式の発見と解 体」(関島寿子)「逕路」(八木明)「満たされ た光—ガラスを通して見えてくるもの —」(小田橋昌代)

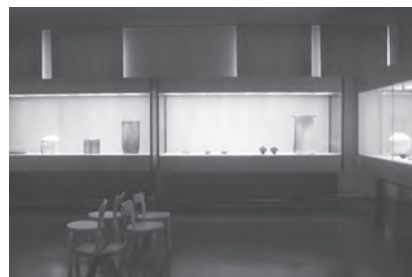
489 (工99) 現代工芸への視点

現代の座標—工芸をめぐる11の思考—

当館では、「現代工芸の視点」を主題にしたさまざまな企画展を開催し、我が国の現代工芸の発展と展望を検証してきた。本年度は、特に国際的な注目と関心を集めてきた近年の日本の工芸のうち、工芸と美術の動向を踏まえながら現代人としての感性と個々の思考を深め、今日的な芸術表現と造形の可能性を革新的に発揮してきた気鋭の作家11名を取り上げた。伝統の友禅や樂焼、現代的な造形を求めた陶磁やガラス、漆芸、金工、編組など、伝統の手法や素材表現に新たな創意を見出し、既定の工芸への認識や造形の手法を再構築して独自の表現とし、新たな座標を構築している。いずれも、国内外での精力的な制作発表や主要美術館への作品収蔵などをとおして国際的にも認められ、その芸術は広く国際的標準の評価を受けている。本展では、各作家の特徴的な近作あるいは新作で構成し、おのおのの造形思考が発揮された個性的な作品97点を出品した。

New Footing: Eleven Approaches to Contemporary Crafts

In addition to the special exhibitions in an attempt to examine the developments and future outlook of contemporary Japanese crafts. From among modern Japanese crafts that have attracted international attention and interest, this exhibition focused on the eleven energetic artists that considered the trends in crafts and arts, intently deepened their sense and respective thoughts on crafts to positively advance innovations by exploring the possibilities of artistic expression and forms for our own time. These artists have discovered new ideas in traditional techniques and material utilization such as traditional *yuzen* and *rakuyaki*, or ceramics, glasswork, lacquerware, metalwork and basketry that pursue forms suitable for our own day, to reconstruct the conventional appreciation of crafts and form-creation techniques to create unique expression and establish a new perspective for the future of crafts. They have gained international recognition and acclaim through their active introduction of their works and those acquired by major art museums at home and abroad. This exhibition presented their 97 recent and new pieces showing clear approaches to form creation taken by respective artists.



会 期
平成24年10月16日～平成25年1月14日 (76日間)
会 場
東京国立近代美術館本館
主 催
東京国立近代美術館、NHK、 NHK プロモーション
後 援
文化庁
特別助成
公益財団法人 石橋財団
協 賛
損保ジャパン、日本写真印刷
出品点数
537点
入場者数
101,647人(1日平均1,337人)
新聞・雑誌等における掲載記事
朝日新聞 10月24日夕刊 「清き一票、展示に一石 東西の近代美術館 ファンの意思問いかけ」(西岡一正) 公明新聞 10月24日 「東京国立近代美術館 60周年記念特別展 美術にぶるっ！ 感覚から思索への展開を」(藤田一人) 東京新聞 10月26日 「美術にぶるっ！展 茶と暗色の心性」(中村英樹) 毎日新聞 11月7日 「美術にぶるっ！ 原点に立ち返る」(岸桂子) 産経新聞 12月12日 「美術にぶるっ！ベストセクション日本近代美術の100年 誰もが震えちゃう名作ズラリ」(洪沢和彦) 神奈川新聞 12月14日 「東京国立近代美術館60周年記念展 美術にぶるっ！ 迫力ある豪華な作品群」(下野綾) 北海道新聞 12月14日夕刊 「日本美術の100年回顧 開館60年 東京国立近代美術館が特別展」(鈴木博志) 日本経済新聞 12月26日 「美術史を総括『美術にぶるっ！』展」(窪田直子) 週刊エコノミスト 11月20日号 「美術にぶるっ！ベストセクション日本近代美術の100年」(石川健次) すばる 12月号 「実験場1950s」(保坂健二郎) 婦人の友 12月号 「東近美60周年展」(建畠哲) 週刊新潮 12月6日 「タイトル以外は素晴らしい『美術にぶるっ！』展の密度」(福田和也) 中央公論 1月号 「美術にぶるっ！ベストセクション日本近代美術の100年」(本江邦夫) 美術手帖 1月号 「本当にブルっとする事ー実験場1950s」(岡崎乾二郎) 前衛 2月号 「よみがえる1950年代の前衛芸術と社会運動」(武居利史) 現代の眼 596号 「60周年記念特別展『美術にぶるっ！』ベストセクション 日本近代美術の100年』によせて」(榎田倫広)「わたしにとっての50年代美術」(池田龍雄)「昨日の美術と今日の美術」(野田吉郎) 600号 「『美術にぶるっ！』ベストセクション 日本近代美術の100年』展を見て」(藤井亜紀)

490 東京国立近代美術館60周年記念特別展 美術にぶるっ！

ベストセクション 日本近代美術の100年

全館を使用して日本の近代美術100年の歴史を検証するものとなった。

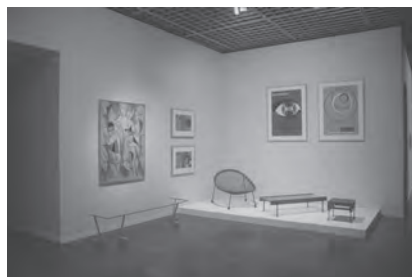
第一部は所蔵作品展のリニューアルのお披露目を兼ねた「MOMATコレクションスペシャル」。12000点を超えるコレクションの中から、重要文化財13点を含む代表作、重要作240点を展示した。初年度に収蔵された作品群をまとめた「はじめの一步」(展示室2)や、70年代から収集してきた海外作家のコレクションをまとめた「海外作品とMOMAT」(展示室13)といった部屋を設け、コレクションの形成史を通して、当館の60年間の活動が浮かび上がる構成となった。

第二部「実験場1950s」は、コレクションのみならず他館から借用した作品約300点で、美術館が誕生した1950年代の日本に焦点を当てた。戦後の復興期にあたるこの時期の表現活動の特質を「ジャンル横断性」にもとめ、絵画、彫刻、写真、映画、デザイン、書籍など、個々のジャンルを超えた人的交流や相互作用に注目した。

Art will Thrill You! Best Selection — 100 Years of Modern Japanese Art: In celebration of the 60th anniversary of The National Museum of Modern Art, Tokyo

This project used all the galleries of the museum to examine the 100-year history of modern Japanese art.

Introducing the renovated collection galleries, the first part *MOMAT Collection—60th Anniversary Gala* presented 240 important works selected from our collection of more than 12,000 items, including thirteen Important Cultural Properties. Including *Beginnings* showing the acquisitions in the first year of the museum (Room 2), and *Foreign Works* and the MOMAT displaying overseas pieces that the museum has collected since the 1970s, the organization of the show illustrated our museum's activities in the last 60 years through the history of collection building. The second part *Experimental Ground 1950s* presented 300 pieces including those borrowed from all over Japan to focus on art in the 1950s when the museum opened. Identifying “cross-genre-ness” as a characteristic of the expressive activities in the postwar reconstruction period, this show focused on personal exchanges and interactions across different genres such as painting, sculpture, photography, film, design and books.



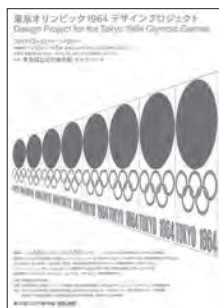
会 期
平成25年2月13日～平成25年5月26日 (93日間、うち平成25年度51日間)
会 場
東京国立近代美術館本館 2階ギャラリー4
主 催
東京国立近代美術館
後 援
公益財団法人 日本オリンピック委員会、 特定非営利活動法人 東京2020オリ ンピック・パラリンピック招致委員会
協 力
たばこ塩の博物館、 通信総合博物館、 独立行政法人日本スポーツ振興センター 秩父宮記念スポーツ博物館、 東京都江戸東京博物館、 凸版印刷株式会社 印刷博物館、 新潟県立近代美術館
出品点数
195点
入場者数
15,744人(平成25年度を含む56,739人) (平成24年度1日平均375人)
新聞・雑誌等における掲載記事
産経ニュース 2月27日 「東京五輪のデ ザイン もてなしの心を簡潔に表現」(黒 沢綾子) 千葉日報 2月27日 「忙人寸語」(無記 名) 公明新聞 3月16日 「モダンイズムの粋と しての五輪文化」(藤田一人) 芸術新潮第64巻第4号 「オリンピック招 致は文化的成熟に有意義か?」(藤田一人) artscape レビュー 4月1日「東京オリ ンピック1964 デザインプロジェクト」(新 川徳彦) 朝日新聞 4月10日夕刊 「東京オリ ンピック1964 デザインプロジェクト」(岡 山朋代) 週刊ポスト 4月19日 「デザインの才能 が結集した1964年の東京オリンピック」 (坪内祐三)

491 (工100) 東京オリンピック1964 デザインプロジェクト

1964年に行われた東京オリンピックは、戦後日本の重要イベントとして記憶されている。オリンピックといえばアスリートたちの祭典だが、東京オリンピックは、日本のデザイナーたちが総力を結集して取り組んだ一大デザインプロジェクトでもあった。東京オリンピックに際しては、当時の日本を代表するデザイナーが多数関わり、さまざまな仕事を行った。この展覧会では東京オリンピックのための一連のデザインワークを振り返り、その全貌を明らかにした。展覧会は三つの章で構成した。「第Ⅰ章 東京オリンピックの準備:シンボルマークとポスター」では、オリンピックの開催準備期間に作られた亀倉雄策によるシンボルマークや公式ポスターなど、オリンピックムードを盛り上げるプロモーション活動のための各種印刷物、および、資金集めのために販売された記念切手や記念たばこや記念メダルなどによる募金活動を紹介した。また、「第Ⅱ章 東京オリンピックの開幕:視覚伝達システムの確立」では、スムーズな大会運営のために東京オリンピックを機に開発されたピクトグラム(シンボル)など言語に頼らない視覚伝達システムを主として紹介した。そして、「第Ⅲ章 東京オリンピックの記録/記憶:メディアイベントとして」では、大会終了後に出された報告書や記録映画、オリンピックグッズなどを紹介した。

Design Project for the Tokyo 1964 Olympic Games

The 1964 Tokyo Olympics is known to be one of the most important events in postwar Japan. The Olympics in Tokyo was not only an athletic festival, but also a major design project involving an all-out effort by Japanese designers. Many leading Japanese designers took part in the project and did various tasks. This exhibition looks back on the design undertakings for the Games to give a full picture of the project. The show comprised three chapters. The first chapter *Groundwork for the Posters and Symbols for the 1964 Tokyo Olympic Games* introduced the promotional materials produced during the preparation period including the emblems and posters by Kamekura Yusaku, and the fund-raising materials such as the commemorative stamps, cigarettes and medals. Chapter 2 *Visual Communication Designs for the 1964 Tokyo Olympic Games* mainly focused on the language-independent visual communication system developed for smooth operation of the Games, including the pictograms. The third chapter *Documentation and Legacy of the Tokyo 1964 Olympic Games as a Media Event* displayed the reports and documentary films made after the Games, as well as the spin-off merchandise.



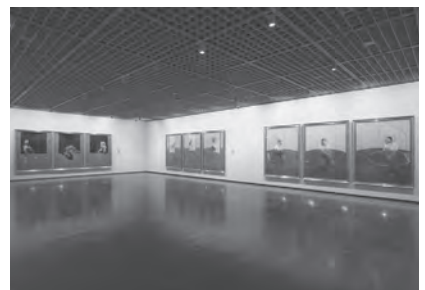
会 期
平成25年3月7日～平成25年5月26日 (73日間、うち平成25年度51日間)
会 場
東京国立近代美術館 1階企画展ギャラリー
主 催
東京国立近代美術館、日本経済新聞社
後 援
ブリティッシュ・カウンシル、 アイルランド大使館
協 賛
新日本有限責任監査法人、 損保ジャパン、大伸社、トヨタ自動車、 UBSグループ
協 力
日本貨物航空、日本航空、 フランス・ベーコン・エステート
出品点数
38点
入場者数
28,552人(平成25年度を含む124,720人) (平成24年度1日平均1,298人)
新聞・雑誌等における掲載記事
日本経済新聞 2月17日・24日 「フランス・ベーコン 歪められた肖像 上・下」(窪田直子) 東京新聞 3月22日夕刊 「歪まない背景世界」(三沢典丈) The Japan Times 3月28日 「Francis Bacon: The restlessness of human existence」(C.B.Liddell) 北海道新聞 4月5日 「複製技術と芸術」(佐藤淳二) 朝日新聞 4月10日夕刊 「ゆがんだ身体、現代映す」(大西若人) 日本経済新聞 4月11日 「フランス・ベーコン展」(平野啓一郎) 毎日新聞 4月17日夕刊 「感情の揺れを表現」(岸桂子) 読売新聞 4月18日 「閉鎖空間の孤独な身体」(井上晋治) 産経新聞 4月18日 「生」の痛みが刺激する」(黒沢綾子) 山陽新聞 4月18日 「エネルギーの大きな波動」(榎本伸明) The Japan News 4月23日 「Bacon's bodies: Isolation and distortion」(Shinji Inoue) 日本経済新聞 4月29日「内奥さらず歪んだ身体」(勅使河原純) 装苑 3月号 「フランス・ベーコン展」(中島良平) 美術手帖 3月号 「特集 フランス・ベーコン」(茂木健一郎、保坂健二郎、榊田倫広、鈴木俊晴、新藤淳、杉本博司、伊東豊子、藤原えりみ、太田純貴、エルンスト・ファン・アルフェン) 芸術新潮 4月号 「特集 20世紀美術のカリスマ フランス・ベーコンを解剖する」(保坂健二郎、茂木健一郎、鈴木理策、中原昌也、都築響一、佐々木中、安藤モモ子、金沢百枝、原田マハ、松井冬子) Pen 4月号 「最も重要な「身体」に特化した、30年ぶりの日本での大回顧展」(赤坂英人) クロワッサンPremium 4月号 「画家としての謙虚さが課した「開い込み表現」という枷」(森村泰昌) 今藝術(台湾) 5月号 「對身体與生命的無盡提問」(黃亜紀) 家庭画報 5月号 「ピカソと並ぶ20世紀の巨匠が描く「命の流れ」」(山根基世) 美術の窓 6月号 「フランス・ベーコン 肉体とその存在を描き続けて」(マルガリータ・カボック) すばる 6月号 「思考停止についての試論 2013年のフランス・ベーコン展」(千葉雅也) 現代の眼 599号 「マゾヒズムの逆襲 フランス・ベーコン展によせて」(平野嘉彦)

492 フランス・ベーコン展

20世紀の画家の中で最重要作家の一人とされているイギリスのフランス・ベーコン(1909-1992)の、没後としては日本初、アジア初となる回顧展である(生前の1983年に当館他で個展が開催されている)。1945年から1991年までの作品33点を展示。ニューヨーク近代美術館、ハーシュホーン美術館、テートほか、アメリカ、イギリス、ドイツ、オーストラリア、デンマーク、台湾など世界各地の主要美術館・コレクションから各時代の重要作品を借用するとともに、日本国内に所在が判明している5点を全て出品し、この画家の画業の展開を通覧できるものを目指した。時代で区切った3章から構成、ほぼ全点に作品解説を付すことで、ベーコンが描き続けた身体の変遷を見やすく示すことを試みた。と同時に、土方巽(1928-1986)とウィリアム・フォーサイス(1949-)という、ベーコンに影響を受けた、東西を代表する振付家による作品を、映像を使って展示することで、身体表現が芸術において根幹的であり続けていることについての理解を深められる工夫をした(フォーサイスはペーター・ヴェルツとのコラボレーションによる作品)。また会期中には、舞踏家の和栗由紀夫の演出・振付による舞踏公演「偏愛的肉体論」を催した。

Francis Bacon

English painter Francis Bacon (1909–1992) is known as one of the most important artists in the 20th century. This show was the first retrospective of Bacon in Japan and Asia after his death (his solo show was held in 1983, during his lifetime, at some Japanese museums including the MOMAT). The exhibits comprised 33 pieces spanning from 1945 to 1991. In addition to the borrowings from important collections in the USA, UK, Germany, Australia and Taiwan, including the Museum of Modern Art in New York, the Hirshhorn Museum in Washington and the Tate, we presented the five works known to be held in collections in Japan to offer a full view on the painter's career. Divided chronologically into three chapters, the exhibition provided commentaries on almost all the pieces to illustrate the developments of the “body” that Bacon continued to paint. In addition, the video works featuring Hijikata Tatsumi (1928–1986) and William Forsythe (b. 1949), representative choreographers of the East and West who were influenced by Bacon, were presented to help understand how expression of “body” has continued to be at the core of art (Forsythe's work was made in collaboration with Peter Welz). During the exhibition period, the dance performance *Favoritist Theory of Body* was given under the direction and choreography of the dancer Waguri Yukio.



新聞・雑誌等における掲載記事

◆平成24年1月24日(火)～5月6日(日) 近代日本の美術

現代の眼 593号 「[所蔵作品展特集] 大下藤次郎から中西利雄へ：揺さぶられる水彩画」(都築千重子)

現代の眼 593号 「[作品研究] 須田国太郎が『書斎』の影に込めた想いとは？」(大谷省吾)

高知新聞 5月10日 「考える美術鑑賞③」『道路と土手と塀』(藤田令伊)

◆平成24年5月12日(土)～7月29日(日) 近代日本の美術

読売新聞 都内版 5月18日 「『近代美術の眼』 大下藤次郎『穂高山の麓』」(都築千重子)

読売新聞 都内版 6月15日 「『近代美術の眼』 恩地孝四郎『あるヴァイオリニストの印象(諏訪根自子像)』」(保坂健二郎)

読売新聞 都内版 7月13日 「『近代美術の眼』 伊藤義彦『imagery72 850007』」(増田玲)

現代の眼 594号 「[作品研究] 影と遠近法：荒川修作と高松次郎」(蔵屋美香)

美術手帖 2012.06 「東京国立近代美術館60周年記念 特別連載 vol.1 建築の視点×美術の視点 西澤徹夫・蔵屋美香」(島貫泰介)

◆平成24年7月30日(月)～10月15日(月) ※所蔵作品展 リニューアル 休館中

読売新聞 都内版 9月14日 「『近代美術の眼』 高松次郎『No.273 (影)』」(蔵屋美香)

読売新聞 都内版 10月12日 「『近代美術の眼』 植田正治『パパとママと子供たち』」(増田玲)

EAST TIMES 2012秋号 「特集『60周年』 地域の問題 60周年で生まれ変わる東京国立近代美術館」(無記名 インタビュー：蔵屋美香)

美術手帖 2012.09 「東京国立近代美術館60周年記念 特別連載 vol.2 コレクションの展示ができるまで」(無記名 インタビュー：保坂健二郎)

美術手帖 2012.10 「東京国立近代美術館60周年記念 特別連載 vol.3 新設！所蔵作品のハイライト・コーナー」(島貫泰介 インタビュー：蔵屋美香)

◆平成24年10月16日(火)～平成25年1月14日(月) 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年 第1部

読売新聞 都内版 11月9日 「『近代美術の眼』 狩野芳崖『仁王捉鬼図』」(鶴見香織)

読売新聞 都内版 12月14日 「『近代美術の眼』 石井茂雄『戒厳状態』」(梶田倫広)

1-4 平成24年度所蔵作品展記録 Permanent Exhibit, 2012

1-4-1 本館

平成24年度は、指名によるプロポーザルを経て建築家、西澤徹夫を選出し、10年ぶりの所蔵品ギャラリーリニューアルを行った。目標とした特集展示の拡充、解説の拡充、多言語化、導線の整理、休憩スペースの拡充は、すべて一定の達成を見た。「美術にぶるっ！」展第1部「MOMATコレクションスペシャル」という変則的な運用を行った10月～1月の会期を終え、平成25年1月からは通常の「MOMATコレクション」(リニューアルに伴い「近代日本の美術」より改称)の運用を開始した。12室をすべて特集展示の形式とし、その内容は、当館コレクションの特徴を活かしつつ、新収蔵品の活用や研究成果のいち早い公開を積極的に行うものとした。

◆平成24年1月24日(火)～5月6日(日)(94日間、うち平成24年度33日間)

特集展示(4F)：描かれたダリヤ

特集展示(2F)：東北を思う一記憶・再生・芸術

版画コーナー(3F)：はかなきものの強(したた)かさ

写真コーナー(3F)：高梨豊「東京人」

出品点数：194点(うち重要文化財1点)

入場者数：36,337人(平成23年度を含む75,884人)

◆平成24年5月12日(土)～7月29日(日)(68日間)

特集展示(4F)：近代日本の水彩

版画コーナー(3F)：差異と反復

写真コーナー(3F)：石元泰博 「シカゴ、シカゴ」

出品点数：222点(うち重要文化財4点)

入場者数：21,643人

◆平成24年10月16日(火)～平成25年1月14日(月)(76日間)

開館60周年記念「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」第1部

出品点数：237点(うち重要文化財13点)

入場者数：101,647人



リニューアル後 所蔵品ギャラリー(4F)

撮影：木奥恵三

読売新聞 都内版 1月11日 『『近代美術の眼』 谷中安規『春の自転車』』（都築千重子）

東京新聞 10月21日 「カジュアル美術館『裸体美人』 萬鉄五郎 東京国立近代美術館」（三沢典丈）

現代の眼 597号 「整理と表面：所蔵品ギャラリーリニューアルで、建築家と美術館が考えたこと（＜特集1＞所蔵品ギャラリーのリニューアルについて）」（蔵屋美香、西澤徹夫）

現代の眼 597号 「“収藏品展覧者不在体質”の克服に向けて（＜特集1＞所蔵品ギャラリーのリニューアルについて）」（河野通孝）

現代の眼 597号 「この六〇年に、何が「名品」として選ばれてきたか（＜特集2＞開館60周年をふりかえる）」（太谷省吾）

Casa Brutus 2012年12月号 「櫻井翔のケンチクを学ぶ旅 vol.18 祝・開館60周年でリニューアルした〈東京国立近代美術館〉を体験する。」（無記名）

BM 2013 WINTER vol.27 「BM FRONTLINE 東京国立近代美術館」（無記名）

博物館研究 48巻2号 「[ミュージアムクリップ] 東京国立近代美術館 リニューアル情報」（大木優子）

美術手帖 2012.11 「東京国立近代美術館60周年記念 特別連載 vol.4 ついにオープン！新生MOMATコレクション」（無記名 インタビュー：保坂健二郎）

美術手帖 2012.12 「東京国立近代美術館60周年記念 特別連載 最終回 MOMATコレクションリニューアルを振り返る」（島貫泰介 インタビュー：西澤徹夫・蔵屋美香）

◆平成25年1月24日（木）～5月26日（日） MOMATコレクション

読売新聞 都内版 2月8日 『『近代美術の眼』 瑛九『青の中の丸』』（梶田倫広）

読売新聞 都内版 3月8日 『『近代美術の眼』 長原孝太郎『残雪』』（鈴木勝雄）

◆平成25年1月24日（木）～5月26日（日）（110日間、うち平成24年度59日間） 「新生！ MOMATコレクション」

この会期よりリニューアルした「MOMATコレクション」を通常の形態で開催。新たに全12室の特集形式とした。室ごとの特集名は下記の通り。6室は近年継続して収集を行っている個人コレクションの全貌を国内で初めて紹介するもの、12室は特別展「フランス・ペーコン展」にちなみ、身体をゆがめて表現する絵画、彫刻、素描、映像などを紹介した。

「1 ハイライト」「2 文展開設前後」「3 大正時代の芸術運動」「4 揺れ動くこころーココシカとコリントの版画集より」「5 機械の美学とその時代」「6 盛田良子コレクション」「7 戦争の世紀」「8 戦後のスタート」「9 壁に向かって」「10 日本画と伝統」「11 草間彌生と横尾忠則」「12 特集：ゆがむ人」

出品点数：204点（内重要文化財4点）

入場者数：27,516人（平成25年度を含む 88,652人）



「眺めのよい部屋」(4F)

撮影：木奥恵三

Modern Japanese Art from the Museum Collection
MOMAT Collection

In fiscal 2012, the collection galleries were renovated for the first time in a decade as planned by the architect Nishizawa Tetsuo who were nominated and selected after a proposal. The aims of the renovation, namely expansion of the space for thematic display, enhancement of commentaries, multilingualization, streamlining of the path of flow and expansion of the space for relaxation, were all accomplished to a certain extent. After the irregular period from October to January when the galleries were used for the first part of the exhibition *Art will Thrill You!*, the regular collection exhibition *MOMAT Collection* (renamed from *Modern Japanese Art From the Museum Collection* after the renovation) opened in January 2013. The thematic-display style was adopted in all the twelve rooms. While exploiting the character of our collection, the contents aimed at active use of new acquisitions and early publication of research results.

The renovated *MOMAT Collection* opened in regular form from this period. The thematic-display style was newly adopted in all the twelve rooms. Gallery 6 offered for the first time in Japan a full view of the collection of an individual collector from which our museum has continued to make acquisitions in recent years. In connection with Francis Bacon, Gallery 12 presented paintings, sculptures, drawings and videos showing distorted figures. The titles of the twelve rooms were as follows: 1. Highlights; 2. The Bunten Exhibition Era; 3. Art Movements of the Taisho Period; 4. The Wavering Heart—Print Collections by Kokoschka and Corinth; 5. The Era of the Machine Aesthetic; 6. The Morita Yoshiko Collection; 7. The War Era; 8. The Start of the Postwar Period; 9. Facing the Wall; 10. Nihon-ga and Tradition; 11. Kusama Yayoi and Yokoo Tadanori; and 12. Special Display: Distorted Figures.

◆Jan. 24 to May 6 (94 days, of which 33 days were in fiscal 2012)

Topic in Focus (4th floor) : Dahlias in Art—Topics in Focus

Topic in Focus (2nd floor) : Thinking About Tohoku: Memory, Rebirth and Art—Topics in Focus

Prints Section (3rd floor) : Toughness in Fragility

Photograph Section (3rd floor) : Takanashi Yutaka “Tokyoites”

Number of the exhibits: 194 (including 1 Important Cultural Properties)

Number of visitors: 36,337 (75,884 in total with the visitors in fiscal 2011)

◆May 12 to July 29 (68 days)

Topic in Focus (4th floor) : Modern Japanese Watercolors—Topics in Focus

Prints Section (3rd floor) : Difference and Repetition

Photograph Section (3rd floor) : Ishimoto Yasuhiro “Chicago, Chicago”

Number of the exhibits: 222 (including 4 Important Cultural Properties)

Number of visitors: 21,643

◆Oct. 16 to Jan. 14 (76 days)

(4th to 2nd floor) : Art Will Thrill You! : The Essence of Modern Japanese Art Part I

Number of the exhibits: 237 (including 13 Important Cultural Properties)

Number of visitors: 101,647

◆ Jan. 24 to May 26 (110 days, of which 59 days were in fiscal 2013)
Reborn! MOMAT Collection
Number of the exhibits: 204 (including 4 Important Cultural Properties)
Number of visitors: 27,516

新聞・雑誌等における掲載記事

◆所蔵作品展 こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑

教育家庭新聞 7月16日 「美術館・博物館で夏休みの自由研究」(無記名)

和楽 8・9月号 「ル・ワラク」(藤田優)

現代の眼 595号 「富本憲吉の植物モチーフについて」(三上美和)

同597号 「鑑賞行為の媒介—セルフガイドの考察」(齊藤佳代)

◆所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションから—

The Japan Times 12月13日 「Celebratory "Vessels": From the Lacquer Art Collection of the Crafts Gallery」(無記名)

日本経済新聞 1月10日夕刊 「マンズリーミュージアムガイド」(無記名)

クロワッサン 12/15号 「展覧会へようこそ」

現代の眼 597号 「天然漆の特性と表現—《乾漆割貝蒔絵飾箱 半夏生》について—」(小椋範彦)「新たな漆芸『前衛』の流れ」(藤田敏彰)

同598号 「工芸館所蔵作品展 寿ぎの『うつわ』解題」(北村仁美)

◆所蔵作品展 花咲く工芸

読売新聞 4月11日 「『花』をテーマに展覧会続々」(井上晋治)

婦人公論 4/7号 「桜の名所を散策しながら 花咲き誇る名品を眺めて」(木谷節子)

美しいキモノ 夏号 「女子会④ 観桜ランチと花がテーマの美術展」(無記名)

現代の眼 598号 「森口華弘の花 着物に咲くデザイン」(齊藤佳代)

1-4-2 工芸館

「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」

人間にとって身近な存在であり、また、芸術における最もポピュラーな主題の一つである「植物」を切り口に、子どもから大人まで幅広い世代を対象に工芸を親しみやすく紹介した。会場は、植物の成長段階や表現方法、または食料や工芸材料のように、人間の生活の営みと植物とのさまざまな関係によって6つのテーマ(「芽生え・葉・草」「木・森・山」「花の模様」「花のかたち」「松竹梅」「収穫(農業&工芸)」)で構成し、工芸作品への理解を促進させることを目的とした。

「寿ぎの『うつわ』—工芸館の漆工コレクションから—」

海外で日本を代表する工芸の一つとして知られている漆工について、所蔵作品と一部の借用作品で、明治以降の漆芸を展覧した。漆という素材に脈々と継承されてきた文化的な特質を「寿ぐ」というキーワードで捉え、近現代の多様な漆という素材による表現の展開をわかりやすく構成した。

「花咲く工芸」

所蔵作品の中から花を主題にした159点を選び、陶磁や染織、漆工、金工、木工、ガラス、人形など、さまざまな素材による作品を取り上げ、明治期から現代にかけての近代工芸を代表する名品を紹介した。

◆平成24年2月7日～4月15日(71日間、うち平成24年度、14日間)

人間国宝・巨匠コーナー

(「『織』を極める 人間国宝 北村武資」展会期中)

出品点数:19点

入場者数:5,625人

◆平成24年4月24日～7月16日(74日間)

人間国宝・巨匠コーナー

(「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア 1910s-1945」展会期中)

出品点数:23点

入場者数:8,242人

◆平成24年7月22日～9月2日(37日間)

所蔵作品展 こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑

人間国宝・巨匠コーナー

出品点数:185点

入場者数:5,485人

◆平成24年12月11日～平成25年2月11日(52日間)

所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—工芸館の漆工コレクションから—

人間国宝・巨匠コーナー

出品点数:107点

入場者数:15,713人



◆平成25年2月19日～5月6日(71日間、うち平成24年度37日間)
所蔵作品展 花咲く工芸
人間国宝・巨匠コーナー
出品点数:159点
入場者数:11,770人

Crafts Gallery for Kids+Adults: Botany in Craft
Masterpieces of Modern Crafts and Living National Treasures from the
Museum Collection

Focusing on plants—living things familiar to humans and one of the most popular motifs of art—this exhibition introduces crafts in a manner accessible to people of all ages. In an attempt to help better understand crafts, the show was structured around the following six themes set according to the development stages of plants, ways of expression, or the various relationships between human life and plants as in food and craft materials: Budding, Leaves and Grass; Trees, Forests and Mountains; Floral Patterns; Floral Forms; Shochikubai (pine, bamboo and plum); and Harvesting in Agriculture and Crafts.

Presenting a selection from our collection and some borrowings dating from the Meiji period (1868–1912) to the present, this show illustrated lacquer art that is internationally known as one of the representing crafts of Japan. Viewing the cultural traditions continuously inherited in the material using the keyword “congratulate,” this exhibition intelligibly illustrated the modern developments of diverse expression using lacquer.

Presenting 159 pieces with floral motifs from our collection including ceramics, textiles, lacquerware, metalwork, woodwork, glasswork and dolls, this show introduced masterpieces of modern crafts from the Meiji period (1868–1912) to the present.

平成18年12月から、本館・工芸館の所蔵作品展、フィルムセンターの展示室を1,000円で1年間、何度でも観覧できる「MOMATパスポート」の販売を開始した。プレスリリースやホームページにより広報を行い、平成24年度は318枚を販売した。

MOMAT Passport

The MOMAT Passport was launched in December 2006. The passport allows the holder to visit the Film Center gallery and the Museum Collection exhibitions in the Main Building and Crafts Gallery as often as desired during a 12-month period for just 1,000 yen. Information on the Passport was provided to the public through press releases and website notices. Unit sales totaled 318 in fiscal 2012 (ending in March 2013) .

会 期
平成24年7月1日～平成24年9月2日 (54日間)
会 場
益子陶芸美術館
主 催
益子町文化のまちづくり実行委員会、 益子陶芸美術館、東京国立近代美術館
後 援
下野新聞社、栃木放送、とちぎテレビ、 エフエム栃木、NHK宇都宮放送局
入館者数
4,103人
出品点数
136点
新聞・雑誌等における掲載記事
下野新聞 6月24日 「機能より個性 近 現代の陶器」(無記名) 炎芸術 No.110 「茶事にまつわるうつ わ―陶を中心に」(無記名)

1-5 東京国立近代美術館工芸館所蔵作品巡回展等

1-5-1 国立美術館巡回展

東京国立近代美術館コレクション 茶事にまつわる うつわ ―陶を中心に―

東京国立近代美術館が所蔵する工芸コレクションの巡回展として、茶事にまつわる“うつわ”を切り口に近代から現代にかけての茶の湯の造形について概観。会場は、やきものの産地であり、東日本大震災で被害も受けた栃木県益子町で、東日本大震災にて被災された皆様への一日も早い復興を願う企画とした。

「茶碗」「茶器」「水指」「花器」「釜・香合」という代表的な分類・用途を紹介しつつも、実用性を重視した茶道具としてだけではなく、作り手の美意識を込める作品としての側面、さらには、使い手の美意識による「見立て」による楽しみ方やその意義についても考える機会となるよう展示・紹介した。

Touring Exhibition of Crafts from the MOMAT Collection

As a traveling exhibition presenting the craft collection of the National Museum of Modern Art, Tokyo, this show offered an overview of modern tea utensils from the viewpoint of “vessels” related to the tea ceremony. As the venue was in Mashiko-cho, Tochigi Prefecture, a ceramic center that suffered from the Great East Japan Earthquake, this project was also planned as an event to wish for earliest possible resurgence of the sufferers from the disaster.

While presenting typical functions such as teabowl, tea caddy, jug, vase, kettle and incense case, this show was also planned to offer an opportunity to think about an aspect as works that embodied makers' aesthetic sense, and about the way and significance of “likening” made possible by users' sense of beauty, in addition to tea utensils focusing on practicality.



会 期
平成24年12月15日～平成24年12月25日 (11日間)
会 場
和光ホール(和光本館6階)
主 催
株式会社和光、東京国立近代美術館
入館者数
3,583人
出品点数
71点
新聞・雑誌等における掲載記事
陶業時報 12月15日 「アール・ヌーヴォーとデコの光」(無記名) チャイム銀座 12月号 「二つのデザインの潮流の鮮やかな対比と、時代と空間を超えた広がり」(小平薫子)

1-5-2 工芸館巡回展

時計塔80年記念 東京国立近代美術館工芸館の名品でみる アール・ヌーヴォーとアール・デコ展—その時代の光—

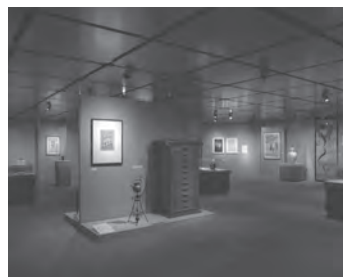
株式会社和光との3回目の共催。和光時計塔80年アニバーサリーイヤーを締めくくる企画として、竣工当時の服部時計店(現・セイコーホールディングス株式会社)カタログをパネル展示し、その中の商品デザインも影響を受けていたと思われる芸術運動、アール・ヌーヴォーとアール・デコに注目する展覧会とした。

1900年、そして1925年のパリ万国博覧会をきっかけに国際的な流行となったアール・ヌーヴォー、アール・デコの様式は、絵画や宝飾のみならず、建築、工芸、音楽、詩、文学にまで至り、時代も超えて現代の作品にも及ぶ。そうした広がりを感じさせる作品、工芸館での展示では機会が限られるポスター作品を中心に、作家による作風の変遷や様式毎のモチーフの表現の対比も紹介した。

Light in That Era: Masterpieces of Art Nouveau and Art Deco
—Selected Crafts From the Collection of the National Museum of Modern Art,Tokyo
In celebration of the 80th anniversary of WAKO's Clock Tower

The third joint exhibition with WAKO Co., Ltd., this show was the last in the 80th anniversary year of WAKO's Clock Tower, presenting the panels showing Hattori Jewelry Store (now Seiko Holdings Corporation) just completed, and focusing on Art Nouveau and Art Deco that seemed to influence product design by the company.

Having become internationally popular after the 1900 and 1925 Paris Expositions, the styles of Art Nouveau and Art Deco often appear not only in paintings and jewelry, but also in architecture, crafts, music, poetry and literature, spanning to the present day. In addition to works that make us feel the extension of the styles' influence, and posters that our gallery space allows limited opportunities for display, this exhibition also illustrated the changes in designers' styles, and the contrasts between motifs in the respective styles.



2 作品貸与・特別観覧・プリントスタディ

2-1 本館

- ①貸 与 65件(237点)
- ②特別観覧 209件(566点)
- ③プリントスタディ(写真作品観覧制度) 20件(201名、903点)

2-2 工芸館

- ①貸 与 23件(233点)
- ②特別観覧 36件(81点)

◆一條彰子

論文 「ジャクソン・ポロック展における〈表現＋鑑賞〉連続授業のとりくみ」／『現代の眼』593号

論文 「本館の教育普及事業」「独立行政法人国立美術館としての教育普及事業―指導者研修とアートカード」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「開館六〇周年記念プログラム「だれでもMOMAT」」／『現代の眼』598号

論文 「美術館活用術―ロンドン・テート・ギャラリー」／『美育文化』62巻6号(美育文化協会、2012年11月)

論文 「『博物館における青少年教育』ドイツ派遣事業に参加して」／『全美フォーラム』3号(全国美術館会議、2013年1月)

発表 「美術をすること、感じること―美術館を活用した鑑賞教育について」、「京都国立近代美術館との連携による鑑賞教育の充実に向けて―平成24年度図画工作科指導講座」／京都国立近代美術館・京都市教育委員会・京都市図画工作教育研究会(会場：京都国立近代美術館講堂、2012年8月3日)

発表 シンポジウム「誰かと一緒に作品を見るということ」／世田谷美術館(会場：世田谷美術館講堂、2012年10月8日)

発表 「川平恵造作品の対話による鑑賞」／美術による学び研究会(会場：名護市21世紀の森ビーチ、2012年11月3日)

発表 「美術館における鑑賞教育の展開とその意義」／知の広場(会場：お茶の水女子大学、2012年11月7日)

発表 「『博物館における青少年教育』ドイツ派遣事業に参加して」／全国美術館会議第40回教育普及研究部会(会場：東京都美術館アートスタディールーム、2012年11月22日)

発表 「国立美術館が行う鑑賞教育研修」／釜山文化財団・釜山大学校(会場：釜山文化芸術教育支援センター、2012年12月6日)

◆大谷省吾

論文 「須田国太郎が『書斎』の影に込めた想いとは？」／『現代の眼』593号

論文(告知記事) 「12月1日(土) 開館記念日の催しのご案内」／『現代の眼』596号

論文 「この六〇年に、何が「名品」として選ばれてきたか」／『現代の眼』597号

論文 「静物としての身体、もしくはアンチ・ヒューマニズムについて」／「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」展 論文集『実験場1950s』

作品解説 「古賀春江」「三岸好太郎」「北脇昇」「霽光」／『美術手帖』967号(美術出版社、2012年6月)

展覧会カタログ 作品解説／「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」展

展覧会カタログ 「浅見貴子」／「第5回東山魁夷記念日経日本画大賞展」(日本経済新聞社、2012年5月)

展覧会カタログ 「Pre-history of APN : Kiyoji Ohtsujii and Nobuya Abe」(翻訳：Mélanie Mermoud)／「APN RESEARCH あぷん」(クンストハレ、ベルン、2012年8月)

展覧会カタログ 「小谷野夏木」／「VOCA2013」展（上野の森美術館、2013年3月）

発表 「燦光《眼のある風景》をめぐる」／東京文化財研究所（会場：東京文化財研究所、2013年2月26日）

◆蔵屋美香

論文 「作品研究 影と遠近法—荒川修作と高松次郎／『現代の眼』594号

論文 「平成23年度の新収蔵作品(美術作品)について」／『現代の眼』596号

論文 「整理と壁面—所蔵品ギャラリーリニューアルで、建築家と美術館が考えたこと」／『現代の眼』597号

論文 「本館のコレクションと所蔵作品展」 「所蔵作品展における戦争画の展示」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「熊谷守一 裸婦をめぐる実験」／『花美術館』26号（花美術館、2012年6月）

論文 「日本美術と影 十選」／『日本経済新聞』（全国版、2012年9月25日～10月11日）

論文 「MOMATコレクションリニューアルについて」／『美術手帖』967号（美術出版社、2012年6月）

作品解説 「Women's Art 自然と女性—おなじみの主題がもつ意味」／『ウィラール』709号（公益財団法人日本女性学習財団、2012年6月）

作品解説 「Women's Art 自然と女性②—上から目線のそのわけは…」／『ウィラール』710号（公益財団法人日本女性学習財団、2012年7月）

作品解説 「MOMATコレクションリニューアルを振り返る」／『美術手帖』976号（美術出版社、2012年12月）

作品解説 「実技 所蔵作品展を見よう」／小沢剛・塚本由晴著『線の演習 建築学生のための美術入門』（彰国社、2012年12月）

作品解説 「萬鉄五郎」「村山槐多」「関根正二」／『美術手帖』967号（美術出版社、2012年6月）

発表 「国立近代美術館誕生」／東京国立近代美術館60周年記念シンポジウム「近代美術館の誕生—前史から未来へ」（会場：東京国立近代美術館、2012年12月1日）

発表 「『これまでの芸術、これからの芸術』シリーズ プレ・セッション」／四谷アート・ステディウム（会場：近畿大学国際人文科学研究所東京コミュニティカレッジ 東京アート・ステディウム、2012年4月22日）

発表 「石川卓磨・宮下さゆり展」トーク／タリオン・ギャラリー（会場：タリオン・ギャラリー、2012年4月28日）

発表 「からだを作る、からだを壊す」／板橋区立美術館（会場：板橋区立美術館、2012年6月9日）

発表 「『ぬぐ絵画—日本のヌード 1880-1945』展について」／明治学院大学博物館実習（会場：明治学院大学、2012年6月22日）

発表 「Theory Round Table あつく塗る—ゴッホと由一と劉生と」／四谷アート・ステディウム（会場：近畿大学国際人文科学研究所東京コミュニティカレッジ 東京アート・ステディウム、2012年6月28日）

発表 「TWS-Emerging 188/189/190/191」トーク／トーキョーワンダーサイト（会場：トーキョーワンダーサイト、2012年8月4日）

発表 「進行中!! ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館展示に向けての過程公開」／国際交流基金（会場：国際交流基金、2012年11月1日）

発表 「現代美術—きらわれる展示」／「～博物館140年、これからを語る～多様なニーズにこたえる展示をめぐる」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター(会場：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、2012年12月7日)

発表 「ナショナル・アート・ヒストリーを作る：東京国立近代美術館の場合」／第8回次世代アジア・キュレーター会議(会場：国際交流基金、2012年12月20日)

発表 「Who is Kishida Ryusei?: A Case Study of a *Yoga* Painter」／Taisho Conference 2013(会場：ライデン大学、2013年1月10日)

発表 「座談会 なぜ岸田劉生だったのか？」／青山目黒(会場：青山目黒、2013年2月9日)

◆小林美香

論文 連載「写真のバックストーリー」／ギャラリーときの忘れものウェブサイト(2012年4月10日～2013年2月25日)

論文 「"Ma" and Photography: Four Emerging Female Artists from Japan」／『Trans Asia Photography Review』ウェブサイト(2012年春)

◆柴原聡子

論文(告知記事) 「60周年記念企画一夏期休館中の催しについて」／『現代の眼』594号

論文 「The Stranger In Marrakech」／『ANOTHER AFRICA』ウェブサイト(2012年5月)

論文 「夏の家」／『10+1 website』ウェブサイト(LIXIL出版、2013年1月)

◆鈴木勝雄

論文 展覧会予告「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」／『現代の眼』595号

論文 「集団の夢—50年代を貫く歴史的パトス」／「美術にぶるっ！ ベストセレクション日本近代美術の100年」展 論文集『実験場1950s』

作品解説 「近代美術の眼 長原孝太郎《残雪》」／『読売新聞』(都内版、2012年3月8日)

展覧会カタログ 章解説／「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」展

◆都築千重子

論文 「[所蔵作品展特集] 大下藤次郎から中西利雄へ—揺さぶられる水彩画」／『現代の眼』593号

論文 「コレクションの画像の保存と活用をめぐる—デジタル完全移行を見据えての共同研究プロジェクト始動」／『現代の眼』595号

作品解説 「近代美術の眼 大下藤次郎《穂高山の麓》」／『読売新聞』(都内版、2012年5月18日)

作品解説 「近代美術の眼 谷中安規《春の自転車》」／『読売新聞』(都内版、2013年1月11日)

展覧会カタログ 「武田史子」／「第1回PAT in Kyoto 京都版画トリエンナーレ2013」(京都市美術館、2013年2月)

◆鶴見香織

論文 展覧会予告「吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者」／『現代の眼』593号

論文 「吉川霊華にまつわることごと：市田儀一郎氏に聞く」／『現代の眼』594号

論文 「吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者」／『月刊水墨画』279号（ユーキャン、2012年6月）

論文 「吉川霊華展 究極の線を求めて」／『美術の窓』366号（生活の友社、2012年7月）

作品解説 「近代美術の眼 狩野芳崖《仁王捉鬼》」／『読売新聞』（都内版、2012年11月9日）

展覧会カタログ 「吉川霊華について」、章解説、作品目録、作品解説、年譜、参考文献／「吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者」

展覧会カタログ 作品解説／「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」展

展覧会カタログ コラム、作品解説、作家解説／「Arte In Giappone 1868-1945」(ローマ国立近代美術館、2013年2月)

◆中林和雄

論文 「山田正亮 life and work 制作ノートを中心に」／『東京国立近代美術館研究紀要』第17号

論文 「本館の企画展」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「60周年記念事業をふりかえって」／『現代の眼』598号

◆中村麗子

論文 「作品研究 川合玉堂《小松内府図》について」／『現代の眼』598号

作品解説「徳岡神泉」「小林古径」／『美術手帖』967号（美術出版社、2012年6月）

◆保坂健二郎

論文 「近代美術館における展示と建築」「建築展の変遷とその問題点」「『オルタナティヴ・スペース』としてのギャラリー4」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 展覧会予告「フランシス・ベーコン」／『現代の眼』597号

論文 連載「美術」／『すばる』（集英社、2012年4月～2013年3月）

論文 連載「視線」／『朝日新聞』（全国版、2012年4月22日、6月3日、7月8日、8月12日、9月16日、10月21日、12月2日、2013年1月13日、2月17日、3月24日）

論文 「The Possibilities of Japanese Art Brut」／『Art Brut from Japan』（Het Dolhuys、2012年4月）

論文 「勇敢と格好悪さのはざままで フロネーシスを持つデザイナーとしての中島英樹」／『DAIWA PRESS VIEWING ROOM 13 HIDEKI NAKAJIMA』（Daiwa Press、2012年5月）

論文 「アートインスパイアデザイン」／『倉俣史朗読本』（エクスナレッジ、2012年7月）

論文 「なぜスーパー・ワールド・オン・ペーパーなのか」／『スーパー・ワールド・オン・ペーパー 古久保憲満と松本寛庸』（ボーダレス・アートミュー

ジラムNOMA、2012年8月)

論文 「時評 建築(展)と美術館のこれからの“感じ”」／『凶区』(BOOK PEAK、2012年9月)

論文 「建築家とキュレーターの新しい関係」／『山下保博×アトリエ・天工人』展覧会レポート』(TOTOギャラリー・間ウェブサイト、2012年10月)

論文 「アール・ブリュットとはなにか」／『手をつなぐ』(全日本手をつなぐ育成会、2012年10月)

論文 「なぜヴァレリオ・オルジャティは「建築」に立ち向かえるのか? : カール・バルトの神学を手掛かりに」／『a+u』(新建築社、2012年12月)

論文 「A propos des cartes de Robert Coutelas」(翻訳:岸真理子・モリア)／『Les monde de Robert Coutelas 1930-1985 : La collection Jeanne Matossian』(Musée des beaux-arts de Chartres、2012年12月)

論文 「東京ブロック 再生・ボーダレス・初」／『ZENBI』vol.3 (全国美術館会議、2013年1月)

論文 「ポコラートと日本のアート」／『アール・ブリュット? アウトサイダー・アート? ポコラート! 福祉×表現×美術×魂』(3331 Arts Chiyoda、2013年1月)

論文 連載「月評」／『新建築』(新建築社、2013年1月、3月)

論文 「戦略家としてのフランシス・ベーコン」、解説、鼎談／『美術手帖』980号(美術出版社、2013年3月)

作品解説 「近代美術の眼 恩地孝四郎あるヴァイオリニストの印象(諏訪根自子像)」／『読売新聞』(都内版、2012年6月15日)

展覧会カタログ 「フランシス・ベーコンについての断章、いくつか」、章解説、作品解説、年譜、アンソロジー(編集・翻訳)／「フランシス・ベーコン展」

発表 聞き手「アーティスト・トーク」／「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう」展(会場: gallery α M、2012年4月14日、5月26日、6月30日、8月18日、9月21日、10月27日、12月1日、2013年1月20日、2月13日)

発表 公開鼎談「いま、絵画を語るために」／「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう」展(会場: gallery α M 2012年6月12日)

発表 公開鼎談「徹底討論 絵画は本当に愛なのか」／「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう」展(会場: gallery α M、2012年7月25日)

発表 公開鼎談「クロージング・トーク 『エモーショナル&エンピリカル・ドローイング』」／「ドローイング・レッスンズ」展(会場: 京都造形芸術大学ギャラリー・オーヴ、2012年10月19日)

発表 公開対談「映画『DUBHOUSE: 物質試行52』について」／「特集上映 七里圭」(会場: 新宿K's cinema、2012年11月12日)

発表 公開鼎談「なにが人を魅了するのか アールブリュット作品のなぞ」 「第12回全国障害者芸術・文化祭さが大会」(会場: 佐賀市文化会館、2012年11月23日)

発表 「日本におけるアウトサイダー・アート」／NPO法人アーツイニシアティブ東京(会場: AIT代官山、2012年12月10日)

発表 公開対談「日本のアール・ブリュットについて語ろう」／「日本のアール・ブリュットについて語ろう 私たちが考えるこれからのアート」展(会場: みずのき美術館、2012年12月22日)

発表 「日本のアール・ブリュットの現在とこれから」／薬工ミュージアム(会場: アートゾーン薬工倉庫、2012年12月23日)

発表 公開鼎談「ポコラートで福祉と美術を考える」／「ポコラート全国公募展 vol.3」(会場：アーツ千代田3331、2013年1月14日)

発表 公開鼎談「絵画TV」／「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう」展(会場：gallery α M、2013年1月27日)

発表 公開鼎談「クロージング・トーク」／「絵画、それを愛と呼ぶことにしよう」展(会場：gallery α M、2013年2月2日)

発表 モデレーター「シンポジウム アール・ブリュットの魅力とネットワーク」／「アメニティーネットワークフォーラム17」(会場：大津プリンスホテルコンベンションホール淡海、2013年2月10日)

発表 「フランシス・ベーコンナイト ベーコンを深く理解するための講座」／6次元(会場：6次元、2013年3月9日)

発表 公開鼎談「今、「アート」ではないアートが熱い！？」／アートフェア東京(会場：東京国際フォーラム、2013年3月13日)

発表 特別講義「失敗から考えるアート」／「ANTE TUMOR」展(会場：アーツ千代田3331、2013年3月26日)

◆細谷美宇

論文 「MOMATコレクション こどもセルフガイド」／『教育美術』(教育美術振興会、2012年11月)

論文 「国立美術館 アートカード・セット」／『教育美術』(教育美術振興会、2012年11月)

◆梶田倫広

論文 「六〇周年記念特別展『美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年』によせて」／『現代の眼』596号

論文 「装置としての作品—高松次郎の《点》／《紐》シリーズ再考」／『Jiro Takamatsu Critical Archive』(ユミコチバアソシエイツ、2012年6月)

論文 「政治の絵画から絵画の政治へ—中村宏の場合」／「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展 論文集『実験場1950s』

論文 「イラストレーションならざる絵画とは？」、解説、鼎談(特集フランシス・ベーコン)／『美術手帖』980号(美術出版社、2013年3月)

作品解説 「近代美術の眼 石井茂雄《戒厳状態》」／『読売新聞』(都内版、2012年12月14日)

作品解説 「近代美術の眼 瑛九《青の中の丸》」／『読売新聞』(都内版、2013年2月8日)

展覧会カタログ 「うわさのベーコン—日本におけるフランシス・ベーコン受容の歴史のためのノート」、作品解説／「フランシス・ベーコン展」

◆増田玲

論文 展覧会予告「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」展／『現代の眼』593号

論文 「平成23年度の新収蔵作品(美術作品)について」／『現代の眼』596号

論文 「本館の写真コレクション」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「Tōhokuについて」／Hans-Christian Schink 『Tōhoku』(Hatje Cantz、2013年3月)

作品解説 「近代美術の眼 伊藤義彦《imagery 72 8500007》」／『読売新聞』

(都内版、2012年7月13日)

作品解説 「近代美術の眼 植田正治《パパとママと子供たち》」／『読売新聞』(都内版、2012年10月12日)

展覧会カタログ 「世界に出会う持続的な営為」、「インタビュー」／「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」展

展覧会カタログ 「道を横から撮る—北井一夫の写真について」／「北井一夫いつか見た風景」展(東京都写真美術館、2012年11月)

展覧会カタログ 「発見され続ける植物写真群—カール・ブロースフェルトの写真について」／「カール・ブロースフェルト展」(Fuji Xerox Art Space、2013年1月)

◆松本透

論文 「東京国立近代美術館の60年」／「カタログの学術性—『マチス展』のことなど」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「東京国立近代美術館60周年記念シンポジウム 近代美術館の誕生—前史から未来へ」／『現代の眼』598号

論文 「独立行政法人国立美術館による文化財レスキュー活動」／『東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会 平成23年度活動報告書』(東北太平洋沖地震被災文化財等救援委員会事務局、2012年10月)

論文 「物質と空間——鈴木久雄と多和圭三の彫刻」／『武蔵野美術大学共同研究 日本現代彫刻における素材・技法の制作的・理論的研究』(武蔵野美術大学共通彫塑研究室、2013年3月)

展覧会カタログ 「時代はめぐる—東京国立近代美術館の60年」／「美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年」

展覧会カタログ 「日本の同時代美術 1970年代以後—その歴史性について」、作家解説(村岡三郎、河川龍夫、伊藤隆介)／「Re: Quest—1970年代以降の日本現代美術」展(国際交流基金、2013年2月)

展覧会カタログ 「審査講評」／「損保ジャパン美術賞展FACE 2013」展(損保ジャパン東郷青児美術館、2013年2月)

発表 シンポジウム「彫刻の領域 素材とわざ」／中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館(会場: 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー、2012年6月3日)

発表 「Growing Communication in Asian Art Museums in the New Century」／Asian Art Museum Directors' Forum 2012 (会場: Bangladesh Shilpakala Academy、2012年12月19日)

発表 「Re:Quest — Japanese Contemporary Art since the 1970s」(Museum of Art, Seoul National University、2013年3月6日)

◆水谷長志

論文 「本館の情報資料事業」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「二冊の六〇周年記念刊行物—『60年史』と『美術館たちの証言—東京国立近代美術館ニュース『現代の眼』選集』について」／『現代の眼』597号

論文 「メディア連携を企図する館史としての『東京国立近代美術館60年史』—「美術館の歴史を一冊の参考図書とする」試み再論」／『アート・ドキュメンテーション通信』96号(アート・ドキュメンテーション学会、2013年1月)

論文 「Art Libraries and art documentation in Japan, 1986-2012: progress in networking in museums, libraries and archives and the ALC: Art Libraries' Consortium」／『Art

Libraries Journal』vol.38, no.2 (ARLIS/UK & Ireland、2013年3月)

論文 「話題提供 アート・ミュージアムからの課題の提起」／『地域に生きるミュージアム』(現代企画室、2013年3月)

編著 『美術家たちの証言—東京国立近代美術館ニュース『現代の眼』選集』(美術出版社、2012年10月)

編著 『東京国立近代美術館60年史』

◆三輪健仁

論文 「60周年記念企画—夏期休館中の催しについて」／『現代の眼』594号

論文 「『ビデオを待ちながら：映像、60年代から今日へ』展について」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 書評『『パウル・クレー 造形の宇宙』(著 前田富士男)』／『美術の窓』352号(生活の友社、2013年1月)

論文 「神村恵」(『この劇団がすごい！2013』)／『ユリイカ』622号(青土社、2013年1月)

発表 「『14の夕べ』について」／東京藝術大学映像研究科主催「現代芸術論」(会場：東京藝術大学、2012年11月28日)

◆渡邊美喜

論文 「画家とアーカイブズの関係についての覚え書き パウル・クレーを事例として」／『GCAS Report』Vol.2 (学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻、2013年2月)

翻訳 キム・エバーハード、ステイーブ・ステファノプロス「第16章 図面、写真、モノ資料」／オーストラリア・アーキビスト協会『キーピング・アーカイブズ』(勉誠出版ウェブサイト連載第17回～第24回、2012年7月～10月)

2 工芸館

◆今井陽子

論文 京都の染織／美しいキモノ(ハースト婦人画報社、2012年8月)

論文 工芸館の教育普及事業／『東京国立近代美術館60年史』

論文 展覧会予告「所蔵作品展 こども工芸館/おとな工芸館 植物図鑑」／『現代の眼』594号

作品解説 ／L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory (sillabe s.r.l.、2012年4月)

セルフガイド おとな工芸館「植物図鑑」／植物図鑑展(一般対象)

セルフガイド こども工芸館「植物図鑑」／植物図鑑展(児童対象)

◆唐澤昌宏

論文 「平成23年度の新収蔵作品(工芸作品)について」／『現代の眼』594号

論文 「工芸館の企画展」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 展覧会記事／『陶説』(日本陶磁協会、2012年4月～2013年3月)

論文 講演録「Kogeiとクラフト その1」／『Creft Design』vol.10 (日本デザインクラフト協会、2012年8月)

論文 講演録「Kogeiとクラフト その2」／『Creft Design』vol.11 (日本デザイ

ンクラフト協会、2012年12月)

展覧会カタログ 「茶事にまつわる“うつわ”—陶を中心に—「茶碗」「茶器」「水指」「花器」「釜・香合」「見立て」／『茶事にまつわる“うつわ”—陶を中心に—』展リーフレット(益子陶芸美術館、2012年6月)

展覧会カタログ 「第52回東日本伝統工芸展 鑑査・審査講評」／『第52回東日本伝統工芸展』カタログ(日本工芸会 東日本支部、2012年4月)

展覧会カタログ 「酒井博司の「志野」—荒川豊蔵からの系譜をたどって」／『酒井博司展』カタログ(多治見市文化工房ギャラリーヴォイス、2012年10月)

展覧会カタログ 「「陶でつづる 滝口和男の徒然草」と『作品集』の発行に寄せて」／『陶でつづる 滝口和男の徒然草』展カタログ(ギャラリー栄光舎、2012年12月)

展覧会カタログ 「審査講評」／『第52回日本クラフト展』カタログ(日本クラフトデザイン協会、2012年12月)

展覧会カタログ 「新たな美を目指す北岡省三の「彫漆」」／『北岡省三漆芸展』カタログ(三越伊勢丹、2013年2月)

作品解説 Miyagawa Kozan I, Seifu Yohei III, Kinkozan Sobei VII, Itaya Hazan, Kiyomizu Rokuwa, Kitaoji Rosanjin, Arakawa Toyozo, Miwa Jusei, Suzuki Osamu, Kuriki Tatsusuke / L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory (sillabe s.r.l., 2012年4月)

発表 「ゲッリーノ・トラモンティの創作活動について」／「イタリア・ファエンツァが育んだ色の魔術師—ゲッリーノ・トラモンティ展」(会場:西宮市大谷記念美術館、2012年4月7日)

発表 「ゲッリーノ・トラモンティの創作活動について」／「イタリア・ファエンツァが育んだ色の魔術師—ゲッリーノ・トラモンティ展」(会場:瀬戸市美術館、2012年6月16日)

発表 対談「現代と志野」／「酒井博司展」(会場:多治見市文化工房ギャラリーヴォイス、2012年10月7日)

発表 「日根野作三の仕事」／「愛知県陶磁器試験場設立70周年記念 日根野作三と陶磁器試験場のモダンデザイン展」(会場:高浜市やきものの里 かわら美術館、2013年1月14日)

◆木田拓也

論文 『越境する日本人——工芸家が夢みたアジア1910s - 1945』展に寄せて／『陶説』第711号、2012年6月

論文 『无型』の誕生:新興工芸運動の旗手たち(1)／『叢書・近代日本のデザイン44』ゆまに書房、2012年7月

論文 『无型』の誕生:新興工芸運動の旗手たち(2)／『叢書・近代日本のデザイン45』ゆまに書房、2012年7月

論文 実在工芸美術会:『用即美』／『叢書・近代日本のデザイン46』ゆまに書房、2012年7月

論文 『工人社』のあゆみ／『叢書・近代日本のデザイン46』ゆまに書房、2012年7月

論文 Japanese Crafts and Cultural Exchange with the USA in the 1950s: Soft Power and John D. Rockefeller III during the Cold War / *Journal of Design History*, Vol. 25, No. 4, October 2012, Oxford University Press

論文 工芸館のデザインコレクション／『東京国立近代美術館60年史』(東京国立近代美術館、2012年12月)

論文 アメリカ西海岸の明治工芸コレクション調査報告／『明治期に海外流出した近代工芸作品の調査』（研究成果報告書、東京国立近代美術館、2013年3月）

論文 ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン1956-2008:工芸／CRAFTの行方／『東京国立近代美術館研究紀要』第17号（東京国立近代美術館、2013年3月）

論文 大河内正敏と奥田誠一 陶磁器研究会／彩壺会／東洋陶磁研究所——大正期を中心に——『東洋陶磁』第42号、東洋陶磁学会、2013年3月

作品解説／L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory（sillabe s.r.l.、2012年4月）

展覧会カタログ 工芸家が夢みたアジア:工芸の「アジア主義」／『越境する日本人:工芸家が夢みたアジア1910s-1945』（東京国立近代美術館、2012年4月）

展覧会カタログ ポーラ美術館の近代陶芸コレクション:伝統の技と美／『コレクター鈴木常司:美へのまなざし ポーラ美術館開館10周年記念』ポーラ美術館、2012年7月

展覧会カタログ 東京オリンピック1964 そのデザインワークにおける「日本的なもの」／『東京オリンピック1964 デザインプロジェクト』（東京国立近代美術館、2013年2月）

発表 大陸に渡った工芸家:近代日本の工芸家にとっての『アジア的なもの』／『国際シンポジウム オリエンタル・モダニティ 東アジアのデザイン史1920-1990（Oriental Modernity: East Asian Design History 1920-1990）』（会場:東京国立近代美術館、2012年7月14日）

発表 “Japanese-ness” in the Design Works for the Tokyo Olympics: Design Project 1964／AIGA design educators conference（会場:University of Hawaii at Manoa, 15 December 2012）

発表 東京オリンピック1964 デザインプロジェクト／デザイン史学会（会場:埼玉大学、2013年3月9日）

◆北村仁美

論文 松田権六「優品之調査」／『東京国立近代美術館研究紀要』第17号

論文 「寿ぎ」のうつわ展解題／『現代の眼』598号

論文 工芸館の図書収集及び公開／『東京国立近代美術館60年史』

作品解説 Mori Masahiro, Komatsu Makoto, Kuroda Taizo, Fukami Sueharu, Raku Kichizaemon XV, Nakashima Harumi, Yagi Akira, Tomita Kohichi, Akatsuka Jitoku, Takano Shozan, Matsuda Gonroku, Fujita Kyohei, Ishida Wataru／L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory（sillabe s.r.l.、2012年4月）

発表 工芸館所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」—松田権六《蒔絵竹林文箱》（1965年）を中心に／所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」-工芸館の漆工コレクションより」展講演会（会場:東京国立近代美術館講堂、2013年1月12日）

◆齊藤佳代

論文 「鑑賞行為の媒介—セルフガイドの考察」／『現代の眼』597号

論文 「森口華弘の華 着物に咲くデザイン」／『現代の眼』598号

展覧会カタログ 作家解説、作家略歴／「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」展

セルフガイド おとな工芸館「植物図鑑」／植物図鑑展（一般対象）

セルフガイド こども工芸館「植物図鑑」／植物図鑑展（児童対象）

解説、問題作成、コラム／『美術検定2級練習問題2011』

解説、問題作成、コラム／『美術検定3級・4級練習問題2011』

◆内藤裕子

論文 展覧会予告「所蔵作品展 花咲く工芸」展／『現代の眼』598号

展覧会カタログ 「満州国宮殿の室内装飾」「吉田初三郎の鳥瞰図」／「越境する日本人：工芸家が夢見たアジア 1910s-1945」展

作品解説 Kimura Yoshiro, Morino Hiroaki, Nakamura Kimpei, Suzuki Osamu, Yagi Kazuo, Yanagihara Mutsuo / L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory (syllables.r.l., 2012年4月)

◆諸山正則

論文 展覧会予告「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」／『現代の眼』595号

論文 「Japanese Art Crafts—From Modern to Contemporary」／L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory (sillabe s.r.l., 2012年4月)

論文 「工芸館のコレクションと所蔵作品展」／『東京国立近代美術館60年史』

論文 「フィレンツェ「近現代工芸の精華」展」／『月刊 文化財』590号（2012年11月）

論文 「バーナード・リーチと日本 山陰・山陽におけるその足跡」／『碧い風』77号（中国電力株式会社、2013年2月）

作品解説 / L'eleganza Della Memoria The Elegance of Memory (sillabe s.r.l., 2012年4月)

展覧会カタログ 「バーナード・リーチと日本—個人作家の使命—」／「バーナード・リーチ」展（朝日新聞社、2012年8月）

展覧会カタログ 現代工芸を担う11人／「現代の座標—工芸をめぐる11の思考—」展

1 普及活動 Educational Activities

1-1 資料の収集及び図書室の公開 Art Libraries and Other Reference Materials

[本館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	346	872	9	1,227	28,460
洋図書	52	893	15	960	12,355
国内展覧会カタログ	15	1,822	11	1,848	52,742
国外展覧会カタログ	73	1,196	5	1,274	30,810
計	486	4,783	40	5,309	124,367

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	112	3,567
洋雑誌	—	—	—	31	1,029

注)雑誌はタイトル数を計上

②アートライブラリ(本館2階)公開活動

開室日数	214日
公開資料件数	8,193件
入室者数	2,113人
公開請求件数	1,401件

[工芸館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	40	201	10	251	7,600
洋図書	14	29	0	43	1,082
国内展覧会カタログ	7	501	9	517	12,611
国外展覧会カタログ	4	72	0	76	1,595
計	65	803	19	887	22,888

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	36	1,152
洋雑誌	--	--	--	3	119

注) 1. 雑誌はタイトル数を計上

②図書閲覧室(工芸館1階)公開活動

開室日数	175日
公開資料件数	744件
入室者数	251人
公開請求件数	166件

1-2 児童生徒を対象とした事業

1-2-1 本館

◆小・中・高等学校への授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成24年4月18日	千代田区立九段小学校	44人
平成24年4月24日	江戸川区立清新第一小学校	117人
平成24年6月5日	昭和女子大学付属昭和小学校	103人
平成24年6月7日	墨田区立両国小学校	87人
平成24年6月8日	文京区立本郷小学校	77人
平成24年7月3日	荒川区立第一日暮里小学校	25人
平成24年11月7日	港区立港陽小学校	60人
平成25年2月14日	中野区立新山小学校	26人
平成25年2月21日	東京都市大学付属小学校	80人
平成25年2月22日	品川区立清水台小学校	13人
平成25年3月8日	墨田区立両国小学校	99人
平成24年5月29日	岡崎市立竜南中学校	5人
平成24年7月11日	修徳中学校	154人
平成24年7月25日	横浜市立東永谷中学校 美術部	28人
平成24年7月29日	千代田区立神田一橋中学校通信教育課程	12人
平成24年10月19日	文京区立第十中学校	47人
平成24年10月31日	和洋九段女子中学校	183人
平成24年11月6日～14日	共立女子中学校	660人
平成24年2月1日	府中市立浅間中学校	7人
平成24年7月19日	国士館高等学校定時制課程3年生	15人
平成24年7月25日	日本大学豊山高等学校・中学校 美術部	15人
平成24年10月24日	高知県立岡豊高等学校	23人
平成24年11月21日	女子美術大学附属高等学校	191人
平成24年12月12日	群馬県立西邑楽高等学校	70人
平成25年2月2日	国士館高等学校定時制課程2年生	15人

◆学校教職員の研修会等への協力

平成24年11月21日 荒川区教員研修 美術部会 9人

◆学校教職員を対象とした研究会

「開館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」先生のための鑑賞講座

【講演】

日時：平成24年10月28日 13時00分～14時30分 聴講者数：32人

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)、平野康夫(文京区立第十中学校教諭)、細谷美宇(企画課研究補佐員)

【特別観覧日】

日時：平成24年10月26日～10月28日 観覧者数：93人

「フランシス・ベーコン展」先生のための鑑賞講座

【講演】

日時：平成25年3月17日 13時00分～14時00分 聴講者数：29人

講師：保坂健二郎(美術課主任研究員)

【特別観覧日】

日時：平成24年25年3月16日、3月17日 観覧者数:39人

◆小・中学生向けプログラム

リニューアル休館のため開催せず

◆MOMATコレクションセルフガイド

小・中学生を対象として、所蔵作品展に関連したこどもセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

◆「開館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」ジュニア・セルフガイド

小学5年生～中学3年生を対象として、開館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」に関連しセルフガイドを作成し、来館した小・中学生に配布した。

◆「東京国立近代美術館のスクール・プログラム」

主に教員を対象として、学校対象のプログラム(ギャラリートーク受け入れ、セルフガイド、アートカード、トークラリー、教員研修)紹介冊子を作成し、年間カレンダーとともに学校等へ送付した。

◆KIDS★MOMAT2012

夏休み企画として、工芸館・フィルムセンターの子ども向けプログラム情報を集約したチラシを作成し、都内近県の小・中学校の協力を得て配布し、ホームページに掲載した。(本館は休館情報のみ)

◆小・中・高等学校の授業等への協力(ギャラリートークやタッチ&トーク、ガイダンス等を伴う受入)

平成24年6月22日	東京都立大江戸高校	12人
平成24年6月29日	花見堂小学校	64人
平成24年7月11日	修徳中学校	165人
平成24年7月26日	大田区立徳持小学校	14人
平成24年7月28日	大田区立久原小学校	20人
平成24年8月18日	町田市立つくし野中学校	32人
平成24年7月～8月(夏季休業期間中)	九段中等教育学校	120人
平成24年8月21日	千代田区立千代田小図工部	11人
平成24年10月29日	小金井市立前原小学校	120人
平成24年11月6日	東京コミュニティースクール	21人
平成24年12月17日	文京区立本郷小学校4年	67人
平成24年12月18日	文京区立柳原小学校6年	47人

◆学校教職員の研修会等への協力

平成24年8月23日	品川区図工教員	18人
平成24年8月24日	小金井市図工教員	8人
平成25年2月23日	東京私学研究所	10人

◆学校教職員を対象とした研究会

「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」展 教職員のための鑑賞講座

平成24年6月9日 22人

講師:齊藤佳代(工芸課研究補佐員)

◆小・中学生向けプログラム

「ワークショップ」(対象:小学4年生～中学3年生)

平成24年8月12日 14人

平成24年8月13日 15人

◆未就学児から小学生向けプログラム

「こどもタッチ&トーク」(対象:3歳～小学3年生)

平成24年8月5日 15名

平成24年8月6日 15名

平成24年8月7日 15名

◆こどもセルフガイド／おとなセルフガイド

平成24年7月22日～9月2日

配布対象:小学生以下(こどもセルフガイド)、中学生以上(おとなセルフガイド)

鑑賞のヒントや作品情報を成長段階に対応した2種類のセルフガイドを作成、配布した。2種ともに同一の作品を取り上げたことにより、『おとなセルフガイド』は小学生以下を対象とする指導案としても活用することを目的とした。

<企画展>

◆「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」展スライドショーとトーク

日時：平成24年6月16日 14時00分～16時00分

講師：有元伸也、本山周平、中村綾緒(出品作家)

聴講者数：116人

日時：平成24年7月21日 14時00分～15時45分

講師：新井卓、村越としや(出品作家)

聴講者数：86人

◆「吉川霊華展」講演会

日時：平成24年7月7日 14時00分～15時30分

講師：笠嶋忠幸(出光美術館学芸課長代理)

聴講者数：136人

◆「吉川霊華展」ギャラリートーク

日時：平成24年6月23日 14時00分～15時00分

講師：鶴見香織(美術課主任研究員)

聴講者数：28人

日時：平成24年6月30日 14時00分～15時00分

講師：鶴見香織(美術課主任研究員)

聴講者数：55人

日時：平成24年7月6日 18時00分～19時00分

講師：鶴見香織(美術課主任研究員)

聴講者数：60人

◆「Concerto Museo/絵と音の対話」

「絵と音ー対話的手法」

日時：平成24年8月10日 19時00分～20時00分

出演：松平敬(声・バリトン)

聴講者数：370人

「アルマ・マラーの傍らで」

日時：平成24年8月11日 13時00分～15時00分

出演：金持亜実(ソプラノ)、岩田友里(メゾソプラノ)、斉藤雅昭(ピアノ)

聴講者数：450人

「抽象芸術の相即」

日時：平成24年8月12日 13時00分～15時00分

出演：渡邊辰紀(チェロ)

聴講者数：510人

◆「14の夕べ」

「東京デスロック リハビリテーション」

日時：平成24年8月26日 19時30分～ 21時00分

出演：東京デスロック(演劇)

聴講者数：約350人

「福永信／古川日出男／谷川俊太郎 朗読」

日時：平成24年8月27日 19時30分～ 21時10分

出演：福永信(小説家)、松本花奈、古川日出男(小説家)、谷川俊太郎(詩人)

聴講者数：約350人

「奥村雄樹 河原温の純粹意識あるいは多世界(と)解釈」

日時：平成24年8月28日 20時00分～ 20時40分

出演：同時通訳者9名

聴講者数：約300人

「No Collective Concertos No.4」

日時：平成24年8月29日 17時00分～ 21時00分

出演：中井悠(音楽)他、約40名

聴講者数：約250人

「手塚夏子 ただの「実験」がメディアになるのか?の実験」

日時：平成24年8月30日 19時00分～ 21時30分

出演：手塚夏子(ダンス)、他2名

聴講者数：約250人

「高嶋晋一 Half of Us」

日時：平成24年8月31日 20時00分～ 21時00分

出演：高嶋晋一(美術)、他2名

聴講者数：約300人

「小杉武久 Circuits」

日時：平成24年9月1日 20時00分～ 21時00分

出演：小杉武久(音楽)、他2名

聴講者数：約700人

「大友良英 one day ensembles INVISIBLE BORDERS」

日時：平成24年9月2日 17時00分～ 21時00分

出演：大友良英(音楽)、他約20名

聴講者数：約650人

「神村恵カンパニー 沈殿図」

日時：平成24年9月3日 20時00分～ 21時00分

出演：神村恵(ダンス)、他4名

聴講者数：約300人

「core of bells The pulverized callow feast」

日時：平成24年9月4日 20時30分～ 21時45分

出演：core of bells (音楽)

聴講者数：約250人

「小林耕平 タ・イ・ム・マ・シ・ン」

日時：平成24年9月5日 19時30分～21時30分

出演：小林耕平(美術)、他1名

聴講者数：約300人

「村川拓也 ツアイトゲーパー」

日時：平成24年9月6日 20時00分～21時00分

出演：村川拓也(演劇)、他1名

聴講者数：約300人

「橋本聡 偽名」

日時：平成24年9月7日 17時00分～22時00分

出演：橋本聡(美術)、他約16名

聴講者数：約350人

「一柳慧」

日時：平成24年9月8日 20時00分～20時50分

出演：一柳慧(音楽)、他2名

聴講者数：約900人

◆「夏の家」展講演会

「スタジオ・ムンバイと夏の家について」

日時：平成24年9月1日 14時00分～16時00分

講師：ビジョイ・ジェイン(出品作家)

聴講者数：111人

◆「夏の家」展ギャラリートークと上映会

ギャラリートーク：「夏の家について」

上映会：「あつめた光をそらにかえす」

日時：平成24年9月15日 18時00分～21時00分

講師：柴原聡子(企画課研究補佐員、本展企画者)、中村綾緒(写真家)

聴講者数：250人

◆「夏の家」展レクチャー

「動くー動く家、仮の家」

日時：平成24年9月22日 18時00分～20時00分

講師：坂口恭平(建築家など)、中谷礼仁(歴史工学科)、牧紀男(計画家)

聴講者数：152人

「考える一家の条件、人間の生きる場所の条件」

日時：平成24年9月28日 19時00分～21時00分

講師：塚本由晴(建築家)、藤森照信(建築史家)

司会：後藤治(建築史家)

聴講者数：202人

「つくるー建築の造り方」

日時：平成24年9月29日 18時00分～20時00分

講師：内田祥哉(建築家)、高橋誠一(建築家)

司会：戸田穠(建築史家)

聴講者数：120人

◆開館60周年記念プログラム「だれでもMOMAT」

日時：平成24年12月1日 10時00分～17時00分

入場者数：5175人

MOMATalk

実施回数：18回

参加者数：745人

ギャラリーツアー「MOMATコレクションができるまで」

実施回数：2回

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)

聴講者数：115人

アートカード・ワークショップ

実施回数：12回

参加者数：66人

MOMATコレクション缶バッジをつくろう！

終日実施

参加者数：1770人

MOMATパズル

終日実施

参加者数：100人程度(見積もり人数)

◆東京国立近代美術館60周年記念シンポジウム

「近代美術館の誕生ー前史から未来へ」

日時：平成24年12月1日 10時00分～17時00分

講師：木下直之(東京大学教授)、五十殿利治(筑波大学教授)、高橋裕次(東京国立博物館学芸企画部博物館情報課長)、水沢勉(神奈川県立近代美術館長)、島田紀夫(ブリヂストン美術館長)、蔵屋美香(東京国立近代美術館美術課長)

司会：松本透(東京国立近代美術館副館長)

聴講者数：117人

◆東京国立近代美術館60周年記念特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展国際シンポジウム

「戦後日本美術の新たな語り口を探るーニューヨークと東京、二つの近代美術館の展覧会を通して見えてくるもの」

日時：平成24年12月23日 13時00分～17時30分

講師：ドリュン・チョン(ニューヨーク近代美術館)、ガブリエル・リッター(ダラス美術館)、前山裕司(埼玉県立近代美術館)、林道郎(上智大学)、鈴木勝雄(美術課主任研究員)

聴講者数：145人

◆東京国立近代美術館60周年記念特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展映画上映会

「岩波映画と産業」

日時：平成25年1月13日 10時15分～12時00分

聴講者数：30人

「特集：羽仁進」

日時：平成25年1月13日 13時00分～15時30分

講師：羽仁進(映画監督)

聴講者数：95人

「実験映画の胎動」

日時：平成25年1月14日 10時00分～11時30分

聴講者数：70人

「勅使河原宏と安部公房」

日時：平成25年1月14日 13時00分～15時30分

聴講者数：100人

◆東京国立近代美術館60周年記念特別展「美術にぶるっ！ベストセレクション 日本近代美術の100年」展キュレーター・トーク

「戦時期の美術」

日時：平成24年10月19日 18時00分～19時00分

講師：大谷省吾(企画課主任研究員)

聴講者数：35人

「海外作品とMOMAT」

日時：平成24年10月26日 18時00分～19時00分

講師：中林和雄(企画課長)

聴講者数：29人

「1970年代の美術」

日時：平成24年11月2日 18時00分～19時00分

講師：松本透(副館長)

聴講者数：27人

「MOMATの写真コレクション」

日時：平成24年11月9日 18時00分～19時00分

講師：増田玲(美術課主任研究員)

聴講者数：27人

「MOMATの日本画より」

日時：平成24年11月16日 18時00分～19時00分

講師：鶴見香織(美術課主任研究員)

聴講者数：47人

「静物としての身体、ほか」

日時：平成24年12月7日 18時00分～19時00分

講師：榊田倫広(美術課研究員)

聴講者数：26人

「新しくなった『MOMATコレクション』について、建築の観点から」

日時：平成24年12月14日 18時00分～19時00分

講師：保坂健二郎(美術課主任研究員)

聴講者数：51人

「100年のからだ」

日時：平成25年1月4日 18時00分～19時00分

講師：蔵屋美香(美術課長)
聴講者数：67人

◆「フランシス・ベーコン」展講演会

日時：平成25年3月8日 18時00分～19時30分
講師：ペーター・ヴェルツ(出品映像アーティスト)
聴講者数：97人

「無秩序の中に秩序を見出すーフランシス・ベーコンのスタジオ」

日時：平成25年4月6日 14時00分～16時00分
講師：マルガリータ・カボック(ダブリン市立ヒュー・レーン美術館
コレクション統括)
聴講者数：100人

「ベーコンについて 初級」

日時：平成25年3月22日 18時30分～19時30分
講師：榊田倫広(美術課研究員、本展企画者)
聴講者数：150人

「ベーコンについて 初級」

日時：平成25年3月30日 14時00分～15時30分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：148人

「ベーコンについて 中級」

日時：平成25年4月5日 18時30分～19時30分
講師：榊田倫広(美術課研究員、本展企画者)
聴講者数：150人

「ベーコンについて 上級」

日時：平成25年4月13日 14時00分～15時30分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：150人

◆「フランシス・ベーコン」展映画上映会とミニレクチャー

「愛の悪魔」

日時：平成25年3月9日 14時00分～16時00分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：140人

「愛の悪魔」

日時：平成25年3月16日 14時00分～16時00分
講師：保坂健二郎(美術課主任研究員、本展企画者)
聴講者数：140人

◆「フランシス・ベーコン」展映像上映

「フランシス・ベーコン 出来事と偶然のための媒体(原題：BACON'S ARENA)」

日時：平成25年4月28日 14時00分～15時30分
聴講者数：150人

◆「フランシス・ベーコン」展演奏会

「アイリッシュハーブ・フルート演奏会～午後の調べ」

日時：平成25年5月11日 14時00分～15時30分

講師：菊地恵子(日本ハーブ協会 ノンペダル・ヒストリカル部門委員長)、
豊田耕三(アイリッシュユニットO'Jizo、Toyota Ceili Band、(e) Shuzo
Band主宰)

聴講者数：140人

◆「フランシス・ベーコン」展舞踏公演とミニレクチャー

「偏愛的肉体論」

日時：平成25年5月18日 13時00分～15時30分

振付・演出：和栗由紀夫(舞踏家)

出演：和栗由紀夫、十亀修之介、江角由加、矢萩もえみ、崎山莉奈

講師：森下隆(慶應義塾大学アート・センター)

聴講者数：140人

<所蔵作品展>

◆キュレーター・トーク

「明治・大正の風景表現の諸相」

日時：平成24年7月20日 18時00分～19時00分

担当研究員：中村麗子(企画課主任研究員)

聴講者数：10人

「見えるものと見えざるもの」

日時：平成25年3月9日 11時00分～12時00分

担当研究員：都築千重子(美術課主任研究員)

聴講者数：25人

「ステップ(step)について」

日時：平成25年4月19日 18時00分～19時00分

担当研究員：三輪健仁(企画課主任研究員)

聴講者数：15人

◆研究員による所蔵品ガイド

日時：平成24年5月12日 14時00分～15時00分

講師：保坂健二郎(美術課主任研究員)

聴講者数：42人

「機械と運動ーモダニティーの諸相」

日時：平成25年1月26日 14時00分～15時00分

講師：鈴木勝雄(美術課主任研究員)

聴講者数：38人

◆「原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの」展
ギャラリートーク

日時：平成24年4月15日 15時00分～16時00分

講師：小西啓介(グラフィックデザイナー)

聴講者数：49人

※「原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの」展
は平成23年度事業

◆「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア1910s-1945」展連続講座

日時：平成24年5月13日 14時00分～15時00分

講師：木田拓也(工芸課主任研究員)

聴講者数：30人

日時：平成24年5月20日 14時00分～15時00分

講師：横溝廣子(東京芸術大学大学美術館准教授)

聴講者数：20人

日時：平成24年5月27日 14時00分～15時00分

講師：川島公之(繭山龍泉堂)

聴講者数：32人

日時：平成24年6月3日 14時00分～15時00分

講師：木谷清人(鳥取民芸美術館常務理事)

聴講者数：39人

日時：平成24年6月10日 14時00分～15時00分

講師：鄭銀珍(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員)

聴講者数：61人

日時：平成24年6月17日 14時00分～15時00分

講師：服部文孝(瀬戸市美術館館長)

聴講者数：32人

日時：平成24年6月24日 14時00分～15時00分

講師：内藤裕子(工芸課客員研究員)

聴講者数：34人

◆「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア1910s-1945」展シンポジウム
「オリエンタル・モダニティ：東アジアのデザイン史 1920-1990」

日時：平成24年7月14日 14時00分～17時00分

場所：東京国立近代美術館(本館) 地下1階 講堂

主催：東京国立近代美術館、埼玉大学、デザイン史学研究会

基調講演：樋田豊郎(秋田公立美術短期大学学長)

パネルディスカッション：

菊池裕子(ロンドン芸術大学准教授)、リン・ウェッシー(ロンドン芸術大学
講師)、リー・ユナ(ブライトン大学講師)、菅靖子(津田塾大学准教授)、木
田拓也(工芸課主任研究員)

聴講者数：118人

◆「現代の座標－工芸をめぐる11の思考」展アーティストトーク

日時：平成24年9月23日 14時00分～15時00分

講師：森口邦彦(染色作家)

聴講者数：48人

日時：平成24年10月14日 14時00分～15時00分

講師：畠山耕治(金工作家)

聴講者数：45人

◆「現代の座標－工芸をめぐる11の思考」展ギャラリートーク

日時：平成24年9月30日 14時00分～15時00分

講師：諸山正則(工芸課主任研究員)

聴講者数：22人

日時：平成24年11月11日 14時00分～15時00分

講師：齊藤佳代(工芸課研究補佐員)

聴講者数：23人

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展ギャラリートーク

日時：平成25年2月24日 15時00分～16時00分

講師：木田拓也(工芸課主任研究員)

聴講者数：17人

◆「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展ギャラリートーク

日時：平成25年3月17日 15時00分～16時00分

講師：寺本美奈子(印刷博物館学芸員)

聴講者数：12人

◆所蔵作品展「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」ギャラリートーク

日時：平成24年7月29日 14時00分～15時00分

講師：今井陽子(工芸課主任研究員)

聴講者数：30人

日時：平成24年7月29日 14時00分～15時00分

講師：齊藤佳代(工芸課研究補佐員)

聴講者数：16人

◆所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」－工芸館の漆工コレクションより」アーティストトーク

日時：平成24年12月23日 14時00分～15時00分

講師：小森邦衛(漆芸家)

聴講者数：85人

日時：平成25年1月27日 14時00分～15時00分

講師：並木恒延(漆芸家)

聴講者数：87人

◆所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」－工芸館の漆工コレクションより」ギャラ

リートーク

日時：平成25年2月10日 14時00分～ 15時00分

講師：北村仁美(工芸課主任研究員)

聴講者数：48人

◆所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」―工芸館の漆工コレクションより」講演会

日時：平成25年1月12日 10時30分～ 12時00分

講師：室瀬和美(漆芸家)

横溝廣子(東京芸術大学大学美術館准教授)

北村仁美(工芸課主任研究員)

聴講者数：146人

◆所蔵作品展「花咲く工芸」ギャラリートーク

日時：平成25年2月24日 14時00分～ 15時00分

講師：内藤裕子(工芸課客員研究員)

聴講者数：29人

日時：平成25年3月17日 14時00分～ 15時00分

講師：諸山正則(工芸課主任研究員)

聴講者数：31人

1-4 大学等との連携

1-4-1 本館

◆インターンシップ

参加者数：7名

研修内容：コレクション・企画展・美術館教育・図書資料の4分野における基本的な日常業務の補助、および研修者の目的に沿った個別事業への参加。

◆大学の授業等への協力（ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入）

平成24年4月21日	武蔵大学	15人
平成24年6月22日	お茶の水美術専門学校	18人
平成24年6月24日	女子美術大学短期大学部	10人
平成24年6月29日	早稲田大学教育学部	23人
平成24年6月30日	埼玉大学教育学部	11人
平成24年6月30日	学習院大学文学部哲学科	5人
平成24年10月4日	帝京科学大学	19人
平成24年10月21日	実践女子大学	34人
平成24年11月17日	昭和女子大学	30人
平成24年11月27日	東京造形大学	20人

◆生涯学習施設等への協力

平成24年6月15日	習志野台公民館	25人
平成24年10月30日	平山郁夫シルクロード美術館	30人
平成24年11月10日	絵画教室 下落合アトリエ	39人
平成24年11月20日	日独セミナー派遣者	7人
平成24年12月13日	フランス語婦人会	20人
平成25年3月15日	世田谷美術館友の会	28人
平成25年3月28日	立川市地域文化振興財団	45人

1-4-2 工芸館

◆インターンシップ

参加者数：4人

研修内容：展覧会の準備（カタログ執筆・展示撤収作業含む）、作品貸借立会、所蔵作品の状態管理、広報・普及活動等、学芸業務全般の補助

◆博物館実習

受入期間：平成24年8月7日～8月12日(5日間)

開催場所：工芸館

参加者数：2名

担当した研究員数:5名

実習内容：業務の状況や工芸作品について学とともに、作品・資料の取り扱いを実習した。

◆大学の授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

平成24年7月23日 東京家政大学 32人

平成24年11月20日 多摩美術大学 8人

平成24年12月21日 東京藝術大学 16人

平成25年1月19日 パーソンズアートスクール 9人

◆生涯学習施設等への協力

平成24年7月13日 東京女子大学同窓会 30人

平成24年7月23日 「MOVIE+TOUCH&TALK」(ポーラ伝統文化振興財団との共催イベント) 50人

平成24年8月28日 世田谷区親子読書会 39人

平成24年11月20日 日本博物館協会エデュケーター研修 12人

平成25年3月13日 葛飾区柴又北野町会 45人

平成25年3月18日 銀座もとじ染織研究会 42人

「MOMATガイドスタッフによる所蔵品ガイド」は、本館のリニューアル工事休館にあわせ、2ヶ月半休止した。フォローアップ研修では、9月に奥村高明氏(聖徳大学教授)より「テート・モダンの鑑賞ハンドブックと子どもの鑑賞」、1月に本間美里氏(大田区立矢口小学校教諭)より「ギャラリートーク分析について」をテーマに講演をいただき、教育的側面から鑑賞活動への理解を深めた。開館60周年記念プログラム「だれでもMOMAT」では、日頃の活動での経験を生かし、MOMATガイドスタッフが、「MOMATALK」「アートカード・ワークショップ」「MOMATパズル」の3つのプログラムを担当した。

ボランティアの登録人数 42人

◆MOMATガイドスタッフによる所蔵作品ガイド

平成24年5月12日～7月29日	67回／ 594人
平成24年10月16日～平成25年1月14日	72回／ 2,060人
平成25年1月24日～5月26日	109回／ 969人

◆ハイライト・ツアー

平成24年4月1日	24人
平成24年6月3日	30人
平成24年7月1日	23人
平成25年2月3日	27人
平成25年3月3日	36人

技術の向上を目的として、登録中のガイドスタッフ各人対象に、ガイド内容の現状確認とディスカッションを個別に行った。また毎月実施しているフォローアップ研修では、ガイドの現況を元に、より充実した工芸鑑賞の体験を来館者に提供できるよう、ディスカッションと実地研修を重ねた。

ボランティアの登録人数 32人

◆タッチ&トーク

「織を極める 人間国宝 北村武資」展

4回／180人

「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア1910s-1945」展

24回／205人

所蔵作品展「こども工芸館／おとな工芸館 植物図鑑」

12回／157人

「現代の座標—工芸をめぐる11の思考」展

23回／238人

所蔵作品展「寿ぎの「うつわ」-工芸館の漆工コレクションより」

16回／216人

所蔵作品展「花咲く工芸」

12回／127人

小・中学校の教員、美術館の学芸員、教育委員会の指導主事が一堂に会し、美術の鑑賞力を高めるための講演、ギャラリートーク分析、グループワーク及び発表、ワールドカフェ（全体討論）、アートカード・ワークショップ等が行われた。なお、昨年に引き続いて「平成24年度教員免許状更新講習」を実施した。

主 催：独立行政法人国立美術館

共 催：文部科学省

会 場：国立西洋美術館、東京国立近代美術館

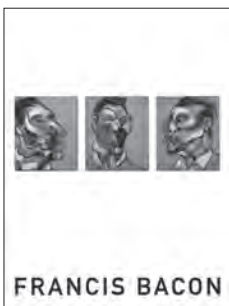
日 時：平成24年7月30日(月)～7月31日(火)

参加者数：100名

(小学校教諭28名、中学校教諭33名、指導主事8名、学芸員31名)

教員免許状更新講習：受講者13名

修了者13名



2 刊行物 Publications

2-1 企画展覧会カタログ

2-1-1 本館

写真の現在4 そのときの光、そのさきの風

24×18cm

151p

編著者：増田玲, 中村麗子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.6

古川霊華展 近代にうまれた線の探究者

26×19cm

223p

編著者：鶴見香織, 大谷省吾

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.6

東京国立近代美術館60周年記念特別展 美術にぶるっ！

ベストセレクション 日本近代美術の100年

29×23cm

251p

編著者：松本透, 鈴木勝雄, 榎田倫広, 蔵屋美香, 鶴見香織, 大谷省吾

出版者：NHK, NHKプロモーション

出版年：©2012

フランシス・ベーコン展

30×23cm

187p

編著者：東京国立近代美術館, 豊田市美術館, 日本経済新聞社文化事業部

出版者：日本経済新聞社

出版年：©2013



越境する日本人 工芸家が夢みたアジア 1910s-1945

21×18cm

151p

編著者：唐澤昌宏、木田拓也、内藤裕子

制作者：坂井編集企画事務所

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012

現代の座標 工芸をめぐる11の思考

26.5×20.3cm

126p

編著者：唐澤昌宏、諸山正則、齊藤佳代、大木香奈

制作者：アイメックス・ファインアート

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012



東京オリンピック1964 デザインプロジェクト

25.5×18.6cm

161p

編著者：唐澤昌宏、今井陽子、木田拓也、内藤裕子

制作者：株式会社美術出版社

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013





2-2 目録・ガイド等

2-2-1 本館

美術にぶるっ！ベストセクション日本近代美術の100年：
ジュニアセルフガイド

21×81cm (折りたたみ21×14cm)

1枚

編著者：細谷美宇

出版者：[東京国立近代美術館]

出版年：[2012]

開館60周年記念手帳：東京国立近代美術館

22×11cm

[31p]

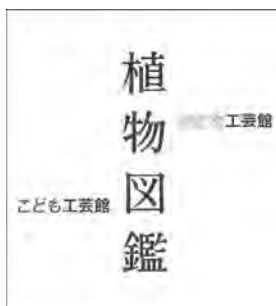
編著者：[東京国立近代美術館]

出版者：[東京国立近代美術館]

出版年：[2012]

装丁の図柄は4種類





こども工芸館 植物図鑑

11.5×10.5cm／14p

編著者：今井陽子、齊藤佳代

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012



おとな工芸館 植物図鑑

11.5×10.5cm／14p

編著者：今井陽子、齊藤佳代

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012

2-3 研究紀要・年報等



東京国立近代美術館研究紀要 第17号

24×19cm

115p

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.3

平成23年度 東京国立近代美術館活動報告

26×19cm

250p

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2013.1



平成24年度 東京国立近代美術館概要

30×21cm

28p



近代美術館の誕生—前史から未来へ：東京国立近代美術館60周年記念シンポジウム：予稿集

30×21cm

15p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012

実験場1950s

21×15cm

209p

編著者：鈴木勝雄、榊田倫広、大谷省吾

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.10

東京国立近代美術館60年史

27×19cm

884p + CD-ROM 1枚

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012.12

美術家たちの証言：東京国立近代美術館ニュース『現代の眼』選集

22×16cm

302p

編著者：東京国立近代美術館

出版者：美術出版社

出版年：2012.10



明治期に海外流出した近代工芸作品の調査

29.5×21cm

103p

編著者：工芸課 諸山正則、北村仁美

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2012



30×21cm／15p
出版：東京国立近代美術館

No593 2012年4-5月号

特集1：越境する日本人

特集2：原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見えてくるもの

編集：東京国立近代美術館

出版年：2012.4

No.594 2012年6-7月号

特集1：吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者

特集2：写真の現在4 そのときの光、そのさきの風

特集3：平成23年度の新収蔵作品

編集：東京国立近代美術館

出版年：2012.6

No.595 2012年8-9月号

特集1：開館60周年記念企画「夏の家」

特集2：美術作品のデジタル記録撮影について

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2012.8

No.596 2012年10-11月号

特集1：美術館開館当時、一九五〇年代の美術をめぐって 60周年記念特別展「美術にぶるっ!セレクション日本近代美術の100年」によせて

特集2：「現代の座標 工芸をめぐる11の思考」について

特集3：平成23年度の新収蔵作品

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2012.10

No.597 2012年12月-2013年1月号

特集1：所蔵品ギャラリーのリニューアルについて

特集2：開館60周年をふりかえる

特集3：所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」 工芸館の漆工コレクションから

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2012.12

No.598 2013年2-3月号

特集1：東京オリンピック1964 デザインプロジェクト

特集2：所蔵作品展 寿ぎの「うつわ」 工芸館の漆工コレクションから

特集3：所蔵作品展 花咲く工芸

編著：東京国立近代美術館、美術出版社

出版年：2013.2

3 広報

3-1 広報

本年度は開館60周年にともない、これまでにないさまざまな広報の取り組みを行い、美術館の存在をより広く周知するよう努めた。

昨年度にデザイナー平野敬子氏に依頼して制作した60周年シンボルマークをもとに、引き続き美術館外壁のサイン、地下鉄駅の電飾看板、地下鉄車内の動画広告を展開した。なお平野氏はこのマークのデザインにより平成24年度の亀倉雄策賞を受賞した。

前年12月に開設した60周年記念サイトのコンテンツを充実させていくほか、プレスツアーの開催やSNSの発信などを行った。SNSは、とりわけ夏のイベントの告知・拡散に効力を発揮した。

5月には60周年記念切手の発行があり、創立記念日の12月1日の前日の朝日新聞夕刊には、これまでの美術館の企画展を網羅した全面広告を掲出、美術館の歴史をヴィジュアル的にアピールした。

さらに、60周年の記念企画として、ご自身の誕生日当日にご来場いただいた方を無料とするサービスを通年で先行好評を博した。

以上のような60周年事業に関連した広報のほか、通常の広報活動としても、展覧会ごとにプレス・リリースを作成して報道各機関に送付、展覧会前日に記者内見会を開催した。展覧会ごとにポスター、チラシを作成、送付し、JR、地下鉄、京王線等の主要駅にポスターを掲出した。

さらに「北の丸公園文化ゾーンマップ」の作成や「ぐるっとパス」への参加などを周辺機関と協力して広報に努めた。

本館の所蔵作品展については、『読売新聞』都内版に毎月1回「近代美術の眼」を連載し、幅広く所蔵作品を紹介するようにした。また、所蔵品ギャラリーのリニューアルに関して、『美術手帖』で4回連載し、新生MOMATコレクションの周知をはかった。

工芸館では特に、これまでとは異なるメディアとして、デジタルサイネージ、ラジオ等を活用し、新しい層への普及を試みた。また本館がリニューアル休館となる期間にも夏休み中の親子に向け、『レッツエンジョイ東京』を通じて竹橋駅から工芸館までの誘導のための告知を強化した。

3-2 美術館情報システムによる普及・広報

平成19年度より稼働のコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)を用いて、ホームページ・コンテンツの追加更新を迅速化し、本年度は特に「60周年記念サイト」を設けてポスター・アーカイブも公開するなどして、記念事業の広報につとめた。

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、許諾を得た水彩・素描その他の作品237点について画像を新規登録した。

また、今年度から新たに工芸についての著作権者情報を整備するとともに、初年度として陶磁の著作権許諾申請手続を開始した。

平成23年度に着手した東京国立近代美術館所蔵作品管理システムならびに独立行政法人国立美術館総合目録のデータ登録更新とインターフェースの改良を、他国立美術館と連携して実装させた。

平成23年度に欧米主要美術図書館横断検索システムであるartlibraries.net (http://artlibraries.net/index_en.php)と国立美術館の図書検索システム(東京国立近代美術館および国立西洋美術館)の連携可能性について、国立情報学研究所と連携して始めた受託研究の成果により、artlibraries.netへの参加を実現

させた。

(1) ホームページのアクセス件数

13,678,742件(本館・工芸館・フィルムセンター含む)

(2) インターネットによる調査研究成果の公表

『研究紀要』第13号(2009年)より、収録論文全文のホームページへの掲載を開始した。また、『研究紀要』『現代の眼』および自館ならびに国立西洋美術館開催展覧会カタログなどの目次情報をホームページにおいて公開するとともに、図書検索システム(OPAC)からもこれら目次検索を従来通り可能にしている。『東京国立近代美術館60年史』において附録CD-ROMに収めた『『現代の眼』総目次』『本館・工芸館企画展出品作家総索引』および隈元謙次郎著「日本における近代美術館設立運動史」の諸ファイルをホームページに掲載して公開した。

(3) インターネットを用いた広報

①メールマガジン

毎月計15号を発行した。

②美術館情報システムによる広報活動

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、許諾を得た水彩・素描その他の作品237点について画像を新規登録した。また、今年度から新たに工芸についての著作権者情報を整備するとともに、初年度として陶磁の著作権許諾申請手続を開始した。

③特徴的な取り組み

平成23年12月22日に開設した60周年記念サイト(<http://www.momat.go.jp/momat60>)においては、「インサイド・ストーリー」「東近美へのメッセージ」「人気投票」「ポスター・アーカイブ」「ラヂオ東近美」などのコンテンツを継続して充実させた。あわせて、Twitter(<http://twitter.com/momat60th>)、facebook(<http://www.facebook.com/MOMAT60>)のSNSを活用しながら、多面的なインターネット広報を展開した。

フィルムセンターは、東京国立近代美術館の映画部門であるが、その収集方針については、芸術的評価を第一義とする選択的なアート・ミュージアム・ポリシーではなく、我が国唯一の国立映画機関として映画の歴史を全て集積させることを目標に掲げるアーカイバル・ポリシーを重視しており、年代、製作国及びフォーマットなどを問わず、あらゆる映画フィルムを収集している。中でも、日本映画については、最優先で網羅的な収集を目指しているが、この方針は各国のナショナル・フィルム・アーカイブが自国映画遺産の安全保護と次世代への確実な継承に責任を負うべきだという国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の精神にも合致している。

また、経年劣化や劣悪な環境に置かれていたため分解、腐朽が懸念されるフィルム、廃棄、滅失等による散逸が懸念されるフィルムや国内外で残存することが判明した作品を優先して収集する一方、文化的、歴史的、美学的に重要な作品も積極的に収集することとしている。

上映事業との関連では、とりわけ企画上映に必要となるフィルム、国際交流に必要な作品などのプリント作成を優先的に行っている。

購入については、上映企画に合わせ、『今年の恋(全八話)』(1967年)他、木下恵介監督に関連するテレビ映画作品全12作品31本、春原政久『女人の館』(1954年)他、日活作品全9作品10本、『J・MOVIE・WARS 月はどっちに出ている』(1993年)他、崔洋一監督作品全10作品のプリント、及び次年度の上映企画に合わせ、毛利正樹『宇治みさ子の緋ぢりめん女大名』(1958年)、和田嘉訓『自動車泥棒』(1964年)他、全7作品10本のフィルムを購入した。ビネガーシンドロームや褪色の危険性が高い1950年代後半から60年代にかけての作品については、佐藤純弥、降旗康男、山下耕作監督らの初期作品となる東映作品、及び西村昭五郎『競輪上人行状記』(1963年)、河辺和夫『非行少年』(1964年)等の日活作品のプリント購入を行った。企業等の管理下に置かれていないため、散逸や劣化の危険性が高い非商業映画については、前年度に引き続き、記録映画作家・佐藤真による監督作品『まひるのほし』(1998年)他、全3作品についてプリントを購入した。

寄贈については、これまで受入のなかった会社・団体からの寄贈や、以前に受入を行ったことのある団体から新たにまとまったコレクションの寄贈を受け入れたことが大きな特徴である。新規の受入先からの寄贈では、株式会社ヒューマックス・コミュニケーションズより、井筒和幸(和生)監督による長篇デビュー作『ゆけゆけマイトガイ 性春の悶々』(1975年)、黒沢清監督の異色作『神田川淫乱戦争』(1983年)など原版類142本、日本大学芸術学部より、畑中寥坡『寒椿』(1921年)の可燃性染色プリントや日本大学芸術科による文化・記録映画『沈み行く小河内村』(1938年)の可燃性マスター・ポジ等29本、国鉄労働組合より、徳永瑞夫『三池一たたかう仲間の心はひとつ』(1950年)等プリント101本、株式会社フィルム・クレセントより、熊井啓『ひかりごけ』(1992年)のオリジナル・ネガ等、原版類及びプリント48本を受贈した。一方、公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団からは、同財団が木村正美『一伝統工芸の名匠—うるしを現代にいかす 曲輪造・赤地友哉』(1980年)以来製作してきた工芸・伝統芸能・民俗芸能に関する記録映画41作品の全フィルム原版の寄贈を受け入れるとともに、公益財団法人

ユニジャパンからは、2004年以降に東京国際映画祭のコンペティション部門で上映された作品のうち、25作品について、日本語字幕付きプリントの寄贈を受けた。また、株式会社四十一工房より、黒澤明監督がソビエトとの合作により製作した『デルス・ウザーラ』（1975年）の70mmプリントを受贈した。

長年個人やインディペンデントで活躍してきた映画監督による貴重な作品の原版類及びプリントの寄贈受入も、引き続き活発に行っている。

平成24年度映画フィルム収集本数

種別 (genre)	購入 (purchase)	寄贈 (donation)	所蔵総本数 (total)
劇映画	108	287	395
文化・記録映画	88	743	831
アニメーション映画	20	33	53
ニュース映画	0	0	0
テレビ映画	31	460	491
計	247	1,523	1,770

Although National Film Center is the film division of the National Museum of Modern Art, Tokyo, as the only national film institution in Japan, it regards its archival policy as acquisition. This means that it aims at accumulating the entire film history, rather than having a selective art museum policy that prioritizes artistic evaluation. To this end NFC is collecting all kinds of films in any format, regardless of the year or the country of production. Especially targeting Japanese films to build a comprehensive collection, the policy matches the spirit of the International Federation of Film Archives (FIAF), that is, the national film archive of each country should be responsible for protecting its own film heritage and for securing it as an inheritance for future generations.

In collecting, NFC prioritizes films that have already deteriorated or that might start decomposing owing to age or poor storage conditions in the past, as well as films at risk of being lost by being discarded or scattered, and films discovered within and outside of Japan. NFC also actively collects films of cultural, historical, and aesthetic importance.

Concerning the screening programs, NFC puts priority on preparing such prints as are needed for in-house screenings and international exchanges.

Purchased films for our screening programs were: 31 films of 12 TV works related to film director Keisuke Kinoshita including *Kotoshi no koi* (total eight episodes) (1967); 10 films of nine Nikkatsu titles including *Nyonin no yakata* (dir. Masahisa Sunohara, 1954); prints of all 10 titles directed by Yoichi Sai including *J movie wars: Tsuki wa docchi ni deteiru* (1993). For the following year's screening programs, NFC purchased 10 films of seven titles in all, such as *Uji Misako no hizirimen on'na daimyo* (dir. Masaki Mori, 1958) and *Jidosha dorobo* (dir. Yoshinori Wada, 1964). For those films made in the late 1950s to the 1960s, which are at high risk of vinegar syndrome or color fading, NFC purchased Toei titles, which include early works directed by Jun'ya Sato, Yasuo Furuhashi, and Kosaku Yamashita, and prints

of Nikkatsu titles such as *Keirin shonin gyojoki* (dir. Shogoro Nishimura, 1963) and *Hikoshoen* (dir. Kazuo Kawabe, 1964). With regard to non-commercial films, which are at risk of getting lost and deteriorating as they have not been under control of any companies, NFC, continuing from the previous year, purchased prints of three titles including *Mahiru no hoshi* (1998), directed by documentary filmmaker, Makoto Sato.

Particularly this year NFC acquired films from companies or institutions that had never been donors before, and also large collections were donated by entities that had already been donors. Amongst other films from new donors were: 142 films of negatives from Humax Communications, such as *Yukeyuke maitogai seishun no monmon* (1975) which is director Kazuyuki (Kazuo) Izutsu's feature debut, and director Kiyoshi Kurosawa's idiosyncratic *Kandagawa inran senso* [Kandagawa Wars] (1983); 29 films including a tinted nitrate print of *Kantsubaki* (dir. Ryoha Hatanaka, 1921) and a nitrate master positive of *Shizumiyuku Ogouchimura* (1938), a cultural documentary by Nihon University College of Art; 101 films of prints from National Railway Workers' Union, including *Miike: Tatakau nakama no kokoro wa hitotsu* (dir. Mizuo Tokunaga, 1950); 48 films of mainly negatives and prints from Film Crescent, including the original negatives of *Hikarigoke* (dir. Kei Kumai, 1992). NFC also acquired entire negatives of 41 titles which Pola Foundation for the Promotion of Traditional Japanese Culture had produced since *Dento kogeï no meisho: Urushi wo gendai ni ikasu magewazukuri, Akaji Tomoya* (dir. Masami Kimura, 1980). These are on crafts, traditional arts, and folk performing arts. UNIJAPAN donated to NFC prints of 25 titles with Japanese subtitles, which have been shown in competition at the Tokyo International Film Festival since 2004. In addition, NFC acquired a 70mm print of *Dersu Uzala* (dir. Akira Kurosawa, 1975) from Yonjuichi Kobo.

NFC also actively continued acquiring precious negatives and prints of filmmakers who have been playing an important role in the area of personal or independent films.

映画関連資料についても、映画史を集積させるアーカイバル・ポリシーを目標に掲げて網羅的な収集に努めている。ただし、映画人の死去が相次ぎ、映画技術にも急速な変化が訪れている現状では、古い資料の散逸が危惧されている。国内に映画専門の機関が限られていることもあり、国内のそうした機関との連携や情報交換を進めながら、可能な限り寄贈資料の受け入れを行っている。また潤滑な収集を実現するために、収蔵場所の整備や登録等の整理態勢をさらに充実させたい。

寄贈 2,789点

- (1) 川喜多記念映画文化財団より静活株式会社旧蔵の日本映画ポスター 1,114点
- (2) 岩森克介氏からスチル写真や映画観覧券など 957点
- (3) デザイナー・画家の横尾忠則氏から同氏デザインの映画ポスター 17点
- (4) 渡邊泰氏より寄贈された外国映画のスチル写真、ポスター、プレス資料など 96点
- (5) 朝岡賢氏から寄贈された映画パンフレット、シナリオなど 14点
- (6) 相沢まち子氏より寄贈された映画パンフレット、書籍、映画ポスター 21点
- (7) 加藤孝彦氏より寄贈された映画パンフレットなど 70点
- (8) 中森拓也氏より寄贈された映画パンフレット、映画祭カタログなど 41点
- (9) 原清氏より寄贈された映画パンフレット など 48点
- (10) 吉村直道氏より寄贈された映画パンフレット など 140点
- (11) 本地陽彦氏より寄贈された写真 小林源次郎 写し絵 実演写真など2点
- (12) 玉生温氏より寄贈されたパテベビー 9.5mm撮影機 1点
- (13) 入江誠氏より寄贈されたシネ・コダック8mm撮影機 1点
- (14) 小松範任氏より寄贈された冊子「東映京撮助監督声明にわたしは署名しない」 1点
- (15) 山際永三氏より寄贈された日本映画シナリオなど10点
- (16) 小笠原正勝氏より寄贈された日本及び外国の映画ポスターなど6点
- (17) アテネ・フランセ文化センターより寄贈された冊子「シナリオ パルチザン前史」など3点
- (18) 大澤清一氏より寄贈された和洋書、カレンダー、ポスターなど 57点
- (19) 角川書店より寄贈された映写機材など 5点
- (20) 荒井晴彦氏より寄贈された『赤軍-RELLP世界戦争宣言』 2点
- (21) 鈴木昌氏より寄贈された葛城文子、栗島すみ子のポートレート写真など 26点
- (22) 小井田清栄氏より寄贈された映画パンフレット、ポスター、スチル写真など 121点
- (23) 飯田雅三氏より寄贈された飯田東吉旧蔵 小型映画 技術資料など 31点
- (24) 森弘太氏より寄贈された杉並シネクラブ発行「映画理論誌 眼」創刊号など 5点

Regarding non-film materials, NFC also has an archival policy of accumulating film history as a step towards a comprehensive collection. It is feared, however, that the old materials are at the risk of being scattered because film figures are passing away one after another and film technology is undergoing rapid changes. As the number of institutions specializing in cinema is limited in Japan, NFC is promoting networking and the exchange of information so as to acquire as many donated materials as possible. In order to further facilitate its collection, NFC wishes to improve the way of arranging the items such as better storage conditions and registration system.

可燃性フィルムからの不燃化作業については、今年度日本大学藝術学部から寄贈を受けた『沈み行く小河内村』（1938年）等10作品について、同じく三井化学大牟田工場から寄贈を受けた『大島火山』（1940年）等5作品について、中間素材及びプリントの作成を行った。また、ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント及び上映企画「日活映画の100年 日本映画の100年」に際し、『1931年 日活オンパレード』（1931年）、『日活ニュース 特報 全プロ開始 日活まつり』（1954年）等10作品について、ネガ及びプリントの作成を行った。複製化については、国立国際美術館との共同事業「第5回中之島映像劇場」に際し、大阪の地下鉄工事を記録した『地下鉄の出来るまで』（1938年）について、16mmプリントからブローアップによりネガ及びプリントの作成を行った。また、次年度以降に予定している国際交流事業に際して英語字幕付きプリントの提供を念頭に、伊藤大輔『丹下左膳 第1篇』（1933年）、稲垣浩『大菩薩峠 甲源一刀流の巻』（1935年）のニュープリントを作成した。一方、デジタル技術を用いた復元では、アニメーション映画監督の大藤信郎による戦後の代表作『くじら』（1953年）と『幽霊船』（1956年）について、褪色補正を焦点にデジタル復元を行うとともに、昨年アメリカ・アカデミー科学技術賞に輝いたカラー三色分解保存用白黒ネガ・フィルムにレコーディングすることにより、映画フィルムの復元、長期保存における現時点での最善のワークフローを実践した。

修復件数

映画フィルムデジタル復元	20本
ノイズリダクション等	34本
不燃化作業	65本
映画フィルム洗浄	0本

Regarding the work of making safety copies out of nitrate films, NFC undertook a number of projects this year. For example, for 10 titles donated this year by Nihon University College of Art, including *Shizumiyuku Ogouchimura* (1938), and five titles donated by Mitsui Chemicals Omuta Factory, including *Oshima kasan* (1940), NFC made dupe negatives and new prints. In addition, for a special event in celebration of UNESCO 'World Day for Audiovisual Heritage' and the screening program 'Nikkatsu 100: A Century of Japanese Cinema', NFC made negatives and new prints of 10 titles such as *1931 nen Nikkatsu onparedo* (1931) and *Nikkatsu news tokuho zenzuro kaishi Nikkatsu matsuri* (1954). Regarding duplication, at the time of 'Nakanoshima Screen Vol.5', a co-organized event with the National Museum of Art, Osaka, NFC blew up a 16mm print to make a 35mm negative and a new print of *Chikatetsu no dekirumade* (1938), which depicted the construction of an Osaka subway line. Also, for future international exchange programs, NFC made new prints such as *Tange sazen dai-ikken* (dir. Daisuke Ito, 1933) and *Daibosatsu toge kogen ittoryu no maki* (dir. Hiroshi Inagaki, 1935). On the other hand, restoration with digital technology also took place. NFC dealt with animation director Noburo Ofuji's postwar masterpieces *Kujira* (1953) and *Yureisen* (1956), focusing on color correction. They were recorded on three-color separation archival black & white negative films, which had received an Academy Scientific and Technical Award in the US the previous year, and are the

best available workflow practice for film restoration and long-term preservation at the moment.

The number of restoration projects:	
Digital restoration of motion picture films	20
Noise reduction, etc.	34
Making safety duplicates from nitrate films	65
Film Cleaning	0

文化庁が実施する「日本映画情報システム」については、文化庁主導で民間へ委託することで運営管理を行っている。当館としては本年度も当館公開データベースへの接続に関する協力を行っている。本年度は3,073件が登録され、平成25年3月末時点で登録されている件数は45,407件となった。これにより旧作の遡及登録はほぼ終了した。

NFCD（フィルムセンターデータベース）においては、所蔵フィルムを本年度中に1,770件を登録し67,287件となった。そのうち公開データベース「所蔵映画フィルム検索システム」については、日本劇映画のレコード88件を新たに公開し、公開件数は6,116件となった。

	公開レコード数	累計公開件数
日本映画情報システム	3,073 本	45,407 件
所蔵映画フィルム検索システム	88 件	6,116 件

As for the 'Japanese Cinema Database' implemented by the Agency for Cultural Affairs, the Agency has taken the lead in entrusting the system to a private entity that runs and maintains it. NFC has continued to participate by connecting it with our open database. In this year, 3,073 registrations resulted in total records of 45,407 as of the end of March 2013, which means most retrospective registration has been completed.

For National Film Center Database, NFCD, this year NFC registered 1,770 records, which made a total of 67,287. Regarding the number of records open to the public through the 'film collection search system', 88 records of Japanese feature films were newly added, resulting in 6,116 records in total.

Japanese Cinema Database / National Film Center Database

The number of records open to the public	3,073 / 88
The cumulative total	45,407 / 6,116

Ⅱ 公衆への観覧

1 上映会等 Screening Programs and Exhibitions

1-1 入場者数 Number of Visitors

	上映日数	上映回数	上映作品数	プログラム数	1回平均入場者数	入場者数	
上映会(大ホール)	269日	608回	332作品	260プログラム	138人	83,957人	
上映会(小ホール)	39日	78回	66作品	39プログラム	76人	5,948人	
上映会計	308日	686回	398作品	299プログラム	131人	89,905人	
	一般	シニア	学生	小人	障害者等	無料	キャンパスメンバーズ
上映会 入館者数内訳	49.31%	29.27%	1.18%	0.04%	0.11%	16.05%	4.04%
	開催日数				1日平均入場者数	入場者数	
展覧会(展示室)	263日				59人	15,612人	
上映会と展覧会計	571日					105,517人	

1-1-1 上映会 Screening Programs

回数	上映会名	入場者数(人)	会場
330	よみがえる日本映画vol.4 [大映篇] 一映画保存のための特別事業費による	9,105人	大ホール
331	映画の教室2012《京橋映画小劇場No.23》	1,800人	小ホール
332	生誕百年 映画監督 今井正	18,115人	大ホール
333	EUフィルムデーズ2012	7,862人	大ホール
334	アンコール特集 2011年度上映作品より《京橋映画小劇場No.24》	1,947人	小ホール
335	ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画	5,884人	大ホール
336	シネマの冒険 闇と音楽 2012 ロシア・ソビエト無声映画選集	1,836人	大ホール
337	第34回 PFFぴあフィルムフェスティバル	4,576人	大ホール
338	生誕百年 木下恵介劇場	5,089人	大ホール
339	日活映画の100年 日本映画の100年	17,728人	大ホール
340	東京国立近代美術館60周年記念 美術館と映画：フィルムセンター以前の上映事業 《京橋映画小劇場No.25》	2,201人	小ホール
341	よみがえる日本映画vol.5 [日活篇] 一映画保存のための特別事業費による	10,184人	大ホール
342	自選シリーズ 現代日本の映画監督 1 崔 洋一	3,578人	大ホール

1-1-2 展覧会 Visitors to Exhibitions

回数	展覧会名	入場者数(人)
35	ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代	5,104人
36	日活映画の100年 日本映画の100年	5,738人
37	西部劇の世界 ポスターでみる映画史Part1 ウエスタン	4,770人

1-2	上映会 Screening Programs
-----	------------------------

1-2-1	上映会一覧(開館より平成23年度まで) Screenings from the Opening Programs in Fiscal 1970 until 2010
-------	---

回数	企画名
----	-----

昭和45年度[1970]

- 1 アメリカ古典映画の回顧
Retrospective of American Classic Films
- 2 成瀬巳喜男監督の特集
Films of Mikio Naruse
- 3 シナリオライター野田高梧をしのぶ
In Memory of the Scriptwriter Kogo Noda
- 4 フランス映画の歴史
History of French Films
- 5 ドイツ映画の回顧
Retrospective of German Films

昭和46年度[1971]

- 6 田中絹代特集——女優の歩みに見る日本映画史
Kinuyo Tanaka-Japanese Film History as Seen by an Actress
- 7 内田吐夢監督の回顧上映
Retrospective of Tomu Uchida
- 8 フランス映画の特集
French Film Program
- 9 アニメーション映画の回顧
Retrospective of Animation Film
- 10 小津安二郎監督の特集
Films of Yasujiro Ozu

昭和47年度[1972]

- 11 ベルギー映画の特集
Belgian Film Program
- 12 占領下の日本映画
Japanese Films under the Occupation
- 13 音楽映画の特集
Music Film Program
- 14 新収蔵映画の上映
Newly Acquired Films
- 15 金語楼映画の特集
Kingoro Yanagiya, Film Comedian
- 16 ポーランド映画の回顧
Retrospective of Polish Films
- 17 日本の記録映画特集——戦前篇——
Japanese Documentary Films: The Prewar Era

昭和48年度[1973]

- 18 イタリア映画の特集
Italian Film Program
- 19 溝口健二監督の特集
Films of Kenji Mizoguchi
- 20 飯田蝶子特集
Choko Iida, Film Actress
- 21 1930年代ヨーロッパ映画特集
European Films in the 1930s
- 22 1930年代ヨーロッパ映画特集(再上映)
European Films in the 1930s (Reprise)
- 23 収蔵映画未公開作品の上映
Unshown Films from Our Collection
- 24 現代ブルガリア映画の展望
Review of Contemporary Bulgarian Films
- ジョン・フォード監督の回顧上映
In Memory of John Ford

昭和49年度[1974]

- 25 五所平之助監督特集
Films of Heinosuke Gosho
- 26 特集・逝ける映画人を偲んで
In Memory of Film Figures We Lost
- 27 日本の記録映画特集―戦後篇
Japanese Documentary Films: The Postwar Era
- 28 監督研究―清水宏と石田民三
Directors Research: Hiroshi Shimizu and Tamizo Ishida
- 29 島津保次郎監督特集
Films of Yasujiro Shimazu
- 30 フランス映画を創った人たち―第1期
People who Made French Film (1)
- 31 ハンガリー映画祭―ハンガリー映画の30年
Hungarian Film Festival: 30 Years of Hungarian Films
- 土曜特集
映画史上の名作
Saturday Special: Masterpieces of Film History
- 第9回東京国際アマチュア映画コンクール入賞作品披露上映
Awarded Films at the 9th Tokyo International Amateur Film Competition

昭和50年度[1975]

- 32 収蔵映画未公開作品の上映(戦前の時代劇を集めて)
Unshown Films in Our Collection
- 33 ―エリザベス女王来日記念―英国映画の史的展望
Historical Review of British Films
- 34 特集・逝ける映画人を偲んで 1974-1975
In Memory of Film Figures We Lost 1974-1975

- 35 昭和50年度(第30回記念)芸術祭協賛 芸術祭大賞映画の回顧
Awarded Films at the Arts Festival of the Agency for Cultural Affairs
- 36 フランス映画を創った人たち―第2期
People who Made French Film (2)
- 37 小津安二郎監督特集
Films of Yasujiro Ozu
- 土曜特集 映画史上の名作
Saturday Special: Masterpieces of Film History

昭和51年度[1976]

- 38 戦後日本映画の流れ(1946-62) 収蔵映画未上映作品から
“Mainstreams of Postwar Japanese Film (1946-62)” - from Unshown Films in Our Collection
- 39 戦前ドイツ・オーストリア映画の回顧 1919-1937
A Retrospective Screening of Prewar German and Austrian Films (1919-1937)
- 40 監督研究 衣笠貞之助
Director Research: Teinosuke Kinugasa
- 41 特集・逝ける映画人を偲んで 1975-1976
In Memory of Film Figures We Lost in 1975-1976
- 42 70年代ポーランド映画の展望
Review of Polish Cinema in the 70s
- 43 建国200年記念 アメリカ映画の史的展望 1894-1936
The American Bicentennial - Panorama of American Cinema (1894-1936)
- 44 木下恵介監督特集
Keisuke Kinoshita Special Series
- 45 春休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
- 土曜特集 土曜特集：映画史上の名作
Saturday Special: Masterpieces of Film History
- 第10回アマチュア映画コンクール入賞作品披露上映
The 10th Tokyo International Amateur Film Contest - Screening of Prize Winning Films

昭和52年度[1977]

- 46 文化功労者記念―黒澤明監督特集
Special Series – Akira Kurosawa (In Commemoration of Kurosawa's receiving the Cultural Order of Merit)
- 47 監督研究 伊藤大輔
Director Research: Daisuke Ito
- 48 現代ブルガリア映画の展望
Review of Contemporary Bulgarian Films
- 49 恐怖と幻想の映画特集
Films of Terror and Fantasy
- 50 長篇ドキュメンタリー映画10選
10 Long Documentary Films

51	夏休み少年少女名作鑑賞 Famous Films for Boys and Girls for Summer Holidays
52	特集・逝ける映画人を偲んで 1976-1977 Memories of Film Figures We Lost in 1976-1977
53	映画に見る昭和十年代 The Second Decade of Showa (1935-1945) as Reflected in Films
54	日本映画技術の発展―戦後30年― Development of Japanese Movie Techniques – During 30 Years after the World War II
55	カナダ映画の史的展望 Historical Review of Canadian Films
56	ソ連映画の史的展望 1923-1946 Historical Review of Soviet Films
57	日本のアニメーション映画(1924-1958) Japanese Animated Films (1924-1958)
58	春休み少年少女名作鑑賞 Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
土曜特集	土曜特集 Saturday Special Film Series

昭和53年度[1978]

59	日本映画の流れ(1961-1966) 収蔵映画未上映作品より Stream of Japanese Films (1961-66) – from Unshown Films in Our Collection
60	映画史上の名作(第1集) Masterpieces of Film History (Part 1)
61	溝口健二監督特集 Kenji Mizoguchi Retrospective
62	夏休み少年少女名作鑑賞 The Best Films for Boys and Girls during the Summer Holidays
63	特集・逝ける映画人を偲んで 1977-1978 Memories of Deceased Film World Personalities 1977-1978
64	一生誕100年記念―マキノ省三とその人脈 – The 100th Anniversary– Shozo Makino and his followers
65	映画史上の名作(第2集) Masterpieces of Film History (Part 2)
66	チャップリン初期短篇特集―キーストン, エッサネイ, ミューチュアル, ファースト・ナショナル時代― Chaplin's Early Film – Keystone, Essanay, Mutual and First-National Period
67	デンマーク映画の史的展望 Panorama of Danish Films
68	田坂具隆監督特集 Tomotaka Tasaka Retrospective

昭和**54**年度[1979]

- 69 春休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
- 土曜特集
土曜特集
Saturday Special Film Series
- 短篇・文化・記録映画特集
Special Series for Short Films, Cultural Films and Documentary Films

- 70 長谷川一夫特集
Special Series of Kazuo Hasegawa
- 71 映画史上の名作
Masterpieces of Film History
- 72 特集・逝ける映画人を偲んで 1978-1979
In Memory of Film Figures We Lost in 1978-1979
- 73 夏休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Summer Holidays
- 74 成瀬巳喜男監督特集
Mikio Naruse Retrospective
- 75 現代ベルギー映画の展望
Panorama of Contemporary Belgian Films
- 76 牛原虚彦監督特集
Kiyohiko Ushihara Retrospective
- 77 豊田四郎監督特集
Shiro Toyoda Retrospective
- 78 戦後フランス映画秀作集 1945-1954
The Collection of the Best Postwar French Films (1945-1954)
- 79 監督研究 ジャン・ルノワール
Special Series of Jean Renoir
- 80 オーストラリア映画の史的展望
Historical Panorama of Australian Films
- 81 春休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
- 土曜特集
土曜特集
Saturday Special Film Series
- 短篇・文化・記録映画特集
Special Series of Short Films, Cultural Films and Documentary Films

昭和**55**年度[1980]

- 82 戦後日本映画の流れ(1967-1971)
Stream of the Japanese Postwar Cinema (1967-1971)
- 83 監督研究 クロード・ジュトラ
Director Study: Claude Jutra
- 84 映画史上の名作
Masterpieces of Film History

85	特集・逝ける映画人を偲んで 1979-1980 In Memory of Film Figures We Lost in 1979-1980
86	夏休み少年少女名作鑑賞 Best Films for Boys and Girls for Summer Holidays
87	監督研究 吉村公三郎と新藤兼人 - The 30th Anniversary of Kindai Eiga Kyokai- Directors Study: Kozaburo Yoshimura and Kaneto Shindo
88	戦後フランス映画秀作集 1955-1960 Collection of the Best Postwar French Films (1955-1960)
89	小津安二郎監督特集 Yasujiro Ozu Retrospective
90	マーティン・スコセッシ監督特集 Martin Scorsese Retrospective
91	スイス映画の史的展望 1941-1979 Historical Overview of Swiss Films (1941-1979)
92	―国際障害者年協賛―春休み少年少女名作鑑賞 ― An International Year of the Handicapped Project – Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
土曜特集	土曜特集 Saturday Special Film Series 短篇・文化・記録映画特集 Special Series of Short Films, Cultural Films and Documentary Films

昭和**56**年度[1981]

93	サドゥール賞受賞作選集 Winners of Georges Sadoul Prize
94	映画史上の名作 Masterpieces of Film History
95	稲垣浩監督特集 Retrospective of Hiroshi Inagaki
96	特集・逝ける映画人を偲んで 1980-1981 In Memory of Film Figures We Lost in 1980-1981
97	夏休み少年少女名作鑑賞 Best Films for Boys and Girls for Summer Holidays
98	1920年代のドイツ映画 German Films of the 1920s
99	日本のトーキー：誕生から確立へ Japanese Talking Pictures: From Birth to Establishment
100	イタリア古典映画選集 Classic Italian Films
101	日本映画史研究(1) 東映映画30年の歩み Japanese Film History Research (1) – Thirty Years of Toei Movies
102	フィンランド映画の史的展望 1940-1977 Historical Overview of Finnish Films (1940-1977)

- 103 収蔵映画未上映作品集(外国篇)
Unscreened Foreign Films from the Film Center Collection
- 104 春休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
- 土曜特集 短篇・文化・記録映画特集
Special Series of Short Films, Cultural Films and Documentary Films
- 土曜特集
Saturday Special Film Series

昭和**57**年度[1982]

- 105 映画史上の名作
Masterpieces of Film History
- 106 D.W.グリフィス監督特集
D. W. Griffith Retrospective
- 107 夏休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Summer Holidays
- 108 特集・逝ける映画人を偲んで 1981-1982
In Memory of Film Figures We Lost in 1981-1982
- 109 日本映画史研究(2) 東宝映画50年の歩み
Japanese Film History Research (2) – Fifty Years of Toho Movies
- 110 現代イギリス映画の展望
Overview of Contemporary British Films
- 111 スウェーデン映画の史的展望 1910-1969
Historical Overview of Swedish Films 1910-1969
- 112 春休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays
- 短篇・文化・記録映画特集
Special Series of Short Films, Cultural Films and Documentary Films

昭和**58**年度[1983]

- 113 映画史上の名作
Masterpieces of Film History
- 114 ジョン・フォード監督特集<1917-1946>
John Ford Retrospective (1917-1946)
- 115 夏休み少年少女名作鑑賞
Best Films for Boys and Girls for Summer Holidays
- 116 特集・逝ける映画人を偲んで<1982-1983>
In Memory of Film Figures We Lost in 1982-1983
- 117 フランス映画の回顧 1930-1946 (1)
French Film Retrospective (1930-1946) Part 1
- 118 今井正監督特集
Tadashi Imai Retrospective
- 119 フランス映画の回顧 1930-1946 (2)
French Film Retrospective (1930-1946) Part 2

	120	春休み少年少女名作鑑賞 Best Films for Boys and Girls for Spring Holidays 短篇・文化・記録映画特集 Special Series of Short Films, Cultural Films and Documentary Films
昭和59年度[1984]	121	フィルムセンター所蔵映画選集(1) Selected Films from the Collection of the Film Center, Part I
	122	1920年代のドイツ映画―表現主義と新即物主義の間 German Films of the 1920s – Between Expressionism and New Objectivity
	123	撮影監督 宮川一夫特集 Retrospective of Kazuo Miyagawa, Director of Photography
	124	夏休み少年少女名作鑑賞 Best Films for Boys and Girls for Summer Holidays
	125	特集・逝ける映画人を偲んで 1983-1984 In Memory of Film Figures We Lost in 1983-1984
	126	スペイン映画の史的展望 1951-1977 Historical Review of Spanish Films (1951-1977)
	127	フィルムセンター所蔵外国映画選集 Selected Foreign Films from the Collection of the Film Center 短篇・文化・記録映画特集 Special Series of Short Films, Cultural Films and Documentary Films
昭和60年度[1985]	128	フィルムセンター所蔵日本映画選集一名優役の魅力― Selected Japanese Films from the Collection of the Film Center – Outstanding Supporting Players
	129	中国映画の回顧 1922-1952 Retrospective of Chinese Films (1922-1952)
	130	所蔵外国映画選集Ⅱ ＜フィルムセンター焼失フィルムのための募金の会寄贈による＞ Selected Foreign Films from the Collection of the Film Center, Part II
	131	フィルムセンター所蔵日本映画選集―映画カメラマンの魅力 ＜1921-1944＞ Selected Japanese Films from the Collection of the Film Center – Outstanding Cameramen (1921-1944)
	132	特集・逝ける映画人を偲んで 1984-1985 In Memory of Film Figures We Lost in 1984-1985
昭和61年度[1986]	133	フィルムセンター所蔵外国映画選集 Selected Foreign Films from the Collection of the Film Center
	134	日本映画史研究(3) ―蒲田映画の世界＜1921-1936＞ Japanese Film History Research (3) - The World of Kamata Film 1921-1936
	135	アメリカ映画の名匠たち―ラオール・ウォルシュとその時代 ＜1914-1939＞ Masters of American Film – Retrospective of Raoul Walsh and Others 1914-1939

	136	現代スイス映画の展望 Survey of Contemporary Swiss Film
昭和62年度[1987]	137	蒲田映画の若き日―小津・清水・成瀬 When Kamata Film was Young – Early Works by Ozu, Shimizu and Naruse
	138	フィルムセンター所蔵外国映画選集 Selected Foreign Films from the Collection of the Film Center
	139	特集・逝ける映画人を偲んで〈1986-1987〉 In Memory of Film Figures We Lost in 1986-1987
	140	中国映画の回顧〈1932-1964〉 Retrospective of Chinese Films, 1932-1964
	141	フィルムセンター所蔵外国映画選集 Selected Foreign Films from the Collection of the Film Center
	142	フィルムセンター所蔵日本映画選集(1) Selected Japanese Films from the Collection of the Film Center 1
昭和63年度[1988]	143	フィルムセンター所蔵日本映画選集(2) Selected Japanese Films from the Collection of the Film Center 2
	144	特集・逝ける映画人を偲んで〈1987-1988〉 In Memory of Film Figures We Lost in 1987-1988
	145	フィルムセンター所蔵映画選集―日本のアニメーション Selected Japanese Animation Films from the Collection of the Film Center
	146	フィルムセンター所蔵外国映画選集 D.W.グリフィスとその時代 D. W. Griffith and His Age - Selected Foreign Films from the Collection of the Film Center
平成元年度[1989]	147	フィルムセンター所蔵日本映画選集 新興キネマの時代 Selected Japanese Films from the Film Center Collection – The World of <i>Shinko Kinema</i>
	148	フランス映画の黄金時代 The Golden Age of French Film
	149	日本映画の系譜 Selected Works of Japanese Film Masters
	150	戦後ヨーロッパ映画秀作選 Selected Postwar European Film Masterpieces
平成2年度[1990]	151	シナリオ作家 依田義賢特集 Retrospective of Yoshikata Yoda, Screenwriter
	152	特集・「ポーランド派」の映画(1948-1963) Selected Postwar Polish Films 1948-1963
	153	特集・逝ける映画人を偲んで〈1988-1989〉 In Memory of Film Figures We Lost in 1988-1989 特集上映 日本映画の系譜 Selected Works of Japanese Film Masters

平成3年度[1991]	154	発掘された映画たち—小宮登美次郎コレクション Cinema: Lost and Found – From the Collection of Tomijiro Komiya
	155	特集・逝ける映画人を偲んで<1990-1991> In Memory of Film Figures We Lost in 1990-1991 特集上映 日本映画の系譜 Selected Works of Japanese Film Masters
平成4年度[1992]	156	内田吐夢監督特集 Retrospective of Tomu Uchida
	157	孫瑜監督と上海映画の仲間たち 中国映画の回顧 Sun Yu and His Shanghai Colleagues – Retrospective of Chinese Films
	158	フィルムセンター所蔵日本映画選集 Selected Japanese Films from the Collection of the Film Center 特集上映 日本映画の系譜 Selected Works of Japanese Film Masters 「忠次旅日記」特別上映会 Special Screening of <i>Chuji Tabi Nikki</i>
平成5年度[1993]	159	知られざるアメリカ映画 American Films – The Little Known
	160	特集・逝ける映画人を偲んで<1991-1993> In Memory of Film Figures We Lost in 1991-1993 特集上映 日本映画の系譜 Selected Works of Japanese Film Masters
平成6年度[1994]	161	サイレント・ルネサンス 映画と音楽の新たな出会いに向けて Silent Film Renaissance
平成7年度[1995]	162	フィルムは魅了する：銀幕の体験 Reviving the Enchantment of Cinema A Special Program for the Opening of the New National Film Center
	163	フィルムは記録する：日本の文化・記録映画作家たち Glimpses of Nippon: A Japanese Documentary Tradition A Special Program for the Opening of the New National Film Center
	164	マキノ雅広の世界：「次郎長三國志」と「日本侠客伝」 <i>Jirocho-sangokushi</i> and <i>Nihon-kyokaku-den</i> : Two Movie Series by Masahiro Makino
	165	インド映画の魅力 A Passage to 'Film India': From Rekha to Ghatak
	166	1930年代ヨーロッパ映画10選 Diversity in Europe: Ten Films from the '30s
	167	女優 山田五十鈴 Isuzu Yamada, Our Actress
	168	特集・逝ける映画人を偲んで 1993-1994 In Memory of the Film Figures We Lost in 1993-1994

- 169 第8回東京国際映画祭協賛企画 特集上映 日本映画の系譜
Selected Works of Japanese Film Masters
A 1995 Tokyo International Film Festival Sponsored Event
- 170 特別企画上映／映画生誕百周年記念 シネマの冒険 闇と音楽
Silent Film Renaissance 1995
A Program for the Centenary of Cinema at the NFC
- 171 コニカラー：甦る国産カラー・プロセス「緑はるかに」特別上映会
Special Screening of a Restored Konicolor Feature: *Midori Harukani / Far off in the Green*
A Program for the Centenary of Cinema at the NFC
- 172 映画生誕百周年記念 ゴーモン映画の100年 フランス映画の100年
Gaumont Presents: A Century of French Cinema
A Program for the Centenary of Cinema at the NFC
- 173 映画生誕百周年記念 ジョルジュ・メリエス 夢と魔法の王国
Georges Méliès: In the Kingdom of Dreams and Magic
A Program for the Centenary of Cinema at the NFC
- 174 ゴーモン映画秀作選
Gaumont Presents More
- 175 1950年代の青空と太陽
Brighter Summer Days: Films by Yasuzo Masumura and Ko Nakahira in the late '50s

平成8年度[1996]

- 176 日本映画の発見Ⅰ：無声映画時代
Rediscovering Our National Film Heritage (I): The Silent Years
- 177 日本映画の発見Ⅱ：トーキーの開始と戦前の黄金時代
Rediscovering Our National Film Heritage (II): The Advent of Sound and the Prewar Golden Age
- 178 芸術祭協賛 シネマの冒険 闇と音楽1996
Silent Film Renaissance 1996
- 179 ジャン・ルノワール、映画のすべて。
Le Grand Théâtre de Jean Renoir
- 180 フィルムは記録する'97：日本の文化・記録映画作家たち
Glimpses of Nippon '97: A Japanese Documentary Tradition

平成9年度[1997]

- 181 日本映画の発見Ⅲ：戦争の時代
Rediscovering Our National Film Heritage (III): During the War Years
- 182 特集・逝ける映画人を偲んで1995-1996
In Memory of the Film Figures We Lost in 1995-1996
- 183 芸術祭協賛 シネマの冒険 闇と音楽1997
Silent Film Renaissance 1997
- 184 NFC所蔵外国映画選集 1970年代映画の一断面
Films in the 1970s: A Profile
- From the Foreign Film Collection of the National Film Center -
- 185 フィルムは記録する'98：日本の文化・記録映画作家たち
Glimpses of Nippon '98: A Japanese Documentary Tradition

平成10年度[1998]

- 186 日本映画の発見Ⅳ：占領下のNIPPON
Rediscovering Our National Film Heritage (IV): Nihon Eiga under the Occupation
- 187 特集・逝ける映画人を偲んで1997
In Memory of the Film Figures We Lost in 1997
- 188 シネマの冒険 闇と音楽1998
Silent Film Renaissance 1998
- 189 憧憬のフランス映画—1930年代を中心に—
En souvenir du cinema français

平成11年度[1999]

- 190 日本映画の発見Ⅴ：栄光の'50年代
Rediscovering Our National Film Heritage (V): The Glorious 1950s
- 191 発掘された映画たち1999
Cinema: Lost and Found 1999
- 192 ハリウッド伝説 ハワード・ホークス映画祭
Legend of Hollywood: A Howard Hawks Retrospective
- 193 シネマの冒険 闇と音楽：フリッツ・ラング選集
Silent Film Renaissance - Featuring Fritz Lang

平成12年度[2000]

- 194 特別追悼特集 偉大なる“K” (1)：小林正樹
Homage to Three Great “K”s - Part 1: Masaki Kobayashi
- 195 特別追悼特集 偉大なる“K” (2)：黒澤明
Homage to Three Great “K”s - Part 2: Akira Kurosawa
- 196 特別追悼特集 偉大なる“K” (3)：木下恵介
Homage to Three Great “K”s - Part 3: Keisuke Kinoshita
- 197 シネマの冒険 闇と音楽：オランダの無声映画
Silent Film Renaissance: Dutch Silent Cinema
- From the Collection of Nederlands Filmmuseum -
- 198 フィルムは記録する2001：日本の文化・記録映画作家たち
Glimpses of Nippon 2001: A Japanese Documentary Tradition
- 199 発掘された映画たち2001：ロシア・ゴスフィルモフォンで発見された日本映画
Cinema: Lost and Found - The Treasure of Japanese Cinema Returns from Russia

平成13年度[2001]

- 200 中国映画史の流れ：無声後期からトーキーへ
A Study of Chinese Cinema: From Silent to Sound
- 201 日本映画の発見Ⅵ：1960年代
Rediscovering Our National Film Heritage (VI): 1960s
- 202 日本におけるイタリア2001 イタリア映画大回顧
Grande Retrospectiva del Cinema Italiano: dal muto agli anni 80
- 203 フィルムで見る20世紀の日本
Twentieth Century Japan as Captured by Film

平成14年度[2002]

- 204 NFC所蔵外国映画選集 追憶のスター女優たち
Remembering Star Actresses - From the Foreign Film Collection of the National Film Center -
- 205 日本映画の発見Ⅶ：1970年代
Rediscovering Our National Film Heritage (VII): 1970s
- 206 こども映画館
Kids★Cinema
- 207 2002年日韓国民交流記念事業 韓国映画―栄光の1960年代
Korean Films – The Glorious 1960s
- 208 シネマの冒険 闇と音楽 D・W・グリフィス選集
Silent Film Renaissance - Featuring D. W. Griffith
- 209 特集・逝ける映画人を偲んで1998-2001
In Memory of the Film Figures We Lost in 1998-2001
- 210 こども映画館：2003年の春休み
Kids★Cinema

平成15年度[2003]

- 211 発掘された映画たち2003
Cinema: Lost and Found 2003
- 212 映画監督 市川崑
Kon Ichikawa Retrospective
- 213 社団法人映像文化製作者連盟創立50周年記念 短編映像メディアに見る現代日本
Contemporary Japan as Seen by Documentary Films
- 214 日本におけるトルコ年記念事業 トルコ映画の現在
Turkish Cinema Now
- 215 聖なる映画作家, カール・ドライヤー
The Art of Carl Th. Dreyer
- 216 小津安二郎生誕100年記念 小津安二郎の藝術
Yasujiro Ozu: Japanese Film Master
- 217 第4回東京フィルメックス 特集上映 清水宏 生誕100年
The 4th TOKYO FILMeX Special Program: The 100th Anniversary of Shimizu Hiroshi's Birth
- 218 シリーズ・日本の撮影監督(1)
Master Cinematographers of Japan Part1

平成16年度[2004]

- 219 日本・キューバ外交関係樹立75周年記念 キューバ映画への旅
Voyage to Cuban Cinema
- 220 アジア映画―“豊穡と多様” 福岡市総合図書館フィルム・アーカイブ所蔵
アジア映画コレクションより
Asian Cinemas: “Fertile and Diverse”
From the Asian Film Collection of the Fukuoka City Public Library Film Archive
- 221 日本アニメーション映画史
A History of Japanese Animation

- 222 映画女優 高峰秀子
Hideko Takamine, Film Actress
- 223 第5回東京フィルメックス 特集上映 内田吐夢監督選集 映画真剣勝負
The 5th TOKYO FILMeX: Seriously Entertaining: The Battle for Uchida Tomu's Film Style
- 224 特集・逝ける映画人を偲んで2002-2003
In Memory of the Film Figures We Lost in 2002-2003
- 225 シネマの冒険 闇と音楽 アメリカ無声映画傑作選
Silent Film Renaissance: An American Tradition
- 226 フィルムは記録する2005：日本の文化・記録映画作家たち
Glimpses of Nippon 2005: A Japanese Documentary Tradition

平成17年度[2005]

- 227 生誕百年特集 映画監督 稲垣浩
Hiroshi Inagaki Retrospective at his Centenary
- 228 生誕百年特集 映画監督 豊田四郎
Shiro Toyoda Retrospective at his Centenary
- 229 発掘された映画たち2005
Cinema: Lost and Found 2005
- 230 生誕百年特集 映画監督 成瀬巳喜男
Mikio Naruse Retrospective at his Centenary
- 231 ポーランド映画, 昨日と今日
Polish Film, Yesterday and Today
- 232 生誕百年特集 映画監督 斎藤寅二郎と野村浩将
Torajiro Saito and Hiromasa Nomura: Retrospective at their Centenary
- 233 第6回東京フィルメックス特集上映 生誕百年特集 中川信夫—地獄のアルチザン—
The 6th TOKYO FILMeX: Nobuo Nakagawa Retrospective at his Centenary
- 234 日韓友情年2005 韓国リアリズム映画の開拓者 兪賢穆監督特集
Japan-Korea Friendship Year 2005
Yu Hyeon-Mok Retrospective: The Pathfinder of Korean Realism
- 235 シネマの冒険 闇と音楽 生誕百年の監督たち
Silent Film Renaissance: Masters at their Centenary
- 236 松竹創業110周年記念 松竹映画探索 1960-70年代
Shochiku Company at 110: A Quest of Shochiku Films in the 1960s and 1970s
- 237 日本におけるドイツ2005/2006 NFC所蔵外国映画選集
ドイツ・オーストリア映画名作選
Deutschland in Japan
A Study of German and Austrian Cinema: From the National Film Center Collection

平成18年度[2006]

- 238 シナリオ作家 新藤兼人
Written by Kaneto Shindo

- 239 《京橋映画小劇場 No.1》 映画の教室2006
Kyobashi-za No.1: Film Class of 2006
- 240 NFC所蔵外国映画選集 フランス古典映画への誘い
Invitation to French Cinema Classics From the National Film Center Collection
- 241 ロシア文化フェスティバル2006 IN JAPAN ロシア・ソビエト映画祭
Russian and Soviet Film Festival
- 242 《京橋映画小劇場 No.2》 アンコール特集：平成17年度上映作品より
Kyobashi-za No.2: Back by Popular Demand: From the Programs of 2005
- 243 日本映画史横断① 日活アクション映画の世界
Cross-section of Japan's Cinematic Past [Part 1]
Nikkatsu Action Film
- 244 《京橋映画小劇場 No.3》 生誕100周年記念 美術監督 水谷浩作品選集
Kyobashi-za No.3: Pioneering Art Director: Hiroshi Mizutani at His Centenary [Film Screening]
- 245 日豪交流年2006 オーストラリア映画祭
Australian Film Festival
2006 Australia-Japan Year of Exchange
- 246 《京橋映画小劇場 No.4》 シネマの冒険 闇と音楽2006
Kyobashi-za No.4: Silent Film Renaissance 2006
- 247 没後50年 溝口健二再発見
Kenji Mizoguchi Retrospective
- 248 第7回東京フィルメックス 特集上映 岡本喜八 日本映画のダンディズム
The 7th TOKYO FILMeX: Okamoto Kihachi Retrospective
- 249 日本映画史横断② 歌謡・ミュージカル映画名作選
Cross-section of Japan's Cinematic Past [Part 2]
Song and Dance Tradition
- 250 シリーズ・日本の撮影監督(2)
Master Cinematographers of Japan Part 2
- 251 《京橋映画小劇場 No.5》 CHANBARA① 市川右太衛門
Kyobashi-za No.5: Chanbara, the Art of Japanese Sword Fight Part 1: Utaemon Ichikawa

平成19年度[2007]

- 252 追悼特集 映画監督 今村昌平と黒木和雄
Retrospective in Memory of Shohei Imamura and Kazuo Kuroki
- 253 EUフィルムデーズ2007
EU Film Days 2007
- 254 映画監督 川島雄三
Yuzo Kawashima Retrospective
- 255 《京橋映画小劇場 No.6》 映画の教室2007
Kyobashi-za No.6: Film Class of 2007
- 256 特集・逝ける映画人を偲んで 2004-2006
In Memory of Film Figures We Lost in 2004-2006

- 257 《京橋映画小劇場 No.7》 アンコール特集：2006年度上映作品より
Kyobashi-za No.7: Back by Popular Demand: From the Programs of 2006
- 258 日本・ポーランド国交回復50周年記念 ポーランド短篇映画選
ウッチ映画大学の軌跡
Polish Short Film Selection: Masterpieces of the Łódź Film School
- 259 日本・ウズベキスタン国交樹立15周年記念 ウズベキスタン映画祭
Uzbekistan Film Festival
- 260 日印交流年 インド映画の輝き
Japan-India Friendship Year 2007: Indian Film Festival
- 261 スウェーデン・ドキュメンタリー新作選
Swedish Documentary Now
- 262 第8回東京フィルメックス 特集上映 山本薩夫監督特集
—ザッツ＜社会派＞エンタテインメント—
The 8th TOKYO FILMeX Special Program Satsuo Yamamoto
- 263 NFC所蔵外国映画選集 ヨーロッパ映画名作選
European Film Classics : From the National Film Center Collection
- 264 《京橋映画小劇場 No.8》 日本の文化・記録映画選：芸術を記録する
Kyobashi-za No.8: A Selection of Japanese Documentary Film: Arts on Screen
- 265 生誕百年 映画監督 マキノ雅広
Masahiro Makino Retrospective
- 266 《京橋映画小劇場 No.9》 NFC所蔵外国映画選集 アメリカ映画史研究①
Kyobashi-za No.9: A Survey of American Film History Part 1: From the
National Film Center Collection

平成20年度[2008]

- 267 「ルノワール+ルノワール展」開催記念 ジャン・ルノワール映画の世界
ジャン・ルノワール監督名作選
L'univers cinématographique de Jean Renoir
Rétrospective Jean Renoir
- 268 《京橋映画小劇場 No.10》 映画の中の日本文学Part 1
Kyobashi-za No.10: Japanese Literature in Film Part 1
- 269 発掘された映画たち2008
Cinema : Lost and Found 2008
- 270 EUフィルムデーズ2008
EU Film Days 2008
- 271 スターと監督 長谷川一夫と衣笠貞之助
Kazuo Hasegawa and Teinosuke Kinugasa
- 272 日本インディペンデント映画史シリーズ① PFF30回記念
ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.1
The History of Japanese Independent Cinema I
Retrospective of Pia Film Festival vol.1
- 273 生誕100年 川喜多かしことヨーロッパ映画の黄金時代
Madame Kawakita: L'Ambassadrice cinématographique du film européen
- 274 《京橋映画小劇場 No.11》 アンコール特集：2007年度上映作品より
Kyobashi-za No.11: Back by Popular Demand: From the Programs of 2007

- 275 生誕110周年 スターと監督 大河内傳次郎と伊藤大輔
Denjiro Okochi and Daisuke Ito
In Celebration of the 110th Anniversary of their Birth
- 276 《京橋映画小劇場 No.12》 映画の教室2008
Kyobashi-za No.12: Film Class of 2008
- 277 第9回東京フィルメックス特集上映 蔵原惟繕監督特集—狂熱の季節—
The 9th TOKYO FILMeX Special Program: Kurahara Koreyoshi
Retrospective
- 278 生誕百年 映画監督 亀井文夫
Fumio Kamei Retrospective at his Centenary
- 279 日本映画史横断③ 怪獣・SF映画特集
Cross-Section of Japan's Cinematic Past [Part 3]
Monster and Science Fiction Film
- 280 日本オランダ年2008-2009 オランダ映画祭2009
Nederland in Japan 2008-2009
Holland Film Festival 2009
- 281 カナダ・アニメーション映画名作選
A Selection of Canadian Animation: From the Collection of la
Cinémathèque québécoise
- 282 《京橋映画小劇場 No.13》 NFC所蔵外国映画選集 アメリカ映画史研究②
Kyobashi-za No.13: A Survey of American Film History Part2: From the
National Film Center Collection

平成21年度[2009]

- 283 映画の中の日本文学 Part 2
Japanese Literature in Film Part 2
- 284 発掘された映画たち2009
Cinema: Lost and Found 2009
- 285 日本・ブルガリア外交関係再開50周年記念 ブルガリア映画特集
50 Years of Reestablishment of Diplomatic relations between Bulgaria and
Japan
Bulgarian Film Week
- 286 日本映画史横断④ 怪獣・SF映画特集Part 2
Cross-section of Japan's Cinematic Past [Part 4]
Monster and Science Fiction Film II
- 287 EUフィルムデーズ2009
EU Film Days 2009
- 288 特集・逝ける映画人を偲んで2007-2008
In Memory of Film Figures We Lost in 2007-2008
- 289 日本インディペンデント映画史シリーズ② ぴあフィルムフェス
ティバルの軌跡 vol.2
The History of Japanese Independent Cinema II: Retrospective of Pia Film
Festival vol.2
- 290 第31回 ぴあフィルムフェスティバル
31st Pia Film Festival
- 291 《京橋映画小劇場 No.14》 ドキュメンタリー作家 土本典昭
Kyobashi-za No.14: Noriaki Tsuchimoto: a Documentary Filmmaker

- 292 《京橋映画小劇場 No.15》 映画の教室2009
Kyobashi-za No.15: Film Class of 2009
- 293 生誕百年 映画監督 山中貞雄
Sadao Yamanaka Retrospective at his Centenary
- 294 生誕百年 映画女優 田中絹代
Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary
- 295 《京橋映画小劇場 No.16》 アンコール特集：2008年度上映作品より
Kyobashi-za No.16: Back by Popular Demand: From the Programs of 2008
- 296 映画監督 大島渚
Nagisa Oshima Retrospective
- 297 川喜多かこ生誕100年記念事業 川喜多賞受賞監督作品選集
“A Wreath for Madame Kawakita” in Tokyo
- 298 アンコール特集：1995-2004年度の上映作品より
Back by Popular Demand: From the Programs of 1995-2004
- 299 映画監督 篠田正浩
Masahiro Shinoda Retrospective
- 300 《京橋映画小劇場 No.17》 NFC所蔵外国映画選集 アメリカ映画史研究③
Kyobashi-za No.17: A Survey of American Film History Part3: From the National Film Center Collection

平成22年度[2010]

- 301 映画の中の日本文学 Part 3
Japanese Literature in Film Part 3 [Film Screening]
- 302 《京橋映画小劇場 No.18》 映画の教室2010
Kyobashi-za No.18: Film Class of 2010
- 303 フィルムセンター開館40周年記念① 発掘された映画たち2010
The 40th Anniversary of National Film Center Part 1
Cinema: Lost and Found 2010
- 304 EUフィルムデーズ2010
EU Film Days 2010
- 305 フィルムセンター開館40周年記念②
フィルム・コレクションに見るNFCの40年
The 40th Anniversary of National Film Center Part 2
To the Sources of the NFC Film Collection
- 306 日本インディペンデント映画史シリーズ③
ぴあフィルムフェスティバルの軌跡 vol.3
The History of Japanese Independent Cinema III: Retrospective of Pia Film Festival vol.3
- 307 第32回PFF ぴあフィルムフェスティバル
32nd Pia Film Festival
- 308 《京橋映画小劇場 No.19》 アニメーションの先駆者 大藤信郎
Kyobashi-za No.19: Noburo Ofuji: Pioneer of Japanese Animation
[Film Screening]

- 309 日本ポルトガル修好通商条約150周年 ポルトガル映画祭2010
マノエル・ド・オリヴェイラとポルトガル映画の巨匠たち
The 150th Anniversary of the Peace, Friendship and Trade Treaty between Portugal and Japan(1860-2010) Portuguese Cinema Festival 2010
- 310 《京橋映画小劇場 No.20》 アンコール特集：2009年度上映作品より
Kyobashi-za No.20: Back by Popular Demand: From the Programs of 2009
- 311 映画監督五十年 吉田喜重
Kiju Yoshida Retrospective
- 312 生誕百年 映画監督 黒澤明
Akira Kurosawa Retrospective at his Centenary
- 313 日本—南アフリカ交流100周年記念 シネマアフリカ2010
Cinema Africa 2010
Celebrating the Centennial of Official South Africa-Japan Relations
- 314 現代フランス映画の肖像—ユニフランス寄贈フィルム・コレクションより
Une petite découverte du cinéma français d'aujourd'hui dans la donation de l'Unifrance
- 315 フィルムセンター開館40周年記念③
よみがえる日本映画—映画保存のための特別事業費による
The 40th Anniversary of National Film Center Part3
The Little Known Japanese Cinema - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

平成23年度[2011]

- 316 生誕百年 映画監督 吉村公三郎
Kozaburo Yoshimura Retrospective at his Centenary
- 317 よみがえる日本映画vol.2 [東映篇]
—映画保存のための特別事業費による
The Little Known Japanese Cinema vol.2-NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios
- 318 《京橋映画小劇場No.21》 映画の教室2011
Kyobashi-za No.21 Film Class of 2011
- 319 EUフィルムデーズ2011
EU Film Days 2011
- 320 《京橋映画小劇場No.22》 アンコール特集：2010年度上映作品より
Kyobashi-za No.22:Back by Popular Demand : From the Programs of 2010
- 321 生誕百年 映画監督 森一生
Kazuo Mori Retrospective at his Centenary
- 322 特集・逝ける映画人を偲んで2009—2010
In Memory of Film Figures We Lost in 2009-2010
- 323 シネマの冒険 闇と音楽2011
Silent Film Renaissance 2011
- 324 第33回PFFぴあフィルムフェスティバル
The 33rd Pia Film Festival
- 325 再映：よみがえる日本映画—映画保存のための特別事業費による／
生誕百年 映画監督 吉村公三郎
Coming Back : The Little Known Japanese Cinema - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film studios
Kozaburo Yoshimura Retrospective at his Centenary

- 326 映画女優 香川京子
Kyoko Kagawa Retrospective
- 327 日本の文化・記録映画選 文化庁「工芸技術記録映画」の特集
Japanese Craft Techniques on Screen : Documentary Film series by Agency
for Cultural Affairs
- 328 よみがえる日本映画 vol.3 [新東宝篇] 一映画保存のための特別事
業費による
The Little known Japanese Cinema Vol.3 - NFC's Newly Acquired
Collection from Major Film Studios
- 329 現代フランス映画の肖像2—ユニフランス寄贈フィルム・コレクショ
ンより
Une petite découverte du cinéma français d'aujourd'hui 2 dans la donation
de l'Unifrance

会 期
平成24年4月11日～平成24年5月4日 (20日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
24作品／24プログラム／60回上映
入場者数
9,105人(1回平均152人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 4月10日 大映の創立から 1950年代にかけての主要作品を中心に上 映 東京新聞 4月10日夕刊 大映の創立か ら50年代にかけての主要作品24本を上映

330 よみがえる日本映画 vol.4 [大映篇] —映画保存のための特別事業費による—

平成21年度補正予算から映画保存のための特別事業費を得て、フィルムセンターが取り組んできた原版素材の整備の成果をまとめて紹介するシリーズ企画で、4回目となる今回は大映の作品を特集した。

特別事業では、これまでにフィルムセンターが収集した貴重な日本映画159作品の原版作成などを行う一方、ネガが失われ久しくスクリーンでの鑑賞が困難であった日本映画の中から、巨匠、名匠による作品、各映画会社の歴史上特筆される作品など173作品を対象にネガとニュー・プリントの作成を行った。後者の中から大映の作品を取り上げた今回は、同社の創立(1942年)後1950年代にかけての主要作品を中心に計24本を上映した。

The Little Known Japanese Cinema vol.4 - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

NFC acquired special working expenses for film preservation from the supplementary budget of fiscal year 2009 and organized this project to secure master film materials. This event focused on Daiei films as the fourth installment of the series that presents the results of such efforts.

As part of the special project, NFC made dupe negatives of the 159 rare Japanese film titles in its collection. In addition, among the Japanese films which had long been unavailable for screening due to the loss of the negatives, NFC made dupe negatives and new prints for 173 titles that are especially important for such reasons as the fame and the critical acclaim of the directors or their significance for the history of each film studio. This event featured the films in the latter category, that is, 24 of Daiei's important films mainly made since its foundation (1942) up until the 1950s.



1
4/11(水)1:00pm 4/21(土)2:00pm
青空交響樂 (87分・35mm・白黒) '43(大映東京)(監督)千葉泰樹
2
4/11(水)4:00pm 4/22(日)2:00pm
風雪の春 (100分・35mm・白黒) '43(大映東京)(監督)落合吉人
3
4/11(水)7:00pm 5/3(木・祝)11:00am
別れも愉し (65分・35mm・白黒) '45(大映)(監督)田中重雄
4
4/12(木)1:00pm 4/22(日)5:00pm 4/27(金)4:00pm
犯罪者は誰か (75分・35mm・白黒) '45(大映東京)(監督)田中重雄
5
4/12(木)4:00pm 4/20(金)1:00pm 4/29(日・祝)11:00am
へうたんから出た駒 (66分・35mm・白黒) '46(大映東京)(監督)千葉泰樹
6
4/12(木)7:00pm 4/21(土)11:00am
彼と彼女は行く (82分・35mm・白黒) '46(大映東京)(監督)田中重雄
7
4/13(金)1:00pm 5/1(火)7:00pm
雷雨 (80分・35mm・白黒) '46(大映東京)(監督)田中重雄
8
4/13(金)4:00pm 5/2(水)7:00pm
修道院の花嫁 (76分・35mm・白黒) '46(大映東京)(監督)田口哲
9
4/13(金)7:00pm 4/21(土)5:00pm 4/26(木)4:00pm
花咲く家族 (81分・35mm・白黒) '47(大映東京)(監督)千葉泰樹
10
4/14(土)11:00am 4/20(金)7:00pm
看護婦の日記 (76分・35mm・白黒) '47(大映東京)(監督)吉村廉

11
4/14(土)2:00pm 4/24(火)7:00pm
美しき豹 (85分・35mm・白黒) '48(大映東京)(監督)千葉泰樹
12
4/14(土)5:00pm 4/27(金)1:00pm 5/1(火)4:00pm
情熱の人魚 (63分・35mm・白黒) '48(大映東京)(監督)田口哲
13
4/15(日)11:00am 4/20(金)4:00pm 5/2(水)1:00pm
母紅梅 (83分・35mm・白黒) '49(大映東京)(監督)小石栄一
14
4/15(日)2:00pm 4/25(水)7:00pm
月よりの使者 (86分・35mm・白黒) '49(大映京都)(監督)加戸敏
15
4/17(火)1:00pm 4/27(金)7:00pm
火山脈 (112分・35mm・白黒) '50(大映京都)(監督)安達伸生
16
4/15(日)5:00pm 4/24(火)1:00pm
虚無僧屋敷 (89分・35mm・白黒) '50(大映京都)(監督)安田公義
17
4/17(火)4:00pm 4/25(水)1:00pm 5/3(木・祝)5:00pm
美しき鷹 (88分・35mm・白黒) '54(大映東京)(監督)マキノ雅弘
18
4/17(火)7:00pm 4/22(日)11:00am 5/2(水)4:00pm
此村大吉 (94分・35mm・白黒) '54(大映京都)(監督)マキノ雅弘
19
4/18(水)1:00pm 4/24(火)4:00pm 5/4(金・祝)2:00pm
帰って来た幽霊 (87分・35mm・白黒) '55(大映京都)(監督)斎藤寅次郎
20
4/18(水)4:00pm 4/26(木)1:00pm 4/29(日・祝)2:00pm
花の渡り鳥 (80分・35mm・白黒) '56(大映京都)(監督)田坂勝彦

21

4/18(水)7:00pm 5/3(木・祝)2:00pm

祇園の姉妹(90分・35mm・白黒)

'56(大映京都)(監督)野村浩将

22

4/19(木)1:00pm 4/25(水)4:00pm 5/4(金・祝)11:00am

編笠権八(65分・35mm・白黒)

'56(大映京都)(監督)三隅研次

23

4/19(木)4:00pm 4/26(木)7:00pm 5/4(金・祝)5:00pm

一夜の百万長者(67分・35mm・白黒)

'57(大映京都)(監督)斎藤寅次郎

24

4/19(木)7:00pm 4/29(日・祝)5:00pm 5/1(火)1:00pm

踊子(96分・35mm・白黒)

'57(大映東京)(監督)清水宏

会 期
平成24年4月13日～平成24年4月29日 ※金、土、日のみ上映(9日間)
会 場
小ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
12作品／9プログラム／18回上映
入場者数
1,800人(1回平均100人)
新聞・雑誌等における掲載記事
公明新聞 3月23日 映画の教室
映像新聞 3月26日 欧州の実験映画など上映
東京新聞 3月27日夕刊 センターに所蔵され、映画を学ぶ上で重要と思われる12本を上映
東京新聞 4月6日 あらかると
読売新聞 4月17日 所蔵作品の中から、映画を学ぶうえで重要な秀作を上映する企画

331 《京橋映画小劇場No.23》 映画の教室2012

7年目を迎えたシリーズ企画《京橋映画小劇場》の第23回で、今回は、所蔵作品の中から世界と日本の映画史を学ぶ上で重要な外国映画9本、日本映画3本の計12作品(9プログラム)を選んで上映した。

Kyobashi-za No.23: Film Class of 2012

This 23rd installment of 《Kyobashi-za》 marked the seventh year since the beginning of the series. From its collection, NFC selected a total of 12 (9 foreign and 3 Japanese) titles (in 9 programs) and screened them based on their importance in the study of world and Japanese cinema history.



1

4/13(金)2:00pm 4/21(土)3:00pm

ヨーロッパ実験映画小特集

狂熱(41分・18fps・35mm・無声・白黒)

FIÈVRE

'21(フランス)(監督)ルイ・デリュック

貝殻と僧侶(21分・16fps・35mm・無声・白黒)

LA COQUILLE ET LE CLERGYMAN

'27(フランス)(監督)ジェルメーヌ・デュラック

塔(11分・24fps・35mm・無声・白黒)

LA TOUR

'28(フランス)(監督)ルネ・クレール

鋼鉄交響楽(12分・35mm・白黒)

METALL DES HIMMELS

'35(ドイツ)(監督)ヴァルター・ロットマン

2

4/15(日)3:00pm 4/28(土)0:00pm

ピーターパン(101分・24fps・16mm・無声・白黒)

PETER PAN

'24(アメリカ)(監督)ハーバート・ブレノン

3

4/14(土)0:00pm 4/22(日)3:00pm

淑女と髯(74分・24fps・16mm・無声・白黒)

'31(松竹蒲田)(監督)小津安二郎

4

4/14(土)3:00pm 4/27(金)2:00pm

マヅルカ(94分・35mm・白黒) MAZURKA

'35(ドイツ)(監督)ヴァリ・フォルスト

5

4/15(日)0:00pm 4/27(土)5:00pm

祇園の姉妹(69分・35mm・白黒)

'36(第一映画)(監督)溝口健二

6

4/13(金)5:00pm 4/22(日)11:30am

民族の祭典 総集篇(138分・35mm・白黒)

OLYMPIA - FEST DER VÖLKER

'38(ドイツ)(総指揮)レニ・リーフェンシュタール

7

4/20(金)2:00pm 4/28(土)3:00pm

ピカソー天才の秘密(74分・35mm・パートカラー・日本語吹替版)

LE MYSTÈRE PICASSO

'56(フランス)(監督)アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー

8

4/20(金)5:00pm 4/29(日・祝)0:00pm

恋多き女(97分・35mm・カラー)

ELENA ET LES HOMMES

'56(フランス)(監督)ジャン・ルノワール

9

4/21(土)0:00pm 4/29(日・祝)3:00pm

おとし穴(97分・35mm・白黒)

'62(勅使河原プロ)(監督)勅使河原宏

会 期
平成24年5月5日～平成24年5月24日、 平成24年6月26日～平成24年7月10日、 平成24年7月31日～平成24年8月26日 (54日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
43作品／42プログラム／124回上映
入場者数
18,115人(1回平均146人)
新聞・雑誌等における掲載記事
しんぶん赤旗 4月25日 今井正の生誕100年を記念し、フィルムセンターで2回にわけて回顧上映 映像新聞 5月7日 今井正監督生誕百年50年の歩みを回顧上映 読売新聞 5月11日夕刊 生誕100年 今井正の回顧上映 しんぶん赤旗 5月13日 生誕百年 映画監督 今井正(1) 読売新聞 5月15日夕刊 生誕百年 映画監督 今井正 東京新聞ゆめぼっけ 5月17日 スケジュール 東京新聞ゆめぼっけ 6月21日 美術・博物館ガイド 読売新聞 6月22日 映像新聞 7月23日 今井正監督生誕百年 回顧上映の第2部 しんぶん赤旗 7月29日 文化短信 生誕百年 映画監督 今井正(2)特集第2部 読売新聞 8月7日夕刊 生誕百年 映画監督 今井正 しんぶん赤旗日曜版 8月12日 今井正監督生誕百年 フィルムセンターで特集上映 しんぶん赤旗 8月15日 「生誕百年 映画監督 今井正」第2部開催中 DVD＆ブルーレイでーた 7月28日 生誕100周年記念 今井正監督の18作を上映 週刊金曜日 7月20日 ビデオサロン 7月20日 映画監督・今井正の作品を振り返る 月刊「清流」7月号 6月1日 香川さんインタビュー 村上信夫のときめきトーク 銀座新聞ニュース 5月3日 京橋で今井正生誕100周年記念、戦前から60年代まで(1) 銀座新聞ニュース 5月4日 今井正生誕100周年記念、沼津兵学校からお婆あちゃんまで(2) チャイルドフィルム ひめゆりの塔、キクといサムの紹介 ぶらり美術館 5月15日

332 生誕百年 映画監督 今井正

今井正監督の生誕100周年を記念して、1939年のデビュー作『沼津兵学校』から遺作となった1991年の『戦争と青春』まで、50年以上にわたる足跡を回顧する企画で、1962年の『につぼんのお婆あちゃん』までを上映する第1期(5月5日～5月24日、6月26日～7月10日)と1962年の『武士道残酷物語』以降の作品を上映する第2期(7月31日～8月26日)に分けて、計43本(42プログラム)を上映した。

Tadashi Imai Retrospective at his Centenary

Commemorating the centenary of director Tadashi Imai's birth, this program made a retrospective review of his over 50 years of works from his debut *Numazu heigakko* (1939) to his last work *Senso to seishun* (1991). The screenings were divided into two parts, with the first half (from May 5th to May 24th, and June 26th to July 10th) covering up until his *Nippon no obaachan* (1962), and the latter half (July 31st to August 26th) from *Bushido zankoku monogatari* (1962) onward. A total of 43 films (in 42 programs) were shown.



生誕百年 映画監督 今井正(1)
2012年5月 5日(土) -5月24日(木)
6月26日(火) -7月10日(火)

1

5/5(土・祝)11:00am 5/15(火)7:00pm 7/1(日)2:00pm

沼津兵学校(81分・35mm・白黒)

'39(東宝京都)(監督)今井正

2

5/19(土)3:00pm 6/29(金)7:00pm

多基古村(63分・35mm・白黒)

'40(東宝京都)(監督)今井正

3

5/5(土・祝)5:00pm 5/18(金)3:00pm 7/8(日)11:00am

望樓の決死隊(95分・16mm・白黒)

'43(東宝)(監督)今井正

4

5/6(日)11:00am 5/17(木)7:00pm 7/6(金)3:00pm

怒りの海(87分・35mm・白黒)

'44(東宝)(監督)今井正

5

5/12(土)2:30pm 5/24(木)3:00pm 7/7(土)11:00am

愛と誓ひ(74分・35mm・白黒)

'45(東宝=朝鮮映画社)(監督)今井正, 崔寅奎

6

5/6(日)5:00pm 5/22(火)3:00pm 6/28(木)7:00pm

民衆の敵(83分・16mm・白黒)

'46(東宝)(監督)今井正

7

5/8(火)3:00pm 5/20(日)2:00pm 7/7(土)5:00pm

人生とんぼ返り(80分・35mm・白黒)

'46(東宝)(監督)今井正

8

5/8(火)6:00pm 5/19(土)11:00am 6/27(水)3:00pm

青い山脈(92分・35mm・白黒)

'49(東宝=藤本プロ)(監督)今井正

續青い山脈(82分・35mm・白黒)

'49(東宝=藤本プロ)(監督)今井正

9

5/5(土・祝)2:00pm 5/9(水)3:00pm 6/26(火)7:00pm

また逢う日まで(110分・35mm・白黒)

'50(東宝)(監督)今井正

10

5/9(水)7:00pm 5/20(日)11:00am 6/29(金)3:00pm

どっこい生きてる(102分・35mm・白黒)

'51(新星映画=前進座)(監督)今井正

11

5/10(木)3:00pm 5/19(土)5:00pm 7/3(火)7:00pm

山びこ学校(101分・35mm・白黒)

'52(八木プロ)(監督)今井正

12

5/10(木)7:00pm 5/23(水)3:00pm 6/30(土)11:00am

ひめゆりの塔(127分・35mm・白黒)

'53(東映東京)(監督)今井正

13

5/11(金)3:00pm 5/20(日)4:30pm 7/10(火)7:00pm

にぎりえ(130分・35mm・白黒)

'53(文学座=新世紀映画社)(監督)今井正

14

5/11(金)7:00pm 7/1(日)11:00am

愛すればこそ(82分・35mm・白黒)

'55(独立映画)(監督)新藤兼人, 山形雄策

15

5/12(土)11:00am 5/22(火)6:30pm 7/4(水)3:00pm

ここに泉あり(150分・35mm・白黒)

'55(中央映画)(監督)今井正

16

5/6(日)2:00pm 6/27(水)7:00pm 7/8(日)5:00pm

由起子(105分・35mm・白黒)

'55(中央映画)(監督)今井正

17

5/12(土)4:30pm 5/18(金)7:00pm 6/26(火)3:00pm

真昼の暗黒(124分・35mm・白黒)

'56(現代ぶろだくしょん)(監督)今井正

18

5/13(日)11:00am 5/24(木)7:00pm 7/3(火)3:00pm

米(118分・35mm・カラー)

'57(東映東京)(監督)今井正

19

5/13(日)2:00pm 5/23(水)7:00pm 7/5(木)3:00pm

純愛物語(130分・35mm・カラー)

'57(東映東京)(監督)今井正

20
5/13(日)5:00pm 7/4(水)7:00pm 7/10(火)3:00pm

夜の鼓(95分・35mm・白黒)
'58(現代ぷろだくしょん)(監督)今井正

21
5/15(火)3:00pm 6/30(土)4:30pm 7/6(金)7:00pm

キクとイサム(117分・35mm・白黒)
'59(大東映画)(監督)今井正

22
5/16(水)7:00pm 6/28(木)3:00pm 7/8(日)2:00pm

白い崖(122分・35mm・白黒)
'60(東映東京)(監督)今井正

23
5/16(水)3:00pm 7/1(日)5:00pm 7/7(土)2:00pm

あれが港の灯だ(102分・35mm・白黒)
'61(東映東京)(監)今井正

24
5/17(木)3:00pm 6/30(土)2:00pm 7/5(木)7:00pm

にっぽんのお婆あちゃん(94分・35mm・白黒)
'62(M.I.L.プロ)(監督)今井正

生誕百年 映画監督 今井正(2)
2012年7月31日(火)-8月26日(日)

1
7/31(火)3:00pm 8/16(木)7:00pm 8/25(土)4:00pm

武士道残酷物語(122分・35mm・白黒)
'63(東映京都)(監督)今井正

2
7/31(火)7:00pm 8/15(水)3:00pm 8/19(日)11:00am

越後つついし親不知(112分・35mm・白黒)
'64(東映東京)(監督)今井正

3
8/1(水)3:00pm 8/11(土)11:00am 8/26(日)1:00pm

仇討(103分・35mm・白黒)
'64(東映京都)(監督)今井正

4
8/1(水)7:00pm 8/12(日)11:00am 8/17(金)3:00pm

砂糖菓子が壊れるとき(96分・35mm・カラー)
'67(大映東京)(監督)今井正

5
8/2(木)3:00pm 8/12(日)2:00pm 8/15(水)7:00pm

不信のとき(119分・35mm・カラー)
'68(大映東京)(監督)今井正

6
8/2(木)7:00pm 8/11(土)1:30pm 8/14(火)3:00pm

橋のない川(127分・35mm・パパートカラー)
'69(ほるぷ映画)(監督)今井正

7
8/3(金)3:00pm 8/11(土)4:30pm 8/14(火)6:30pm

橋のない川 第二部(140分・35mm・白黒)
'70(ほるぷ映画)(監督)今井正

8
8/3(金)7:00pm 8/19(日)2:00pm 8/21(火)3:00pm

婉という女(123分・35mm・カラー)
'71(ほるぷ映画)(監督)今井正

9
8/4(土)11:00am 8/9(木)7:00pm 8/24(金)3:00pm

あゝ声なき友(103分・35mm・カラー)
'72(松竹=渥美清プロ)(監督)今井正

10
8/4(土)1:30pm 8/16(木)3:00pm 8/22(水)7:00pm

海軍特別年少兵(127分・35mm・カラー)
'72(東宝)(監督)今井正

11
8/4(土)4:30pm 8/10(金)3:00pm 8/23(木)7:00pm

小林多喜二(119分・35mm・カラー)
'74(多喜二プロ)(監督)今井正

12
8/5(日)11:00am 8/10(金)7:00pm 8/18(土)5:00pm

妖婆(95分・35mm・カラー)
'76(永田プロ=大映)(監督)今井正

13
8/5(日)1:30pm 8/17(金)7:00pm 8/22(水)3:00pm

あにいもうと(88分・35mm・カラー)
'76(東宝)(監督)今井正

14
8/5(日)4:30pm 8/9(木)3:00pm 8/21(火)7:00pm

子育てごっこ(117分・35mm・カラー)
'79(五月舎=俳優座映画放送)(監督)今井正

15
8/7(火)3:00pm 8/12(日)5:00pm 8/25(土)1:00pm

ゆき(86分・35mm・カラー)
'81(虫プロ=にっかつ児童映画)(監督)今井正

16

8/7(火)6:30pm 8/18(土)1:40pm 8/26(日)4:00pm

ひめゆりの塔(142分・35mm・カラー)

'82(芸苑社)(監督)今井正

17

8/8(水)3:00pm 8/18(土)11:00am 8/24(金)7:00pm

戦争と青春(109分・35mm・カラー)

'91(こぶしプロ=プロデュースセンター=「戦争と青春」製作委員会)(監督)今井正

18

8/8(水)7:00pm 8/19(日)5:00pm 8/23(木)3:00pm

太陽を射るもの(84分・16mm・白黒)

'61(現代ぷろだくしょん)(監督)原功(監修)今井正

会 期
平成24年5月25日～平成24年6月16日 (20日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 駐日欧州連合代表部およびEU加盟国 大使館・文化機関
作品数・上映回数
20作品／20プログラム／42回上映
入場者数
7,862人(1回平均187人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 5月10日 映画でEU加盟国の暮らし 家族や恋愛描く
読売新聞 5月22日 夕刊 EUフィルムデーズ企画紹介
東京新聞 5月1日 夕刊 EUに加盟の21カ国の作品 25日から上映会
映像新聞 5月21日 日本初公開作を含む近作・名作21本を上映
西日本新聞 5月28日 [文化短信] EUフィルムデーズ2012
japantimes 5月25日 Fest Focuses on European film
映画と。(web) 5月20日 EU加盟国の近作を一堂に集めた「EUフィルムデーズ2012」開催
映画.com 5月26日 ハンガリーの気鋭監督、共産主義時代の思い出を熱く談義

333 EUフィルムデーズ2012

駐日欧州連合代表部およびEU加盟国大使館・文化機関との共同主催により、現代ヨーロッパ社会・文化と映画の多様性を紹介する上映企画の10回目である。第5回より主催者にフィルムセンターが加わり、今回は日本未公開作品や新作など21カ国から計21本を集めて上映した。

EU Film Days 2012

Co-organized with the Delegation of the European Union to Japan and the Embassies and the cultural institutions of the EU member nations, this was the 10th installment of the screening series that introduces the diversity of European societies, cultures, and cinema. Since the fifth installment, NFC became the co-organizer. This time, 21 films from 21 countries were screened including Japan premieres and other new titles.



1

5/26(金)11:00am 5/29(火)7:00pm

[アイルランド]

アイルランドの事件簿(96分・35mm・カラー) THE GUARD
2011(アイルランド)(監督)ジョン・マイケル・マクドノー

2

5/31(木)3:00pm 6/2(土)1:00pm

[イタリア]

人生、ここにあり!(111分・35mm・カラー) SI PUÒ FARE
2008(イタリア)(監督)ジュリオ・マンフレドニア

3

6/6(水)3:00pm 6/12(火)7:00pm

[英国]

エリックを探して(117分・35mm・カラー)

LOOKING FOR ERIC

2009(英国=フランス=イタリア=ベルギー=スペイン)
(監督)ケン・ローチ

4

6/10(日)4:00pm 6/15(金)3:00pm

[エストニア]

発明村のロッテ(78分・35mm・カラー)

LEIUTAJATEKÜLA LOTTE

2006(エストニア=ラトビア)

(監督)ヘイッキ・エルニツ、ヤンノ・プルトゥマ

5

5/27(日)5:00pm 6/1(金)3:00pm

[オーストリア]

カロと神様(94分・35mm・カラー)

KARO UND DER LIEBE GOTT

2006(オーストリア)(監督)ダニエレ・プロスカー

6

5/29(火)3:00pm 6/3(日)4:30pm

[オランダ]

サニー・ボーイ(141分・35mm・カラー)

SONNY BOY

2011(オランダ)(監督)マリア・ペータース

7

5/25(金)3:00pm 5/30(水)7:00pm

[スウェーデン]

ぼくのエリ 200歳の少女(115分・35mm・カラー)

LÅT DEN RÄTTE KOMMA IN

2008(スウェーデン)(監督)トーマス・アルフレッドソン

8

6/2(土)4:00pm 6/5(火)3:00pm

[スペイン]

ペーパーバード 幸せは翼によって(123分・35mm・カラー)

PAJAROS DE PAPEL

2010(スペイン)(監督)エミリオ・アラゴン

9

5/27(日)11:00am 6/8(金)3:00pm

[スロヴァキア]

空飛ぶツィプリアンの伝説(108分・35mm・カラー)

LEGENDA O LIETAJÚCOM CYPRIÁNOVI

2010(スロヴァキア=ポーランド)

(監督)マリアナ・チェンゲル=ソルチャンスカ

10

6/3(日)11:00am 6/7(木)7:00pm

[チェコ]

ブロンドの恋(85分・35mm・白黒)

LÁSKY JEDNÉ PLAVOVLÁSKY

1965(チェコスロヴァキア)(監督)ミロシュ・フォルマン

11

5/25(金)7:00pm 6/16(土)4:00pm

[デンマーク]

ポートランド(104分・35mm・カラー)

PORTLAND

1996(デンマーク)(監督)ニールス・アルデン・オブレヴ

12

5/30(水)3:00pm 5/31(木)7:00pm

[ドイツ]

ソウル・キッチン(99分・35mm・カラー) SOUL KITCHEN

2009(ドイツ=フランス=イタリア)(監督)ファティ・アキン

13

5/26(土)3:30pm 6/14(木)7:00pm

[ハンガリー]

メイド・イン・ハンガリー(109分・35mm・カラー)

MADE IN HUNGÁRIA

2009(ハンガリー)(監督)フォニョー・ゲルゲイ

14

6/9(土)1:00pm 6/13(水)3:00pm

[フィンランド]

危険なレシピ(86分・35mm・カラー)

KATASTROFIN AINEKSIA

2008(フィンランド=デンマーク)(監督)ジョン・ウェブスター

15

5/27(日)2:00pm 6/5(火)7:00pm

[フランス]

食料品屋の息子(99分・35mm・カラー)

LE FILS DE L'ÉPICIER

2006(フランス)(監督)エリック・ギラド

16

6/9(土)4:00pm 6/14(木)3:00pm

[ブルガリア]

ヤギ(111分・35mm・カラー) КОЗЕЛЪТ

2009(ブルガリア)(監督)ゲオルギー・デュルゲロフ

17

6/7(木)3:00pm 6/8(金)7:00pm

[ポーランド]

水の中のナイフ(94分・35mm・白黒) NÓZ W WODZIE

1962(ポーランド)(監督)ロマン・ポランスキ

18

6/6(水)7:00pm 6/12(火)3:00pm

[ポルトガル]

ブロンド少女は過激に美しく(64分・35mm・カラー)

SINGULARIDADES DE UMA RAPARIGA LOURA

2009(ポルトガル=フランス=スペイン)

(監督)マノエル・デ・オリヴェイラ

19

6/10(日)1:00pm 6/13(水)7:00pm

[ラトビア]

愛の揺らめき(121分・35mm・カラー) DANCIS PATRIM

2011(ラトビア)(監督)アルヴィーズ・クリエヴス

20

6/15(金)7:00pm※ 6/16(土)1:00pm※※

[ルーマニア]

クルリク(73分・35mm・カラー)

CRULIC - DRUMUL SPRE DINCOLO

2011(ルーマニア=ポーランド)(監督)アンカ・ダミアン

※ 上映プリント輸送遅延のため、上映中止。この回は、『ブロンドの恋』を再上映。

※※上映プリント輸送遅延のため、上映中止。この回は『水の中のナイフ』を再上映。

21

6/1(金)7:00pm 6/3(日)2:00pm

[ルクセンブルク]

反抗(100分・35mm・カラー)

RÉFRAC TAIRE

2009(ルクセンブルク=スイス)(監督)ニコラ・シュタイル

会 期
平成24年6月1日～平成24年6月17日 ※金、土、日のみ上映(9日間)
会 場
小ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
10作品／9プログラム／18回上映
入場者数
1,947人(1回平均108人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 6月5日夕刊 情報掲載

334 《京橋映画小劇場No.24》 アンコール特集 2011年度上映作品より

前年度に上映して満席を記録した作品など、とくに人気が高かった作品を再上映する企画で、今年で7回目を迎えた。2011年度の上映データを検討して10作品を選定し9プログラムに構成して、それぞれ2回の上映を行った。

Kyobashi-za No.24: Back by Popular Demand: From the Programs of 2011

This series re-screens especially popular films from the previous year's programs, such as those titles whose screenings sold out. For the seventh installment, NFC examined the screening data of 2011, chose 10 titles, and organized them into nine programs, showing each program twice.



1

6/1(金)2:00pm 6/9(土)3:00pm

銀座の女(109分・35mm・白黒)
'55(日活)(監督)吉村公三郎

2

6/1(金)6:00pm 6/10(日)0:00pm

悪の愉しさ(110分・35mm・白黒)
'54(東映東京)(監督)千葉泰樹

3

6/2(土)0:00pm 6/10(日)3:30pm

ぼくの伯父さん(116分・35mm・カラー)
MON ONCLE
'58(フランス=イタリア)(監督)ジャック・タチ

4

6/2(土)3:30pm 6/15(金)2:00pm

或る女(134分・35mm・白黒)
'54(大映東京)(監督)豊田四郎

5

6/3(日)11:30am 6/15(金)6:00pm

鉄路の白薔薇(160分・20fps・35mm・無声・白黒)
LA ROUE
'23(フランス)(監督)アベル・ガンズ

6

6/3(日)3:00pm 6/16(土)0:00pm

女であること(100分・35mm・白黒)
'58(東京映画)(監督)川島雄三

7

6/8(金)1:50pm 6/16(土)2:50pm

蒔絵 一松田権六のわざー(31分・35mm・カラー)
'71年度(日経映画社)(監督)小谷田亘

色鍋島(29分・35mm・カラー)
'72年度(桜映画社)(監)村山英治

8

6/8(金)6:00pm 6/17(日)0:00pm

もぐら横丁(93分・35mm・白黒)
'53(新東宝)(監督)清水宏

9

6/9(土)0:00pm 6/17(日)3:00pm

レミング(130分・35mm・カラー)
LEMMING
2005(フランス)(監督)ドミニク・モル

会 期
平成24年7月11日～平成24年7月29日 (17日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
17作品／17プログラム／51回上映
入場者数
5,884人(1回平均115人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 6月22日夕刊 エンターテインメントコーナー おすすめ! 70～90年代の話題作上映 上映会とともに 毎日新聞 7月4日 上映会招待券プレゼントとともに 読売新聞 7月10日夕刊 ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画 映画マガジンONLINE 6月15日 京橋のフィルムセンターで7月11日から『サスペリアPart2』など17本を上映 シネマトピックスオンライン 6月19日 「ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画」上映会 開催決定! 朝日新聞デジタル 6月22日 映画館で観たい洋画が集結! 貴重な特集上映が今夏開催 映画と。 7月3日 招待券プレゼント ブームを呼んだ大ヒット作が一挙上映 ムービーウォーカー 7月9日 あなたのお気に入りは何れ? 洋画の名作たちが一堂に会した特集上映開催

335 ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画

一般社団法人外国映画輸入配給協会（外配協）の発足50周年を記念して、主として1970年代から90年代に日本公開された外国映画のヒット作17本の上映を通して、我が国を席巻した外国映画のブームを振り返った。

LET'S GO TO THE MOVIES!

Celebrating the 50th Anniversary of Foreign Film
Importer-Distributors Association of Japan

Commemorating the 50th anniversary of the Foreign Film Importer-Distributors Association of Japan, NFC screened 17 big hit foreign films distributed in Japan mainly from the 1970s to 1990s, to look back at the boom in foreign films that became a national obsession.



1
7/11(水)0:00pm 7/22(日)1:00pm 7/24(火)3:00pm
大脱走 (173分・35mm・カラー) THE GREAT ESCAPE '63(アメリカ)(監督)ジョン・スタージェス
2
7/11(水)4:00pm 7/21(土)1:30pm 7/29(日)10:30am
キングコング (134分・35mm・カラー) KING KONG '76(アメリカ)(監督)ジョン・ギラミン
3
7/11(水)7:00pm 7/19(木)4:00pm 7/28(土)2:00pm
カサンドラ・クロス (128分・35mm・カラー) THE CASSANDRA CROSSING '76(イタリア=イギリス)(監督)ジョルジ・パン・コスマトス
4
7/12(木)1:00pm 7/15(日)11:00am 7/27(金)7:00pm
コンボイ (114分・35mm・カラー) CONVOY '78(アメリカ=イギリス)(監督)サム・ペキンパー
5
7/12(木)4:00pm 7/18(水)1:00pm 7/21(土)10:30am
ジュリア (118分・35mm・カラー) JULIA '77(アメリカ)(監督)フレッド・ジンネマン
6
7/12(木)7:00pm 7/20(金)1:00pm 7/28(土)5:00pm
サスベリアPART2 (106分・35mm・カラー) PROFONDO ROSSO '75(イタリア)(監督)ダリオ・アルジェント
7
7/13(金)1:00pm 7/15(日)5:00pm 7/26(木)7:00pm
Mr.BOO! ミスター・ブー (100分・35mm・カラー) 半斤八兩 / THE PRIVATE EYES '76(香港)(監督)マイケル・ホイ
8
7/13(金)4:00pm 7/21(土)4:30pm 7/24(火)7:00pm
エレファント・マン (124分・35mm・白黒) THE ELEPHANT MAN '80(アメリカ=イギリス)(監督)デビッド・リンチ
9
7/13(金)7:00pm 7/18(水)4:00pm 7/29(日)4:30pm
ジェラシー (122分・35mm・カラー) BAD TIMING '80(イギリス)(監督)ニコラス・ローグ

10
7/14(土)10:30am 7/17(火)7:00pm 7/27(金)1:00pm
エンドレス・ラブ (116分・35mm・カラー) ENDLESS LOVE '81(アメリカ)(監督)フランコ・ゼフィレッリ
11
7/14(土)1:15pm 7/20(金)7:00pm 7/26(木)1:00pm
ハウリング (90分・35mm・カラー) THE HOWLING '81(アメリカ)(監督)ジョー・ダンテ
12
7/14(土)3:30pm 7/19(木)0:00pm 7/25(水)3:00pm
愛と哀しみのボレロ (184分・35mm・カラー) LES UNS ET LES AUTRES '81(フランス)(監督)クロード・ルルーシュ
13
7/18(水)7:00pm 7/22(日)10:30am 7/27(金)4:00pm
ランボー (93分・35mm・カラー) FIRST BLOOD '82(アメリカ)(監督)テッド・コッチェフ
14
7/15(日)2:00pm 7/19(木)7:00pm 7/24(火)0:00pm
プロジェクトA (105分・35mm・カラー) A計劃/PROJECT A '83(香港)(監督)ジャッキー・チェン
15
7/20(金)4:00pm 7/22(日)5:00pm 7/25(水)0:00pm
ストリート オブ ファイヤー (94分・35mm・カラー) STREETS OF FIRE '84(アメリカ)(監督)ウォルター・ヒル
16
7/17(火)1:00pm 7/26(木)4:00pm 7/28(土)11:00am
フィールド・オブ・ドリームス (107分・35mm・カラー) FIELD OF DREAMS '89(アメリカ)(監督)フィル・アルデン・ロビンソン
17
7/17(火)4:00pm 7/25(水)7:00pm 7/29(日)1:30pm
ターミネーター 2 (137分・35mm・カラー) TERMINATOR2: JUDGEMENT DAY '91(アメリカ)(監督)ジェームズ・キャメロン

会 期
平成24年9月4日～平成24年9月9日 (6日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
8作品／6プログラム／12回上映
入場者数
1,836人(1回平均153人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 8月24日夕刊 ロシア・ソビエトの無声映画
しんぶん赤旗日曜版 9月2日 シネマの冒険 闇と音楽2012 ロシア・ソビエト無声映画選集
映像新聞 9月3日 ロシア・ソビエトの無声映画を鑑賞 NFC
しんぶん赤旗 9月4日 知られざる無声映画 ロシア・ソビエト特集
読売新聞 9月4日 ロシア・ソビエトの無声映画選集

336 シネマの冒険 闇と音楽 2012 ロシア・ソビエト無声映画選集

フィルムセンターが所蔵する無声映画の名作を、弁士や伴奏つきで上映し無声映画鑑賞の楽しみに触れる機会を提供するシリーズ企画であり、今回は神崎えり氏、小林弘人氏、柳下美恵氏の3名を招きピアノ伴奏付き上映を行った（1回目の上映はピアノ伴奏なし／2回目の上映はピアノ伴奏つき）。

Silent Film Renaissance 2012: A Selection of Russian and Soviet Silent Films

This series aims to introduce the masterpieces of silent films in the NFC collection through the screenings accompanied by live *benshi* (silent film narrators) performances and music. This time we invited three pianists, Eri Kozaki, Hiroto Kobayashi, and Mie Yanashita, and screened films with live music. For each day, the first screening was not accompanied, and the second screening was accompanied by a pianist.



1

9/4(火)3:00pm 9/9(日)4:00pm

スペードの女王(63分・16fps・35mm・無声・白黒)

Пиковая дама

'16(エルモリエフ社)(監督)ヤーコフ・プロタザーノフ

人生には人生を(60分・18fps・35mm・無声・白黒)

Жизнь за жизнь

'16(ハンジョンコフ社)(監督)エヴゲニー・パウエル

2

9/5(水)3:00pm 9/7(金)7:00pm

セルギー神父(106分・18fps・35mm・無声・白黒)

Отец Сергей

'18(エルモリエフ社)(監督)ヤーコフ・プロタザーノフ

3

9/6(木)3:00pm 9/8(土)4:00pm

ブライト技師の計画(22分・18fps・35mm・無声・白黒・不完全)

Проект инженера Прайта

'18(ハンジョンコフ社)(監督)(美)レフ・クレショフ

ポリクーシカ(59分・18fps・35mm・無声・白黒)

Поликушка

'19(ルーシ社)(監督)アレクサンドル・サーニン

4

9/4(火)7:00pm 9/7(金)3:00pm

ズヴェニーゴラ(94分・18fps・35mm・無声・白黒)

Звенигора

'27(全ウクライナ写真映画管理局〈オデッサ〉)

(監督)アレクサンドル・ドヴジェンコ

5

9/5(水)7:00pm 9/8(土)1:00pm

新バビロン(102分・18fps・35mm・無声・白黒)

Новый Вавилон

'29(ソフキノ〈レニングラード〉)

(監督)グリゴリー・コージンツェフ、レオニード・トラウベルグ

6

9/6(木)7:00pm 9/9(日)1:00pm

帝国の破片(75分・24fps・35mm・無声・白黒)

Обломок империи

'29(ソフキノ〈レニングラード〉)(監督)フリードリヒ・エルムレル

会 期
平成24年9月18日～平成24年9月28日 (10日間、うち、3日間は小ホールでも上映)
会 場
※大ホール：平成24年9月18日(火)～平成24年9月28日(金)、 ※小ホール：平成24年9月21日(金)～平成24年9月23日(日)
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 PFFパートナーズ(ぴあ、ホリプロ、日活)、 公益財団法人ユニジャパン
作品数・上映回数
31作品／22プログラム／35回(大ホール27回、小ホール8回)上映
入場者数
4,576人(1回平均131人)
新聞・雑誌等における掲載記事
朝日新聞 10月5日夕刊 グランプリに「くじらのまち」ぴあフィルムフェスティバル 産経新聞 10月5日 グランプリは「くじらのまち」

337 第34回 PFFぴあフィルムフェスティバル

今年第34回を迎えた「ぴあフィルムフェスティバル」(PFF)をフィルムセンターとPFFパートナーズ、公益財団法人ユニジャパンの共同主催で開催した。フィルムセンターでの開催は4度目となる。映画祭のメイン事業である自主映画コンペティション「PFFアワード」、同アワード受賞監督による第22回「PFFスカラシップ」作品のプレミア上映のほか、恒例となっている「招待作品部門」では、マイケル・パウエル、エメリック・プレスバガー(監督)とジャック・カーディフ(撮影)の作品を回顧する「映画の“ルック”を浴びてみる!」、日本映画をリードする映画作家たちのテレビ作品を上映する「テレビドラマに挑戦! WOWOWドラマをみる。」、故・森田芳光監督の追悼企画「森田芳光監督 幻の8mm作品たち」、今後の注目作を紹介する「日本映画最新作」からなる多彩なプログラムによる上映会を実施した。

The 34th Pia Film Festival

NFC co-organized the 34th 'Pia Film Festival (PFF)' with PFF Partners and UNIJAPAN. This was the fourth time PFF was held at NFC. A wide variety of programs were shown including the main event of the festival, 'PFF Award Competition' for non-theatrical films, and the premiere screening of the 22nd 'PFF Scholarship' film directed by the award winner. In the regular 'Invitation section,' various programs were held including a retrospective for Michael Powell, Emeric Pressburger (film directors) and Jack Cardiff (cinematographer); TV programs made by leading Japanese filmmakers; commemoration of the late Yoshimitsu Morita; and latest Japanese films which will attract attention in the future.



コンペティション部門

◆PFFアワード2012

A

9/19(水)0:30pm 9/22(土) 2:45pm

かしこい狗は、吠えずに笑う(94分/カラー)

(監督)渡部亮平

Her Res ～出会いをめぐる三分間の試問3本立て～

(12分・白黒+カラー)

(監督)山戸結希

B

9/19(水) 3:30pm 9/23(日)0:15pm

魅力の人間(92分・カラー)

(監督)二ノ宮隆太郎

オハヨー(13分・カラー)

(監督)佐久川満月

C

9/20(木)0:30pm 9/22(土)6:00pm

極私的ランナウェイ(76分・カラー)

(監督)河合健

ゆれもせで(20分・カラー)

(監督)川原康臣

D

9/20(木)3:30pm 9/23(日)3:15pm

故郷の詩(71分・カラー)

(監督)嶺豪一

継母(22分・カラー)

(監督)工藤隆史

E

9/20(木)6:30pm 9/25(火)11:45am

Please Please Me(65分・カラー)

(監督)青石太郎

水槽(49分・カラー)

(監督)加藤綾佳

F

9/21(金)0:30pm 9/23(日)6:15pm

リコ(65分・カラー)

(監督)弓場純

あん、あん、あん(43分・カラー)

(監督)イノウエカナ

G

9/21(金)3:30pm 9/25(火)6:15pm

くじらのまち(69分・カラー)

(監督)鶴岡慧子

あの日から村々する(22分・カラー)

(監督)加藤秀則

H

9/22(土)11:30am 9/25(火)3:00pm

Stay チューン(65分・カラー)

(監督)伊藤智之

飛び火(58分・カラー)

(監督)永山正史

◆表彰式とグランプリ上映

9/28(金)4:30pm

くじらのまち(69分・カラー)

(監督)鶴岡慧子

招待作品部門

◆映画の“ルック”を浴びてみる！

9/18(火)3:30pm 9/26(水)6:00pm

老兵は死なず(163分・35mm・カラー)

THE LIFE AND DEATH OF COLONEL BLIMP

'43(監督)マイケル・パウエル、エメリック・プレスパーガー

9/18(火)7:00pm 9/26(水)3:30pm

天国への階段(104分・35mm・白黒+カラー)

A MATTER OF LIFE AND DEATH

'46(監督)マイケル・パウエル、エメリック・プレスパーガー

9/18(火)0:30pm 9/21(金)1:30pm

赤い靴(136分・35mm・カラー)

THE RED SHOES

'48(監督)マイケル・パウエル、エメリック・プレスパーガー

9/21(金)4:30pm 9/26(水)1:00pm

黒水仙(100分・35mm・カラー)

BLACK NARCISSUS

'47(監督)マイケル・パウエル、エメリック・プレスパーガー

9/21(金)7:15pm 9/22(土)0:15pm

ヒズ・ロードシップ(72分・35mm・白黒)

HIS LORDSHIP

'32(監督)マイケル・パウエル

◆日本映画最新作

9/19(水)6:30pm

Playback(113分・35mm・白黒)

2012(監督)三宅唱

9/21(金)6:30pm

リルウの冒険(117分・カラー)

2012(監督)熊坂出

◆追悼 森田芳光監督 幻の8mm作品たち

9/23(日)11:30pm

映画(31分・パートカラー)

'71(監督)森田芳光

遠近術(76分・パートカラー)

'72(監督)森田芳光

9/23(日)2:30pm

水蒸気急行(59分・カラー)

'76(監督)森田芳光

ライブイン茅ヶ崎(77分・カラー)

'78(監督)森田芳光

◆テレビドラマに挑戦！ WOWOWドラマをみる。

9/22(土)2:00pm

贖罪(270分・カラー)

2012(監督)黒沢清

9/23(日)5:45pm

エンドロール〜伝説の父〜(117分・カラー)

2012(監督)石井裕也

◆第22回PFFスカラシップ作品お披露目

9/27(木)3:30pm

世界グッドモーニング！！(81分・カラー)

2009(監督)廣原 暁

9/27(木)6:30pm

HOMESICK(100分・カラー)

2012(監督)廣原 暁

会 期
平成24年9月30日～平成24年10月28日 (25日間)
会 場
大ホール
作品数・上映回数
68作品／22プログラム／50回上映
入場者数
5,089人(1回平均102人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞 9月9日 哀愁の主題歌 木下 監督も作詞 上映会紹介
読売新聞夕刊 9月21日 木下恵介の喜 劇やテレビドラマ 生誕100年で特集上 映
東京新聞夕刊 9月25日 生誕百年 木下 恵介劇場
読売新聞 9月29日 編集手帳内
日本経済新聞 9月29日 人間観察の厳 しさ再発見 木下恵介監督 生誕100年
読売新聞夕刊 10月9日 生誕百年 木下 恵介劇場

338 生誕百年 木下恵介劇場

木下恵介監督の生誕100周年を記念して、喜劇映画11本の他、テレビドラマ・シリーズ「木下恵介劇場」「木下恵介アワー」から12タイトル(「今年の恋」全8回、「もがり笛」は全13回、他の10タイトルはそれぞれ第1回を上映)、テレビアニメ・シリーズ「赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ」の全26話を22プログラムに構成して上映した。

Keisuke Kinoshita Retrospective at his Centenary

Commemorating the centenary of the birth of director Keisuke Kinoshita, this program screened 11 comedies and 12 titles of the TV drama series 'Kinoshita Keisuke gekijo' and 'Kinoshita Keisuke hour' (the entire 8 episodes from 'Kotoshi no koi', 13 episodes of 'Mogari bue', and from ten other titles, the first episodes were shown). And also NFC composed 22 programs from a total of 26 episodes of the TV animation series 'Akai tori no kokoro, nihon meisaku dowa series.'



◆木下喜劇と木下恵介アワー

1	
10/2(火)3:00pm	10/14(日)4:00pm

木下恵介アワー わが子は他人 第一回(25分・16mm・カラー)
'74(木下恵介プロ＝TBS)(監督)木下恵介

花咲く港(82分・35mm・白黒)
'43(松竹大船)(監督)木下恵介

2	
10/3(水)3:00pm	10/13(土)4:00pm

木下恵介アワー たんとんとん 第一回(25分・16mm・カラー)
'71(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)木下恵介

生きてゐる孫六(89分・35mm・白黒)
'43(松竹大船)(監督)木下恵介

3		
9/30(日)1:00pm	10/17(水)7:00pm	10/23(火)3:00pm

木下恵介アワー 二人の世界 第一回(25分・16mm・カラー)
'70(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)木下恵介

お嬢さん乾杯(89分・35mm・白黒)
'49(松竹大船)(監督)木下恵介

4		
9/30(日)4:00pm	10/16(火)3:00pm	10/24(水)7:00pm

木下恵介アワー おやじ太鼓 第一回(25分・16mm・白黒)
'68(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)桜井秀雄(制作)(脚本)木下恵介

破れ太鼓(108分・35mm・白黒)
'49(松竹京都)(監督)木下恵介

5	
10/9(火)7:00pm	10/26(金)3:00pm

木下恵介劇場 記念樹 第一話花に浮かぶ人
第一話 花に浮かぶ人(26分・16mm・白黒)
'66(松竹テレビ室＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)川頭義郎(制作)(原作)(脚本)木下恵介

カルメン故郷に帰る(86分・35mm・カラー)
'51(松竹大船)(監督)木下恵介

6		
10/5(金)3:00pm	10/16(火)7:00pm	10/28(日)4:00pm

カルメン故郷に帰る[白黒版](85分・16mm・白黒)
'51(松竹大船)(監督)木下恵介

7	
10/4(木)3:00pm	10/14(日)1:00pm

木下恵介アワー あしたからの恋 第一回(25分・16mm・カラー)
'70(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)木下恵介

カルメン純情す(103分・35mm・白黒)
'52(松竹大船)(監督)木下恵介

8		
10/6(土)1:00pm	10/18(木)7:00pm	10/24(水)3:00pm

木下恵介劇場
喜びも悲しみも幾歳月 第一回(26分・16mm・白黒)
'65(松竹テレビ室＝TBS)(監督)今井雄五郎(原作)木下恵介

風前の灯(79分・35mm・白黒)
'57(松竹大船)(監督)木下恵介

9		
10/5(金)7:00pm	10/13(土)1:00pm	10/25(木)3:00pm

木下恵介アワー 思い橋 第一回(25分・16mm・カラー)
'73(木下恵介プロ＝TBS)(監督)中村登(制作)木下恵介

春の夢(103分・35mm・カラー)
'60(松竹大船)(監督)木下恵介

10		
10/6(土)4:00pm	10/19(金)3:00pm	10/23(火)7:00pm

木下恵介アワー 3人家族 第一回(25分・16mm・カラー)
'68(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)木下恵介

今年の恋(82分・35mm・白黒)
'62(松竹大船)(監督)木下恵介

11	
10/9(火)3:00pm	10/21(日)4:00pm

木下恵介アワー 兄弟 第一回(25分・16mm・カラー)
'69(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)木下恵介

歌え若人達(86分・35mm・カラー)
'63(松竹大船)(監督)木下恵介

12	
10/7(日)1:00pm	10/25(木)7:00pm

木下恵介劇場 今年の恋 第一回－第四回
(計104分・16mm・白黒)
'67(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)桜井秀雄(制作)(原作)木下恵介

13	
10/7(日)4:00pm	10/26(金)7:00pm

木下恵介劇場 今年の恋 第五回－第八回(最終回)
(計103分・16mm・白黒)
'67(松竹＝木下恵介プロ＝TBS)(監督)桜井秀雄(制作)(原作)木下恵介

14

10/2(火)7:00pm 10/20(土)1:00pm

木下恵介アワー もがり笛 第一回-第四回

(計104分・16mm・白黒)

'67(松竹=木下恵介プロ=TBS) (監督)川頭義郎(制作) (脚本)木下恵介

15

10/3(水)7:00pm 10/20(土)4:00pm

木下恵介アワー もがり笛 第五回-第八回

(計104分・16mm・白黒)

'67(松竹=木下恵介プロ=TBS) (監督)川頭義郎、中新井和夫(制作) (脚本)木下恵介

16

10/4(木)7:00pm 10/21(日)1:00pm

木下恵介アワー もがり笛 第九回-第十三回(最終回)

(計129分・16mm・白黒)

'67-'68(松竹=木下恵介プロ=TBS) (監督)川頭義郎(制作) (脚本)木下恵介

◆赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ

17

10/10(水)3:00pm 10/19(金)7:00pm

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ 1-4(監修)木下恵介

天までとどけ(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)梶島義夫

牛をつないだ樁の木(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)小泉謙三

ふしぎな窓(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)芝山努

泣いた赤おに(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)楠部大吉郎

18

10/10(水)7:00pm 10/18(木)3:00pm

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ 5-8(監修)木下恵介

天にのぼる話(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)小林治

牛女(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)矢吹公郎

シャボン玉(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)吉田しげつぐ

鬼の角(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)西牧ひでお

19

10/11(木)3:00pm 10/27(土)4:00pm

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ 9-12(監修)木下恵介

蜘蛛の糸(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)西牧ひでお

お馬(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)西牧ひでお

赤いろうそくと人魚(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)大関雅幸

春を告げる鳥(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)楠部大吉郎

20

10/11(木)7:00pm 10/17(水)3:00pm

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ13-16(監修)木下恵介

虎の子の大発見(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)荒木伸吾

野ばら(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)大竹伸一

古事記物語より 満潮の玉・干潮の玉(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)中村英一

見捨てられた仔犬(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)大関雅幸

21

10/12(金)3:00pm 10/27(土)1:00pm

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ17-21(監修)木下恵介

なくなり物語(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)向中野義雄

ろうそくをつぐ話(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)前田康生

走れメロス(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)吉田しげつぐ

北原白秋詩集より 母子星(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)野島進

風の母子(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)森脇真琴

22

10/12(金)7:00pm 10/28(日)1:00pm

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ22-26(監修)木下恵介

五右衛門風(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)福富博

(シナノキツネより) **きつねの狐要信**(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)小泉謙三

杜子春(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)蔡志忠

ごんぎつね(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)出崎哲

名人伝(24分・16mm・カラー)

'79(K&S)(監督)もとひら了

会 期
平成24年11月6日～平成24年12月27日、 平成25年1月8日～平成25年2月3日 (69日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
81作品／69プログラム／138回上映
入場者数
17,728人(1回平均128人)
新聞・雑誌等における掲載記事
映像新聞 11月12日 日活映画を特集上映 100年の軌跡たどる NFC 月刊ギャラリー 美術館展覧会スケジュール欄 ビデオサロン 12月18日 白黒の無声映画から戦前・戦後の黄金時代、そしてロマンポルノまで誕生から100年、日活映画を振り返る特集上映 カンフェティ 11月15日 上映会「日活映画の100年 日本映画の100年」 チケブレ10組20名分も 月刊スカパー 9月号 永遠に輝き続ける日本映画のスタアFile内で展覧会・上映企画紹介

339 日活映画の100年 日本映画の100年

映画会社日活の創立百年を記念して同社の歴史をたどる上映会。草創期の向島撮影所の新派や大將軍撮影所の旧派映画、映画独自の表現を開花させた多摩川撮影所の文芸映画、そして戦後の黄金時代を彩ったプログラム・ピクチャー、現在の日本映画を支える若い才能を輩出したロマンポルノ路線まで、81本(69プログラム)の上映を通して映画会社・日活の巨大な足跡をたどった(次頁上映プログラムのうち*印の作品の上映回は、女性専用席を設けた)。

Nikkatsu 100: A Century of Japanese Cinema [Screening]

To commemorate 100 years since film company Nikkatsu's foundation, this program traced its history. By showing early Nikkatsu films such as *Shinpa* (new school) produced in the Mukojima studio and *Kyuba* (old school) from Taishogun studio, literature films from the Tamagawa studio in which cinematic expression flowered, "Program Pictures" which shone in the postwar golden age, and *Roman Poruno* films which nurtured young talented directors now in the center of Japanese cinema, this program traced the huge footprint of Nikkatsu through screenings of 81 films (in 69 programs).



◆日本映画史と日活：活動写真の時代

1
11/11(日)1:00pm

浦島太郎[デジタル復元版](2分・16fps・35mm・無声・染色)
'18(日活向島)(作画)北山清太郎

豪傑児雷也(21分・16fps・35mm・無声・白黒)
'21(日活大將軍)(監督)牧野省三

新派 二人静(83分・18fps・16mm・無声・白黒)
'22(日活向島)(監督)大洞元吾

2
11/6(火)3:00pm 12/15(土)4:00pm

慈悲心鳥[断片](2分・18fps・35mm・無声・白黒)
'27(日活大將軍)(監督)溝口健二

関東大震災実況(20分・16fps・35mm・無声・染色)
'23(日活向島)(撮影)高阪利光、伊佐山三郎

ふるさとの歌(50分・20fps・35mm・無声・白黒)
'25(文部省＝日活)(監督)溝口健二

3
11/6(火)7:00pm 12/20(木)7:00pm

地雷火組(31分・18fps・35mm・無声・白黒・部分)
'27-'28(日活大將軍)(監督)池田富保

忠次旅日記[デジタル復元版](107分・16fps・35mm・無声・染色・不完全)
'27(日活大將軍)(監督)伊藤大輔

4
11/7(水)3:00pm 12/16(日)4:00pm

特急三百哩(93分・16fps・35mm・無声・白黒)
'28(日活大將軍)(監督)三枝源次郎

5
11/7(水)7:00pm 12/15(土)1:00pm

愛の町(105分・18fps・35mm・無声・白黒)
'28(日活太秦)(監督)田坂具隆

6
11/8(木)3:00pm 12/16(日)1:00pm

難船ス物語 オヤ篇 猿ヶ嶋(24分・18fps・35mm・無声・白黒)
'31(日活太秦)(作画)政岡憲三

喜劇 汗(67分・18fps・35mm・無声・白黒)
'29(日活太秦)(監督)内田吐夢

◆トーキー化と多摩川現代劇の躍進：戦前の黄金時代

7
11/8(木)7:00pm 12/19(水)3:00pm

藤原義江のふるさと(86分・21fps・35mm・白黒)
'30(日活太秦＝ミナ・トーキー)(監督)溝口健二

8
11/9(金)3:00pm 12/19(水)7:00pm

多摩川撮影所トーキーステージ落成式(10分・35mm・白黒)
'35(日活)

河内山宗俊(81分・35mm・白黒)
'36(日活京都＝太秦発声)(監督)山中貞雄

9
11/9(金)7:00pm 12/20(木)3:00pm

忍術 火の玉小僧 江戸の巻(10分・35mm・白黒)
'35(日活太秦)(監督)田中與志

決闘高田の馬場[『血煙高田の馬場』改題短縮版](50分・35mm・白黒)
'37(日活太秦)(監督)マキノ正博、稲垣浩

10
11/10(土)1:00pm 12/21(金)7:00pm

人生劇場[無声版](49分・24fps・35mm・無声・白黒)
'36(日活多摩川)(監督)内田吐夢

愛の一家[無声版](61分・35mm・無声・白黒)
'41(日活多摩川)(監督)春原政久

11
11/10(土)4:00pm 12/26(水)3:00pm

限りなき前進(78分・35mm・白黒・改編版)
'37(日活多摩川)(監督)内田吐夢

12
11/13(火)3:00pm 12/26(水)7:00pm

五人の斥候兵(72分・35mm・白黒・不完全)
'38(日活多摩川)(監督)田坂具隆

13
11/13(火)7:00pm 12/27(木)3:00pm

土[最長版](117分・35mm・白黒)
'39(日活多摩川)(監督)内田吐夢

14
11/14(水)3:00pm 12/25(火)6:30pm

土と兵隊(144分・16mm・白黒・不完全)
'39(日活多摩川)(監督)田坂具隆

◆生まれ変わる日活：戦後の再スタート

15
11/11(日)4:00pm 12/21(金)3:00pm

日活特報 日活撮影所建設始まる(地鎮祭)(3分・35mm・白黒)
'53(日活)

かくて夢あり(105分・35mm・白黒)
'54(日活)(監督)千葉泰樹

16
11/14(水)7:00pm 12/22(土)1:00pm

女人の館(101分・35mm・白黒)
'54(日活)(監督)春原政久

17
11/15(木)3:00pm 12/22(土)4:00pm
日活ニュース 特報 全プロ開始 日活まつり(2分・35mm・白黒)

警察日記(111分・35mm・白黒)
'55(日活)(監督)久松静児

18
11/15(木)7:00pm 12/23(日)1:00pm

愛のお荷物(110分・35mm・白黒)
'55(日活)(監督)川島雄三

19
11/16(金)3:00pm 12/23(日)4:00pm

あした来る人(115分・35mm・白黒)
'55(日活)(監督)川島雄三

◆スター・システムとヌーヴェル・ヴァーグ：戦後の黄金時代

20
11/16(金)7:00pm 1/12(土)1:00pm

夏の嵐(86分・35mm・白黒)
'56(日活)(監督)中平康

21
11/20(火)3:00pm 1/11(金)7:00pm

勝利者(98分・35mm・カラー)
'57(日活)(監督)井上梅次

22
11/29(木)7:00pm 1/12(土)4:00pm

肉体の反抗(89分・35mm・白黒)
'57(日活)(監督)野口博志

23
11/17(土)1:00pm 12/27(木)7:00pm

月下の若武者(97分・35mm・カラー)
'57(日活)(監督)冬島泰三

24
11/17(土)4:00pm 12/25(火)3:00pm 1/18(金)7:00pm

幕末太陽傳[デジタル修復版](110分・35mm・白黒)
'57(日活)(監督)川島雄三

25
11/18(日)1:00pm 1/10(木)7:00pm

「テント劇場」より 盗まれた欲情(92分・35mm・白黒)
'58(日活)(監督)今村昌平

26
11/18(日)4:00pm 1/11(金)3:00pm

風速40米[コニカラー版・部分](13分・35mm・無声・カラー)
'58(日活)(監督)藏原惟緒

赤い波止場(99分・35mm・白黒)
'58(日活)(監督)舛田利雄

27
11/20(火)7:00pm 1/19(土)1:00pm

世界を賭ける恋(105分・35mm・カラー)
'59(日活)(監督)滝沢英輔

28
11/21(水)3:00pm 1/13(日)1:00pm

ギターを持った渡り鳥(77分・35mm・カラー)
'59(日活)(監督)斎藤武市

29
11/21(水)7:00pm 1/20(日)1:00pm

拳銃無頼帖 抜き射ちの竜(85分・35mm・カラー)
'60(日活)(監督)野口博志

30
11/22(木)3:00pm 1/13(日)4:00pm

海から来た流れ者(82分・35mm・カラー)
'60(日活)(監督)山崎徳次郎

31
11/22(木)7:00pm 1/9(水)3:00pm

打倒 KNOCK DOWN(82分・35mm・カラー)
'60(日活)(監督)松尾昭典

32
11/23(金・祝)1:00pm 1/9(水)7:00pm

俺の故郷は^{ウェスタン}大西部(63分・35mm・カラー)
'60(日活)(監督)西河克己

33

11/23(金・祝)4:00pm 1/8(火)3:00pm

ろくでなし稼業(83分・35mm・カラー)

'61(日活)(監督)斎藤武市

34

11/27(火)3:00pm 1/16(水)7:00pm

あいつと私(104分・35mm・カラー)

'61(日活)(監督)中平康

35

11/27(火)7:00pm 1/17(木)3:00pm

銀座の恋の物語(93分・35mm・カラー)

'62(日活)(監督)蔵原惟緒

36

11/24(土)1:00pm 1/17(木)7:00pm

若い人(90分・35mm・カラー)

'62(日活)(監督)西河克己

37

11/24(土)4:00pm 1/15(火)3:00pm

青い山脈(96分・35mm・カラー)

'63(日活)(監督)西河克己

38

11/28(水)3:00pm 1/8(火)7:00pm

くたばれ悪党ども 探偵事務所^{ツースリー}2 3(88分・35mm・カラー)

'63(日活)(監督)鈴木清順

39

11/25(日)1:00pm 1/15(火)7:00pm

泥だらけの純情(86分・35mm・カラー)

'63(日活)(監督)中平康

40

11/25(日)4:00pm 1/23(水)3:00pm

競輪上人行状記(99分・35mm・白黒)

'63(日活)(監督)西村昭五郎

41

11/28(水)7:00pm 1/22(火)3:00pm

関東無宿(92分・35mm・カラー)

'63(日活)(監督)鈴木清順

42

11/29(木)3:00pm 1/23(水)7:00pm

帝銀事件 死刑囚(108分・35mm・白黒)

'64(日活)(監督)熊井啓

43

11/30(金)3:00pm 1/19(土)4:00pm

黒い太陽(95分・35mm・白黒・英語字幕付)

'64(日活)(監督)蔵原惟緒

44

11/30(金)6:30pm 1/10(木)3:00pm

赤い殺意(150分・35mm・白黒)

'64(日活)(監督)今村昌平

45

12/1(土)1:00pm 1/24(木)7:00pm

執炎(121分・35mm・白黒)

'64(日活)(監督)蔵原惟緒

46

12/1(土)4:00pm 1/16(水)3:00pm

黒い賭博師(86分・35mm・カラー)

'65(日活)(監督)中平康

47

12/2(日)1:00pm 1/22(火)7:00pm

刺青一代(86分・35mm・カラー)

'65(日活)(監督)鈴木清順

48

12/4(火)3:00pm 1/18(金)3:00pm

大巨獣ガッパ(84分・35mm・カラー)

'67(日活)(監督)野口晴康

49

12/2(日)4:00pm 1/31(木)7:00pm

かぶりつき人生(94分・35mm・白黒)

'68(日活)(監督)神代辰巳

50

12/4(火)7:00pm 1/26(土)1:00pm

大幹部 無頼(97分・35mm・カラー)

'68(日活)(監督)小澤啓一

51

12/5(水)3:00pm 12/14(金)7:00pm

私が棄てた女(116分・35mm・パートカラー)

'69(日活)(監督)浦山桐郎

52

12/5(水)7:00pm 1/24(木)3:00pm

反逆のメロディー(84分・35mm・カラー)

'70(日活)(監督)澤田幸弘

53

12/6(木)3:00pm 1/25(金)7:00pm

野良猫ロック 暴走集団*71(87分・35mm・カラー)
'71(ホリ企画＝日活)(監督)藤田敏八

54

12/7(金)3:00pm 1/20(日)4:00pm

流血の抗争(86分・35mm・カラー)
'71(日活)(監督)長谷部安春

◆ロマンポルノ路線と新たな才能：現代日本映画の胎動

*印は公開当時成人指定を受けた作品。当該上映回に女性専用席を設けた。

55

12/6(木)7:00pm 1/30(水)3:00pm

いろごよみ
色暦 大奥秘話*(68分・35mm・カラー)
'71(日活)(監督)林功

56

12/7(金)7:00pm 1/27(日)1:00pm

けもの
しなやかな獣たち*(72分・35mm・カラー)
'72(日活)(監督)加藤彰

57

12/8(土)1:00pm 1/29(火)3:00pm

性談 牡丹燈籠*(67分・35mm・カラー)
'72(日活)(監督)曾根中生

58

12/11(火)3:00pm 1/30(水)7:00pm

哀愁のサーキット*(80分・35mm・カラー)
'72(日活)(監督)村川透

59

12/11(火)7:00pm 1/31(木)3:00pm

女地獄・森は濡れた*(65分・35mm・カラー)
'73(日活)(監督)神代辰巳

60

12/8(土)4:00pm 1/25(金)3:00pm

赤ちゃん(93分・35mm・カラー)
'74(日活)(監督)藤田敏八

61

12/9(日)1:00pm 1/29(火)7:00pm

江戸川乱歩猟奇館 屋根裏の散歩者*(76分・35mm・カラー)
'76(日活)(監督)田中登

62

12/9(日)4:00pm 2/1(金)3:00pm

夢野久作の少女地獄*(92分・35mm・カラー)
'77(日活)(監督)小沼勝

63

12/12(水)3:00pm 2/2(土)4:00pm

オリオンの殺意より 情事の方程式*(73分・35mm・カラー)
'78(日活)(監督)根岸吉太郎

64

12/13(木)3:00pm 1/26(土)4:00pm

天使のはらわた 赤い淫画*(67分・35mm・カラー)
'81(につかつ)(監督)池田敏春

65

12/12(水)7:00pm 2/3(日)4:00pm

闇に抱かれて*(68分・35mm・カラー)
'82(につかつ)(監督)武田一成

66

12/14(金)3:00pm 1/27(日)4:00pm

暗室*(121分・35mm・カラー)
'83(につかつ)(監督)浦山桐郎

67

12/13(木)7:00pm 2/1(金)7:00pm

セーラー服 百合族2*(68分・35mm・カラー)
'83(につかつ)(監督)那須博之

68

12/18(火)3:00pm 2/2(土)1:00pm

みんなあげちゃう♥(90分・35mm・カラー)
'85(につかつ)(監督)金子修介

69

12/18(火)7:00pm 2/3(日)1:00pm

猫のように(81分・35mm・カラー)
'88(につかつ撮影所)(監督)中原俊

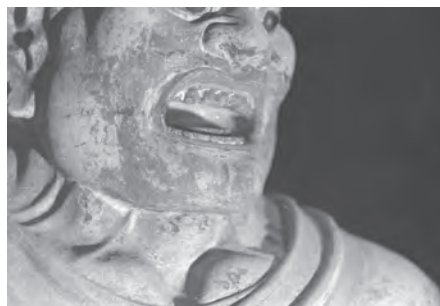
会 期
平成24年11月9日～平成24年12月23日 ※金、土、日のみ上映(21日間)
会 場
小ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
44作品／21プログラム／42回上映
入場者数
2,201人(1回平均52人)
新聞・雑誌等における掲載記事
読売新聞シティライフ 11月27日 インターネットミュージアム 11月7日

340 《京橋映画小劇場No.25》 東京国立近代美術館60周年記念 美術館と映画：フィルムセンター以前の上映事業

東京国立近代美術館の開館60周年を記念して、フィルムセンターの前身にあたるフィルム・ライブラリー(1952-1969年)の上映プログラムを再現しながら、国立美術館における映画の上映と、フィルムセンターの活動の原点を振り返る企画である。

Kyobashi-za No.25
The 60th Anniversary of The National Museum of Modern Art,
Tokyo
Film in the Museum: Screenings before National Film Center

At the 60th Anniversary of The National Museum of Modern Art, Tokyo, NFC brought back the screening programs of its former Film Library (1952-1969), and looked back at the film screenings at the National Museum and the roots of the activities of NFC.



1

11/30(金)1:00pm 12/23(日・祝)11:00am

桃山美術(18分・16mm・白黒)
'52(三井芸術プロ)(監督)水木莊也

上代彫刻(18分・16mm・白黒)
'52(三井芸術プロ)(監督)水木莊也

歌麿(14分・35mm・カラー)
'52(秀映社)(撮影)山田耕造

北齋(23分・35mm・白黒)
'53(青年ぶろ)(監督)勅使河原宏

2

11/17(土)11:00am 12/9(日)2:00pm

ジークフリート(80分・35mm・白黒・サウンド版)
SIEGFRIEDS TOD
'24(ドイツ)(監督)フリッツ・ラング

3

11/25(日)2:00pm 12/15(土)11:00am

蛸の骨(9分・24fps・35mm・無声・白黒)
'27(横浜シネマ商会)(作画)村田安司

蜘蛛の絲(10分・35mm・白黒)
'46(三幸スタジオ)(監督)大藤信郎

すて猫トラちゃん(21分・35mm・白黒)
'47(東宝教育映画＝日本動画)(監督)政岡憲三

小人とあお虫(16分・16mm・白黒)
'50(東宝教育映画＝日本動画)(監督)古沢秀雄

こねこのスタジオ(16分・35mm・カラー)
'59(東映動画)(監督)森やすじ

4

11/17(土)2:00pm 12/7(金)1:00pm

アッシャー家の末裔 (57分・20fps・35mm・無声・染色)
LA CHUTE DE LA MAISON USHER
'28(フランス)(監督)ジャン・エブステイン

5

11/24(土)2:00pm 12/21(金)1:00pm

或日の干潟(18分・35mm・白黒)
'40(理研科学映画)(監督)下村兼史

霜の花(19分・35mm・白黒)
'48(日本映画社)(撮影)吉野馨治、吉田六郎、小口禎三

いねの一生(21分・35mm・白黒)
'50(日本映画社)(監督)太田仁吉、樺島清一

6

11/16(金)5:00pm 12/9(日)11:00am

美とカへの道(104分・22fps・16mm・無声・白黒・英語版・日本語字幕無し)

WEGE ZU KRAFT UND SCHONHEIT
'25(ドイツ)(監督)ヴィルヘルム・プラーゲル

7

11/10(土)11:00am 12/7(金)5:00pm

寒椿(86分・16fps・35mm・無声・白黒)
'21(国活角筈)(監督)畑中夢坡

8

11/11(日)11:00am 12/14(金)5:00pm

朝から夜中まで(69分・18fps・35mm・無声・白黒)
VON MORGENS BIS MITTERNACHTS
'21(ドイツ)(監督)カールハインツ・マルティン

9

11/30(金)5:00pm 12/22(土)11:00am

日本百科映画大系 真空の世界(11分・16mm・白黒)
'53(日映科学映画製作所)(監督)中村麟子

文部省学術映画シリーズ5 アイヌの川漁(23分・16mm・白黒)
'53(岩波映画製作所)(製作スタッフ)渥美輝男、山村圭二郎、吉田六郎、桜井善一郎

文部省学術映画シリーズ6 ニホンザルの自然社会 (20分・35mm・白黒)

'54(三井芸術プロ)(監督)矢部正男

10

11/10(土)2:00pm 12/14(金)1:00pm

路上の靈魂(112分・18fps・35mm・無声・白黒)
'21(松竹キネマ研究所)(監督)村田實

11

11/9(金)1:00pm 12/1(土)2:00pm

旅順開城と乃木將軍(20分・16fps・16mm・無声・白黒)
'04(イギリス)(撮影)ローゼンタール

日本南極探検(20分・15fps・35mm・無声・白黒)
'12(Mパター商会)(撮影)田泉保直

先代萩(6分・16fps・35mm・無声・白黒)
'15(Mカシー商会)(出演)中村歌扇

豪傑児雷也(21分・16fps・35mm・無声・白黒)
'21(日活大將軍)(監督)牧野省三

12

11/25(日)11:00am 12/22(土)2:00pm

空気の無くなる日(51分・35mm・白黒)
'49(日本映画社)(監督)伊東壽恵男

13

11/18(日)11:00am 12/8(土)2:00pm

人生案内(94分・35mm・白黒)

ПУТЕВКА В ЖИЗНЬ

'31(ソ連)(監督)ニコライ・エック

14

11/16(金)1:00pm 12/2(日)2:00pm

極北の怪異[極北のナヌーク](63分・22fps・16mm・無声・白黒・日本語字幕無し)

NANOOK OF THE NORTH

'22(アメリカ)(監督)ロバート・J・フラハティ

15

11/24(土)11:00am 12/16(日)2:00pm

二人妻 妻よ薔薇のやうに(74分・35mm・白黒)

'35(R.C.L.)(監督)成瀬巳喜男

16

11/23(金・祝)11:00am 12/15(土)2:00pm

外人部隊(104分・35mm・白黒)

LE GRAND JEU

'33(フランス)(監督)ジャック・フェデー

17

11/18(日)2:00pm 12/21(金)5:00pm

マダムと女房(56分・35mm・白黒)

'31(松竹蒲田)(監督)五所平之助

18

11/9(金)5:00pm 12/2(日)11:00am

カリガリ博士(52分・20fps・35mm・無声・白黒・英語版・日本語字幕付き)

DAS KABINETT DES DR. CALIGARI

'20(ドイツ)(監督)ロベルト・ヴィーネ

19

11/23(金・祝)2:00pm 12/16(日)11:00am

ピグマリオン(86分・35mm・白黒)

PYGMALION

'38(イギリス)(監督)アンソニー・アスキス

20

11/11(日)2:00pm 12/8(土)11:00am

チューブ博士の狂気(14分・18fps・35mm・無声・白黒)

LA FOLIE DU DOCTEUR TUBE

'15(フランス)(監督)アベル・ガンズ

三面記事(23分・18fps・35mm・無声・白黒)

FAIT-DIVERS

'23(フランス)(監督)クロード・オータン＝ララ

幕間(19分・18fps・35mm・無声・白黒)

ENTR'ACTE

'24(フランス)(監督)ルネ・クレール

バレエ・メカニック(17分・16fps・35mm・無声・白黒)

BALLET MECHANIQUE

'24(フランス)(監督)フェルナン・レジエ

21

12/1(土)11:00am 12/23(日・祝)2:00pm

隣人(8分・16mm・カラー)

NEIGHBOURS

'52(カナダ)(監督)ノーマン・マクラレン

線と色の即興詩(5分・16mm・カラー)

BLINKITY BLANK

'55(カナダ)(監督)ノーマン・マクラレン

算数あそび(9分・16mm・カラー)

RHYTHMETIC

'56(カナダ)(監督)ノーマン・マクラレン、イヴリン・ランバート

つかの間の組曲(5分・16mm・カラー)

SHORT AND SUITE

'59(カナダ)(監督)ノーマン・マクラレン、イヴリン・ランバート

珍説 世界映画史の巻(8分・35mm・カラー・日本語版)

THE HISTORY OF THE CINEMA

'56(イギリス)(監督)ジョン・ハラス

珍説 酒は呑むべしの巻(10分・35mm・カラー・日本語版)

TO YOUR HEALTH

'56(イギリス)(監督)フィリップ・スタップ

猫とネズミ(9分・35mm・カラー)

MYSZKA I KOTEK

'58(ポーランド)(監督)ヴァディ斯拉フ・ネフレベッキ

会 期
平成25年2月5日～平成25年3月17日 (36日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
27作品／26プログラム／72回上映
入場者数
10,184人(1回平均141人)
新聞・雑誌等における掲載記事
東京新聞 3月5日 ロイヤルプラチナニュース 1月18日 シネマないち日。施設情報欄にて。

341 よみがえる日本映画vol.5〔日活篇〕 —映画保存のための特別事業費による

平成21年度補正予算から映画保存のための特別事業費を得て、フィルムセンターが取り組んできた原版素材の整備の成果をまとめて紹介するシリーズ企画で、5回目となる今回は日活の作品を特集した。

特別事業では、これまでにフィルムセンターが収集した貴重な映画作品159作品の原版作成などを行う一方、ネガが失われ久しくスクリーンでの鑑賞が困難であった日本映画の中から、巨匠、名匠による作品、各映画会社の歴史上特筆される作品など173作品を対象にネガとニュー・プリントの作成を行った。それらの中から日活作品を特集した今回は、同社が戦後製作を再開(1954年)して間もない1950年代の主要作品を中心に、計27本を26プログラムにまとめて紹介した。

The Little Known Japanese Cinema vol.5 - NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

NFC acquired special working expenses for film preservation from the supplementary budget of fiscal year 2009 and organized the project to secure master film materials. This event focused on Nikkatsu films as the fifth installment of the series that presents the results of such efforts.

As part of this special project, NFC made dupe negatives of the 159 rare titles in its collection. In addition, among the Japanese films which had long been unavailable for screening due to the loss of the negatives, NFC made dupe negatives and new prints for 173 titles that are especially important for such reasons as the fame and the critical acclaim of the director and the significance for the history of each film studio. This event featured the films in the latter category, that is the early films made by Nikkatsu, mainly the major titles from in the 1950s after the studio had just resumed production after the war (in 1954). A total of 27 films were shown in 26 programs.



1

2/5(火)3:00pm 2/17(日)4:00pm 2/28(木)7:00pm

國定忠治(116分・35mm・白黒)

'54(日活)(監督)滝沢英輔

2

2/5(火)7:00pm 2/23(土)1:00pm 3/6(水)3:00pm

地獄の剣豪 平手造酒(105分・35mm・白黒)

'54(日活)(監督)滝沢英輔

3

2/6(水)3:00pm 2/23(土)4:00pm 3/1(金)7:00pm

俺の拳銃は素早い(94分・35mm・白黒)

'54(日活)(監督)野口博志

4

3/12(火)7:00pm

百万ドルの明星 陽気な天國(73分・35mm・白黒)

'55(近江プロ)(監督)古川緑波

5

2/6(水)7:00pm 2/24(日)1:00pm 3/5(火)3:00pm

花のゆくえ(99分・35mm・白黒)

'55(日活)(監督)森永健次郎

6

2/7(木)3:00pm 2/24(日)4:00pm 3/6(水)7:00pm

母なき子(89分・35mm・白黒)

'55(日活)(監督)堀池清

7

2/7(木)7:00pm 2/19(火)3:00pm 3/9(土)1:00pm

石合戦(92分・35mm・白黒)

'55(劇団民芸＝富士映画)(監督)若杉光夫

8

2/8(金)3:00pm 2/19(火)7:00pm 3/10(日)1:00pm

神阪四郎の犯罪(111分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)久松静児

9

3/15(金)3:00pm

地獄の波止場(87分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)小杉勇

10

2/8(金)7:00pm 2/20(水)3:00pm 3/9(土)4:00pm

東京の人 前後篇(125分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)西河克巳

11

2/9(土)1:00pm 2/20(水)7:00pm 3/7(木)3:00pm

流離の岸(101分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)新藤兼人

12

2/9(土)4:00pm 2/21(木)3:00pm 3/5(火)7:00pm

海の純情(48分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)鈴木清太郎

夜霧のオ二國道(48分・35mm・白黒)

'58(日活)(監督)舛田利雄

13

2/10(日)1:00pm 2/21(木)7:00pm 3/8(金)3:00pm

惡魔の街(82分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)鈴木清太郎

14

2/10(日)4:00pm 2/22(金)3:00pm 3/7(木)7:00pm

逆光線(91分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)古川卓巳

15

2/12(火)3:00pm 2/22(金)7:00pm 3/10(日)4:00pm

地下から来た男(78分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)吉村廉

16

2/12(火)7:00pm 3/2(土)1:00pm 3/13(水)3:00pm

感傷夫人(92分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)堀池清

17

2/13(水)3:00pm 3/2(土)4:00pm 3/8(金)7:00pm

愛は降る星のあなたに(94分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)齋藤武市

18

2/13(水)7:00pm 3/3(日)1:00pm 3/12(火)3:00pm

地底の歌(89分・35mm・白黒)

'56(日活)(監督)野口博志

19

2/14(木)3:00pm 3/3(日)4:00pm 3/13(水)7:00pm

浮草の宿(74分・35mm・白黒)

'57(日活)(監督)鈴木清太郎

20

2/14(木)7:00pm 3/1(金)3:00pm 3/17(日)4:00pm

復讐は誰がやる(92分・35mm・白黒)

'57(日活)(監督)野口博志

21

2/15(金)3:00pm 2/26(火)7:00pm 3/17(日)1:00pm

私は前科者である(90分・35mm・白黒)

'57(日活)(監督)古川卓巳

22

3/16(土)4:00pm

8時間の恐怖(77分・35mm・白黒)

'57(日活)(監督)鈴木清太郎

23

2/16(土)1:00pm 2/26(火)3:00pm 3/14(木)7:00pm

永遠に答えず 青春篇(90分・35mm・白黒)

'57(日活)(監督)西河克巳

24

2/16(土)4:00pm 2/27(水)3:00pm 3/15(金)7:00pm

永遠に答えず 完結篇(103分・35mm・白黒)

'58(日活)(監督)西河克巳

25

2/15(金)7:00pm 2/28(木)3:00pm 3/16(土)1:00pm

心と肉体の旅(90分・35mm・白黒)

'58(日活)(監督)舩田利雄

26

2/17(日)1:00pm 2/27(水)7:00pm 3/14(木)3:00pm

羽田発7時50分(58分・35mm・白黒)

'58(日活)(監督)舩田利雄

会 期
平成25年3月19日～平成25年3月31日 (12日間)
会 場
大ホール
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
作品数・上映回数
13作品／12プログラム／24回上映
入場者数
3,578人(1回平均149人)
新聞・雑誌等における掲載記事
東京新聞 3月5日 自選シリーズ 現代日本の映画監督1 崔洋一
東洋経済日報 3月15日 “異邦人の存在” 映し出す 在日が主人公『月はどっちに出ている』など13作品
朝日新聞 3月8日夕刊 監督自選上映 第一回は崔洋一 19日からフィルムセンター
毎日新聞 3月12日夕刊 監督のヒストリーを映画で振り返る自選シリーズ現代日本の映画監督
産経新聞 3月17日 崔洋一監督の自選特集上映
読売新聞夕刊 3月19日 自選シリーズ 現代日本の映画監督 崔洋一
読売新聞 3月15日 崔洋一監督の特集上映
映像新聞 3月18日 新企画「自選シリーズ」第一回は崔洋一監督 NFC
ビデオサロン 3月19日 現代日本映画をリードしてきた映画監督が上映作品を自ら選ぶ特集
シリーズ第一弾は崔洋一監督の12作品を上映
月刊ギャラリー 美術館展覧会スケジュール欄
週刊金曜日 3月1日
松戸市立博物館友の会 3月1日 「月はどっちに出ている」等日替わり上映
ザ・プライムショー 3月1日 崔洋一監督出演

342 自選シリーズ 現代日本の映画監督 1 崔 洋一

1980年代以降を中心に日本映画をリードする現役の映画監督をとりあげ、自選による作品の上映を通して、現代日本映画の原点を探るシリーズ特集の第1回目である。今回は崔洋一監督を取り上げ、デビュー作『十階のモスキート』(1983年)やロマンポルノ作品『性的犯罪』(1983年)、『友よ、静かに冥れ』(1985年)などの角川映画、数々の賞に輝いた1993年の『月はどっちに出ている』から2004年の話題作『血と骨』まで計13本(追加上映作品を含む)を12プログラムに構成して上映した。

Directed by Yoichi Sai - His Own Selection

This is the first installment of a series investigating the roots of modern Japanese cinema through putting focus on a leading, active filmmaker in Japan after the 1980s and showing his/her own selection of films. This time NFC picked director Yoichi Sai and screened a total of 13 films (including additional screenings) in 12 programs, from his debut *Jukkai no mosukito* (1983), *Roman Poruno* film *Seiteki hanzai* (1983), Kadokawa films including *Tomo yo shizukani nemure* (1985), *Tsuki wa docchi ni deteiru* [Where Is the Moon?] (1993), which received many awards, and his remarkable film from 2004, *Chi to hone* [Blood and Bones].



1
3/20(水・祝)1:00pm 3/26(火)7:00pm
十階のモスquito (108分・35mm・カラー) '83(ニュー・センチュリー・プロデューサーズ)(監督)崔洋一
2
3/19(火)3:00pm 3/27(水)7:00pm
性的犯罪(77分・35mm・カラー) '83(にっかつ)(監督)崔洋一
3
3/19(火)7:00pm 3/31(日)1:00pm
友よ、静かに眠(ねむ)れ(103分・35mm・カラー) '85(角川春樹事務所)(監督)崔洋一
4
3/21(木)3:00pm 3/29(金)7:00pm
黒いドレスの女(100分・35mm・カラー) '87(角川春樹事務所)(監督)崔洋一
5
3/20(水・祝)4:30pm 3/28(木)3:00pm
花のあすか組！ ASUKA(99分・35mm・カラー) '88(角川春樹事務所)(監督)崔洋一
6
3/22(金)7:00pm 3/31(日)4:00pm
Aサイデイズ(111分・35mm・カラー) '89(大映)(監督)崔洋一
7
3/22(金)3:00pm 3/30(土)1:00pm
月はどっちに出ている(110分・35mm・カラー) '93(シネカノン)(監督)崔洋一
J・MOVIE・WARS 月はどっちに出ている(34分・35mm・カラー) '93(日本衛星放送＝ヒルヴィラ＝東映)(監督)崔洋一
8
3/23(土)1:00pm 3/28(木)6:45pm
マークスの山(139分・35mm・カラー) '95(松竹＝アミューズ＝丸紅)(監督)崔洋一
9
3/23(土)4:30pm 3/26(火)3:00pm
犬走る DOG RACE(110分・35mm・カラー) '98(東映ビデオ)(監督)崔洋一
10
3/24(日)1:00pm 3/27(水)3:00pm
豚の報い(118分・35mm・カラー) '99(サンセントシネマワークス)(監督)崔洋一

11
3/21(木)7:00pm 3/30(土)5:00pm
刑務所の中 DOING TIME(93分・35mm・カラー) 2002(ビーワイルド＝衛星劇場)(監督)崔洋一
12
3/24(日)4:00pm 3/29(金)3:00pm
血と骨(144分・35mm・カラー) 2004(「血と骨」製作委員会)(監督)崔洋一

1-3	展覧会 Exhibitions
-----	-----------------

1-3-1	展覧会一覧(新ビル開館より平成23年度まで) Exhibitions from the Opening of NFC's New Building in Fiscal 1995 until 2010
-------	--

回数	展覧会名
----	------

平成7年度[1995]	1	映画生誕百周年記念 ポスターでみる日本映画史 みそのコレクションより Japanese Film History in Posters: From the Collection of Kyohei Misono
平成8年度[1996]	2	写真で見る「ジャン・ルノワール, 映画のすべて。」 UCLAジャン・ルノワール・コレクションより Le Grand Théâtre de Jean Renoir: A Photo Exhibition from UCLA Library Special Collections Jean Renoir Papers
平成9年度[1997]	3	ポスターで見る「無声時代後期のソビエト映画」 Soviet Film Posters in Late Silent Era
平成10年度[1998]	4	ポスターでみる日本映画史PART II みそのコレクションより Japanese Film History in Posters, Part II: From the Collection of Kyohei Misono
平成11年度[1999]	5	フリッツ・ラング：映像とそのイメージの原型 Fritz Lang: Filmbilder Vorbilder
平成12年度[2000]	6	ポスターで見る「無声時代後期のソビエト映画」PART II Soviet Film Posters in the Late Silent Era, Part II
平成13年度[2001]	7	「イタリア映画大回顧」ポスター展 Italian Film Posters in Japan: From the National Film Center Collection
	8	資料でみる日本映画史 みそのコレクションより Japanese Film History in Documents: From the Collection of Kyohei Misono
平成14年度[2002]	9	展覧会 映画遺産 東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより The Japanese Film Heritage: From the Non-Film Collection of the National Film Center
平成15年度[2003]	10	映画資料でみる蒲田時代の小津安二郎と清水宏 Days of Youth: Ozu and Shimizu at the Shochiku Kamata Studio
平成16年度[2004]	11	造形作品でみる 岡本忠成アニメーションの世界 Artworks from the Animation Films of Tadanari Okamoto
	12	映画女優 高峰秀子展 Hideko Takamine, Film Actress

平成17年度[2005]	<p>13 尾上松之助と時代劇スターの系譜 Matsunosuke Onoe and the Culture of Period Films</p> <p>14 ポーランドの映画ポスター 東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより Polish Posters for Films: From the Collection of National Film Center</p> <p>15 松竹創業110周年記念 松竹と映画 Shochiku Company at 110: Shochiku in the History of Japanese Cinema 『浮雲』再現セット Recreated Set of <i>Ukigumo</i></p>
平成18年度[2006]	<p>16 生誕100周年記念 美術監督 水谷浩の仕事 Pioneering Art Director: Hiroshi Mizutani at his Centenary</p> <p>17 生誕110周年記念 衣笠貞之助の世界 Teinosuke Kinugasa: From Female Impersonator to Master Filmmaker</p>
平成19年度[2007]	<p>18 スチル写真でみる日本の映画女優 Japanese Film Actresses: from the NFC Still Photo Collection</p> <p>19 没後30年記念 チャップリンの日本 チャップリン秘書・高野虎市遺品展 Chaplin Meets Japan: from the Collection of Toraichi Kono, Charles Chaplin's Secretary</p> <p>20 マキノ映画の軌跡 The Makino Picture Story</p>
平成20年度[2008]	<p>21 映画資料でみる 映画の中の日本文学 Part 1 Japanese Literature in Film Part 1—From the NFC Non-film Collection</p> <p>22 生誕100年 川喜多かしこ展 Madame Kawakita, Her Life and Films</p> <p>23 無声時代ソビエト映画ポスター展 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵《袋一平コレクション》より Soviet Film Posters in the Silent Era</p>
平成21年度[2009]	<p>24 映画資料でみる 映画の中の日本文学 Part 2 Japanese Literature in Film Part 2—From the NFC Non-film Collection</p> <p>25 ドキュメンタリー作家 土本典昭 Noriaki Tsuchimoto: The Life of a Documentary Filmmaker</p> <p>26 生誕百年 映画女優 田中絹代 Film Actress Kinuyo Tanaka at her Centenary</p> <p>27 戦後フランス映画ポスターの世界 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵《新外映コレクション》より Postwar French Cinema in Posters</p>
平成22年度[2010]	<p>28 映画資料でみる 映画の中の日本文学 Part 3 Japanese Literature in Film Part 3—From the NFC Non-film Collection</p> <p>29 アニメーションの先駆者 大藤信郎 Noburo Ofuji, Pioneer of Japanese Animation</p>

平成23年度[2011]

- 30 生誕百年 映画監督 黒澤明
Akira Kurosawa at his Centenary
[常設展] NFCコレクションでみる 日本映画の歴史
Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFC Non-film Collection
- 31 フィルムセンター設立40周年企画 展示室リニューアル記念 NFC映画
展覧会の15年 1995-2010
15 Years of NFC's Exhibitions: 1995-2010
- 32 映画パンフレットの世界
Souvenir Movie Programs of Japan
- 33 映画女優 香川京子
Kyoko Kagawa, Film Actress
- 34 日本の映画ポスター芸術
The Art of Film Posters in Japan

会 期
平成24年4月11日～平成24年7月29日 (89日間)
会 場
展示室
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 社団法人外国映画輸入配給協会
出品点数
113点
入場者数
5,104人(1日平均57人)
新聞・雑誌等における掲載記事
朝日新聞 4月11日 ミュージアムの欄 公明新聞 4月17日 日本ヘラルド元常 務坂上氏インタビュー 世界や時代を知る教科書が「外国映画」 朝日新聞朝刊 4月25日 地獄の黙示録・ プラトーン・サスペリア… プレイバック 洋画時代 岡田氏取材 毎日新聞 4月12日 あのヒット映画、そ して往年の名劇場がよみがえる 読売新聞 6月22日夕刊 エンターテイン メントコーナー おすすめ! 70～90 年代の話題作上映 上映会とともに 月刊ギャラリー 4月1日 美術館展覧会 スケジュール欄 展覧会ガイド 4月1日 oggi 5月28日 東京メトロ 沿線だより 5月1日 企画情 報紹介 常陽芸文 4月1日 企画情報紹介 日本映画専門チャンネル「シネホリ」 4 月14日 深夜1:45～1週間 東京ベイネットワーク 4月11日 Let's enjoy Tokyo 3月16日 大人のカルチャーガイド 3月23日 ハリウッドチャンネル 3月31日 銀座新聞ニュース 4月15日 フィルム センターで外国映画展、70.80年代ポス ター等 銀座新聞ニュース 4月16日 京橋で外 国映画展、劇場の入り口再現も 銀座新聞ニュース 4月17日 京橋で外 国映画展、坂上直行、竹内康治が宣伝手 法を語る ROAD SIDER'S weekly 4月25日 都築響 一氏の「Roadsider's weekly」編集後記にて ソシエテペリエ 6月18日 外国映画 ブームから刺激を受ける

35 ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代

私たちの生活の中に深く根付いてきた世界各国の映画を見つけ出し、買い付け、宣伝し、映画館に届けてくれるのは映画の輸入・配給会社である。2012年、輸入映画の質的向上と輸入配給事業の健全な発展のため、国内資本の外国映画配給会社によって一般社団法人外国映画輸入配給協会(外配協)が設立されてから50年の節目を迎えた。1970年代には、配給収入において外国映画が初めて日本映画を凌駕し、アメリカ・ヨーロッパ・香港映画など数々の大ヒットが国民的なブームを呼び起こした。数々の流行語や社会現象も生まれ、当の映画だけでなく宣伝のキャッチフレーズが人々の記憶に強く残ることもしばしばあった。

外配協との共同開催によるこの展覧会では、主に1970年代から80年代に日本を席巻した作品を、当時のポスターや宣伝資料で振り返るとともに、外国映画配給のゴールデン・エイジを支えた大都市の劇場に注目し、「映画街」と呼ばれた都市文化の華やかさにも目を向けた。《日本人にとっての外国映画》を再発見する機会としても位置付けられる企画である。

同じく外配協との共催となった上映企画「ロードショーとスクリーン ブームを呼んだ外国映画」も並行して実施された。

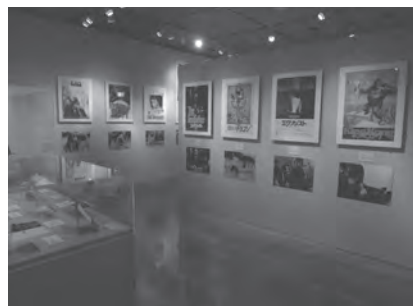
LET'S GO TO THE MOVIES!

Celebrating the 50th Anniversary of Foreign Film
Importer-Distributors Association of Japan

Foreign film importer-distributors discover, buy in, and publicize films from all over the world, and these have become deeply rooted in our everyday life. 2012 was the 50th anniversary of the Foreign Film Importer-Distributors Association of Japan. The FFIDAJ was founded with the aim of increasing the quality of imported films and developing a healthy import-distribution industry. When foreign films exceeded Japanese films in terms of distribution revenue in the 1970s, many big hit films from the US, Europe, and Hong Kong became a national obsession. A lot of fashionable new words and social phenomena were generated, and promotional catch phrases often became embedded in our memories, in addition to the films themselves.

This exhibition is jointly hosted with the FFIDAJ and looks back at those films that swept Japan mainly in the 1970s and 1980s using posters and publicity materials. It also features the movie theaters in the big cities, which supported the golden age of foreign film distribution to focus on the splendid urbane culture called “Cinema Quarter”. This was an opportunity for the re-discovery of “foreign films for Japanese”.

At the same time, NFC held a screening program of the same title, also co-organized with FFIDAJ.



会 期
平成24年8月14日～平成24年12月23日 (102日間)
会 場
展示室
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター
出品点数
224点
入場者数
5,738人(1日平均56人)
新聞・雑誌等における掲載記事
朝日新聞 7月30日 七転八起で若い感性を世に 展覧会紹介 公明新聞 8月10日 展覧会「日活映画の100年 日本映画の100年」 朝日新聞 8月15日 ジャパンタイムズ 8月16日 Nikkatsu 100: A Century of Japanese Cinema 読売新聞夕刊 8月28日 日活映画の100年 日本映画の100年 東京新聞 8月30日 美術・博物館ガイド 産経新聞 9月24日 時代を映し続ける創造性の背景 新潟日報 9月26日 日活映画の100年 日本映画の100年 公明新聞 9月26日 日活映画100年 断絶と継承と岡田氏寄稿 北海道新聞 10月12日 貴重な資料紹介 各地で記念企画 月刊ギャラリー 9月1日 美術館展覧会スケジュール欄 日本歴史 10月 博物館スケジュールコーナー 月刊スカパー 9月号 永遠に輝き続ける日本映画のスタアFile内で展覧会紹介(上映企画も) 週刊朝日 8月17日 24号 「日活映画の100年 日本映画の100年」 週刊金曜日 9月28日 サンデー毎日 11月25日 「大衆娯楽の王様」の歴史を辿る 日本映画支えた日活の1世紀 週刊ポスト 12月14日 坪内祐三の美術批評 眼は行動する モダンでハイカラでバタクさかった日活の百年史 月刊旅行読売 12月2日 Zipper 9月23日 日本映画の面白さを知ろう 「日活映画の100年 日本映画の100年」 サライ 9月10日 花saku 11月1日 日活映画の100年 日本映画の100年 松戸市立博物館友の会会報 8月～9月 JR東日本 小さな旅 10月 興味深い博物館めぐり 「映画の魅力を発見！」日活展開催中 銀座新聞ニュース 8月11日 京橋センターで日活100年記念展(1) 銀座新聞ニュース 8月13日 京橋で日活100周年展、上田学、紙屋牧子、佐藤千紘ら解説(2) Let's enjoy Tokyo 7月11日 歴史人ホームページ 8月26日 日活映画の100年 日本映画の100年

36 日活映画の100年 日本映画の100年

1912年、黎明期にあった日本の活動写真界に“日活”が誕生してから100年の区切りを記念して、世界的にも稀有な歴史を誇るこの映画会社に焦点を当てた展覧会を開催した。日活という会社は、時代ごとにさまざまな貌を見せてきたいわば“多面体”である。東京向島に撮影所を建設して新派映画に特色を見せ、京都では尾上松之助が日本初のスター俳優となった草創期、大河内傳次郎らの活躍する時代劇や革新的なドラマ作りが京都で花開き、また東京の多摩川撮影所でリアリズムや文学性をたたえた現代劇が生み出された戦前期、石原裕次郎・小林旭などのアクション映画や吉永小百合らの青春映画が一世を風靡した戦後の黄金期、経営難を脱すべく成人映画に活路を見いだした1970年代から80年代—そして現在も、撮影所の創造性に根ざし、映画産業の変貌に寄り添いながら次の世紀へと一步を踏み出している。

この展覧会では、波乱万丈の歴史の中でクリエイティブな映画作りに邁進してきた同社の道のりを上記6つの章に分けて紹介した。また、11月6日には大ホールにおいて同名の上映企画も開催した。

Nikkatsu 100: A Century of Japanese Cinema

NFC held an exhibition focusing on “Nikkatsu”, a film company which boasts a unique history of a kind seldom seen even overseas, to commemorate its 100th anniversary. Since it was born in 1912, in the predawn of the Japanese film world, the company Nikkatsu has revealed different faces depending on the era. In the early days in Tokyo, at the studio in Mukojima, it stood out in Shinpa (new school) drama, and in Kyoto made Matsunosuke Onoe the first Japanese movie star. In the prewar era in Kyoto it developed innovative techniques and period dramas starring such actors as Denjiro Okochi and created contemporary drama based on realism and literariness at Tamagawa studio, Tokyo. Action films starring the likes of Yujiro Ishihara or Akira Kobayashi, and youth films starring, for example, Sayuri Yoshinaga dominated the postwar golden age, and to find a way out of financial difficulties in the 1970s-80s, it sought new opportunities with adult films. Even now Nikkatsu is moving forward into the next era, keeping one foot in the studio's inventive tradition, while embracing the evolution of the film industry.

In this exhibition, NFC introduced the company's course in making creative films throughout its eventful history in six chapters. And from the 6th November, the screening program of the same title was held at NFC's Cinema 1.



会 期	
平成25年1月8日～平成25年3月31日 (72日間)	
会 場	
展示室	
主 催	
東京国立近代美術館フィルムセンター	
出品点数	
160点	
入場者数	
4,770人(1日平均66人)	
新聞・雑誌等における掲載記事	
日本経済新聞	1月10日 ミュージアムガイド欄
朝日新聞夕刊	1月16日 西部劇の世界
読売新聞夕刊	2月26日 西部劇の世界 ポスターでみる映画史
朝日新聞	1月31日 西部劇にどっぷり 京橋・フィルムセンターで企画展 ポスター100点、和製も紹介
新潟日報	12月26日
映像新聞	1月7日 西部劇がテーマのポスター展開くNFC
ジャパンタイムズ	1月10日 Film History in Posters Part 1 Western Movies
ジャパンタイムズ	1月24日 1/10の記事に関連してチケットプレゼント
msnニュース	1月6日 ポスターでみる西部劇 国立近代美術館フィルムセンター
毎日が発見	12月28日
松戸市立博物館友の会会報	3月1日 「駅馬車」「ウィンチェスター銃73」など映画ポスターで綴る西部開拓史
東京メトロ沿線だより	2013/2.3 スケジュール
Zipper	3月号 レトロなポスターに思いを馳せる。
smart	12月24日
CUT	1月19日
Walker Plus	1月9日 展覧会「西部劇の世界 ポスターでみる映画史 Part1
インターネットミュージアム	12月25日 西部劇の世界 ポスターでみる映画史Part1
WEBサライ	12月27日
一個人web	1月11日 西部劇の世界 ポスターでみる映画史Part1 開催
銀座新聞ニュース	1月11日 京橋センターでポスターに見る西部劇、柳下毅一郎、濱口幸一ら語る
BOOK PEOPLE	1月31日 「勝手におすすめ展覧会」
柳下毅一郎の皆殺し映画通信	3月26日 トークイベントレポート

37 ウェスタン 西部劇の世界 ポスターでみる映画史Part1

開拓期アメリカの大自然を背景に、世界の映画ファンを魅了してきた西部劇は、現在でこそアメリカ映画の主軸から退いているが、このジャンルが映画芸術に与えた貢献は不滅である。

新シリーズ「ポスターでみる映画史」の第1回となるこの展覧会「西部劇の世界」は、世界映画史において特権的な地位を占めるこのジャンルに光を当てるポスター展である。ジョン・フォード監督とジョン・ウェインのコンビが創造した傑作群、ゲイリー・クーパー、ジェームズ・スチュワートら往年の大スターの出演作からクリント・イーストウッド、ケヴィン・コスナーらが挑んだ近年の西部劇まで、戦後に公開された名作の日本版ポスターを通じてその系譜をたどった。また、ワイアット・アープやビリー・ザ・キッドといった実在の人物像の映画化に注目するとともに、本拠地である合衆国のほか、イタリアの「マカロニ・ウェスタン」をはじめとするヨーロッパ産西部劇にも視野を拡げ、さらにこれを日本映画に移植しようとした試みにも触れた。構成としては「不滅の二人—ジョン・フォードとジョン・ウェイン」「西部のヒーローとアンチ・ヒーローたち」「永遠なる西部—戦後ウェスタンの輝き」「変貌する西部劇」「マカロニ・ウェスタンの世界」「ヨーロッパ・ウェスタン、そして和製西部劇」という6つの章に分け、さらに畑暉男氏所蔵の西部劇映画パンフレットを展示して、戦後日本の映画観客から見た黄金期西部劇の姿を描き出した。

Film History in Posters Part 1: WESTERN MOVIES

Against the background of the vast wilderness of the American pioneering phase, Westerns attracted film fans worldwide. They are not quite at the center of American movies right now, but nonetheless the contribution of this genre to the art of film is immortal.

As part one of this new series, 'Film History in Posters', this exhibition entitled 'Western Movies' spotlighted a genre that holds a privileged position in world film history. As well as masterpieces created by the partnership between John Ford and John Wayne, it spanned classics starring movie stars such as Gary Cooper and James Stewart, to recent Westerns by Clint Eastwood or Kevin Costner, using Japanese versions of posters released after the war. Moreover, it focused on films dealing with real characters such as Wyatt Earp or Billy the Kid, and broadened its perspective to look not only at American Westerns, but also those made in Europe, for example Italian "Spaghetti" Westerns. In addition, it showed the adaptation of Western tropes to Japanese films. The exhibition was in six chapters: 'John Ford & John Wayne', 'Men of the West', 'How the West was shot', 'To the Modern Day Westerns', "Spaghetti" Westerns, 'European and Japanese Westerns'. Movie pamphlets owned by Akio Hata were also displayed, to depict the golden age of westerns from the postwar Japanese audience's viewpoint.



会 期
平成24年6月23日～平成24年6月30日 (延べ上映日数7日間)
会 場
リュミエール劇場 (イタリア・ボローニャ)
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 チネテカ・デル・コムネ・ディ・ボローニャ
作品数・上映回数
13作品／13プログラム／上映回数13回
入場者数
915人

1-4	共催事業 Co-organized Events
1-4-1	共催による館外上映会 Co-organized Out-of-premises Screening Programs

日本が声を上げる！ 陽が昇る地から来た最初のトーキー映画

本事業は、イタリアの映画保存機関、チネテカ・デル・コムネ・ディ・ボローニャ（FIAF加盟機関）が主催し、映画フィルムの発見や復元を顕彰する催しとして世界的な権威を有する映画祭、チネマ・リトロバート映画祭において、フィルムセンターが初めて映画祭主催者と共催し、日本の初期トーキー映画を概観する番組を紹介したものである。共催者が運営するリュミエール劇場を会場に、ミナトーキーやイーストフォンなど日本で発展した独自の録音方式や、外国映画の活弁トーキー版など、ユニークな初期トーキー作品13本を、すべて英語字幕付きで上映した。

Japan Speak Out! The First Talkies from the Land of the Rising Sun

This event was to introduce a program of early talkie films from Japan, co-organized by NFC with the organizer of the Il Cinema Ritrovato, Cineteca del Comune di Bologna (FIAF member), a film archive in Italy. This festival is world renowned as featuring discoveries and restoration works of motion picture films. The venue was Lumière Theatre which the co-organizer is managing. A total of 13 unique early talkies for which the recording system was developed in Japan, such as Mina Talkie and Eastphone, were shown with English subtitles.

会 期
平成24年5月3日～平成24年12月21日 (延べ上映日数13日間)
会 場
2会場 (福岡市総合図書館、 神戸アートビレッジセンター)
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 一般社団法人コミュニティシネマセンター
作品数・上映回数
12作品／ 12プログラム／ 上映回数36回
入場者数
1,093人

「喜劇映画の異端児—渋谷実監督特集」巡回事業

本事業は、昨年度に引き続き、松竹を代表する監督として活躍し、特に喜劇映画においてその特異な才能を発揮した渋谷実監督の代表作12作品を、全国の公共文化施設等に巡回するものである。フィルムセンターより提供する作品は、渋谷監督のデビュー作『奥様に知らずべからず』(1937年)、吉村公三郎との競作となった『自由学校』(1951年)、戦後の代表作『正義派』(1957年)、『気違い部落』(1957年)である。本年度は、福岡市総合図書館(平成24年5月)、神戸アートビレッジセンター(平成24年12月)の2会場で実施した。

National Tour of Minoru Shibuya Retrospective

Continued from the previous year, this project was to tour 12 representative films by director Minoru Shibuya to various venues such as public cultural institutions around Japan. Shibuya was a director who was considered to be one of the representative filmmakers at Shochiku and his unique talent was especially manifest in comedy films. NFC provided this event with the following titles: Shibuya's debut film *Okusama ni shirasu bekarazu* (1937), *Jiyu gakko* (1951) which used the same story as Kozaburo Yoshimura, Shibuya's representative post-war film *Seigiha* (1957), and *Kichigai buraku* (1957). This year it was held in two venues, Fukuoka Film Archive (May 2012) and Kobe Art Village Center (December 2012).

会 期
平成25年3月16日～平成25年3月17日 (2日間)
会 場
国立国際美術館
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 国立国際美術館
作品数・上映回数
6作品／2プログラム／上映回数4回
入場者数
357人

第5回中之島映像劇場 浪花の映像【キネマ】の物語 —東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品から—

本事業は、従前より映像作品の紹介に務めてきた国立国際美術館が、美術と映像の歴史の変遷を探るため、新たに「中之島映像劇場」の名称で平成22年度より始めた定期上映会で、その第5回にあたる。今回は、戦前的大阪を記録に留めた作品と、物語の舞台として取り上げた作品とを同時に上映することにより、記録映画と劇映画というジャンルを超える試みとして、国立国際美術館の森下明彦客員研究員にフィルムセンター研究員が協力する形で、記録映画5作品と、劇映画である『浪華悲歌』（1936年、溝口健二監督）の2番組による編成を行った。地下鉄御堂筋線の工事風景を描いた『地下鉄の出来るまで』（1938年）は、個人より受贈した16mmプリントからブローアップにより作成した35mmプリントの初上映となった。また、大阪を題材にしたトピックを収録した作品として、『アサヒコドモグラフィNo.1』（1938年）及び『No.19』（1939年）の上映を行ったが、若年層向けに製作された戦前ニュース映画を紹介する貴重な機会を提供することができた。

Nakanoshima Screen Vol.5: Osaka Cinema Stories - Co-organized with National Film Center, The National Museum of Modern Art, Tokyo

The National Museum of Art, Osaka, has a strong record in showing films. In 2010, the Museum launched the series entitled 'Nakanoshima Screen' in order to investigate the historical transformation of fine art and moving images. This was the fifth installment of the series, and intended to transcend documentary and feature films as genres. NFC curators helped Akihiko Morishita, the visiting curator of the Museum, to organize two programs consisting of five documentaries and a feature film *Naniwa ereji* [Osaka Elegy] (dir. Kenji Mizoguchi, 1936). Depicting the construction of the Osaka subway Midosuji Line, *Chikatetsu no dekiru made* (1938) was a premiere of a 35mm print, which was blown up from a 16mm print donated by a private collector. Other films recording topics related to Osaka, such as *Asahi kodomo gurafu No.1* (1938) and *No.19* (1939), provided rare chances to introduce prewar newsreels produced for the younger generation.

会 期
平成24年4月から12月まで5回開催 (延べ上映日数10日間)
会 場
京都国立近代美術館
主 催
東京国立近代美術館フィルムセンター、 京都国立近代美術館
作品数・上映回数
18作品／19プログラム／上映回数19回
入場者数
575人

NFC所蔵作品選集 MoMAK Films@home 2012

本事業は、フィルムセンターと京都国立近代美術館が平成19年度に開始した共同主催による映画上映会であり、今年で6年目を迎えた。平成21年度以降は年に5回程度を開催しながら（現在は各回2日程度）、多彩な国、ジャンルの作品を紹介するスタイルが定着しており、今回は同じくフィルムセンターと京都国立近代美術館が共同開催した「日本の映画ポスター芸術」展とも連繋したプログラムが生まれ、4月＝「村山知義特集」、6月＝「日本の映画ポスター芸術展特集1 ATGと外国映画」、8月＝「日本の映画ポスター芸術展特集2 土方重巳と粟津潔」、11月＝「日本の映画ポスター芸術展特集3 ATGと日本映画」、12月＝「日本の映画ポスター芸術展特集4 監督によるポスターデザイン」の編成で、日本映画と外国映画計19本が京都国立近代美術館の講堂で上映された。フィルムセンターからはこのうち18本を提供している。

MoMAK Films@home 2012

This was the sixth year of the screening series that NFC co-organized with the National Museum of Modern Art, Kyoto (MoMAK), in fiscal year 2007. Since 2009, approximately five screening events (each event is about two days at the moment) per year have been held and films of various countries and genres were shown. This year's programs were related to the exhibition 'Art of Film Posters in Japan' also co-organized by NFC and MoMAK, as follows: 'Tomoyoshi Murayama' in April, 'The Art of Film Posters in Japan 1, ATG and foreign films' in June, 'The Art of Film Posters in Japan 2, Shigemi Hijikata and Kiyoshi Awazu' in August, 'The Art of Film Posters in Japan 3, ATG and Japanese films' in November, and 'The Art of Film Posters in Japan 4, film posters designed by film directors'. A total of 19 Japanese and foreign films were screened at the auditorium of the Museum. 18 films were from the NFC collection.

国民の映画文化や映画芸術への関心を高め、映画フィルム保存の重要性についての理解を促進するため、文化庁との共催事業として、教育委員会、公共文化施設等と連携・協力して、全国各地で映画の巡回上映を実施した。24回目となる本年度は、昨年度東日本大震災の影響による会場の辞退や入館者数の減少が一過性のものかどうかを見定めるため、昨年度と同様のプログラム構成で、各プログラム4作品、全25プログラム、100作品により実施した。ただし、小津安二郎監督作品については、平成25年の生誕110年、没後50年の周年を控え、全国レベルでの興行を展開したいという配給会社の意向を受け、平成24年12月以降の実施会場について、小津監督4作品で構成するBプログラムを希望していた会場には別プログラムへの差し替えを依頼し、『晩春』(1949年)、『お早よう』(1959年)については、それぞれ『愛の讃歌』(1967年、山田洋次監督)、『この広い空のどこかで』(1954年、小林正樹監督)に変更して、フィルムの提供を行った。千葉県、徳島県を除く全国45都道府県、189会場(内新規会場31)で実施され、期間中の入場者数は、総計で79,354人に達した。

会 期	平成24年7月16日～平成25年3月11日(延べ上映日数357日間)
会 場	189会場
主 催 等	東京国立近代美術館フィルムセンター、文化庁
出品点数	100作品25プログラム
入場者数	79,354人
入場料金	成人1人1回500円以内

As a co-organized project with the Agency for Cultural Affairs, and in liaison and cooperation with various boards of education and public institutions, NFC circulated screening events in many places around Japan so as to encourage Japanese people's interest in film culture and film art, and also to deepen their understanding of the importance of film preservation.

For this 24th edition, to see whether the cancellations from venues due to the Great Tohoku Earthquake and the decreasing audience in the previous year was a temporary trend, the framework of 100 films in 25 programs (four films per program) was maintained. However, NFC asked the venues that requested program B (consisting of four Yasujiro Ozu films) after December 2012 to choose other programs. This was because the distribution company would have had them distributed to the nation widely for year 2013, when the 110th anniversary of Ozu's birth was celebrated and the 50th year since his death commemorated. And *Banshun* [Late Spring] (1949) and *Ohayo* [Good Morning] (1959) were respectively replaced with *Aino sanku* (dir. Yoji Yamada, 1967) and *Kono hiroi sekai de* (dir. Masaki Kobayashi, 1954). The 24th edition of the circulation program was held in 189 venues (including 31 new venues) in 45 prefectural and city governments, except for Chiba and Tokushima prefectures, and the total audience reached 79,354.

プログラム別作品一覧 平成24年度

Aプログラム

西鶴一代女	(1952年・溝口健二・137分)
雨月物語	(1953年・溝口健二・97分)
山椒大夫	(1954年・溝口健二・124分)
近松物語	(1954年・溝口健二・103分)

Gプログラム

貸間あり	(1959年・川島雄三・112分)
雁の寺	(1962年・川島雄三・98分)
独立愚連隊	(1959年・岡本喜八・108分)
肉弾	(1968年・岡本喜八・116分)

Bプログラム

麦秋	(1951年・小津安二郎・125分)
東京物語	(1953年・小津安二郎・136分)
彼岸花	(1958年・小津安二郎・118分)
秋刀魚の味	(1962年・小津安二郎・113分)

Hプログラム

秋津温泉	(1962年・吉田喜重・112分)
少年	(1969年・大島渚 創造社・97分)
心中天網島	(1969年・篠田正浩・103分)
復讐するは我にあり	(1979年・今村昌平・140分)

Cプログラム

めし	(1951年・成瀬巳喜男・97分)
おかあさん	(1952年・成瀬巳喜男・98分)
浮雲	(1955年・成瀬巳喜男・123分)
乱れ雲	(1967年・成瀬巳喜男・108分)

Iプログラム

遠雷	(1981年・根岸吉太郎・135分)
ロックよ、静かに流れよ	(1988年・長崎俊一・100分)
櫻の園	(1990年・中原俊・100分)
お引越し	(1993年・相米慎二・124分)

Dプログラム

青い山脈	(1949年・今井正・172分)
また逢う日まで	(1950年・今井正・109分)
真昼の暗黒	(1956年・今井正・124分)
純愛物語	(1957年・今井正・130分)

Jプログラム

浪華悲歌	(1936年・溝口健二・72分)
晩春	(1949年・小津安二郎・108分)
稲妻	(1952年・成瀬巳喜男・87分)
華岡青洲の妻	(1967年・増村保造・99分)

Eプログラム

酔いどれ天使	(1948年・黒澤明・98分)
羅生門[デジタル復元版]	(1950年・黒澤明・88分)
生きる	(1952年・黒澤明 東宝・143分)
天国と地獄	(1963年・黒澤明・143分)

Kプログラム

夜の河	(1956年・吉村公三郎・104分)
雪国	(1957年・豊田四郎・133分)
五番町夕霧楼	(1963年・田坂具隆・137分)
五瓣の椿	(1964年・野村芳太郎・163分)

Fプログラム

野火	(1959年・市川崑・104分)
おとうと[銀残し復元版]	(1960年・市川崑・98分)
東京オリンピック	(1965年・市川崑・169分)
細雪	(1983年・市川崑・140分)

Lプログラム

伊豆の踊子	(1974年・西河克己・82分)
野菊の墓	(1981年・澤井信一郎・91分)
時をかける少女	(1983年・大林宣彦・104分)
ぼくらの七日間戦争	(1988年・菅原比呂志・94分)

Mプログラム

暁の脱走 (1950年・谷口千吉・110分)
 隠し砦の三悪人 (1958年・黒澤明・138分)
 悪名 (1961年・田中徳三・94分)
 雪之丞変化 (1963年・市川崑・113分)

Nプログラム

弁天小僧 (1958年・伊藤大輔・86分)
 眠狂四郎殺法帖 (1963年・田中徳三・81分)
 反逆児 (1961年・伊藤大輔・110分)
 沓掛時次郎 遊侠一匹 (1966年・加藤泰・90分)

Oプログラム

不知火検校 (1960年・森一生・91分)
 次郎長三国志 (1963年・マキノ雅弘・102分)
 網走番外地 (1965年・石井輝男・91分)
 人生劇場 飛車角と吉良常 (1968年・内田吐夢・109分)

Pプログラム

戦争と平和 (1947年・山本薩夫、亀井文夫 東宝・110分)
 安城家の舞踏会 (1947年・吉村公三郎・90分)
 蜂の巣の子供たち (1948年・清水宏・84分)
 帰郷 (1950年・大庭秀雄・104分)

Qプログラム

煙突の見える場所 (1953年・五所平之助・108分)
 お早よう (1959年・小津安二郎・94分)
 名もなく貧しく美しく (1961年・松山善三・128分)
 裸の島 (1960年・新藤兼人・96分)

Rプログラム

大江戸五人男 (1951年・伊藤大輔・132分)
 銭形平次捕物控 人肌蜘蛛 (1956年・森一生 大映・82分)
 旗本退屈男 (1958年・松田定次・108分)
 赤穂浪士 (1961年・松田定次・150分)

Sプログラム

本日休診 (1952年・渋谷実・97分)
 駅前旅館 (1958年・豊田四郎・109分)
 ニッポン無責任時代 (1962年・古沢憲吾・86分)
 喜劇 女は男のふるさとヨ (1971年・森崎東・90分)

Tプログラム

おかしな奴 (1963年・沢島忠・110分)
 喜劇 大安旅行 (1968年・瀬川昌治・94分)
 吹けば飛ぶよな男だが (1968年・山田洋次・91分)
 あゝ軍歌 (1970年・前田陽一・88分)

Uプログラム

エノケンの頑張り戦術 (1939年・中川信夫・74分)
 ジャンケン娘 (1955年・杉江敏男・92分)
 大学の若大将 (1961年・杉江敏男・82分)
 君も出世ができる (1964年・須川栄三・100分)

Vプログラム

めぐりあい (1968年・恩地日出夫・91分)
 八月の濡れた砂 (1971年・藤田敏八・91分)
 約束 (1972年・斎藤耕一・88分)
 忍ぶ川 (1972年・熊井啓・120分)

Wプログラム

張込み (1958年・野村芳太郎・116分)
 黒い画集 あるサラリーマンの証言 (1960年・堀川弘通・95分)
 白い巨塔 (1966年・山本薩夫・150分)
 飢餓海峡 (1964年・内田吐夢・183分)

Xプログラム

風の中の子供 (1937年・清水宏・86分)
 あすなろ物語 (1955年・堀川弘通・108分)
 次郎物語 (1987年・森川時久・110分)
 風の又三郎 ガラスのマント (1989年・伊藤俊也・107分)

Yプログラム

西遊記 (1960年・薮下泰司、手塚治虫・88分)

太陽の王子 ホルスの大冒険 (1968年・高畑勲・82分)

長靴をはいた猫 (1969年・矢吹公郎・80分)

火垂るの墓 (1988年・高畑勲・89分)

平成24年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告

会場名	開催期間	プログラム	日数	上映回数	入場者数	映画館数	人口規模
■北海道							
1 千歳市民文化センター	9月17日(月)・9月19日(水)	K	2	4	372	3	93,000
2 札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ)	11月9日(金)～11月10日(土)	L	2	8	550	35	1,923,368
3 たきかわホール	11月17日(土)～11月18日(日)	T	2	6	248	1	43,000
4 CINEとかちプリンス劇場★	7月29日(日)～8月2日(木)	Y	5	20	60	5	169,000
5 厚岸情報館(本の杜)	10月19日(金)～10月21日(日)	Y	3	5	17	0	11,000
■青森県							
6 下北文化会館☆	8月11日(土)～8月12日(日)	Y	2	4	21	0	63,751
7 青森市中世の館	8月25日(土)～8月26日(日)	N	2	4	170	13	302,957
■岩手県							
8 久慈市文化会館(アーバンホール)	2月7日(木)～2月10日(日)	K	4	4	359	0	38,168
■宮城県							
9 塩竈市民交流センター(遊ホール)	7月22日(日)	K	1	2	212	0	56,876
10 加美町中新田文化会館(中新田パッハホール)	10月7日(日)	K	1	4	483	0	25,894
■秋田県							
11 北秋田市文化会館(ファルコン)	12月2日(日)	C	1	3	264	0	36,515
12 大館市民文化会館	2月22日(金)～2月24日(日)	W	3	9	551	5	80,000
13 八郎潟町公民館	11月4日(日)	S	1	3	183	0	6,640
14 大仙市中仙市民会館(ドンパル)	1月26日(土)～1月27日(日)	L	2	4	218	5	89,689
15 横手市ふれあいセンターかまくら館(かまくら館)	11月3日(土)	C	1	4	363	0	100,000
16 湯沢市湯沢文化会館★	10月6日(土)～10月7日(日)	N	2	6	130	0	51,654
■山形県							
17 米沢市市民文化会館	8月25日(土)～8月26日(日)	S	2	2	192	7	89,000
18 長井市民文化会館	8月5日(日)	E	1	4	148	0	29,224
■福島県							
19 福島県文化センター	2月5日(火)～2月6日(水)	W	2	4	507	13	287,000
20 会津若松市文化センター	12月14日(金)	K	1	2	798	1	125,500
21 白河市文化センター	8月25日(土)	U	1	2	94	0	60,000
22 朝日座	9月15日(土)～9月16日(日)	U	2	4	42	0	50,000
■茨城県							
23 水戸芸術館(ACM劇場)	2月16日(土)～2月17日(日)	R	2	4	287	16	269,162
24 多賀市民会館(多賀市民プラザ)	1月26日(土)～1月27日(日)	C	2	4	535	0	190,000
25 土浦市民会館	9月29日(土)	T	1	3	623	13	143,564
26 東海文化センター	2月2日(土)～2月3日(日)	R	2	7	450	0	37,900
27 取手市民会館	3月9日(土)～3月10日(日)	Q	2	4	357	0	109,000
■栃木県							
28 塩谷町立塩谷中学校校体育館	10月20日(土)	S	1	4	185	0	12,900
29 鹿沼市民文化センター	1月19日(土)	D	1	4	1,244	0	101,579
■群馬県							
30 桐生市市民文化会館(シルクホール)	10月20日(土)～10月21日(日)	D	2	4	880	0	130,000
31 甘楽町文化会館	12月1日(土)	A	1	4	376	0	14,500
32 片品村文化センター	10月17日(水)～10月18日(木)	W	2	2	79	0	5,000
■埼玉県							
33 深谷シネマ チネ・フェリーチェ	9月16日(日)～9月20日(木)	D	5	20	342	1	147,324
34 彩の国さいたま芸術劇場(彩の国シネマスタジオ)	1月18日(金)～1月20日(日)	A	3	9	443	12	1,239,000
35 熊谷会館(彩の国シネマスタジオ)	12月19日(水)～12月20日(木)	E	2	6	241	16	204,000
36 蕨市民会館	2月24日(日)	R	1	4	1,118	0	72,526

	会場名	開催期間	プログラム	日数	上映回数	入場者数	映画館数	人口規模
37	SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ	9月14日(金)～9月17日(月)	S	4	8	357	9	580,000
38	川越スカラ座	10月6日(土)～10月10日(水)	W	5	10	768	10	340,333
39	桶川市民ホール(響の森)	10月6日(土)	J	1	2	1,020	0	75,835
40	所沢市民文化センター(ミューズ)	2月9日(土)～2月10日(日)	U	2	4	396	3	340,000
■東京都								
41	タワーホール船堀(船堀シネパル)★	10月6日(土)～10月10日(水)	E	5	20	263	2	680,000
42	江東区亀戸文化センター(カメリアホール)	8月7日(火)	M	1	2	211	20	476,000
43	日本大学芸術学部江古田キャンパス★	1月13日(日)～1月14日(月)	Q	2	4	280	30	711,025
44	多摩市立永山公民館(ベルブホール)	11月21日(水)～11月22日(木)	H	2	4	188	8	147,000
45	三鷹産業プラザ	11月25日(日)	M	1	4	204	0	176,000
46	日野市民会館ひの煉瓦ホール★	9月17日(月)	E	1	3	1,381	0	178,407
47	小平市民文化会館大ホール(ルネこだいら)	10月3日(水)～10月4日(木)	A	2	4	2,030	0	170,000
■神奈川県								
48	大和市生涯学習センターホール	3月9日(土)～3月10日(日)	F	2	4	801	9	230,357
49	座間市立市民文化会館(ハーモニーホール座間)	11月20日(火)～11月21日(水)	L	2	4	306	0	130,000
50	厚木市文化会館	3月10日(日)	H	1	1	370	0	224,181
51	小田原コロナシネマワールド	9月28日(金)～9月29日(土)	C	2	4	108	19	200,000
■山梨県								
52	都の杜うぐいすホール(うぐいすホール)	2月22日(金)～2月23日(土)	U	2	4	106	0	34,000
53	市川三郷町歌舞伎文化公園ふるさと会館(ふるさと会館)	8月18日(土)	R	1	2	312	0	17,368
54	富士川町ますほ文化ホール(旧：増穂町文化会館)	1月26日(土)～1月27日(日)	S	2	4	512	0	16,544
■長野県								
55	上田市文化会館	11月10日(土)～11月11日(日)	E	2	1	150	10	159,000
56	飯田市公民館	7月21日(土)	E	1	2	400	7	105,000
57	飯田市立県文化センター(県公民館)	9月2日(日)	X	1	2	610	7	107,000
58	駒ヶ根市文化会館(駒ヶ根総合文化センター内)	10月21日(日)	L	1	4	52	0	34,192
59	安曇野市豊科交流学習せんたーきぼう★	1月19日(土)～1月20日(日)	V	2	4	262	0	99,365
60	木曽文化公園文化ホール★	3月9日(土)～3月10日(日)	J	2	4	460	0	13,000
61	茅野市民会館★	10月24日(水)～10月25日(木)	U	2	10	196	1	56,000
■新潟県								
62	村上市民ふれあいセンター	12月1日(土)～12月2日(日)	Q	2	7	410	0	67,235
63	胎内市産業文化会館	9月15日(土)～9月16日(日)	M	2	8	305	0	31,700
64	新潟市巻文化会館★	8月25日(土)～8月26日(日)	W	2	6	906	29	6,200
65	中之島文化センター	10月6日(土)～10月7日(日)	U	2	4	70	11	280,000
66	高島座	9月29日(土)～9月30日(日)	S	2	6	525	11	282,066
67	魚沼市小出郷文化会館	10月12日(金)～10月14日(日)	O	3	8	78	0	40,725
68	南魚沼市民会館 多目的ホール	8月11日(土)～8月12日(日)	U	2	6	125	0	61,000
69	津南町公民館★	8月18日(土)～8月19日(日)	E	2	6	97	0	11,000
70	高田世界館	9月29日(土)～9月30日(日)	W	2	8	278	8	200,000
71	新潟市中之口地区公民館★	11月3日(土)	N	1	4	209	29	6,500
■富山県								
72	クロスランドおやべ	2月28日(木)～3月1日(金)	F	2	4	593	0	32,000
■石川県								
73	サンビーム日和ヶ丘	8月16日(木)～8月19日(日)	M	4	4	196	0	57,915
74	こまつ芸術劇場うらら	1月5日(土)～1月6日(日)	E	2	4	245	0	108,298
75	加賀市市民会館	9月29日(土)	K	1	4	142	0	72,271
■福井県								
76	大野市文化会館★	11月22日(木)～11月23日(金)	E	2	4	250	0	36,607
77	越前市いまだて芸術館☆	2月23日(土)	S	1	4	800	0	86,000
78	パレア若狭音楽ホール	1月26日(土)～1月27日(日)	K	2	4	523	0	16,225

	会場名	開催期間	プログラム	日数	上映回数	入場者数	映画館数	人口規模
■岐阜県								
79	岐阜市文化センター	12月4日(火)・12月6日(木)	G	2	6	447	5	400,000
80	瑞浪市総合文化センター	7月28日(土)	R	1	4	176	0	41,000
81	羽島市映画資料館	11月23日(金)・11月25日(日)	D	2	4	153	0	68,954
82	可児市文化創造センター(ala)	2月15日(金)～2月18日(月)	E	4	8	600	0	100,000
83	下呂交流会館★	9月20日(木)～9月21日(金)	L	2	8	87	0	3,670
■静岡県								
84	静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)	9月1日(土)～9月2日(日)	K	2	6	1,513	27	710,279
85	焼津文化会館(焼津市文化センター)	1月6日(日)	S	1	4	1,568	0	146,230
86	焼津市大井川文化会館(ミュージコ)	11月4日(日)	W	1	4	287	0	143,000
87	掛川市生涯学習センター	10月14日(日)	S	1	4	758	0	110,000
88	掛川市文化会館(シオーネ)	2月2日(土)	V	1	4	696	0	115,172
■愛知県								
89	瀬戸蔵	10月20日(土)～10月21日(日)	N	2	4	258	0	133,000
90	小牧市市民会館	9月6日(木)～9月7日(金)	L	2	6	1,131	10	153,618
91	一宮市民会館★	9月29日(土)	U	1	1	121	0	378,000
92	一宮尾西市市民会館★	10月6日(土)	L	1	1	131	0	378,000
93	犬山市南部公民館★	11月23日(金)～11月24日(土)	B	2	4	603	0	75,846
94	江南市民文化会館	3月4日(月)～3月5日(火)	K	2	4	678	0	101,680
■三重県								
95	亀山市文化会館	9月16日(日)	N	1	3	357	0	50,000
96	松阪コミュニティ文化センター	10月17日(水)～10月18日(木)	B	2	4	425	1	170,304
97	伊勢市生涯学習センター(いせトピア)	9月15日(土)～9月16日(日)	Q	2	2	119	2	130,000
98	アドバンスコープADSホール(名張市青少年センター)	9月9日(日)	N	1	4	541	0	82,500
■滋賀県								
99	大津市生涯学習センター★	11月7日(水)～11月8日(木)	M	2	4	175	7	336,384
100	甲賀市碧水ホール	10月27日(土)～10月28日(日)	J	2	8	295	5	94,400
101	日野町町民会館わたむきホール虹	9月1日(土)	U	1	4	325	0	23,000
■京都府								
102	舞鶴市民会館★	9月9日(日)	A	1	3	150	3	87,861
103	宇治市生涯学習センター	11月16日(金)～11月17日(土)	W	2	6	668	0	193,000
104	文化パルク城陽(あれば)	12月7日(金)	A	1	4	257	0	79,307
105	京都府長岡京記念文化会館★	11月7日(水)～11月8日(木)	A	2	4	241	0	80,000
106	寒梅館ハーディーホール(同志社大学)	10月25日(木)	B	1	4	254	4	45,000
■大阪府								
107	大阪歴史博物館(なにわ歴博)	9月22日(土)～9月23日(日)	A	2	4	717	15	81,247
108	堺市立西文化会館	10月13日(土)～10月14日(日)	F	2	5	553	33	44,000
109	堺市立美原文化会館★	8月25日(土)	L	1	3	84	12	39,500
110	岸和田市立文化会館(マドカホール)	12月15日(土)～12月16日(日)	D	2	4	226	9	200,000
111	守口文化センター(エナジーホール)	10月13日(土)	T	1	3	137	8	146,813
112	枚方市民会館★	9月4日(火)～9月5日(水)	S	2	4	553	9	410,000
113	大東市立文化ホール(サーティーホール)	8月26日(日)	K	1	3	768	0	126,698
114	阪南市立文化センター(サラダホール)	9月9日(日)	O	1	4	194	0	58,000
■兵庫県								
115	兵庫県立美術館(芸術の館)★	8月31日(金)～9月1日(土)	J	2	4	323	13	127,602
116	シネビビア★	9月8日(土)～9月12日(水)	W	5	8	532	2	227,327
117	川西市みつなかホール	2月9日(土)～2月10日(日)	P	2	4	1,274	0	155,899
118	加東市滝野文化会館	3月9日(土)	S	2	4	264	0	40,000
119	姫路市文化センター	12月23日(日)	Q	1	3	1,404	10	540,000
120	豊岡市民プラザ(ほっとステージ)	2月2日(土)～2月3日(日)	M	2	4	174	0	87,998

会場名	開催期間	プログラム	日数	上映回数	入場者数	映画館数	人口規模
■奈良県							
121 奈良県文化会館	11月24日(土)～11月25日(日)	W	2	2	1,164	8	367,128
122 奈良市北部会館市民文化ホール	11月18日(日)	A	1	2	89	8	367,128
■和歌山							
123 和歌山市民会館	2月5日(火)～2月7日(木)	E	3	6	275	12	367,431
124 橋本市民会館	3月2日(土)～3月3日(日)	U	2	4	68	0	67,500
125 紀の川市貴志川生涯学習センター(かがやきホール)	1月12日(土)～1月13日(日)	K	2	4	481	0	67,625
126 紀南文化会館☆	1月28日(月)～1月29日(火)	J	2	8	435	0	81,000
127 海南市市民交流センター★	11月7日(水)～11月9日(金)	R	2	2	116	0	55,716
■鳥取県							
128 米子市文化ホール	10月24日(水)～10月25日(木)	C	2	4	1,106	3	150,000
■島根県							
129 島根県芸術文化センター(グラントワ)	10月4日(木)～10月5日(金)	Q	2	5	198	0	50,000
130 松江勤労者総合福祉センター(松江テルサ)	10月27日(土)～10月28日(日)	H	2	6	200	5	196,000
131 松江市美保関海の学苑ふさと創生館(メテオプラザ)	10月27日(土)	O	1	3	140	5	206,507
132 石中央文化ホール☆	1月4日(金)	R	1	3	167	0	60,000
133 サンレディ太田★	12月8日(土)	E	1	2	55	0	40,000
134 安来市民会館	10月27日(土)	R	2	4	712	0	42,071
135 江津市総合市民センター(ミルキーウェイホール)	1月26日(土)～1月27日(日)	W	2	4	405	0	25,999
136 雲南市木次経済文化会館(チェリヴァホール)★	1月19日(土)～1月20日(日)	M	2	4	136	0	44,403
137 悠邑ふるさと会館	9月22日(土)～9月23日(日)	W	2	4	88	0	3,776
■岡山県							
138 岡山県天神山文化プラザ	2月16日(土)	V	1	4	353	17	700,000
139 笠岡市保健センター(ギャラクシーホール)	9月16日(日)	O	1	2	160	0	55,000
140 美作文化センター★	3月9日(土)	L	1	3	165	0	30,000
141 英田公民館★	8月25日(土)	O	1	3	89	0	30,000
142 学び館サエスタ★	9月8日(土)	R	1	3	247	0	16,000
■広島県							
143 サロンシネマ★	10月20日(土)・10月24日(水)	A	5	5	127	6	1,181,929
144 乙女座(呉ボボロ,呉市川尻公民館)	11月13日(火)～11月15日(木)	S	3	8	340	2	240,783
145 三原リージョンプラザ	9月27日(木)～9月29日(土)	E	3	12	336	0	101,441
146 シネマ尾道	8月25日(土)～8月29日(水)	C	5	10	90	1	150,000
147 シネマモード2★	10月6日(土)～10月8日(月)	B	3	6	273	16	460,000
148 はつかいち文化ホール(さくらびあ)	11月29日(木)～11月30日(金)	R	2	8	776	0	120,000
149 安芸高田市民文化センター(クリスタルアージュ)	10月26日(金)	T	1	4	462	0	33,000
■山口県							
150 下関市民会館	9月17日(月)～9月18日(火)	R	2	8	1,139	2	283,168
151 山口情報芸術センター(YCAM)	9月14日(金)～9月17日(月)	C	4	8	344	4	190,000
152 山口県民芸術文化ホールながと(ルネッサながと)	9月8日(土)～9月9日(日)	H	2	4	185	0	40,000
153 テアトル徳山 I	8月24日(金)～8月27日(月)	Y	4	10	1,018	3	151,984
154 山陽小野田市民館	9月22日(土)～9月23日(日)	J	2	4	124	0	67,000
155 テアトル徳山(周南シニア)	10月26日(金)～10月30日(火)	K	5	15	227	0	151,984
■香川県							
156 香川県県民ホール(アルファあなぶきホール)	7月21日(土)	W	1	2	650	9	400,000
157 丸亀市生涯学習センター☆	3月3日(日)	J	1	4	975	0	100,000
158 善通寺市民会館	2月10日(日)	D	1	4	1,116	0	34,000
■愛媛県							
159 松山市総合福祉センター	12月2日(日)	M	1	4	595	15	516,049
160 西条市総合文化会館	1月14日(月)	L	1	4	94	0	114,584
161 宇和島市生涯学習センター	8月25日(土)～8月26日(日)	T	2	4	204	0	86,500

会場名	開催期間	プログラム	日数	上映回数	入場者数	映画館数	人口規模
162 愛南町御荘文化センター★	8月12日(日)	N	1	4	156	0	24,888
■高知県							
163 土佐清水市立市民文化会館(くろしおホール)	8月25日(土)～8月28日(火)	F	4	8	192	0	16,120
164 高知市文化プラザカルポート★	8月10日(金)～8月11日(土)	L	2	10	223	10	340,000
■福岡県							
165 北九州市立門司市民会館★	10月6日(土)～10月7日(日)	M	3	6	780	22	103,674
166 西鉄ホール	1月14日(月)	U	1	3	72	22	1,450,000
167 田川青少年文化ホール	8月4日(土)～8月5日(日)	J	2	6	840	0	51,465
168 小都市文化会館	1月19日(土)～1月20日(日)	R	2	4	578	0	59,200
■佐賀県							
169 佐賀市文化交流プラザ★	2月28日(木)～3月1日(金)	E	2	8	332	12	240,000
170 唐津市民会館☆	9月1日(土)～9月2日(日)	E	2	6	185	0	129,969
171 鳥栖市中央公民館ホール☆	12月22日(土)～12月23日(日)	L	2	8	288	0	69,577
172 武雄市文化会館	8月25日(土)～8月26日(日)	B	2	8	920	0	51,208
173 鹿島市生涯学習センター(エイブル)	9月15日(土)～9月16日(日)	F	2	6	388	0	31,581
■長崎県							
174 大村市民会館	2月23日(土)～2月24日(日)	J	2	8	511	0	90,000
175 新上五島町鯨賓館ミュージアム☆	12月22日(土)～12月23日(日)	S	2	4	85	0	23,000
■熊本県							
176 八千代座	1月27日(日)	E	1	4	543	0	58,000
177 宇土市民会館	9月9日(日)	K	1	4	880	0	38,000
178 宇城市小川総合文化センター(ラポート)	8月4日(土)～8月5日(日)	F	2	6	950	8	60,000
179 ながす未来館	9月29日(土)～9月30日(日)	O	2	8	428	0	16,900
180 益城町文化会館	1月13日(日)～1月14日(月)	S	2	8	448	0	33,568
181 山都町立図書館	11月10日(土)～11月11日(日)	B	2	8	105	0	17,728
■大分県							
182 コンパルホール★	8月18日(土)	Q	1	4	956	0	475,227
183 日田市民文化会館(パトリア日田)	8月5日(日)	W	1	4	444	1	71,492
■宮崎県							
184 西都市文化ホール	1月26日(土)～1月27日(日)	Q	2	8	267	0	33,000
185 門川町総合文化会館	9月8日(土)～9月9日(日)	F	2	4	509	0	19,000
186 串間市文化会館★	12月22日(土)～12月23日(日)	H	2	8	43	0	20,000
187 宮崎キネマ館★	7月16日(月)	Y	1	5	159	0	402,000
■鹿児島県							
188 川内文化ホール	9月29日(土)～9月30日(日)	B	2	8	422	0	99,558
■沖縄県							
189 パレット市民劇場	10月27日(土)～10月28日(日)	F	2	8	872	14	320,425
合計	189会場		360	954	79,354		

★印は本年度新規実施会場(38会場)

☆印は復帰会場(8会場)

(1) 映画フィルム

映画フィルムの貸与については、海外と国内への貸与、あるいは共同主催事業における提供と通常の貸与とに分けられる。海外への貸与のうち、共同主催事業では、チネテカ・デル・コムネ・ディ・ボローニャ(FIAF加盟機関)との共催による第26回チネマ・リトロバート映画祭・特集企画「日本が声を上げる！ 陽が昇る地から来た最初のトーキー映画」において、日本における最初期のトーキー映画13本の映画フィルムを提供した。昨年度、3会場で共催した『日活百年』海外巡回上映会について、本年度はオーストラリア国立映画音響アーカイブ(FIAF加盟機関)を皮切りに8カ国10会場で開催された上映会に対し、計38本の映画フィルムを貸与した。日本の初期アニメーション映画については、FIAF北京会議を主催した中国電影資料館(FIAF加盟機関)を含め3カ国5会場で開催された上映会に対し、計26本の映画フィルムを貸与した。イギリス・エジンバラ国際映画祭をスタートに、シネマテーク・フランセーズ(FIAF加盟機関)等フランス2会場を巡回した相米慎二監督回顧展には、計14本の映画フィルムを貸与した。また、本年度はエストニア、クロアチア、ベルギーなど、これまで貸与実績の少なかった国々に映画フィルムの貸与を行い、世界における日本映画のより広範な普及に寄与することができた。

国内への貸与のうち、共同主催事業では、昨年度に引き続き京都国立近代美術館との間で開催した「NFC所蔵作品選集 MoMAK Films@home」において、『雪崩』(1937年)等日本映画15本と『朝から夜中まで』(1921年)等外国映画5本を、国立国際美術館との間で開催した「第5回中之島映像劇場」においては、『地下鉄の出来るまで』(1938年)等日本映画6本を提供し、関西における所蔵フィルムの上映拠点として、さらに堅固な地盤を築くことができた。また、昨年度に引き続きコミュニティシネマセンターとの間で開催した「喜劇映画の異端児―渋谷実監督特集」巡回上映事業では、福岡市総合図書館(FIAF加盟機関)及び神戸アートビレッジセンターに、同監督による日本劇映画4本を提供した。通常の貸与では、国立民族学博物館が主催する上映会に対しインド映画4本、ポーランド広報文化センターが主催するポーランド映画祭に対しポーランド映画3本、NPO法人那須フィルムコミッションが主催する那須ショートフィルムフェスティバルに対しフランス映画6本を貸与するなど、新規の貸与先への協力が特筆される。また、例年に引き続き、福岡市総合図書館(FIAF加盟機関)、映画保存協会、映画美学校、コミュニティシネマ大阪、山口市文化振興財団等が主催する上映会や、京都映画祭、カナザワ映画祭等の映画祭、並びに神保町シアター、新文芸坐、ラピュタ阿佐ヶ谷等の名画座における特集上映に対しては、番組において欠くことのできない作品について、所蔵プリントの貸与を行った。

特別映写観覧については、大学等教育研究機関、映画関連団体、映画及びテレビ番組製作会社、映画・映像に係る非営利法人等における調査、研究、研修等に、所蔵プリントの試写を通して寄与した。

複製利用については、著作権者による運用、美術館等の収集作品や展示作品の充実、映像作品や番組における資料としての映像提供等に寄与したが、とりわけ本年度は、松本俊夫監督より昨年度受贈した原版フィルム25本、テレビ朝日映像より1980年に受贈した『東映ニュース』の原版フィルム300本、東京藝術大学より戦前の東京を記録した文化・記録映画16本等、大

量の複製利用申請を受けたことが特筆される。

①貸与	100件	(272本)
内訳	国内貸与	63件 (144本)
	海外貸与	37件 (128本)
	共催事業	4件 (41本)
②特別映写観覧	83件	(288本)
③複製利用	37件	(426本)

(2)映画関連資料

映画関連資料の貸与としては、4つの公立文化機関に貸し出しを行った。とりわけ鎌倉市川喜多映画記念館に、女優高峰秀子の出演作ポスター 32点を提供したことが特筆される。また、出版社、大学等教育研究機関、新聞社、映画配給会社等における事業や研究のため、所蔵資料の特別観覧(画像使用及び撮影等)を行った。

①貸与	4件	(39点)
内訳	国内貸与	4件 (39点)
	海外貸与	0件 (0点)
②特別観覧	20件	(943点)

① Films

NFC lends films both to foreign and domestic parties, and also to the projects that NFC co-organizes and to third parties. Amongst other international loans, one of the co-organized events was the 26th Il Cinema Ritrovato's special program 'Japan Speak Out! The First Talkies from the Land of the Rising Sun' with Cineteca del Comune di Bologna (FIAPF member). For this NFC lent 13 Japanese films to introduce early talkies. "International Tour of the Program '100 Years of Nikkatsu'", which was co-organized among three venues last year, was held in 10 venues in eight countries starting from National Film and Sound Archive in Australia (FIAPF member) this year, and NFC lent a total of 38 films. For Japanese early animation films, NFC lent 26 films in total to five venues in three countries including FIAPF congress in Beijing hosted by China Film Archive (FIAPF member). NFC lent a total of 14 films for "Somai Shinji Retrospective" which toured starting from Edinburgh International Film Festival in the UK, and two venues in France including Cinémathèque française (FIAPF member). Especially this year NFC lent to countries to which we have rarely loaned films before, like Estonia, Croatia, and Belgium, and contributed to the promotion of Japanese films worldwide.

Within Japan, NFC lent 15 Japanese films such as *Nadare* (1937) and five foreign films such as *Von morgens bis Mitternacht* [Asa kara yonaka made] (1921) to the screening events of the 'MoMAK Films@home' series at the National Museum of Modern Art, Kyoto continuing from the previous years. And to the fifth installment of the 'Nakanoshima Screen' series co-organized with the National Museum of Art, Osaka, NFC lent six Japanese films such as *Chikatetsu no dekiru made* (1938). Through these NFC was able to build stronger bases for film screenings in the *Kansai* (western) region. For the circulation projects organized with Japan Community Cinema Center, NFC continued 'National Tour of Minoru

Shibuya Retrospective' from the previous year and provided four Japanese feature films by director Shibuya to Fukuoka Film Archive (FIAF member) and Kobe Art Village Center. As for lending to third parties, notably NFC lent for the first time four Indian films to the screenings held by National Museum of Ethnology, three Polish films to Poland Film Festival held by Instytut Polski w Tokio, and six French films to Nasu Short Film Festival held by NPO Nasu Film Commission. Also as in the previous year, NFC lent prints from the collection to the screenings organized by such organizations as Fukuoka Film Archive (FIAF member), Film Preservation Society, Tokyo, The Film School of Tokyo, Community Cinema Osaka, Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion, and film festivals such as Kyoto Film Festival and Kanazawa Film Festival. In addition, special screenings were held at repertory cinemas such as Shin-Bungeiza and Laputa Asagaya. NFC lent prints which are indispensable for their programs.

For Requested Research Screening (of NFC Film Collection), NFC contributed to the research, study, and training by education institutions such as universities, film related organizations, film and TV production companies, and non-profit organizations related to moving images, through projections of the prints in the collection.

For Requested Duplication (of NFC Film Collection), NFC contributed the usages of images by copyright holders, for collection development and enhancement for the exhibitions of, for example, museums, and as references for a visual works or TV productions. Especially this year, a huge number of requests for copying was notable such as access to 25 original negatives donated from film director Toshio Matsumoto in the previous year, 300 original negatives of Toei News donated by TV Asahi Productions in 1980, 16 cultural documentaries recorded in prewar Tokyo requested by Tokyo University of the Arts.

② Non-film Materials

Four lending activities of non-film materials to public cultural institutions happened this year. As the most notable, NFC lent 32 movie posters of films starring actress Hideko Takamine to Kamakura City Kawakita Film Museum. Also for events and research purposes of educational institutions such as universities, news agencies, and film distribution companies, NFC offered special access to non-film materials (use of the images or photographing) from the collection.

貸与実績一覧

〔映画フィルム国内貸与〕 63件144本

上映会名	主催	貸与本数
『新しき土』〔日独版〕の公開上映	株式会社ティアンドケイテレフィルム	1本
「巨匠たちのサイレント映画時代Ⅱ～清水宏の女性映画」	神保町シアター	8本
東京映画の特集上映	株式会社ラピュタ	1本
<追悼 名優・淡島千景>	新文芸坐	3本
定期上映会「マルディ・シネマ」	九州日仏学館	2本
石瀧典夫記念碑建立記念事業の一環として上映	石瀧典夫記念碑建立委員会	1本
「新藤兼人 百年の軌跡」	財団法人広島市未来都市創造財団	4本
「生誕百年 谷口千吉監督特集」	NPO法人コミュニティシネマ大阪	1本
第7回那須ショートフィルムフェスティバル	NPO法人那須フィルムコミッション	6本
第24回ピンク大賞 PINK FILM CHRONICLE 1962-2012	株式会社ヒューマックスシネマ	3本
「第10回中毛保育のつどい」「親子映像教育セミナー」	邑の映画会実行委員会	1本
<大友柳太朗 生誕100周年記念上映> (仮題)	新文芸坐	5本
「EUフィルムデーズ2012 in 福岡」	福岡市総合図書館	1本
「特集上映 記録映画作家・土本典昭」	アテネ・フランセ文化センター	1本
「飯田蝶子とにっぽんのおばあちゃん」	神保町シアター	1本
1930年代の松竹女性映画に関するシンポジウム	特定非営利活動法人 映画美学校	1本
文化庁委託事業「ndjc：若手映画作家育成事業」の製作実地研修で製作された作品の特別上映会	特定非営利活動法人 映像産業振興機構	6本
みんなく映画会「日印国交60周年『インド・クラシック映画特集』」	国立民族学博物館	4本
ピースウェイブin高知2012	小夏の映画会	1本
横浜市立いぶき野小学校創立20周年記念行事「夏休み親子映画祭へ行こう！」	横浜市立いぶき野小学校	1本
岡本忠成の世界 すばらしいアニメーション	公益財団法人 都民劇場	2本
東映のふたりの巨匠 山下耕作・工藤栄一(仮題)	新文芸坐	2本
題名のない映画特集<原爆プログラム>	有限会社アップリンク	1本
あいち国際女性映画祭2012	公益財団法人あいち男女共同参画財団	1本
第8回京都映画祭	京都映画祭実行委員会	4本
第37回湯布院映画祭 「現場で生きた音を録れ 録音技師・橋本文雄の世界」	湯布院映画祭実行委員会	2本
ドキュメンタリー・ドリーム・ショー―山形in東京2012	シネマトリックス(山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局)	7本
タカラジェンヌの映画たち(仮)	神保町シアター	3本
井上梅次監督特集	株式会社ラピュタ	2本
神田山陽無声映画を語る会	栗東芸術文化会館 さきら	1本
調布シネサロン～日活100年への軌跡～銀幕のパールライン 日活女優特集	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	1本
定期上映会「マルディ・シネマ」	九州日仏学館	2本
カナザワ映画祭	かなざわ映画の会	8本
連続講座・新なにわ塾第5弾「大阪と映画文化を考える」	新なにわ塾叢書実行委員会	3本
タカラジェンヌの映画たち(仮)	神保町シアター	1本

上映会名	主催	貸与本数
大川橋蔵映画祭(仮)	新文芸坐	4本
市史講座	茅ヶ崎市	1本
「シビックシネマサロン特別番組『雁』上映、トーク」	公益財団法人 文京アカデミー	1本
シャンソンと映画(仮)	アンスティチュ・フランセ東京	1本
脚本家鈴木紀子に関する企画展	能美市立博物館	1本
岡山映画祭「尾上松之助顕彰企画」	岡山映画祭実行委員会	2本
堀川弘通監督追悼上映会(仮)	新文芸坐	1本
定期上映会「マルディ・シネマ」	アンスティチュ・フランセ九州	1本
第11回しものせき国際映画祭	NPO法人田中絹代メモリアル協会	2本
文京映像史料館上映会 フィルムに残る文京のくらしvol.6音羽篇	NPO法人映画保存協会	1本
調布シネサロン	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	1本
<三回忌追悼 池部良・小林桂樹上映会> (仮題)	新文芸坐	2本
ポーランド映画祭2012	ポーランド広報文化センター	3本
追悼 魂のシネアスト・高林陽一	NPO法人コミュニティシネマ大阪	6本
女優・山田五十鈴アンコール	神保町シアター	4本
ペドロ・コスタ&ルイ・シャフェスのカルド・ブランシュ	シネマトリックス	1本
第34回PFFびあフィルムフェスティバル神戸開催	びあ株式会社 PFF事務局	2本
木下恵介監督特集上映	特定非営利活動法人 映画美学校	5本
日活映画100年の青春～神保町シアター編(仮)	神保町シアター	1本
増村保造×柳町光男	公益財団法人 山口市文化振興財団	1本
深作欣二監督 没後10年上映会(仮)	新文芸坐	1本
東映オールスター時代劇特集(仮)	新文芸坐	4本
山崎パニラの活弁大絵巻	株式会社スペース・ゼロ	1本
第4回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会	1本
佐藤忠男の日本映画講座	公益財団法人 川崎市文化財団	1本
飛騨高山映像祭 Youth Award 2012	飛騨高山映像祭実行委員会	1本
第二回死刑映画週間 罪と罰と赦しと	有限会社ユーロスペース	1本
素晴らしき哉、SHOWBIZ 人生！	株式会社ラピュタ	1本

[映画フィルム海外貸与] 37件128本

上映会名	主催	貸与本数
上映会「桜の花が散りて一桜の映画と名場面」	ジャパン・ソサエティ	2本
第13回全州国際映画祭 「内田吐夢監督回顧展」 「特集：ゲスト・プログラマーの選択」	全州国際映画祭組織委員会	5本
第58回オーバーハウゼン国際短篇映画祭 「リアリティを喚起する一異端者、運動、マニフェスト」	オーバーハウゼン国際短篇映画祭	1本
第68回国際フィルム・アーカイブ連盟(FAIF)年次総会 「FIAFプレゼンツ：世界のアニメーションの至宝を上映する」	中国電影資料館	14本
上映企画「発見、復元、初期映画」	韓国映像資料院	5本

上映会名	主催	貸与本数
第二回ベルリン・ドキュメンタリー・フォーラム 「中間のただなかに：日本から来たドキュメンタリー映画」	ハウス・デア・クルトゥーレン・デア・ヴェルト(世界文化会館)	1本
上映企画「日活回顧展」	オーストラリア国立映画音響アーカイブ	7本
第66回エジンバラ国際映画祭 「相米慎二監督回顧展」	エジンバラ国際映画祭	4本
上映企画「吉村公三郎、新藤兼人監督回顧展」	英国映画協会サウスバンク	4本
第26回『発掘された映画たち』映画祭 1912年の映画部門、初期映画におけるカラー部門、 ジャン・グレミヨン監督特集、ロイス・ウェーバー監督特集	チネテカ・ディ・ボローニャ	6本
第35回グルノーブル野外短篇映画祭	シネマテーク・ド・グルノーブル	6本
第4回新世代映画祭	新世代映画祭	1本
メディアの歴史と美学講座の映画上映会	フリードリッヒ・シラー大学イェーナ	1本
・ミュンヘン映画博物館の定期上映会 ・ボン無声映画祭2012	ミュンヘン映画博物館(ボン無声映画祭)	2本
仲代達矢作品の特別上映会	韓国映像資料院	3本
日活百年を記念する回顧展	バークリー美術館/パシフィック・フィルム・アーカイブ	6本
日活百年を記念する回顧展	ノルウェー映画協会	5本
日活百年を祝う回顧展	シネマテーク・ケベコワーズ	7本
第10回国際映画保存映画祭	ニューヨーク近代美術館	3本
第36回サンパウロ国際映画祭	サンパウロ国際映画祭	2本
日本のアニメーション映画特集	スウェーデン映画協会	6本
ウィーン国際映画祭「新しい映画との出会い」	ウィーン国際映画祭	1本
第16回タリン・ブラック・ナイツ映画祭 「日活百年特別上映会」	エストニア・フィルム・アーカイブ	3本
第34回ナント三大陸映画祭「相米慎二監督回顧展」	ナント三大陸映画祭	5本
国際復元映画祭「世界のすべての記憶」	シネマテーク・フランセーズ/映画博物館	2本
回顧展「吉田喜重と岡田茉莉子の映画」	シネテカ・ナショナル	1本
相米慎二監督回顧展	シネマテーク・フランセーズ	5本
第6回フェスティバル・オブ・インヴィジブル・シネマ 「カタルシス・イメージ」	フィルム・ミュージーションズ： フェスティバル・オブ・インヴィジブル・シネマ	2本
「アート・シアターギルドと 日本のアンダーグラウンド映画1960-1984」	ニューヨーク近代美術館	3本
回顧展「東京流れ者―日活百年」	TIFFベル・ライトボックス	4本
日活百年を記念する回顧展	ガリシア映像芸術センター	1本
回顧展「日活―ある日本の物語」	フィルモテカ・デ・カタルニャ	1本
特別上映会「弁士・片岡一郎氏との夕べ」	バード大学 映像芸術センター	1本
日活百年を記念する回顧展	フィルモテカ・エスパニョーラ	1本
第6回オフスクリーン映画祭 回顧展「日活百年―反抗者、やくざ、芸者」	ベルギー王立シネマテーク	3本
大島渚監督回顧展	韓国映像資料院	3本
日本アート・シアター・ギルド特集	ハーバード・フィルム・アーカイブ	1本

〔映画フィルム共催館外上映貸与〕 4件41本

上映会名	主催	貸与点数
MoMAK Films @ home 2012	京都国立近代美術館	18本
「喜劇映画の異端児―渋谷実監督特集」巡回事業	一般社団法人コミュニティシネマセンター	4本
日本が声を上げる！ 陽が昇る地から来た最初のトーキー映画	チネテカ・デル・コムーネ・ディ・ボローニャ	13本
第5回中之島映像劇場 浪花の映像【キネマ】の物語 ―東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品から―	国立国際美術館	6本

【映画関連資料国内貸与】 4件39点

展覧会名	主催	貸与点数
小野佐世男―モガ・オンパレード	川崎市岡本太郎美術館	1点
映画女優 高峰秀子	鎌倉市川喜多映画記念館	32点
富山が育んだ「少年時代」	高志の国文学館	1点
映画に見るフランス 憧れのパリ	鎌倉市川喜多映画記念館	5点

◆浅利浩之

論文 『土』から『家』へ——その政治的権能の変遷に関する考察——／『東京国立近代美術館 研究紀要』第17号

◆入江良郎

発表 演劇博物館所蔵映画フィルムの調査・目録整備と保存活用 早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点での成果報告（会場：早稲田大学 早稲田キャンパス6号館3階レクチャールーム、平成24年12月20日）

◆岡島尚志

論文 「日本映画が素晴らしい」という世界の声を聞こう／『NFCニューズレター』第105号

論文 映画保存の現在と未来（対談）米議会図書館映画放送録音物部国立視聴覚保管センター（パッカード・キャンパス）チーフ／『NFCニューズレター』第105号

論文 日活映画——“世紀”の発見／『NFCニューズレター』第106号

論文 映画監督・崔洋一の時代と個性／『NFCニューズレター』第107号

発表 Animation – an Art, an Entertainment, and a *Light Thing*/国際フィルム・アーカイブ連盟 (FIAF) 北京会議（会場：中国電影資料館劇場、平成24年4月23日）

発表 ブルーシールドと文化財緊急活動—国内委員会の役割と必要性—／文化遺産国際協力コンソーシアム（会場：東京国立博物館・平成館 大講堂、平成24年9月7日）

発表 残す?残さない?—35ミリ上映環境の確保について考える／全国コミュニティシネマ会議（会場：沖縄県・那覇市、平成24年9月9日）

桜坂劇場

◆岡田秀則

論文 書評『還ってきた文楽フィルム『日本の人形劇—人形浄瑠璃』研究報告』／『映像学』第88号（日本映像学会、2012年5月）

論文 映画史の中の岩波科学映画／『岩波映画の1億フレーム』（東京大学出版会、2012年5月）

論文 《ノンフィルム》—もう一つの映画のアーカイブ／『アーカイブのつくりかた 構築と活用入門』（勉誠出版、2012年11月30日）

論文 戦後外国映画—《通俗》のよるこび／『NFCニューズレター』第102号

論文 101年目の活動写真／『NFCニューズレター』第104号

論文 FIAF北京会議報告 映画保存が創る新たなアニメーション史／『NFCニューズレター』第104号

発表 Noburo Ofuji, un cinéaste d'animation sauvé de l'oubli（忘却から救われたアニメーション作家 大藤信郎）／国際フィルム・アーカイブ連盟北京会議（会場：中国電影資料館、2012年4月24日）

発表 Cultures of Silent Film: Preservation, Reassessment, Digital Reproduction, and Contemporary Performance（セッション名）／第16回日本アジア研究学会（会場：立教大学、2012年6月30日）

発表 「日本の色彩映画—＜1953年＞を検証する」／早稲田大学演劇映像学連携研究拠点テーマ研究「日本映画、その史的社会的諸相の研究」主催公開研究会（会場：早稲田大学、2012年7月21日）

◆大傍正規

論文 シネマテーク・スイスにおける「マックス・ランデー国際シンポジウム」報告／『NFCニューズレター』第106号

論文 共鳴する身体と音—喜劇映画の「笑い」を増幅する音響効果／『メディア文化論』(ナカニシヤ出版、平成25年3月)

発表 Max au Japon, ver une nouvelle gestualité comique／マックス・ランデー国際シンポジウム(会場：シネマテーク・スイス、平成24年10月4日)

発表 新しい身体性と編集のリズム—越境者マックス・ランデーに注がれたまなざし/東西研(会場：関西大学千里山キャンパス以文館4Fセミナースペース、平成25年2月9日)

◆大澤浄

論文 映画というのは自己完結するものではない(上) 崔洋一監督インタビュー[聞き手・構成]／『NFCニューズレター』第107号

論文 関東大震災記録映画群の同定と分類—NFC所蔵フィルムを中心として／『東京国立近代美術館 研究紀要』第17号

◆郷田真理子

論文 フィルムセンター所蔵の小型映画コレクション 9.5mmフィルム調査の覚書／『東京国立近代美術館 研究紀要』第17号

◆棚木 章(執筆・発表者名=とちぎあきら、Akira Tochigi)

論文 よみがえる大映イーストマン・カラー第一作／『NFCニューズレター』第102号

論文 フィルムセンター相模原分館・映画保存棟Ⅱについて／『NFCニューズレター』第103号

論文 『幕末太陽傳』デジタル修復版をめぐる断想／『NFCニューズレター』第105号

論文 〈座談会〉記録映画の保存と活用に向けて/記録映画アーカイブ1 岩波映画の1億のフレーム(東京大学出版会、平成24年5月)

論文 CIE映画フィルムのアーカイビング/占領する眼・占領する声 CIE/USIS映画とVOAラジオ(東京大学出版会、平成24年7月)

発表 Restoring Japanese Record Talkie Animation/国際フィルム・アーカイブ連盟北京会議(会場：中国電影資料館劇場、平成24年4月23日)

発表 交差する歴史のアリーナ—東京国立近代美術館フィルムセンターにおける非劇映画フィルム・コレクション/韓国・高麗大学韓国史センター(会場：韓国ソウル・高麗大学、平成24年6月23日)

発表 結節点としてのナショナル・フィルム・アーカイブ—フィルムセンターの映画フィルム収集事業について/第7回映画の復元と保存に関するワークショップ2012(会場：京都府京都文化博物館フィルムシアター、平成24年8月26日)

発表 これからのフィルム上映について/カナザワ映画祭2012(会場：石川県・金沢都ホテル・セミナーホール、平成24年9月9日)

発表 Towards the Synergy of Photo-Chemical and Digital: Challenges of Film Preservation and Restoration at National Center of Tokyo/第2回釜山シネマフォーラム(会場：韓国釜山・ソヤン音楽センター、平成24年10月8日)

発表 映画保存の実践的課題—東京国立近代美術館フィルムセンターにおける映画フィルム収蔵のためのプロセス/記録映画アーカイブ・プロジェクト第9回ワークショップ（会場：東京大学大学院情報学環福武ホール、平成25年1月26日）

発表 Archiving Moving Image Practice/Japanese Cinema Revisited Workshop（会場：明治学院大学白金キャンパス、平成25年2月23日）

発表 映画作品の原版保存に関する現状と課題/映画演劇労働組合連合会学習会（会場：文京シビックセンター会議室、平成25年3月14日）

発表 映画の復元—技術、倫理、そして創造/横浜キネマ倶楽部第30回上映会（会場：神奈川県横浜市・神奈川公会堂、平成25年3月17日）

1 普及活動 Educational Activities

1-1 資料の収集及び図書室の公開 Acquisition of Non-Film Materials and the Library

フィルムセンター図書室では、一定の網羅性を目指して、映画関連の新刊書と雑誌の収集を行うとともに、未所蔵の古書や一般の書籍流通ルートには乗らない刊行物の収集にも努めている。

公開への準備としては、今後のデータベース登録を見越して図書室内の映画雑誌、外国映画祭カタログのリスト化を進めている。映画パンフレットについてはOPACデータベースへの登録が進み、当初公開された分の外国映画パンフレットの登録がほぼ終了している。

①収集活動

収集件数	3,195件
------	--------

②図書室公開活動

公開日数	226日
公開件数	39,374件(和書34,959件/洋書4,415件)
入室者数	3,731人
公開請求件数	982件
複写利用数	1,175人(16,582枚)

1-2 学校や社会教育施設への幅広い学習機会の提供 Aid for Research and Study

◆特別映写観覧による職能教育研修会等への協力

実施件数：12件(全186件中)

参加者数：計574人

◆小中学高等学校・大学の授業等への協力

実施件数：11回

参加者数：計184人

◆研修等への協力

実施件数：13件

参加者数：計127人

◆「こども映画館 2012年の夏休み」

内 容：11年目を迎えた「こども映画館」では、本年も映画上映に施設見学や弁士・伴奏付きの無声映画上映などを組み合わせるスタイルを踏襲しつつ、子どもたちが日常のテレビやDVDなどでは接する機会を持ちにくい映画遺産に触れる機会を作るとともに、写真画像や手作りの動画等も用いて、わかりやすい解説を行うよう心がけた。

実施回数：4回(平成24年7月27日(金)、7月28日(土)、8月3日(金)、8月4日(土))

参加者数：394人

会 場：小ホール

◆相模原分館における小・中学生を対象とした上映会

内 容：相模原分館では、相模原市及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と締結した文化事業等協力協定により、相模原市内の小・中学生並びに相模原市及びJAXAとの共催事業の参加者を対象に、無料で映画鑑賞と保存施設の案内を実施した。映画フィルムの受入・検査・収納までの工程を解説し、多くの参加者から好評を得、映画フィルムの保存についても普及することができた。

◆相模原分館 『6.13「はやぶさ」帰還記念日イベント』

内 容：相模原市・宇宙航空研究機構・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。(上映作品『はやぶさ 遥かなる帰還』)

実施回数：2回(平成24年6月13日(水))

参加者数：380人

会 場：相模原分館

◆相模原分館 JAXA相模原キャンパス特別公開2012

宇宙科学セミナー/所蔵フィルム上映&施設探検ツアー

内 容：相模原市・宇宙航空研究機構・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。(上映作品『日本の科学衛星 宇宙の探求』)

実施回数：6回(平成24年7月27日(金)、7月28日(土))

参加者数：1,001人

会 場：相模原分館

◆相模原分館 さがみ風っ子 親子映画鑑賞会

内 容：相模原市・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。

(上映作品『マッチ売りの少女』『月夜とめがね』『ポロンギター』)

実施回数：2回(平成24年10月28日(日))

参加者数：35人

会 場：相模原分館

◆相模原分館 「相模原市内の小・中学生を対象とした上映会」

内 容：相模原市・東京国立近代美術館の間で締結した「文化事業等の協力協定」を基に実施した。

（上映作品『菊次郎の夏』『がんばっていきまっしょい』）

実施回数：2回（平成25年3月1日（金）、3月21日（水））

参加者数：246人

会 場：相模原分館

1-4-1 講演会・シンポジウム Lecture / Symposium

①ユネスコ「世界視聴覚文化遺産の日」記念特別イベント

「講演と弁士・伴奏付き上映 日活映画の起源」

実施日：平成24年11月3日(土)

開催場所：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：185人

上映：『慈悲心鳥』[断片](1927年、溝口健二監督)

『1931年日活オンパレード』[断片](1931年、阿部豊監督)

『堀久作社長の帰朝』(1951年)

講演：佐相勉(映画研究者) 「『慈悲心鳥』と日活時代の溝口健二」

弁士・伴奏付き上映：澤登翠(台本、語り) 『新派 二人静』(1922年、大洞元吾監督)

②『地獄門』デジタル復元版 特別上映会トーク・イベント

実施日：平成24年4月28日(土) 1回

開催場所：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

参加者数：280人

ゲスト：森田富士郎(撮影監督、『地獄門』デジタル復元監修
三浦和己(株式会社IMAGICA)

1-4-2 ゲストトーク Post-Screening Talk

①企画上映「EUフィルムデーズ2012」

開催回数：7回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成24年5月26日(土) 3:30pmの回	フォニョー・ゲルゲイ (『メイド・イン・ハンガリー』監督) ネメーニ・アーダーム (『メイド・イン・ハンガリー』プロデューサー) 田中千世子(映画監督、評論家)
平成24年5月27日(日) 2:00pmの回	杉原賢彦(映画評論家)
平成24年5月27日(日) 5:00pmの回	ペーター・シュトラー (オーストリア大使館文化担当公使)
平成24年6月1日(金) 3:00pmの回	ペーター・シュトラー (オーストリア大使館文化担当公使)
平成24年6月5日(火) 7:00pmの回	杉原賢彦(映画評論家)

平成24年6月7日(木) 7:00pmの回	ペトル・ホリー (チェコ センター所長)
平成24年6月13日(水) 3:00pmの回	ミッコ・コイヴマー (フィンランド大使館報 道・文化担当参事官)

参加者数：1,448人

②共催上映第34回PFFぴあフィルムフェスティバル

開催回数：24回

開催場所：大ホール・小ホール

ゲ ス ト：[大ホール]

平成24年9月19日(水) 0:30pmの回	渡部亮平 (『かしこい狗 は、吠えずに笑う』監督) 山戸結希 (『 Her Res ～ 出会いをめぐる三分間の 試問3本立て～』監督)
平成24年9月19日(水) 3:30pmの回	二ノ宮隆太郎 (『魅力の 人間』監督) 佐久川満月 (『オハヨー』 監督)
平成24年9月19日(水) 6:30pmの回	三宅唱 (『Playback』監督) 渋谷清彦 (『Playback』 出 演) 三浦誠己 (『Playback』 出 演) 山本浩司 (『Playback』 出 演)
平成24年9月20日(木) 0:30pmの回	河合健 (『極私的ランナ ウェイ』監督) 川原康臣 (『ゆれもせで』 監督)
平成24年9月20日(木) 3:30pmの回	嶺豪一 (『故郷の詩』監督) 工藤隆史 (『継母』監督)
平成24年9月20日(木) 6:30pmの回	青石太郎 (『Please Please Me』監督) 加藤綾佳 (『水槽』監督)
平成24年9月21日(金) 0:30pmの回	弓場絢 (『リコ』監督) イノウエカナ (『あん、あ ん、あん』監督)
平成24年9月21日(金) 3:30pmの回	鶴岡慧子 (『くじらのま ち』監督) 加藤秀則 (『あの日から 村々する』監督)
平成24年9月21日(金) 6:30pmの回	熊坂出 (『リルウの冒険』 監督)
平成24年9月22日(土) 11:30amの回	伊藤智之 (『stay チュー ン』監督)

平成24年9月22日(土) 2:45pmの回	永山正史(『飛び火』監督) 渡部亮平(『かしこい狗は、吠えずに笑う』監督) 山戸結希(『Her Res ～出会いをめぐる三分間の試問3本立て～』監督)
平成24年9月22日(土) 6:00pmの回	河合健(『極私的ランナウェイ』監督) 川原康臣(『ゆれもせで』監督)
平成24年9月23日(日) 0:15pmの回	二ノ宮隆太郎(『魅力の人間』監督) 佐久川満月(『オハヨー』監督)
平成24年9月23日(日) 3:15pmの回	嶺豪一(『故郷の詩』監督) 工藤隆史(『継母』監督)
平成24年9月23日(日) 6:15pmの回	弓場絢(『リコ』監督) イノウエカナ(『あん、あん、あん』監督)
平成24年9月25日(火) 11:45amの回	青石太郎(『Please Please Me』監督) 加藤綾佳(『水槽』監督)
平成24年9月25日(火) 3:00pmの回	伊藤智之(『stay チューン』監督) 永山正史(『飛び火』監督)
平成24年9月25日(火) 6:15pmの回	鶴岡慧子(『くじらのまち』監督) 加藤秀則(『あの日から村々する』監督)
平成24年9月26日(水) 1:00pmの回	岡島尚志(フィルムセクター主幹)
平成24年9月27日(木) 6:30pmの回	廣原暁(『HOMESICK』監督) 郭 智博(『HOMESICK』出演) 金田悠希(『HOMESICK』出演) 本間 翔(『HOMESICK』出演) 船曳健太(『HOMESICK』出演) 阿部翔平(『HOMESICK』出演) 船崎飛翼(『HOMESICK』出演) 奥田恵梨華(『HOME SICK』出演)

[小ホール]

平成24年9月22日(土) 2:00pmの回 黒沢清(『贖罪』監督)
平成24年9月23日(日) 11:30amの回 芦澤明子(撮影監督)
平成24年9月23日(日) 2:30pmの回 芦澤明子(撮影監督)
平成24年9月23日(日) 5:45pmの回 石井裕也(『エンドロール
～伝説の父～』監督)

参加者数：3,129人

③企画上映「自選シリーズ 現代日本の映画監督1 崔洋一」

開催回数：15回

開催場所：大ホール

ゲスト：平成25年3月20日(水) 2:50pm 崔洋一(映画監督)
内田裕也(俳優)
平成25年3月22日(金) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月24日(日) 1:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月24日(日) 4:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月26日(火) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月26日(火) 7:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月27日(水) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月28日(木) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月28日(木) 7:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月29日(金) 3:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月30日(土) 1:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月30日(土) 2:55pm 崔洋一(映画監督)
平成25年3月30日(土) 5:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月31日(日) 1:00pmの回 崔洋一(映画監督)
平成25年3月31日(日) 4:00pmの回 崔洋一(映画監督)

参加者数：2,675人

1-4-3 ギャラリー・トーク Gallery Talk

①「ロードショーとスクリーン 外国映画ブームの時代」

開催回数：2回

開催場所：展示室

平成24年5月19日(土) 坂上直行氏(元日本ヘラルド映画宣
伝部、ゴー・シネマ代表取締役社長)
平成24年7月7日(土) 竹内康治氏(元東宝東和宣伝部、映
画倫理委員会)

参加者数：111人

②「日活映画の100年 日本映画の100年」

開催回数：7回

開催場所：展示室

平成24年8月18日(土) 上田学(早稲田大学演劇博物館招聘
研究員)
平成24年9月8日(土) 岡田秀則(フィルムセンター主任研

	究員)
	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
平成24年9月29日(土)	紙屋牧子(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)
平成24年10月20日(土)	佐藤千紘(恵泉女学園大学非常勤講師)
平成24年11月24日(土)	板倉史明(神戸大学国際文化学部准教授)
平成24年12月15日(土)	鈴木義昭(映画史研究家、ルポライター)
平成24年12月22日(土)	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)

参加者数：406人

③「西部劇の世界 ポスターでみる映画史 Part1」

開催回数：3回

開催場所：展示室

平成25年1月31日(木)	畑暉男(映画研究家)
平成25年2月23日(土)	濱口幸一(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
平成25年3月23日(土)	柳下毅一郎(映画評論家、翻訳家)

参加者数：292人

④常設展ギャラリー・トーク

開催回数：11回

開催場所：展示室

平成24年 4月14日(土)	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)
平成24年 5月 5日(土)	板倉史明(フィルムセンター主任研究員)
平成24年 6月 2日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成24年 7月 7日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成24年 9月 1日(土)	大澤浄(フィルムセンター研究員)
平成24年10月 6日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成24年11月10日(土)	大傍正規(フィルムセンター研究員)
平成24年12月 1日(土)	岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)
平成25年 1月12日(土)	佐崎順昭(映画研究者、フィルムセンター客員研究員)

平成25年 2月 2日(土)

稲垣涌三(撮影監督、日本映画
撮影監督協会事務局長)

平成25年 3月 2日(土)

音声資料紹介(解説：佐崎順
昭)

参加者数：218人

◆ インターンシップ

受入期間	平成24年5月～8月（4カ月）、平成24年11月～平成25年2月（4カ月間）
実施場所	フィルムセンター
参加人数	2名
事業内容	イベント運営など事業推進室の業務全般、情報資料室の所蔵資料整理

◆ 博物館実習

受入期間	平成24年8月21日～8月25日（5日間）
実施場所	フィルムセンター
参加人数	13名
事業内容	フィルムセンター各室の業務に関わる講義と実習

◆ 大学等連携事業

実施件数 4件

◆ 特別映写観覧による大学等への協力

実施件数 53件（213本）

◆ 国立美術館内での連携

京都国立近代美術館との連携

「NFC所蔵作品選集 MoMAK Films@home 2012」

期 間：平成24年4月から12月まで隔月開催（述べ上映日数10日間）

会 場：京都国立近代美術館

「日本の映画ポスター芸術」

期 間：平成24年10月31日（水）～12月24日（月・祝）

会 場：京都国立近代美術館

国立国際美術館との連携

「第5回中之島映像劇場 浪花の映像【キネマ】の物語

—東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品から—」

期 間：平成25年3月16日（土）、17日（日） 計2日間4回

会 場：国立国際美術館



□「第34回PFFびあフィルムフェスティバル」(共催者)

29.7×21cm/60p

発行年：平成24年9月18日

責任編集：荒木啓子

編集：片岡真由美

発行：東京国立近代美術館

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター



- 平成24年度優秀映画鑑賞推進事業 鑑賞の手引
29.7×21cm/54p（表紙A3番1回織1枚、作品解説A4判25枚）
編集：東京国立近代美術館フィルムセンター
デザイン・制作：株式会社オーエムシー
発行日：平成24年6月30日

・展覧会出品目録・ガイド(3回)



- 「ロードショーとスクリーン
外国映画ブームの時代」出品リスト
22.5×10cm／8p
発行日：平成24年4月11日



- 「日活映画の100年
日本映画の100年」出品リスト
22.5×10cm／8p
発行日：平成24年8月14日



- 「^{ウェスタン}西部劇の世界
ポスターでみる映画史Part1」出品リスト
22.5×10cm／8p
発行日：平成25年1月8日

2-3 NFCカレンダー等 NFC Calender and Flyers

2-3-1 NFCカレンダー NFC Calender

29.7×21cm

大ホール上映作品解説／上映スケジュール



- 2012年4月号
よみがえる日本映画vol.4
〔大映篇〕
一映画保存のための特別事業費による
4p



- 2012年5月号
生誕百年
映画監督 今井正(1)
4p



- 2012年6月号
EUフィルムデーズ2012
4p



- 2012年7月号
ロードショーとスクリーン
プームを呼んだ外国映画
4p



- 2012年8月号
生誕百年
映画監督 今井正(2)
4p



- 2012年9月号
シネマの冒険
闇と音楽2012
ロシア・ソビエト
無声映画選集
2p



- 2012年10月号
生誕百年
木下恵介劇場
4p



- 2012年11月
ー2013年1月号
日活映画の100年
日本映画の100年
8p



- 2013年2月号
よみがえる日本映画vol.5
〔日活篇〕
一映画保存のための特別事業費による
4p



- 2013年3月号
自選シリーズ
現代日本の映画監督1
崔洋一
2p

2-3-2 展覧会チラシ Publicity Flyers / Exhibitions

29.7×21cm



- ロードショーと
スクリーン
外国映画ブームの時代
2p



- 日活映画の100年
日本映画の100年
2p



- ウェスタン
□西部劇の世界
ポスターでみる映画史
Part1
2p

29.7×21cm

(ア)フィルムセンター発行



□《京橋映画小劇場No.23》
「映画の教室2012」
2p



□《京橋映画小劇場No.24》
「アンコール特集：2011年度
上映作品より」
2p



□《京橋映画小劇場No.25》
「東京国立近代美術館60周年
記念 美術館と映画：フィル
ムセンター以前の上映事業」
2p



□カルト・ブランシュ
～期待の映画人・文化人が
選ぶ日本映画～
2p

(イ)共催者発行

26×18cm



□EUフィルムデイズ2012
4p



□第34回PFF ぴあフィルム
フェスティバル
2p

29.7×21cm



☐ こども映画館
2012年の夏休み
2p

29.7×21cm

発行・著作：東京国立近代美術館

編集：東京国立近代美術館フィルムセンター



- 第102号（2012年4月-5月号）
 特集1：ロードショーとスクリーン
 外国映画ブームの時代
 特集2：よみがえる日本映画[大映篇]
 特集3：『地獄門』デジタル復元
 発行日：平成24年4月1日



- 第103号（2012年6月-7月号）
 特集1：生誕百年 映画監督 今井正
 特集2：ロードショーとスクリーン
 ブームを呼んだ外国映画
 発行日：平成24年6月1日



- 第104号（2012年8月-9月号）
 特集：議会図書館パッカード・キャンパス
 の視聴覚保存
 生誕百年 映画監督 今井正
 シネマの冒険 闇と音楽
 日活映画の100年 日本映画の100年
 発行日：平成24年8月1日



- 第105号（2012年10月-11月号）
 特集：映画はどこで、どのように保存されているのか対談「映画保存の現在と未来」
 生誕百年 木下恵介劇場
 日活映画の100年 日本映画の100年
 発行日：平成24年10月1日



- 第106号（2012年12月-2013年1月号）
 東京国立近代美術館開館60周年
 特集1：美術館と映画 フィルムセンター以前の上映事業
 ウェスタン
 特集2：西部劇の世界 ポスターでみる映画史 Part 1
 発行日：平成24年12月1日



- 第107号（2013年2月-3月号）
 特集：映画保存とフィルム・アーカイブ
 活動の現状に関するQ&A
 よみがえる日本映画[日活篇]
 自選シリーズ 現代日本の映画監督1 崔洋一
 発行日：平成25年2月1日

(ア)上映会のためのハンドアウトの発行 114～117号(4部)

事業関連の情報を提供する「NFCメールマガジン」は着実に登録者が増えている。またNFCD（フィルムセンターデータベース）については、ウェブ化開始以来の懸案であった人物データのコンバートが完了して以降は、継続的に人物情報の統合作業を進めている。また、資料整理の進化とともにNFCDの改造を計画し、フィルムの運用を細やかに管理するとともに、プレス資料（プレスシート、チラシ等）をNFCD上で登録できるように作業を進めている。

また、映画関連資料へのアクセス希望に対しては、図版提供をすみやかに行うためにデジタル・データの形で提供する傾向が定着しているが、これまでにデータ化された写真等の画像を円滑に活用するため、共有ファイル内に設けた「画像集積所」のさらなる充実を目指した。

記録

国際交流

International Exchange

日誌

Record of Events

予算

Expenditure

名簿

Nominal List

1-1 平成24年度招聘者

氏名[英文](所属)

目的

滞在期間

ビジョイ・ジェイン[Bijoy Jain]

インド/スタジオ・ムンバイ代表

60周年企画「夏の家」設置指導、講演会のため

滞在期間：平成24年8月30日～9月3日

ドリユン・チョン[Doryun Chong]

アメリカ/ニューヨーク近代美術館

「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」展国際シンポジウム出席のため

滞在期間：平成24年12月21日～12月24日

ガブリエル・リッター[Gabriel Ritter]

アメリカ/ダラス美術館

「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年」展国際シンポジウム出席のため

滞在期間：平成24年12月21日～12月24日

クリストフ・デジャン[Christophe Dejean]

イギリス/フランシス・ベーコン・エステート

「フランシス・ベーコン展」開会式出席のため

滞在期間：平成25年3月7日～10日

ペーター・ヴェルツ[Peter Welz]

ドイツ/「フランシス・ベーコン展」出品映像アーティスト

「フランシス・ベーコン展」展示指導、開会式出席、講演会のため

滞在期間：平成25年3月5日～3月10日

マルガリータ・カポック[Margarita Cappock]

アイルランド/ダブリン市立ヒュー・レーン近代美術館

「フランシス・ベーコン展」講演会のため

滞在期間：平成25年4月3日～4月7日

平成24年4月27日	パヴェル・ライチャン（チェコ／映画ポスターギャラリー「テリー・ポスター」代表）
平成24年5月15日	ロマン・ガドナー（ドイツ／アーノルド・アンド・リヒター・シネ・テクニク、DIシステム担当）
平成24年6月20日	ベス・カツオフ（アメリカ／コロンビア大学東アジア研究図書館）
平成24年8月31日	ジョン・ポリト（アメリカ／オーディオメカニクス社長）
平成25年3月28日	ジョアン・ペドロ・ロドリゲス（ポルトガル／映画監督） ジョアン・ルイ・グエッラ・ダ・マタ（ポルトガル／映画監督）
April 27, 2012	Pavel Rajčan (Czech Republic / Terry Posters)
May 15, 2012	Roman Gadner (Federal Republic of Germany / Arnold & Richter Cine Technik)
June 20, 2012	Beth Katzoff (United states of America / Columbia University's C.V. Starr East Asian Library)
August 31, 2012	John Polito (United states of America / Owner of Audio Mechanics)
March 28, 2013	João Pedro Rodrigues (Portuguese Republic / Filmmaker) João Rui Guerra da Mata (Portuguese Republic / Filmmaker)

□平成24年4月23日

特別展「越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910s-1945」展の開会式およびレセプションを挙

□平成24年5月31日

特別展「写真の現在4 そのときの光、そのさきの風」展の開会式およびレセプションを挙

□平成24年6月1日

「東京国立近代美術館開館60周年・京都国立近代美術館開館50周年」記念 特殊切手発行

□平成24年6月8日

優秀映画鑑賞推進事業実施委員会開催

□平成24年6月11日

特別展「吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者」展の開会式およびレセプションを挙

□平成24年6月27日

平成24年度第1回評議員会(映画部会)開催

□平成24年6月29日

平成24年度第1回評議員会(美術・工芸部会)開催

□平成24年8月8日

平成24年度第1回美術作品購入等選考委員会(美術部門)開催

□平成24年8月10日～12日

60周年記念プログラム「Concerto Museo/ 絵と音の対話」開催

□平成24年8月26日

60周年記念プログラム「夏の家」オープン

□平成24年8月26日～9月8日

60周年記念プログラム「14の夕べ」開催

□平成24年9月14日

特別展「現代の座標—工芸をめぐる11の思考」展の開会式およびレセプションを挙

□平成24年10月15日

共催展「美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年」展の開会式およびレセプションを挙

□平成24年12月1日

「東京国立近代美術館60年史」刊行

□平成24年12月17日

皇太子殿下「美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年」展 行幸啓

□平成25年1月10日

天皇皇后両陛下「美術にぶるっ! ベストセレクション 日本近代美術の100年」展 行啓

□平成25年2月13日

特別展「東京オリンピック1964 デザインプロジェクト」展の開会式およびレセプションを挙

□平成25年2月14日

平成24年度第2回美術作品購入等選考委員会(美術部門)開催

□平成25年2月15日

平成24年度第2回評議員会(美術・工芸部会)開催

□平成25年3月1日

平成24年度第2回評議員会(映画部会)開催

□平成25年3月7日

共催展「フランス・ペーコン展」の開会式およびレセプションを挙

□平成25年3月21日

平成24年度美術作品購入等選考委員会(写真部門)開催

3 予算 Expenditure

3-1 平成24年度歳出予算一覧

事項	予算額(単位：千円)
1 一般管理費	255,086
2 収集・保管事業費	531,068
陳列品購入費	431,946
資料収集整備費	99,122
3 展示事業費	359,428
特別展経費	90,666
企画展経費	9,091
常設展経費	250,183
所蔵品名品巡回展経費	7,776
展覧会調査経費	1,712
4 調査研究事業費	85,687
5 教育普及事業費	200,217
合計	1,431,486

4 名簿 Nominal List

4-1 東京国立近代美術館評議員(美術・工芸部会)

(平成25年3月31日現在)

現職	氏名
公益財団法人ポーラ美術館長	荒屋鋪透
公益財団法人石橋財団代表理事	石橋 寛
国際交流基金文化事業部企画役	伊東正伸
横浜美術館長	逢坂恵理子
美術評論家	岡部あおみ
東京都写真美術館事業企画課長	笠原美智子
一般社団法人芸術資源マネジメント研究所代表理事	加藤恒夫
大田区立出雲中学校長	林 憲吾
世田谷美術館学芸部長	清水真砂
山梨県立美術館長	白石和己
明星大学造形芸術学部特別教授	宝木範義
公益財団法人うつのみや文化創造財団常務理事・宇都宮美術館長	谷 新
(株)よみうりランド取締役	谷矢哲夫
(独)国立文化財機構東京国立博物館学芸企画部長	松本伸之
神奈川県立近代美術館長	水沢 勉

(五十音順)

4-2 東京国立近代美術館評議員(映画部会)

(平成25年3月31日現在)

現職	氏名
公益財団法人川喜多記念映画文化財団代表理事	岡田正代
映画監督	小栗康平
社団法人日本映画製作者連盟事務局長	華頂尚隆
早稲田大学文学学術院教授	小松 弘
明治学院大学文学部教授	斉藤綾子
映画監督、日本映画監督協会理事長	崔 洋一
映画評論家	杉浦孝昭
立命館大学映像学部准教授	富田美香
公益社団法人映像文化製作者連盟事務局長	中嶋清美
映像作家	中島 崇
映画プロデューサー、東京芸術大学大学院映像研究科教授、	堀越謙三
ユーロスペース代表取締役	
アテネ・フランセ文化センター主任	松本正道
日本大学芸術学部教授	宮澤誠一
東京大学大学院 情報学環・学際情報学府教授、	
東京大学 大学総合教育研究センター センター長	吉見俊哉
映画評論家	渡辺祥子

(五十音順)

(平成25年3月31日現在)

現職	氏名	現職	氏名
館長	加茂川幸夫		
副館長	松本 透		
運営管理部		工芸課	
運営管理部長		工芸課長	唐澤昌宏
室長(庶務)	柏田昭生	主任研究員 工芸室長	諸山正則
室長(会計)	和田敏雄	主任研究員	北村仁美
室長(普及)	小山寛俊	主任研究員 デザイン室長	木田拓也
室長(研修)(命)	小谷松誠司	展示室長(兼)	唐澤昌宏
係長(庶務)	小谷松誠司	主任研究員 教育・資料室長	今井陽子
	小澤孝明		
係長(人事)	中世古真彦	フィルムセンター	
	宮城明治	主幹	岡島尚志
係長(監査)	小林由布子	事務室長	西田佳二
	岡 克憲	係長(管理)	春日義孝
係長(会計)	福田武史	係長(業務)	市村英孝
	荒井久登	係長(相模原分館管理)(兼)	西田佳二
係主任(管理)	湯淺仁美	主任研究員 映画室長	榎木 章
係長(普及)(兼)	定永尚代	映写技術士	大傍正規
	小谷松誠司	主任研究員 事業推進室長	高屋吉丘
係長(研修)(兼)	三村研太郎		入江良郎
(命)	小谷松誠司	主任研究員 情報資料室長	大澤 淨
	三村研太郎		岡田秀則
企画課			
企画課長	中林和雄		
主任研究員 企画展室長	大谷省吾		
主任研究員	三輪健仁		
主任研究員	中村麗子		
主任研究員 教育普及室長	一條彰子		
主任研究員 情報資料室長	水谷長志		
美術課			
美術課長	藏屋美香		
主任研究員 絵画彫刻室長	鈴木勝雄		
主任研究員	鶴見香織		
主任研究員	保坂健二郎		
版画素描室長(兼)	藏屋美香		
	榊田倫広		
主任研究員 写真室長	増田 玲		
主任研究員 展示調整室長	都築千重子		

平成24年度

独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館活動報告

発行者： 加茂川幸夫

発行： 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館
東京都千代田区北の丸公園3-1
電話03 (3214) 2561 (代表)

印刷： ヤマノ印刷株式会社

発行日：平成26年2月28日

■非売品

2012 Annual Report

Independent Administrative Institution National Museum of Art
The National Museum of Modern Art, Tokyo

Publisher: Kamogawa Sachio

Edited & Published by:

Independent Administrative Institution National Museum of Art
The National Museum of Modern Art, Tokyo ©2012
3-1 Kitanomaru-koen, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan
Phone: +81 (0) 3-3214-2561

Printed by: Yamano Printing Co., Ltd.

Printed in Japan

■Not for sale